

口腔顎顔面外科学

年次	学期	学則科目責任者
4年次	通年	近藤 壽郎 (顎顔面外科学)

学習目標 (G I O)	口腔顎顔面領域にみられる先天異常と発育異常 (奇形・変形), 損傷, 炎症性疾患, 口腔粘膜疾患, ウイルス感染症, 嚢胞性疾患, 腫瘍, 唾液腺疾患, 顎関節疾患, 神経疾患と心因性疾患, 血液疾患と出血性素因, 全身疾患と症候群は, 口腔外科臨床でしばしば遭遇する疾患である。それらの基本的な病態を理解し, 臨床所見を把握することは重要, 不可欠であり, 口腔外科臨床に直結する内容である。そのためにそれぞれの成因, 病態, 診断学, 治療学を学び理解する。
担当教員	近藤 壽郎、小倉 直美、池谷 美和、伊藤 耕、高橋 康輔、※大木 秀郎、※篠原 正徳、※高橋 哲、※酒巻 裕之、※横尾 聡、※鶴澤 一弘、※塚原 宏泰、※武川 寛樹、※神野 良一、西村 均、田中 茂男、萩原 美緒、※小宮 正道、※石井 達郎、金田 隆、小椋 一朗、佐々木 悠介、久山 佳代、宇都宮 忠彦、福本 雅彦、岡田 裕之、山根 潤一、落合 智子、大峰 浩隆、小野 真紀子、※藤井 彰、※和氣 裕之、飯塚 普子、山口 桜子、羽田 紗綾、岩井 聡、河島 睦、※秋葉 正一、※釜崎 直人、※菅谷 和之、※野上 俊雄、※樋口 和夫、藤本 陽子、※湊 耕一、※村井 正彦、※小侯 裕昭、※田島 秀人、※田所 英之、※中山 桂二、※林 裕、谷野 弦、※渡部 正吾
教科書	サクシント口腔外科 内山 健志、近藤 壽郎 他 学建書院 標準口腔外科学 野間 弘康 他、近藤 壽郎 他 医学書院 口腔外科学実習書 石井 達郎、西村 均 他 日本大学松戸歯学部口腔外科学編
参考図書	口腔外科学 宮崎 正 医歯薬出版 口腔病理アトラス 高木 實 文光堂
評価方法 (E V)	講義・実習を1/5 以上を欠席した場合、評価点は0 - 60 点とする。なお平常試験の再試験は行わない。 評価：平常試験 (4 回) と実習 によって総合評価点とする。平常試験の結果に応じて、補講などの措置を講じることがある。 実習：実技評価、実習態度 (出席状況：実習の欠席は0 点とする) で評価する。
学生へのメッセージ オフィスアワー	口腔外科領域の疾患は広範囲ですべてが歯科臨床で必要不可欠であり, CBT と国家試験に多くの問題が出題されるので予習・復習をしっかりと行なうこと。臨床実習に向けて基礎的知識を十分に学んでほしい。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/09 (水) 1時限 09:00~10:30	ガイダンス 口腔外科総論	<p>【授業の一般目標】 口腔顎顔面領域の疾患を説明できるようになるために知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 口腔顎顔面領域の疾患には, どのような疾患があるか述べるができる。 2. 口腔顎顔面領域疾患の治療法を概説できる。 3. 現在まで学習した科目が口腔顎顔面領域にどのように関与しているか述べるができる。</p> <p>【準備学習項目】 どのような疾患があるかを学習する。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (9) 口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す疾患 *②口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す感染症の種類とその症状を列挙できる。</p>	近藤 壽郎 西村 均
2014/04/09 (水) 2時限 10:40~12:10	口腔外科総論	<p>【授業の一般目標】 口腔顎顔面領域の疾患説明できるようになるために必要な知識を学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 口腔外科診断学を理解する。 2. 得られた情報を整理, 推理し診断できる。 3. 口腔顎顔面領域の疾患の診察法, 問診法, 診断法を述べるができる。</p> <p>【準備学習項目】 ①口腔の主要症候を説明できる。②医療面接の項目を説明できる。③口腔に行われる検査項目を述べられる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p>	近藤 壽郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/09 (水) 2時限 10:40～12:10	口腔外科総論	<p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学教育</p> <p>E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患</p> <p>E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患</p> <p>E-2-4) - (9) 口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す疾患</p> <p>*④口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す全身的な腫瘍と腫瘍類似疾患およびその症状を列挙できる。</p> <p>E-2-4) - (1) 先天異常および後天異常</p> <p>*①口唇・口腔・頭蓋・顎顔面に症状をきたす先天性異常を説明できる。</p> <p>E-2-4) - (2) 外傷</p> <p>*①一般的な骨折の種類と特徴および治癒過程を説明できる。</p> <p>E-2-4) - (3) 炎症とアレルギー</p> <p>*①菌性感染症の原因菌と感染経路を説明できる。</p> <p>E-2-4) (4) 口腔粘膜疾患</p> <p>*①口腔粘膜疾患の種類と特徴を説明できる。</p>	近藤 壽郎
2014/04/16 (水) 1時限 09:00～10:30	奇形・変形	<p>【授業の一般目標】</p> <p>奇形・変形説明できるようになるために、知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 顎口腔領域の先天性および後天性異常を述べることができる。 2. 歯の異常の種類を述べることができる。 3. 歯の異常による障害と続発症、治療法を述べることができる。 4. 口唇の異常 (裂奇形以外) の分類、障害、治療法を述べることができる。 5. 舌、歯肉あるいは口腔粘膜、小帯の異常を述べることができる。 <p>【準備学習項目】</p> <p>歯の異常、軟組織の異常を理解する。</p> <p>【学習方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学教育</p> <p>E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患</p> <p>E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患</p> <p>E-2-4) - (1) 先天異常および後天異常</p> <p>*①口唇・口腔・頭蓋・顎顔面に症状をきたす先天性異常を説明できる。</p>	田中 茂男
2014/04/16 (水) 2時限 10:40～12:10	顔面・口腔の裂奇形	<p>【授業の一般目標】</p> <p>顔面・口腔の裂奇形を説明できるようになるために必要な知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 裂奇形を呈する疾患について診断できるようになるために、裂奇形を理解する。 2. 裂奇形について説明できる。 3. 唇裂の分類について説明できる。 4. 唇裂による障害について説明できる。 5. 口蓋裂の分類について説明できる。 6. 口蓋裂による障害について説明できる。 7. 顔面に生じる裂奇形の分類を列記できる。 <p>【準備学習項目】</p> <p>顔面・口腔の裂奇形の分類について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学教育</p> <p>E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患</p> <p>E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患</p> <p>E-2-4) - (1) 先天異常および後天異常</p> <p>*①口唇・口腔・頭蓋・顎顔面に症状をきたす先天性異常を説明できる。</p> <p>*②口唇・口蓋裂の病態と治療方針を説明できる。</p> <p>*③顎変形症を概説できる。</p> <p>E-2-4) - (9) 口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す疾患</p> <p>*⑤口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す症候群の種類と症状を列挙できる。</p> <p>*⑥口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す系統的骨疾患の症状、診断および治療法を列挙できる。</p>	酒巻 裕之
2014/04/23 (水) 1時限 09:00～10:30	顔面・口腔の裂奇形	<p>【授業の一般目標】</p> <p>顔面・口腔の裂奇形を説明できるようになるために、必要な知識をしょうとくする。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 裂奇形を呈する疾患について診断できるようになるために、裂奇形を理解する。 2. 裂奇形について説明できる。 3. 唇裂の分類について説明できる。 4. 唇裂による障害について説明できる。 5. 口蓋裂の分類について説明できる。 6. 口蓋裂による障害について説明できる。 7. 顔面に生じる裂奇形の分類を列記できる。 	酒巻 裕之

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/23 (水) 1時限 09:00～10:30	顔面・口腔の裂奇形	<p>【準備学習項目】 顔面・口腔の裂奇形の分類について説明できる。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (1) 先天異常および後天異常 *①口唇・口腔・頭蓋・顎顔面に症状をきたす先天性異常を説明できる。 *②口唇・口蓋裂の病態と治療方針を説明できる。 *③顎変形症を概説できる。 E-2-4) - (9) 口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す疾患 *⑤口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す症候群の種類と症状を列挙できる。 *⑥口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す系統的骨疾患の症状、診断および治療法を列挙できる。</p>	酒巻 裕之
2014/04/23 (水) 2時限 10:40～12:10	顔面・口腔の裂奇形	<p>【授業の一般目標】 顔面・口腔の裂奇形説明できるようになるために必要な知識を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 裂奇形を呈する疾患について診断できるようになるために、裂奇形を理解する。 2. 口唇・口蓋裂の治療方針について概説することができる。 3. 唇裂の手術法を説明できる。 4. 口蓋裂に関する手術法を列記できる。 5. 口蓋裂に関する手術法の目的について説明できる。 6. 口唇・口蓋裂児および家族に対する指導内容について説明できる</p> <p>【準備学習項目】 顔面・口腔の裂奇形の分類について説明できる。顎顔面領域について説明できる。 唇顎口蓋裂の分類について説明できる。唇顎口蓋裂による障害について説明できる。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論IV 顎・口腔領域の疾患 1 先天異常と変形を主徴とする疾患 ア 口唇・口蓋裂</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (1) 先天異常および後天異常 *①口唇・口腔・頭蓋・顎顔面に症状をきたす先天性異常を説明できる。 *②口唇・口蓋裂の病態と治療方針を説明できる。 *③顎変形症を概説できる。 E-2-4) - (9) 口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す疾患 *⑤口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す症候群の種類と症状を列挙できる。 *⑥口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す系統的骨疾患の症状、診断および治療法を列挙できる。</p>	大峰 浩隆
2014/05/07 (水) 1時限 09:00～10:30	顎骨の異常	<p>【授業の一般目標】 顎骨の変形・異常を説明できるようになるために必要な知識を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 顎骨の変形を呈する疾患を診断し管理するため顎骨異常に対する診断法と治療方針を説明できる。 2. 顎骨の変形を呈する疾患の分類を説明できる。 3. 顎変形症の鑑別診断について説明できる。 4. 顎変形症の治療方針について説明できる。 5. 顎骨の異常における障害、原因、治療法について概説することができる。</p> <p>【準備学習項目】 顎骨の変形を呈する疾患について説明できる。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (1) 先天異常および後天異常 *③顎変形症を概説できる。 E-2-4) - (9) 口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す疾患</p>	伊藤 耕

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/05/07 (水) 1時限 09:00～10:30	顎骨の異常	*⑥口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す系統的骨疾患の症状、診断および治療法を列挙できる。	伊藤 耕
2014/05/07 (水) 2時限 10:40～12:10	顎骨の異常	<p>【授業の一般目標】 顎骨の変形・異常を説明できるようになるために必要な知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 顎骨の変形を呈する疾患を診断し管理するため顎骨異常に対する診断法と治療方針を説明できる。 2. 顎骨の変形を呈する疾患の分類を説明できる。 3. 顎変形症の鑑別診断について説明できる。 4. 顎変形症の治療方針について説明できる。 5. 顎骨の異常における障害, 原因, 治療法について概説することができる。</p> <p>【準備学習項目】 顎骨の変形を呈する疾患について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (1) 先天異常および後天異常 *①口唇・口腔・頭蓋・顎顔面に症状をきたす先天性異常を説明できる。 *②口唇・口蓋裂の病態と治療方針を説明できる。 *③顎変形症を概説できる。 E-2-4) - (9) 口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す疾患 *⑤口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す症候群の種類と症状を列挙できる。 *⑥口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す系統的骨疾患の症状、診断および治療法を列挙できる。</p>	高橋 哲
2014/05/14 (水) 1時限 09:00～10:30	損傷総論 顎・口腔の損傷 歯の外傷 顔面・口腔軟組織の損傷	<p>【授業の一般目標】 顎・口腔の損傷, 歯の外傷, 顔面・口腔軟組織の損傷について述べることができるように学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 損傷の原因, 分類, 症状, 創傷の治癒過程を理解し, 治療方針および後遺症について概説できる。 2. 歯の外傷の特徴, 分類, 臨床症状を理解し, 診断および治療方針を概説できる。</p> <p>【準備学習項目】 損傷の総論および歯の外傷について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (2) 外傷 *①一般的な骨折の種類と特徴および治癒過程を説明できる。 *②歯の外傷と顎顔面骨折の原因と種類を列挙できる。 *③外傷時の検査法を列挙できる。 *④歯の外傷の症状、診断法および治療法を説明できる。 *⑤歯槽骨骨折、上顎骨骨折、頬骨骨折および下顎骨骨折の症状、診断法および治療法を説明できる。 *⑥骨折の治療原則を説明できる。 ⑦軟組織損傷を分類し、それぞれの症状と処置法を説明できる。</p>	田中 茂男
2014/05/14 (水) 2時限 10:40～12:10	顎・口腔の損傷 顎顔面骨の骨折 1	<p>【授業の一般目標】 顎顔面骨の骨折について述べることができるように学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 顎顔面骨折の分類, 原因, 頻度, 全身の合併症および好発部位を理解し, 概説できる。 2. 顎顔面骨折の局所症状および局所症状のひとつである骨片の偏位を理解し, 診断法を概説できる。</p> <p>【準備学習項目】 顎顔面骨の骨折について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	田中 茂男

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/05/14 (水) 2時限 10:40～12:10	顎・口腔の損傷 顎顔面骨の骨折 1	E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (2) 外傷 *①一般的な骨折の種類と特徴および治癒過程を説明できる。 *②歯の外傷と顎顔面骨折の原因と種類を列挙できる。 *③外傷時の検査法を列挙できる。 *④歯槽骨骨折、上顎骨骨折、頬骨骨折および下顎骨骨折の症状、診断法および治療法を説明できる。 *⑤骨折の治療原則を説明できる。	田中 茂男
2014/05/21 (水) 1時限 09:00～10:30	顎・口腔の損傷 顎顔面骨の骨折 2	【授業の一般目標】 顎顔面骨の骨折について述べるようになるために学習する。を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 顎顔面骨折の局所症状および局所症状のひとつである骨片の偏位を理解し、診断法を概説できる。 2. 顎顔面骨折の診断法を理解し、症例に応じた診断法および治療法を概説できる。 【準備学習項目】 顎顔面骨の骨折について説明できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (2) 外傷 *①一般的な骨折の種類と特徴および治癒過程を説明できる。 *②歯の外傷と顎顔面骨折の原因と種類を列挙できる。 *③外傷時の検査法を列挙できる。 *④歯槽骨骨折、上顎骨骨折、頬骨骨折および下顎骨骨折の症状、診断法および治療法を説明できる。 *⑤骨折の治療原則を説明できる。	田中 茂男
2014/05/21 (水) 2時限 10:40～12:10	顎・口腔の損傷 顎骨内副子固定	【授業の一般目標】 顎顔面骨折の治療で顎骨内副子固定を理解するために学習する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 観血的整復固定手術、骨切り術、顎骨再建に使用するプレート、ネジ等の特性と適応を理解する。 【準備学習項目】 顎骨固定用内副子について説明できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (2) 外傷 *④歯槽骨骨折、上顎骨骨折、頬骨骨折および下顎骨骨折の症状、診断法および治療法を説明できる。 *⑤骨折の治療原則を説明できる。	近藤 壽郎
2014/05/28 (水) 1時限 09:00～10:30	平常試験①	【授業の一般目標】 平常試験① 90分間の試験 【準備学習項目】 4月9日 口腔外科総論から5月21日 顎・口腔の損傷顎骨内副子固定までの範囲 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】	近藤 壽郎 伊藤 耕 田中 茂男
2014/05/28 (水) 2時限 10:40～12:10	急性炎症と慢性炎症 (歯性病巣感染、 肉芽腫性炎も含む)	【授業の一般目標】 急性炎症と慢性炎症について説明できるようになるために学習する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 急性炎症と慢性炎症の病理学的特徴を学ぶ。 2. 炎症の経過と病理組織学的変化について説明できる。 3. 急性期と慢性期における炎症性細胞の種類と働きについて解説できる。 4. 炎症と細胞・組織傷害との関連性について述べるができる。	宇都宮 忠彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/05/28 (水) 2時限 10:40～12:10	急性炎症と慢性炎症 (歯性病巣感染、 肉芽腫性炎も含む)	5. 循環障害と炎症との関わりについて説明できる。 6. 修復・再生と炎症との関連性について解説できる。 【準備学習項目】 炎症の各型分類について解説できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (3) 炎症とアレルギー *①歯性感染症の原因菌と感染経路を説明できる。 *②急性炎症と慢性炎症の異同を説明できる。 *④口唇・口腔・顎顔面領域の特異性炎の種類と特徴を説明できる。 *⑥一般的な消炎療法の意義と特徴を説明できる。	宇都宮 忠彦
2014/06/04 (水) 1時限 09:00～10:30	歯性感染症	【授業の一般目標】 歯性感染症について説明できるようになるために学習する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 炎症の概要、局所症状、全身症状を理解し、治療方針を説明できる。 2. 歯性感染症の原因を理解した上で感染経路を説明できる。 【準備学習項目】 歯性感染症について説明できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (3) 炎症とアレルギー *①歯性感染症の原因菌と感染経路を説明できる。 *③炎症の診断に必要な検査法を説明できる。 *⑤歯血症および歯性病巣感染の病態を説明できる。 *⑥一般的な消炎療法の意義と特徴を説明できる。 *⑦主な炎症 (舌炎、口唇炎、口底炎、智歯周囲炎、歯槽骨炎、顎骨炎、顎骨骨膜炎、顎骨周囲炎、下顎骨骨髄炎、歯性上顎洞炎等) を概説できる。	石井 達郎
2014/06/04 (水) 2時限 10:40～12:10	歯性感染症	【授業の一般目標】 歯性感染症について説明できるようになるために学習する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 智歯周囲炎、歯槽骨炎、顎骨炎、顎骨骨膜炎、顎骨骨髄炎等の症状、治療方針が概説できる。 2. 歯性感染症である歯性扁桃周囲炎、口底の炎症、頬部の炎症の症状、治療方針が概説できる。 【準備学習項目】 歯性感染症について説明できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (3) 炎症とアレルギー *①歯性感染症の原因菌と感染経路を説明できる。 *③炎症の診断に必要な検査法を説明できる。 *⑤歯血症および歯性病巣感染の病態を説明できる。 *⑥一般的な消炎療法の意義と特徴を説明できる。 *⑦主な炎症 (舌炎、口唇炎、口底炎、智歯周囲炎、歯槽骨炎、顎骨炎、顎骨骨膜炎、顎骨周囲炎、下顎骨骨髄炎、歯性上顎洞炎等) を概説できる。 ⑧歯性病巣感染の成立機序、症状、検査法および治療法を説明できる。 ⑨消炎手術を概説できる。	石井 達郎
2014/06/11 (水) 1時限 09:00～10:30	ビスフォスフォネート製剤と骨髄炎	【授業の一般目標】 ビスフォスフォネート製剤と骨髄炎 (顎骨壊死) について説明できるようになるために学習する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 主な炎症 (骨髄炎) を概説できる。 2. ビスフォスフォネート製剤と顎骨壊死について説明できる。	神野 良一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/11 (水) 1時限 09:00～10:30	ビスフォスフォネート製剤と骨髄炎	<p>【準備学習項目】 ビスフォスフォネート製剤と顎骨壊死について説明できる。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (3) 炎症とアレルギー *⑦主な炎症（舌炎、口唇炎、口底炎、智歯周囲炎、歯槽骨炎、顎骨炎、顎骨骨膜炎、顎骨周囲炎、下顎骨骨髄炎、歯性上顎洞炎等）を概説できる。 ⑨消炎手術を概説できる。</p>	神野 良一
2014/06/11 (水) 2時限 10:40～12:10	肉芽腫性炎 ①分類 ②病態	<p>【授業の一般目標】 肉芽腫性炎について説明できるようになるために学習する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 肉芽腫性炎を理解する。 2. 肉芽腫性炎の種類を述べることができる。 3. 肉芽腫性炎の病態を述べることができる。</p> <p>【準備学習項目】 肉芽腫性炎について学習する。肉芽腫性炎の種類と特徴を学習する。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (3) 炎症とアレルギー *④口唇・口腔・顎顔面領域の特異性炎の種類と特徴を説明できる。</p>	西村 均
2014/06/18 (水) 1時限 09:00～10:30	顎顔面の神経支配	<p>【授業の一般目標】 顎顔面の神経支配を述べるようになるために復習する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 顎顔面の知覚、運動神経支配を理解する。 2. 自律神経を理解する。</p> <p>【準備学習項目】 脳神経および顎顔面領域の自律神経支配を説明できる。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 *④三叉神経と顔面神経の走行と分布および線維構成を説明できる。</p>	近藤 壽郎
2014/06/18 (水) 2時限 10:40～12:10	消炎療法 ①種類 ②作用機序 ③適応症	<p>【授業の一般目標】 顎口腔領域の炎症に対して行う消炎療法について説明できるようになるために学習する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 消炎療法を理解する。 2. 抗炎症薬の種類を述べることができる。 3. 抗炎症薬の作用機序を述べることができる。 4. 抗炎症薬の適応症を述べることができる。 5. 抗菌薬を理解する。 6. 抗菌薬の種類を述べることができる。 7. 抗菌薬の作用機序を述べることができる。 8. 抗菌薬の適応症を述べることができる。</p> <p>【準備学習項目】 抗炎症薬を概説できる。 抗菌薬を概説できる。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p>	藤井 彰 山根 潤一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/18 (水) 2時限 10:40～12:10	消炎療法 ①種類 ②作用機序 ③適応症	<p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (3) 炎症とアレルギー *⑥一般的な消炎療法の意義と特徴を説明できる。 ⑧歯性病巣感染の成立機序、症状、検査法および治療法を説明できる。 ⑨消炎手術を概説できる。</p>	藤井 彰 山根 潤一
2014/06/25 (水) 1時限 09:00～10:30	ウイルス感染症	<p>【授業の一般目標】 ウイルス感染症について説明できるようになるために学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ウイルスの基本構造と感染メカニズムを説明できる。 2. ウイルスの基本構造およびウイルス感染症の発症メカニズムを説明できる。 3. 単純疱疹の病態、診断、治療法を述べることができる。 4. 帯状疱疹の病態、診断、治療法を述べることができる。 5. ラムゼーハント症候群の病態、診断、治療法を述べることができる。 6. 流行性耳下腺炎の病態、診断、治療法を述べることができる。 7. ヘルパンギーナ、手足口病の病態、治療法を述べることができる。 8. 風疹、麻疹の病態を述べることができる。 9. 後天性免疫不全症候群の口腔の病態を述べることができる。</p> <p>【準備学習項目】 ウイルスの基本構造と感染メカニズムを説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (4) 口腔粘膜疾患 *②水疱、紅斑、びらん、潰瘍、白斑、色素沈着等を主徴とする主な粘膜疾患を概説できる。 E-2-4) - (7) 唾液腺疾患 *④流行性耳下腺炎の特徴、症状、診断法および治療を説明できる。 E-2-4) - (9) 口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す疾患 *②口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す感染症の種類とその症状を列挙できる。 *③口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現すアレルギー性疾患、膠原病、免疫不全とそれらの症状を列挙できる。 *⑩ヒト免疫不全ウイルス (HIV) 感染症の検査法とその口腔症状と検査法を説明できる。</p>	落合 智子 萩原 美緒
2014/06/25 (水) 2時限 10:40～12:10	口腔粘膜疾患の種類と特徴	<p>【授業の一般目標】 口腔粘膜疾患について説明できるようになるために学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 口腔粘膜疾患を理解する。 2. 口腔粘膜疾患の種類、病態、病理組織学的特徴を説明できる。 3. 水疱、紅斑、びらん、潰瘍、白斑、色素沈着を概説できる。</p> <p>【準備学習項目】 上皮を形態的および機能的に分類できる。 結合組織の線維要素と細胞要素を説明できる。 皮膚と粘膜の基本構造と機能を説明できる。 口腔粘膜の特徴を部位ごとに説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (4) 口腔粘膜疾患 *①口腔粘膜疾患の種類と特徴を説明できる。 *②水疱、紅斑、びらん、潰瘍、白斑、色素沈着等を主徴とする主な粘膜疾患を概説できる。</p>	岡田 裕之
2014/07/02 (水) 1時限 09:00～10:30	口腔粘膜疾患	<p>【授業の一般目標】 口腔粘膜疾患について説明できるようになるために学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 口腔粘膜疾患を理解する。 2. 水疱、紅斑、びらん、潰瘍、白斑、色素沈着を説明できる。 3. 水疱、紅斑、びらん、潰瘍、白斑、色素沈着等を特徴とする粘膜疾患を概説できる。</p>	大木 秀郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/07/02 (水) 1時限 09:00～10:30	口腔粘膜疾患	<p>【準備学習項目】 口腔粘膜疾患を分類・列挙できる。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (4) 口腔粘膜疾患 *①口腔粘膜疾患の種類と特徴を説明できる。 *②水疱、紅斑、びらん、潰瘍、白斑、色素沈着等を主徴とする主な粘膜疾患を概説できる。</p>	大木 秀郎
2014/07/02 (水) 2時限 10:40～12:10	全身疾患と口腔粘膜症状	<p>【授業の一般目標】 全身疾患の①症状として出現する口腔粘膜症状 について説明できるようになるために学習する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 全身疾患の口腔粘膜症状を理解する。 2. 多彩な臨床症状を示す全身疾患の口腔粘膜症状を概説できる。</p> <p>【準備学習項目】 全身疾患の口腔粘膜症状について説明できる。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (4) 口腔粘膜疾患 *①口腔粘膜疾患の種類と特徴を説明できる。 *②水疱、紅斑、びらん、潰瘍、白斑、色素沈着等を主徴とする主な粘膜疾患を概説できる。 E-2-4) - (9) 口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す疾患 *③口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現すアレルギー性疾患、膠原病、免疫不全とそれらの症状を列挙できる。 *⑦口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す薬物の副作用を列挙できる。 *⑧口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す代謝障害とその症状を列挙できる。 *⑨口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現すビタミン欠乏症とその症状を列挙できる。 *⑩ヒト免疫不全ウイルス（HIV）感染症の検査法とその口腔症状と検査法を説明できる。</p>	武川 寛樹
2014/07/09 (水) 1時限 09:00～10:30	嚢胞性疾患	<p>【授業の一般目標】 嚢胞性疾患について説明できるようになるために学習する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 嚢胞性疾患について理解する。 2. 顎骨嚢胞を説明できる。 3. 顎骨嚢胞の種類を述べられる。 4. 顎骨嚢胞の治療法を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 顎骨嚢胞を述べられる。 嚢胞類似疾患を述べられる。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (5) 嚢胞、腫瘍および類似疾患 *①顎骨に発生する歯原性嚢胞の種類と特徴を列挙できる。 *②顎骨に発生する非歯原性嚢胞の種類と特徴を列挙できる。 *④口唇・口腔・顎顔面領域に発生する嚢胞の一般的な症状、診断法および治療法を説明できる。</p>	西村 均 久山 佳代
2014/07/09 (水) 2時限 10:40～12:10	嚢胞性疾患	<p>【授業の一般目標】 嚢胞性疾患について説明できるようになるために学習する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p>	西村 均 久山 佳代

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/07/09 (水) 2時限 10:40～12:10	嚢胞性疾患	<p>1. 顎骨嚢胞を説明できる。 2. 嚢胞類似疾患を説明できる。 3. 嚢胞の治療法を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 嚢胞の種類を述べられる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (5) 嚢胞、腫瘍および類似疾患 *①顎骨に発生する歯原性嚢胞の種類と特徴を列挙できる。 *②顎骨に発生する非歯原性嚢胞の種類と特徴を列挙できる。 *④口唇・口腔・顎顔面領域に発生する嚢胞の一般的な症状、診断法および治療法を説明できる。</p>	西村 均 久山 佳代
2014/07/16 (水) 1時限 09:00～10:30	嚢胞性疾患	<p>【授業の一般目標】 嚢胞性疾患を説明できるようになるために学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 軟組織嚢胞の種類を説明できる。 2. 口腔軟組織嚢胞の種類と特徴を説明できる。 3. 軟組織嚢胞の病理組織学的特徴を説明できる。 4. 口腔軟組織嚢胞の治療法を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 軟組織嚢胞の種類を説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (5) 嚢胞、腫瘍および類似疾患 *③軟組織に発生する嚢胞の種類と特徴を列挙できる。 *④口唇・口腔・顎顔面領域に発生する嚢胞の一般的な症状、診断法および治療法を説明できる。</p>	西村 均 久山 佳代
2014/07/16 (水) 2時限 10:40～12:10	嚢胞性疾患の画像診断	<p>【授業の一般目標】 嚢胞性疾患の画像診断について説明できるようになるために学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 嚢胞性疾患について理解する。 2. 顎骨内歯原性嚢胞・顎骨内非歯原性嚢胞・嚢胞類似疾患・軟組織嚢胞の画像と所見を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 嚢胞性疾患の種類と特徴を学習する。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論IX 検査 2 画像検査 シ CT</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論IX 検査 2 画像検査 セ MRI</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (5) 嚢胞、腫瘍および類似疾患 *①顎骨に発生する歯原性嚢胞の種類と特徴を列挙できる。 *②顎骨に発生する非歯原性嚢胞の種類と特徴を列挙できる。 *③軟組織に発生する嚢胞の種類と特徴を列挙できる。</p>	佐々木 悠介
2014/07/23 (水) 1時限 09:00～10:30	歯原性腫瘍	<p>【授業の一般目標】 歯原性腫瘍について説明できるようになるために学習する。</p>	近藤 壽郎 久山 佳代

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
	歯源性腫瘍	<p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 歯源性腫瘍の分類を列記できる。 2. 歯源性腫瘍の臨床的特徴を説明できる。 3. 歯源性腫瘍の病理組織学的特徴を説明できる。 4. 歯源性腫瘍の治療法を説明できる。 <p>【準備学習項目】 歯源性腫瘍の分類できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4)-(5) 嚢胞、腫瘍および類似疾患 *⑤歯源性腫瘍の種類と特徴を列挙できる。 *⑦口唇・口腔・顎顔面領域に発生する腫瘍の一般的な症状、診断法 (組織診、画像診断) および治療法を説明できる。</p>	近藤 壽郎 久山 佳代
2014/07/23 (水) 2時限 10:40~12:10	歯源性腫瘍の診断と治療	<p>【授業の一般目標】 歯源性腫瘍について説明できるようになるために学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 歯源性腫瘍の分類を列記できる。 2. 歯源性腫瘍の臨床的特徴を説明できる。 3. 歯源性腫瘍の病理組織学的特徴を説明できる。 4. 歯源性腫瘍の治療法を説明できる。 <p>【準備学習項目】 歯源性腫瘍の診断と治療を説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4)-(5) 嚢胞、腫瘍および類似疾患 *⑤歯源性腫瘍の種類と特徴を列挙できる。 *⑦口唇・口腔・顎顔面領域に発生する腫瘍の一般的な症状、診断法 (組織診、画像診断) および治療法を説明できる。 *⑨エプーリスの特徴、症状および治療法を説明できる。</p>	近藤 壽郎 久山 佳代
2014/09/10 (水) 1時限 09:00~10:30	平常試験②	<p>【授業の一般目標】 平常試験②</p> <p>【準備学習項目】 5月28日 急性炎症と慢性炎症から7月16日 嚢胞性疾患の画像診断までの範囲</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p>	近藤 壽郎 小倉 直美 西村 均 小野 眞紀子
2014/09/10 (水) 2時限 10:40~12:10	平常試験②	<p>【授業の一般目標】 平常試験②</p> <p>【準備学習項目】 5月28日 急性炎症と慢性炎症から7月16日 嚢胞性疾患の画像診断までの範囲</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p>	近藤 壽郎 小倉 直美 西村 均 小野 眞紀子
2014/10/02 (木) 1時限 09:00~10:30	非歯源性良性腫瘍 非歯源性悪性腫瘍	<p>【授業の一般目標】 非歯源性良性腫瘍、非歯源性悪性腫瘍について説明できるようになるために学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 非歯源性良性腫瘍を分類できる。 2. 非歯源性良性腫瘍の特徴を説明できる。 3. 非歯源性悪性腫瘍を分類できる。 4. 非歯源性悪性腫瘍の特徴を説明できる。 	近藤 壽郎 久山 佳代

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/02 (木) 1時限 09:00～10:30	非歯原性良性腫瘍 非歯原性悪性腫瘍	<p>【準備学習項目】 非歯原性腫瘍の診断と治療を説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (5) 嚢胞、腫瘍および類似疾患 *⑥非歯原性良性腫瘍の種類と特徴を列挙できる。 *⑦口唇・口腔・顎顔面領域に発生する腫瘍の一般的な症状、診断法 (組織診、画像診断) および治療法を説明できる。 *⑩口腔癌の特徴、予防、症状および治療法を説明できる。 *⑬口唇・口腔領域の悪性腫瘍の種類、症状および治療法を説明できる。</p>	近藤 壽郎 久山 佳代
2014/10/02 (木) 2時限 10:40～12:10	非歯原性良性腫瘍 非歯原性悪性腫瘍	<p>【授業の一般目標】 非歯原性良性腫瘍、非歯原性悪性腫瘍について説明できるようになるために学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 非歯原性良性腫瘍を分類できる。 2. 非歯原性良性腫瘍の特徴を説明できる。 3. 非歯原性悪性腫瘍を分類できる。 4. 非歯原性悪性腫瘍の特徴を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 非歯原性腫瘍の診断と治療を説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (5) 嚢胞、腫瘍および類似疾患 *⑥非歯原性良性腫瘍の種類と特徴を列挙できる。 *⑦口唇・口腔・顎顔面領域に発生する腫瘍の一般的な症状、診断法 (組織診、画像診断) および治療法を説明できる。 *⑬口唇・口腔領域の悪性腫瘍の種類、症状および治療法を説明できる。</p>	近藤 壽郎 久山 佳代
2014/10/09 (木) 1時限 09:00～10:30	前癌状態腫瘍類似疾患	<p>【授業の一般目標】 前癌状態と腫瘍類似疾患について説明できるようになるために学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 前癌状態の概念を理解し、特徴を説明できる。 2. 腫瘍類似疾患と腫瘍性疾患の鑑別を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 前癌病変と前癌状態の違いを学習する。腫瘍類似疾患の種類を学習する。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (5) 嚢胞、腫瘍および類似疾患 *⑩前癌病変 (白板症、紅板症) の特徴、症状および治療法を説明できる。 *⑪前癌状態の種類と特徴を列挙できる。 *⑧腫瘍類似疾患の種類と特徴を列挙できる。</p>	近藤 壽郎 酒巻 裕之 岡田 裕之
2014/10/09 (木) 2時限 10:40～12:10	口腔癌の臨床病態 口腔癌の転移	<p>【授業の一般目標】 口腔癌の臨床病態、口腔癌の転移について説明できるようになるために学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 口腔癌の臨床病態とくに発生部位別特徴を説明できる。 2. 口腔癌の転移の様相を説明できる。 3. TNM分類、病期分類を列記できる。</p> <p>【準備学習項目】 口腔癌の臨床病態を説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	近藤 壽郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/09 (木) 2時限 10:40～12:10	口腔癌の臨床病態 口腔癌の転移	<p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (5) 嚢胞、腫瘍および類似疾患 *⑥非歯原性良性腫瘍の種類と特徴を列挙できる。 *⑫口腔癌の特徴、予防、症状および治療法を説明できる。 *⑬口唇・口腔領域の悪性腫瘍の種類、症状および治療法を説明できる。</p>	近藤 壽郎
2014/10/16 (木) 1時限 09:00～10:30	超音波検査、核医学検査による顎口腔領域の画像診断	<p>【授業の一般目標】 超音波検査、核医学検査による顎口腔領域の画像診断について説明できるようになるために学習する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 超音波検査による顎口腔領域の画像診断ができる。 2. 核医学検査による顎口腔領域の画像診断ができる。</p> <p>【準備学習項目】 超音波検査、核医学検査による顎口腔の正常像を述べることができる。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論IX 検査 2 画像検査 タ 超音波検査</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論IX 検査 2 画像検査 ソ シンチグラフィ</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (5) 嚢胞、腫瘍および類似疾患 *⑤歯原性腫瘍の種類と特徴を列挙できる。 *⑥非歯原性良性腫瘍の種類と特徴を列挙できる。 *⑦口唇・口腔・顎顔面領域に発生する腫瘍の一般的な症状、診断法（組織診、画像診断）および治療法を説明できる。</p>	小椋 一郎
2014/10/16 (木) 2時限 10:40～12:10	CT、MRIによる顎口腔領域の画像診断	<p>【授業の一般目標】 CT、MRIによる顎口腔領域の画像診断について説明できるようになるために学習する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. CT、MRIによる顎口腔の正常像を述べることができる。 2. CTによる顎口腔領域の画像診断ができる。 3. MRIによる顎口腔領域の画像診断ができる。</p> <p>【準備学習項目】 CT、MRIの原理が説明できる。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論IX 検査 2 画像検査 セ MRI</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論IX 検査 2 画像検査 シ CT</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (5) 嚢胞、腫瘍および類似疾患 *⑤歯原性腫瘍の種類と特徴を列挙できる。 *⑥非歯原性良性腫瘍の種類と特徴を列挙できる。 *⑦口唇・口腔・顎顔面領域に発生する腫瘍の一般的な症状、診断法（組織診、画像診断）および治療法を説明できる。 *⑬口唇・口腔領域の悪性腫瘍の種類、症状および治療法を説明できる。</p>	金田 隆
2014/10/23 (木)	口腔癌の診断	<p>【授業の一般目標】</p>	近藤 壽郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
1時限 09:00～10:30	口腔癌の外科的治療	<p>口腔癌の診断, 口腔癌の外科的治療について説明できるようになるために学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 口腔癌の細胞診, 生検などの検査法を列記できる。 2. 口腔癌の臨床的診断過程を説明できる。 3. 口腔癌の外科的治療を説明できる。 <p>【準備学習項目】</p> <p>口腔癌の診断と治療について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学教育</p> <p>E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患</p> <p>E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患</p> <p>E-2-4) - (5) 嚢胞, 腫瘍および類似疾患</p> <p>*⑥非歯原性良性腫瘍の種類と特徴を列挙できる。</p> <p>*⑦口唇・口腔・顎顔面領域に発生する腫瘍の一般的な症状, 診断法 (組織診, 画像診断) および治療法を説明できる。</p> <p>*⑩口腔癌の特徴, 予防, 症状および治療法を説明できる。</p> <p>*⑬口唇・口腔領域の悪性腫瘍の種類, 症状および治療法を説明できる。</p>	近藤 壽郎
2014/10/23 (木) 2時限 10:40～12:10	口腔癌の遺伝子治療	<p>【授業の一般目標】</p> <p>口腔癌の遺伝子治療について説明できるようになるために学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 口腔癌の遺伝子診断および遺伝子導入療法等に関する最先端医療について概説する。 <p>【準備学習項目】</p> <p>口腔癌の遺伝子診断および遺伝子治療法について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学教育</p> <p>E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患</p> <p>E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患</p> <p>E-2-4) - (5) 嚢胞, 腫瘍および類似疾患</p> <p>*⑩口腔癌の特徴, 予防, 症状および治療法を説明できる。</p> <p>*⑬口唇・口腔領域の悪性腫瘍の種類, 症状および治療法を説明できる。</p>	鶴澤 一弘
2014/10/30 (木) 1時限 09:00～10:30	インプラント前処置	<p>【授業の一般目標】</p> <p>インプラント前処置について説明できるようになるために学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. インプラント治療における骨増生手術の意義を理解する。 2. 骨増生手術の適応症, 術式を説明できる。 3. インプラント周囲軟組織の意義を理解し, 手術の適応症, 術式を説明できる。 <p>【準備学習項目】</p> <p>顎口腔外科領域のインプラント前処置の外科について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害</p> <p>9 特殊な装置による治療 ア 顎顔面補綴装置による治療</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害</p> <p>2 診察・検査・診断・前処置 ア 診察 エ 治療計画の立案 カ 前処置 8 インプラント義歯による治療 ウ インプラントの埋入の治療計画 オ 外科処置</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	塚原 宏泰

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/30 (木) 2時限 10:40～12:10	唾液腺の特徴と唾液腺疾患の診断法 唾液腺疾患の種類と治療①	<p>【授業の一般目標】 唾液腺の特徴と唾液腺疾患の診断法、唾液腺疾患の種類と治療について説明できるようにするために学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 唾液腺の解剖学的、生理学的特徴について理解する。 2. 唾液腺疾患の診断法を理解する。 3. 唾石の成因、形態学的特徴を説明できる。 4. 唾石症の症状、治療法を説明できる。 5. 唾液腺の炎症性疾患について理解する。</p> <p>【準備学習項目】 唾液腺特徴を説明できる。唾石症について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (7) 唾液腺疾患 *①唾石症の特徴、症状、診断法および治療法を説明できる。 *②唾液腺炎の種類と特徴、症状、診断法および治療法を概説できる。 *③唾液腺腫瘍の種類と特徴、症状、診断法および治療法を説明できる。 *④流行性耳下腺炎の特徴、症状、診断法および治療法を説明できる。 *⑤Sjögren 症候群の特徴、症状、診断法および治療法を説明できる。</p>	田中 茂男
2014/11/06 (木) 1時限 09:00～10:30	唾液腺疾患の種類と治療② 唾石症、唾液腺炎、流行性耳下腺炎、シェーグレン症候群、唾液腺疾患の病理組織学的特徴、画像所見	<p>【授業の一般目標】 唾液腺疾患の種類と治療について説明できるようにするために学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. シェーグレン症候群の特徴、症状、治療法を説明できる。 2. 唾液腺の非腫瘍性疾患について理解する。 3. 唾液腺腫瘍について理解する。 4. 唾液腺疾患の病理組織学的特徴を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 シェーグレン症候群の診断基準を説明できる。唾液腺の炎症性疾患を列挙できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (7) 唾液腺疾患 *①唾石症の特徴、症状、診断法および治療法を説明できる。 *②唾液腺炎の種類と特徴、症状、診断法および治療法を概説できる。 *③唾液腺腫瘍の種類と特徴、症状、診断法および治療法を説明できる。 *④流行性耳下腺炎の特徴、症状、診断法および治療法を説明できる。 *⑤Sjögren 症候群の特徴、症状、診断法および治療法を説明できる。</p>	田中 茂男 宇都宮 忠彦
2014/11/06 (木) 2時限 10:40～12:10	口腔乾燥症 (ドライマウス) と関連する疾患	<p>【授業の一般目標】 口腔乾燥症 (ドライマウス) と関連する疾患について説明できるようにするために学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 口腔乾燥症 (ドライマウス) の原因について説明できる。 2. 口腔乾燥症 (ドライマウス) の症状について説明できる。 3. 口腔乾燥症 (ドライマウス) と関連する疾患を説明できる。 4. シェーグレン症候群の特徴、症状および治療法を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 口腔乾燥症 (ドライマウス) について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (7) 唾液腺疾患 *⑤Sjögren 症候群の特徴、症状、診断法および治療法を説明できる。 E-2-4) - (10) 口唇・口腔・顎顔面領域の機能障害 *⑥口腔乾燥を概説できる。</p>	篠原 正徳

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/13 (木) 1時限 09:00～10:30	唾液腺腫瘍	<p>【授業の一般目標】 唾液腺腫瘍について説明できるようになるために学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 唾液腺腫瘍の病理組織学的な特徴を説明できる。 2. 唾液腺腫瘍の臨床的特徴と治療法を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 唾液腺腫瘍を説明できる。唾液腺腫瘍の WHO分類を列挙できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (7) 唾液腺疾患 *③唾液腺腫瘍の種類と特徴、症状、診断法および治療法を説明できる。</p>	近藤 壽郎 宇都宮 忠彦
2014/11/13 (木) 2時限 10:40～12:10	顎関節の疾患	<p>【授業の一般目標】 顎関節の疾患について説明できるようになるために学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 顎関節内障の病態生理を説明できる。 2. 変形性関節症の病態生理を説明できる。 3. 顎関節内障および変形性関節症の臨床症状を説明できる。 4. その他の顎関節疾患を理解する。</p> <p>【準備学習項目】 顎関節の解剖・生理について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (6) 顎関節疾患 *①顎関節疾患の種類と特徴を説明できる。 *②顎関節疾患 (外傷、脱臼、炎症、顎関節症、顎関節強直症) の症状、診断法および治療法を概説できる。</p>	近藤 壽郎 小倉 直美
2014/11/20 (木) 1時限 09:00～10:30	平常試験③	<p>【授業の一般目標】 平常試験③ 90分間の試験</p> <p>【準備学習項目】 7月23日 腫瘍から11月13日唾液腺腫瘍まで</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p>	近藤 壽郎 小倉 直美 田中 茂男
2014/11/20 (木) 2時限 10:40～12:10	顎関節の疾患	<p>【授業の一般目標】 顎関節の疾患について説明できるようになるために学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 顎関節疾患の外科的治療を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 顎関節疾患の治療について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (6) 顎関節疾患 *①顎関節疾患の種類と特徴を説明できる。 *②顎関節疾患 (外傷、脱臼、炎症、顎関節症、顎関節強直症) の症状、診断法および治療法を概説できる。</p>	近藤 壽郎 小倉 直美

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/27 (木) 1時限 09:00～10:30	神経疾患 精神疾患	<p>【授業の一般目標】 神経疾患と精神疾患について説明できるようになるために学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 心因性疾患について理解する。 2. 精神疾患について述べられる。 3. 神経疾患について述べられる。</p> <p>【準備学習項目】 口腔周辺の症状を発現する精神疾患について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 主要症候 1 全身的症候 ク 神経 (知覚障害と運動障害を含む)</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (8) 神経性疾患 *①三叉神経痛の原因、症状および治療法を説明できる。 *②口腔・顔面痛について概説できる。 *④三叉神経麻痺 (感覚麻痺、運動麻痺) の原因、症状および治療法を説明できる。</p>	和氣 裕之
2014/11/27 (木) 2時限 10:40～12:10	心因性疾患 心身症 心身医学	<p>【授業の一般目標】 心因性疾患について説明できるようになるために学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 心身相関を説明出来る (SOAPシステム・ストレスと心身症)。 2. 歯科心身症 (舌痛症、顎関節症、口臭恐怖症、歯科治療恐怖症) を説明出来る。 3. 口腔・頭蓋・顎顔面領域の心因性の痛みを説明出来る。 4. 心身医学・精神医学的な対応を要する患者 の分類を説明出来る。 5. 心理テストを説明できる。 6. 身医学的な診療を説明出来る。</p> <p>【準備学習項目】 心と体は密接に関連していることを理解し、心因性疾患の基本を説明出来る。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (8) 神経性疾患 *②口腔・顔面痛について概説できる。</p>	和氣 裕之
2014/12/04 (木) 1時限 09:00～10:30	手術の患者管理 手術の基本手技	<p>【授業の一般目標】 手術の患者管理、手術の基本手技について説明できるようになるために学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 手術での患者管理および基本手技について理解する。 2. 顎口腔外科手術で用いられる手術手技を理解する。 3. 手術に際しての全身・局所状態から見た注意点について理解する。 4. 患者へのインフォームドコンセント、手術の適応と時期および術前・術後管理について説明できる。 5. 外科処置の基本である消毒法・滅菌法を理解し、列挙することができる。 6. 切開法、止血法および縫合法の基礎を理解し、その方法を述べるができる。</p> <p>【準備学習項目】 顎口腔外科手術での患者管理および基本手技について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅹ 治療 5 手術基本手技 キ 口腔の小手術</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅹ 治療 5 手術基本手技</p>	小宮 正道

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/04 (木) 1時限 09:00～10:30	手術の患者管理 手術の基本手技	イ 切開法 ウ 止血法 エ 縫合法 オ 穿刺、切開排膿、ドレナージ カ 抜歯 ク 移植、再植 ケ 創傷の治療 【コアカリキュラム】	小宮 正道
2014/12/04 (木) 2時限 10:40～12:10	血液疾患	【授業の一般目標】 血液疾患について説明できるようになるために学習する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 悪性リンパ腫の臨床的病態を述べることができる。 2. 多発性骨髄腫の臨床的病態を述べることができる。 3. 多発性骨髄腫の特徴的な臨床検査データを列挙できる。 4. 無顆粒球症の臨床的病態を述べることができる。 5. 無顆粒球症の特徴的な臨床検査データを列挙できる。 6. GVHD の臨床的病態を述べることができる。 7. GVHD の原因・対策を述べることができる。 【準備学習項目】 人体における血液成分を列挙できる。人体における白血球の種類を列挙できる。各種白血球の働きを説明できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (9) 口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す疾患 *①口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す血液疾患 (貧血、出血性素因、白血病) とスクリーニング検査法を列挙できる。 *④口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す全身的な腫瘍と腫瘍類似疾患およびその症状を列挙できる。 *⑧口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す代謝障害とその症状を列挙できる。 *⑨口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現すビタミン欠乏症とその症状を列挙できる。 *⑩ヒト免疫不全ウイルス (HIV) 感染症の検査法とその口腔症状と検査法を説明できる。	福本 雅彦
2014/12/11 (木) 1時限 09:00～10:30	補綴前処置の外科 小帯切除術 義歯性線維腫の切除手術 迷入歯の摘出手術 上顎洞根治手術 上顎洞口腔瘻閉鎖術	【授業の一般目標】 補綴前処置の外科、小帯切除術、義歯性線維腫の切除手術、迷入歯の摘出手術、上顎洞根治手術、上顎洞口腔瘻閉鎖術について説明できるようになるために学習する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 各小帯の異常により発症する障害を理解する。 2. 口腔外科における補綴前処置である小帯切除手術の適応症と術式を述べることができる。 3. 義歯性線維腫の定義、原因を理解し、臨床的な病態像を述べることができる。 4. 抜歯の偶発症のひとつである歯の迷入の原因を理解し、迷入歯摘出術式を述べることができる。 5. 歯性上顎洞炎を理解し上顎洞根治手術と上顎洞口腔瘻閉鎖術の適応基準、術式を説明できる。 【準備学習項目】 顎口腔外科領域の補綴前処置の外科、迷入歯の摘出手術について説明できる。顎口腔外科領域の上顎洞根治手術、上顎洞口腔瘻閉鎖術について説明できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-4) 小手術の基本手技 *②小手術の合併症 (偶発症) を説明できる。 *④粘膜の切開、剥離に必要な器具の用法を説明できる。 *⑤縫合と止血に必要な器具の用法を説明できる。 *⑧器具の滅菌、消毒について説明できる。 ⑨埋伏歯 (智歯を含む) の抜歯法を説明できる。 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (3) 炎症とアレルギー ⑧歯性病巣感染の成立機序、症状、検査法および治療法を説明できる。 E-2-4) - (5) 嚢胞、腫瘍および類似疾患 *④口唇・口腔・顎顔面領域に発生する嚢胞の一般的な症状、診断法および治療法を説明できる。 *⑦口唇・口腔・顎顔面領域に発生する腫瘍の一般的な症状、診断法 (組織診、画像診断) および治療法を説明できる。	伊藤 耕 池谷 美和

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/11 (木) 2時限 10:40～12:10	軟組織の再建 顎骨再建軟組織の再建	<p>【授業の一般目標】 軟組織の再建、顎骨再建軟組織の再建について説明できるようになるために学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 腫瘍手術後の欠損に対する再建法を述べ、これらの再建法の意義を説明できる。 2. 骨移植について説明できる。 3. 骨髄移植について説明できる。 4. 骨軟骨移植について説明できる。 5. 下顎骨の再建法について説明できる。 6. 上顎骨の再建法について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 口腔顎顔面の再建法について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 顎・口腔領域の疾患 5 軟組織に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 タ 腫瘍・腫瘍類似疾患に対する治療 a 外科療法</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅴ 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 9 特殊な装置による治療 ア 顎顔面補綴装置による治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (5) 嚢胞、腫瘍および類似疾患 *⑬口唇・口腔領域の悪性腫瘍の種類、症状および治療法を説明できる。</p>	横尾 聡
2014/12/18 (木) 1時限 09:00～10:30	局所麻酔 頭頸部の診察 手指消毒法所 実習説明	<p>【授業の一般目標】 局所麻酔法について説明できるようになるために学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 三叉神経Ⅱ枝、Ⅲ枝の走行を述べられる 2. 局所麻酔法の種類、手技を概説できる。 3. 頭頸部の診察法について説明できる。 4. 手指消毒法を理解する。</p> <p>【準備学習項目】 頭頸部の診察法について説明できる。手指消毒法を説明できる。局所麻酔法である浸潤麻酔法、伝達麻酔法について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-3) 歯科麻酔の基本 E-1-3) - (3) 局所麻酔法 *①局所麻酔の目的を説明できる。 *②局所麻酔薬を分類し、その作用機序を説明できる。 *③局所麻酔作用に影響を及ぼす因子を説明できる。 *④血管収縮薬の使用目的と種類、特徴および臨床使用上の注意を説明できる。 *⑤局所麻酔法の種類と特徴を説明できる。 *⑥局所麻酔時の合併症 (偶発症) を説明できる。</p>	西村 均 高橋 康輔 萩原 美緒
2014/12/18 (木) 2時限 10:40～12:10	頭頸部の診察 手指消毒 単純拔牙に使用する器具	<p>【授業の一般目標】 頭頸部の診察、手指消毒、が実施できるようになるために必要な技能を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 頭頸部の診察に必要な技能、態度を習得する。 2. 手指消毒法を習得する。 3. 単純拔牙に必要な器具器材について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 頭頸部の診察法について説明できる。手指消毒法を理解する。拔牙に必要な器具を理解する。</p> <p>【学習方略 (LS)】 演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第4実習室</p>	近藤 壽郎 池谷 美和 高橋 康輔 西村 均 萩原 美緒 酒巻 裕之 石井 達郎 小野 眞紀子 飯塚 普子 山口 桜子 山田 紗綾 羽田 聡 岩井 睦 河島 良一 神野 正一 秋葉 直人 釜崎 和之 菅谷 俊雄 野上 和夫 樋口 陽子 藤本

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/18 (木) 2時限 10:40～12:10	頭頸部の診察 手指消毒 単純抜歯に使用する器具	<p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>F 臨床実習 F-2 診察の基本 F-2-2) 頭頸部の診察 ①顔面の色調変化の診察ができる。 ②顔面の対称性の診察ができる。 ③下顎の開閉口路の診察ができる。 ④顎関節部の診察ができる。 ⑤頭頸部の筋肉の診察ができる。 ⑥顎下リンパ節の診察ができる。 F-6 口腔外科系実習 ①清潔操作を実施できる。 ③外来手術のための手洗いと滅菌手袋の装着ができる。</p>	湊 耕一 村井 正彦 小俣 裕昭 田島 秀人 田所 英之 中山 桂二 林 裕 谷野 弦 渡部 正吾
2015/01/08 (木) 1時限 09:00～10:30	抜歯学	<p>【授業の一般目標】 抜歯について説明できるようになるために必要な知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 抜歯の適応症, 禁忌症を説明できる。 2. 抜歯の偶発症を説明できる。 3. 抜歯の手技を説明できる。 4. 単純抜歯、難抜歯、埋伏歯の抜歯について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 抜歯鉗子を説明できる。 抜歯の手技を説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-4) 小手術の基本手技 *①抜歯の適応症と禁忌症を説明できる。【相対的禁忌への対応および小手術の適応症と禁忌を含む。】 *②小手術の合併症 (偶発症) を説明できる。 *③抜歯 (小手術) に必要な器具の用法と基本手技を説明できる。 *④粘膜の切開、剥離に必要な器具の用法を説明できる。 ⑨埋伏歯 (智歯を含む) の抜歯法を説明できる。</p>	近藤 壽郎
2015/01/08 (木) 2時限 10:40～12:10	局所麻酔 抜歯	<p>【授業の一般目標】 局所麻酔と抜歯が実施できるようになるために必要な技能を身につける。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 局所麻酔の手技を説明できる。 2. 局所麻酔が実施できる。 3. 適切な抜歯鉗子を選択できる。 4. 抜歯操作が実施できる。</p> <p>【準備学習項目】 局所麻酔が説明できる。 抜歯の準備ができる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第4 実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>F 臨床実習 F-6 口腔外科系実習 ①清潔操作を実施できる。 ②抜歯 (小手術を含む) の器材の準備ができる。 ③外来手術のための手洗いと滅菌手袋の装着ができる。 ④術野の消毒を実践できる。 ⑤局所麻酔を安全に実施できる。 ⑥単純抜歯を実施できる。</p>	西村 均 近藤 壽郎 池谷 美和 高橋 康輔 萩原 美緒 酒巻 裕之 神野 良一 石井 達郎 小野 眞紀子 飯塚 普子 山口 桜子 羽田 紗綾 岩井 聡 河島 睦 秋葉 正一 釜崎 直人 菅谷 和之 野上 俊雄 樋口 和夫 藤本 陽子 湊 耕一 村井 正彦 小俣 裕昭 田島 秀人 田所 英之 中山 桂二 林 裕 谷野 弦 渡部 正吾
2015/01/15 (木) 1時限 09:00～10:30	抜歯学 切開縫合	<p>【授業の一般目標】 単純抜歯、複雑抜歯、埋伏歯の抜歯について説明できるようになるために学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 粘膜切開について説明できる。 2. 粘膜の剥離について説明できる。 3. 歯肉粘膜、皮膚の解剖学的特徴を理解する。 4. 抜歯患者の患者管理について説明できる。 5. すべての抜歯の手順を説明できる。 6. 縫合について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 抜歯の手技を説明できる。 抜歯に付随する操作を説明できる。</p>	石井 達郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/15 (木) 1時限 09:00～10:30	拔牙学 切開縫合	<p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-6 口腔外科系実習 ②拔牙 (小手術を含む) の器材の準備ができる。 ⑥単純拔牙を実施できる。 ⑦基本的な縫合操作、抜糸を実施できる。</p>	石井 達郎
2015/01/15 (木) 2時限 10:40～12:10	拔牙学 手指消毒 縫合 局所麻酔 頭頸部診察	<p>【授業の一般目標】 拔牙と付随する縫合操作ができるようになるために必要な技能を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 拔牙の手技を説明できる。 2. 拔牙器具を選択できる。 3. 切開操作ができる。 4. 縫合について説明できる。 5. 縫合ができる。</p> <p>【準備学習項目】 拔牙ができる。 縫合ができる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-6 口腔外科系実習 ⑥単純拔牙を実施できる。 ⑦基本的な縫合操作、抜糸を実施できる。</p>	西村 均 近藤 壽郎 藤谷 康輔 池谷 美和 萩原 美緒 酒巻 裕之 神野 良 石井 達郎 小野 眞紀子 飯塚 普子 山口 桜子 山田 紗綾 岩井 聡 河島 睦 秋葉 正一 釜崎 直人 菅谷 和之 野上 俊雄 樋口 和夫 藤本 陽子 湊 耕一 村井 正彦 小俣 裕昭 田島 秀人 田所 英之 中山 桂二 林 裕 谷野 弦 渡部 正吾
2015/01/22 (木) 1時限 09:00～10:30	頭頸部診察、手指 消毒、局所麻酔、 拔牙学、縫合	<p>【授業の一般目標】 頭頸部診察、手指消毒、局所麻酔、拔牙、縫合ができるようになるために実習をする。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 頭頸部診察ができる。 2. 手指消毒ができる。 3. 局所麻酔ができる。 4. 拔牙ができる。 5. 縫合ができる。</p> <p>【準備学習項目】 演習</p> <p>【学習方略 (LS)】 演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論IX 検査 1 口腔内検査・口腔機能検査 ケ 下顎位検査</p> <p>【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-2 診察の基本 F-2-2) 頭頸部の診察 ①顔面の色調変化の診察ができる。 ③下顎の開閉口路の診察ができる。 ④顎関節部の診察ができる。 ⑤頭頸部の筋肉の診察ができる。 ⑥顎下リンパ節の診察ができる。 F-6 口腔外科系実習 ②拔牙 (小手術を含む) の器材の準備ができる。 ③外来手術のための手洗いと滅菌手袋の装着ができる。 ⑤局所麻酔を安全に実施できる。 ⑥単純拔牙を実施できる。 ⑦基本的な縫合操作、抜糸を実施できる。</p>	西村 均 近藤 壽郎 藤谷 康輔 池谷 美和 萩原 美緒 小野 眞紀子 飯塚 普子 山口 桜子 山田 紗綾 岩井 聡 河島 睦 石井 達郎
2015/01/22 (木) 2時限 10:40～12:10	頭頸部診察、手指 消毒、局所麻酔、 拔牙学、縫合	<p>【授業の一般目標】 頭頸部診察、手指消毒、局所麻酔、拔牙、縫合ができるようになるために実習をする。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 頭頸部診察ができる。 2. 手指消毒ができる。 3. 局所麻酔ができる。 4. 拔牙ができる。</p>	西村 均 近藤 壽郎 藤谷 康輔 池谷 美和 萩原 美緒 石井 達郎 小野 眞紀子 飯塚 普子 山口 桜子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/22 (木) 2時限 10:40～12:10	頭頸部診察、手指 消毒、局所麻酔、 抜歯学、縫合	5.縫合ができる。 【準備学習項目】 演習 【学習方略(LS)】 その他 【場所(教室/実習室)】 第4実習室 【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-2 診察の基本 F-2-2) 頭頸部の診察 ①顔面の色調変化の診察ができる。 ③下顎の開閉口路の診察ができる。 ④顎関節部の診察ができる。 ⑤頭頸部の筋肉の診察ができる。 ⑥顎下リンパ節の診察ができる。 F-6 口腔外科系実習 ③外来手術のための手洗いと滅菌手袋の装着ができる。 ④術野の消毒を実践できる。 ⑤局所麻酔を安全に実施できる。 ⑥単純抜歯を実施できる。 ⑦基本的な縫合操作、抜糸を実施できる。	羽田 紗綾 岩井 聡 河島 睦
2015/01/29 (木) 1時限 09:00～10:30	平常試験④	【授業の一般目標】 平常試験④ 【準備学習項目】 11月13日顎関節の疾患から最後まで(演習は除く) 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準(主)】	近藤 壽郎 小倉 直美 西村 均 小野 眞紀子
2015/01/29 (木) 2時限 10:40～12:10	平常試験④	【授業の一般目標】 平常試験④ 【準備学習項目】 11月13日顎関節の疾患から最後まで(演習は除く) 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準(主)】	近藤 壽郎 小倉 直美 西村 均 小野 眞紀子

歯科医学総合講義 4

年次	学期	学則科目責任者
4年次	通年	4年次学年教育主任

学習目標 (G I O)	社会の要請に応える創造性と人間性豊かで自律する全人的な歯科医師となるため、これまで講義や実習で学んだ内容を統合し、松戸歯学部 student doctor として必要な態度・知識・技能を修得する。
担当教員	大峰 浩隆、楠瀬 隆生、鈴木 久仁博、近藤 信太郎、松野 昌展、吉垣 純子、加藤 治、續橋 治、落合 智子、松本 裕子、谷本 安浩、宇都宮 忠彦、大口 純人、伊藤 誠康、林 佐智代、岡本 康裕、吉野 祥一、布施 恵、岡本 京、平川 剛、北川 剛至、田口 千恵子、城座 映明、小林 良喜、岡部 達
教科書	これまでに使用した教科書やテキスト
評価方法 (E V)	歯科医学総合講義4の定期試験は医学系大学間共用試験実施評価機構が実施する共用試験を用いる。 以下の2つの基準を満たすこと ①共用試験で、CBT (知識評価) とOSCE (技能・態度評価) のいずれもが65点 (%) 以上であること。 ②平常試験の平均が、60点 (%) 以上であること。
学生へのメッセージ オフィスアワー	<p>1. 1~4年次までに学習した自然科学分野、基礎医学分野、臨床歯科医学分野の知識を、基礎から臨床に向けて知識を整理しながら統合していくことを目的とします。</p> <p>2. 9つのユニットに分け、試験→理解できてない領域を自己評価→自学自習→解説を繰り返します。また、自学自習で理解できなかった事項や解説のほしい事項を少人数制講義で取り上げますので、自学自習中に授業で取り上げてほしい事項を明示すること。</p> <p>3. 少人数制講義は50分で5つの内容を同時に行い、3時間で3回繰り返しますので、5つの講義のうち3つを受講することができます。</p> <p>4. 定期試験 (共用試験) 以外の試験は、すべて形成評価 (自己評価をするフィードバックのための試験で、可否のための評価に含めません) です。</p> <p>5. 理解の不足している部分を分析する能力を養い、自学自習の態度をに見つけ、学習する環境を整えることで、次年度に学習する臨床実習の成果を大きくすることができます。</p> <p>6. 歯科医学総合講義4の学習の範囲は1~4年次をすべて含むので、このシラバスに記載しきれないため、4年次の始まりに詳細なシラバスを配布します。この講義は後期からであるが、前期のうちから今まで学習した内容を復習しておくこと。</p> <p>注意 1、平成27年1月7日9時より C B T 模擬試験を行う予定である。 注意 2、C B T, O S C E の結果が 2 月中に発表となる。同時に C B T 不合格者は再試験の申し込みが必要となるため、旅行などの 予定は絶対に入れないこと。</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/09 (水) 3時限 13:00~14:30	ガイダンス (歯科医学総合講義4について)	<p>【授業の一般目標】 歯科医学総合講義4について理解する</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科医学総合講義4について理解する</p> <p>【準備学習項目】 歯科医学総合講義4を受講するに当たりの注意事項 歯科医学総合講義4シラバス詳細版を参照すること</p> <p>【学習場所・媒体等】 【講義】302教室 学習の取り組み方 歯科医学総合講義4の授業の進め方 歯科医学総合講義4の学習範囲 自学自習の徹底 共用試験の概要 共用試験の実際</p> <p>【学習方略 (LS)】 その他</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 大口 純人 伊藤 誠康 林 佐智代 岡本 康裕 吉野 祥一 布施 恵 岡本 京 平川 剛 北川 剛至 田口 千恵子
2014/04/16 (水) 3時限 13:00~14:30	細胞の構造と機能 生命を構成する基本物質	<p>【授業の一般目標】 細胞の基本的構造を学び、それらと細胞機能、細胞増殖および分化機構の関係を理解する。 生命を構成する基本物質の分子的構造と機能ならびにそれらの生体内代謝とその異常を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 細胞の基本構造 (細胞膜、細胞内小器官) を説明できる。 2. 細胞の機能と、個々の細胞内小器官の役割を説明できる。 3. 生命を構成する基本物質を説明できる。 4. 細胞内での物質の代謝を説明できる。</p>	楠瀬 隆生

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/16 (水) 3時限 13:00~14:30	細胞の構造と機能 生命を構成する基本物質	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-1-1), C-1-3)</p> <p>【学習場所・媒体等】 302教室</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 b 細胞・細胞内小器官の構造・機能</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 1 細胞、組織 ア 生体を構成する基本物質 イ 細胞の構造・機能</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-1 生命の分子的基盤 C-1-1) 生命を構成する基本物質 *①アミノ酸とタンパク質の構造、機能および代謝を説明できる。 *②糖質の構造、機能および代謝を説明できる。 *③脂質の構造、機能および代謝を説明できる。 *④生体内におけるエネルギー利用を説明できる。 *⑤酵素の機能と主な代謝異常を説明できる。 C-1-3) 細胞の構造と機能 *①細胞膜、核および細胞内小器官の構造と機能を説明できる。 *②細胞の分泌と吸収機構を説明できる。 *④細胞死 (壊死とアポトーシス) の基本的機序を説明できる。</p>	楠瀬 隆生
2014/04/23 (水) 3時限 13:00~14:30	遺伝子と遺伝 細胞のコミュニケーション	<p>【授業の一般目標】 遺伝子の構造と機能および遺伝の基本的機序を理解する。 細胞間、細胞・マトリックス間の接着機序および細胞レベルでの情報伝達の仕組みを理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 遺伝子の構造と機能を説明できる。 2. 遺伝情報の発現に至る各過程の機序を説明できる。 3. 細胞間、細胞・マトリックス間の接着機序を説明できる。 4. 細胞間の情報伝達の仕組みを理解する。</p> <p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-1-2), C-1-4)</p> <p>【学習場所・媒体等】 302教室</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 a 遺伝子、染色体</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 1 細胞、組織 ウ 細胞間情報伝達機構 エ 遺伝子、遺伝</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-1 生命の分子的基盤 C-1-2) 遺伝子と遺伝 *①遺伝子 (染色体) の構造とセントラルドグマを説明できる。 *②DNA複製と修復の機序を説明できる。 *③転写と転写調節の機序を説明できる。 *④翻訳の機序を説明できる。 *⑤遺伝性疾患の発生の機序を説明できる。 C-1-4) 細胞のコミュニケーション *①細胞の接着装置、細胞間と細胞・マトリックス間の接着分子を説明できる。 *②受容体を介するホルモン、成長因子、サイトカイン等による細胞間、細胞内の情報伝達機構を概説できる。 *③主な細胞外マトリックス分子の構造と機能を説明できる。</p>	城座 映明 楠瀬 隆生
2014/05/07 (水) 3時限 13:00~14:30	身体を構成する組織、器官 (組織学) 個体発生、器官発	<p>【授業の一般目標】 人体を構成する主要な組織を説明できる。 人体の初期発生、胚葉形成、器官形成について説明できる</p>	鈴木 久仁博

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
	生	<p>【行動目標 (SBOs)】 1. 上皮を形態的および機能的に分類できる。 2. 皮膚と粘膜の基本構造と機能を説明できる。 3. 結合組織の線維要素と細胞要素を説明できる。 4. 内軟骨性骨化と膜内骨化の機序と成長様式を説明できる。 5. 硬組織石灰化の基本的機序を説明できる。 6. 筋組織の構造と機能を説明できる。 7. 個体発生と器官発生を概説できる。</p> <p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 7 人体の発生・成長・発達・加齢 ア 人体の成長発育 a 発育区分 (出生前期、新生児期、乳児期、幼児期、学童期、思春期)</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-2) 個体発生、器官発生 *①個体発生と器官発生を概説できる。 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (1) 組織 (上皮組織、結合組織、筋組織) 【神経組織の構造と機能はC-2-3) - (5) 神経系の項を参照】 *①上皮を形態的および機能的に分類できる。 *②皮膚と粘膜の基本構造と機能を説明できる。 *③腺を分泌物の性状、形態および分泌機構に基づいて分類できる。 *④結合組織の線維要素と細胞要素を説明できる。 *⑤硝子軟骨、弾性軟骨および線維軟骨の特徴を説明できる。 *⑥内軟骨性骨化と膜内骨化の機序と成長様式を説明できる。 *⑦硬組織石灰化の基本的機序を説明できる。 *⑧筋組織の構造と機能を説明できる。</p>	鈴木 久仁博
2014/05/14 (水) 3時限 13:00~14:30	平常試験1-①	<p>【授業の一般目標】 これまでの講義内容に対する理解度の確認</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. これまでに行われた講義の内容を説明できる</p> <p>【準備学習項目】 これまでの講義内容</p> <p>【学習場所・媒体等】 【筆記試験】 302教室 4/16, 4/23, 5/7 講義範囲</p> <p>【学習方略 (LS)】 演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p>	大峰 浩隆
2014/05/21 (水) 3時限 13:00~14:30	頭頸部解剖学 頭蓋骨	<p>【授業の一般目標】 頭頸部の構造を理解するために頭蓋骨を観察し、形態に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 頭蓋底の構造を説明できる。 2. 上顎骨周囲の構造を説明できる。 3. 下顎骨の構造と顎関節の構造を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 頭蓋骨標本を事前に観察しておく。</p> <p>【学習場所・媒体等】 当日は休講とし、実際には22日 (木) 14:40~16:10に行う。 第三実習室で骨標本の観察を行う。</p> <p>【学習方略 (LS)】 演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 e 頭蓋を構成する骨 (神経頭蓋、内臓頭蓋)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論IV 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 1 頭頸部の構造 ア 頭頸部の骨 イ 頭頸部の筋 エ 頭頸部の神経</p>	松野 昌展 近藤 信太郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/05/21 (水) 3時限 13:00~14:30	頭頸部解剖学 頭蓋骨	<p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 *①頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 *②咀嚼筋、表情筋、前頸筋の構成と機能を説明できる。 *④三叉神経と顔面神経の走行と分布および線維構成を説明できる。</p>	松野 昌展 近藤 信太郎
2014/05/28 (水) 3時限 13:00~14:30	頭頸部解剖学 脳神経	<p>【授業の一般目標】 頭頸部の構造を理解するために脳神経の分布に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 三叉神経の分布と機能を説明できる。 2. 顔面神経の分布と機能を説明できる。 3. 舌咽神経の分布と機能を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 脳神経の番号と名称を説明できるようにしておく。</p> <p>【学習場所・媒体等】 当日は休講とし、実際には29日 (木) 14:40~16:10に行う。 302教室、マルチメディア併用</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 f 頭頸部の神経 (三叉神経、顔面神経、舌咽神経、迷走神経、副神経、舌下神経)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 1 頭頸部の構造 エ 頭頸部の神経</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 *④三叉神経と顔面神経の走行と分布および線維構成を説明できる。</p>	近藤 信太郎
2014/06/04 (水) 3時限 13:00~14:30	神経による恒常性の調節	<p>【授業の一般目標】 人体の恒常性が神経によってどのように調節されているかを理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 神経の分類を説明できる。 2. 中枢神経と末梢神経の違いを説明できる。 3. 求心性神経と遠心性神経の違いと役割を説明できる。 4. 体性神経と自律神経の違いと役割を説明できる。 5. 自律神経の二重支配を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 神経細胞の構造と名称を復習しておく。</p> <p>【学習場所・媒体等】 プリントを配布する。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 キ 神経系<中枢・末梢神経系></p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ク 感覚器系</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (5) 神経系 *②末梢神経系の機能分類 (体性神経系と自律神経系) を説明できる。 *③交感神経系と副交感神経系の構造と機能を説明できる。 *④脳と脊髄の基本的構造と機能を説明できる。【主要な自律機能 (呼吸、循環、体温) の調節中枢の働きを含む。】</p>	吉垣 純子
2014/06/11 (水) 3時限	循環と呼吸の調節	<p>【授業の一般目標】 循環と呼吸の調節メカニズムを学び、循環と呼吸の関連を理解する。</p>	吉垣 純子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
13:00～14:30	循環と呼吸の調節	<p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 血圧と心拍数の調節メカニズムを説明できる。 2. 圧受容器反射を説明できる。 3. 化学受容器反射を説明できる。 4. 外呼吸と内呼吸を説明できる。 5. 血液における酸素運搬を説明できる。 <p>【準備学習項目】 血液におけるpH緩衝能について復習する。 血管および心臓の構造を復習する。</p> <p>【学習場所・媒体等】 プリントを配布する。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 エ 循環器系<脈管系></p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ウ 呼吸器系</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (3) 循環器系 *①心臓の構造と機能を説明できる。【心臓の刺激 (興奮) 伝導系、心筋の特徴、標準的心電図波形および心音を含む。】 *④血液循環と血管運動、血圧の調節機構を説明できる。 C-2-3) - (7) 呼吸器系 *②肺の構造と機能を説明できる。【内呼吸、外呼吸および呼吸運動の機序とその調節系を含む。】</p>	吉垣 純子
2014/06/18 (水) 3時限 13:00～14:30	平常試験1-②	<p>【授業の一般目標】 これまでの講義内容に対する理解度の確認</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. これまでに行われた講義の内容を説明できる</p> <p>【準備学習項目】 これまでの講義内容</p> <p>【学習場所・媒体等】 【筆記試験】302教室 5/21, 5/28, 6/4, 6/11 講義範囲</p> <p>【学習方略 (LS)】 演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p>	大峰 浩隆
2014/06/25 (水) 3時限 13:00～14:30	内分泌による代謝調節	<p>【授業の一般目標】 内分泌による人体の調節機構を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 内分泌腺と標的臓器の関係を説明できる。 2. ホルモンによる糖代謝の調節機構を説明できる。 3. ホルモンによるカルシウム代謝の調節機構を説明できる。 4. ホルモンによる体液調節を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 糖および脂質の代謝経路を復習する。 骨吸収と石灰化について復習する。</p> <p>【学習場所・媒体等】 プリントを配布する。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ケ 内分泌系</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系</p>	吉垣 純子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/25 (水) 3時限 13:00~14:30	内分泌による代謝調節	オ 泌尿器系 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (8) 内分泌系 *①各内分泌器官の構造と機能およびホルモンを説明できる。【ホルモンの特徴と機能、内分泌系と神経系との機能相関を含む。】 C-2-3) - (9) 泌尿器系 *②体液の量と組成および浸透圧の調節機構を説明できる。【ネフロン働き(濾過、再吸収、分泌)を含む。】	吉垣 純子
2014/07/02 (水) 3時限 13:00~14:30	感染	【授業の一般目標】 細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫の特徴、感染機構および病原性を理解する。 滅菌、消毒、化学療法および振興・再興感染症について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫の形態学的特徴と基本的性状を説明できる。 2. 細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫のヒトに対する感染機構を説明できる。 3. 細菌、真菌、ウイルスがヒトに対して示す病原性を説明できる。 4. 清潔と不潔の区分および滅菌と消毒の意義、原理および代表的な方法を説明できる。 5. 化学療法の目的、原理、作用機序および薬剤耐性機序を説明できる。 6. 新興・再興感染症について説明できる。 【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-3-1) 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 6 感染症、アレルギー、免疫疾患 イ 病原微生物 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *①細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫の形態学的特徴と基本的性状を説明できる。 *②細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫のヒトに対する感染機構とこれらの微生物がヒトに対して示す病原性を説明できる。 *③清潔と不潔の区分および滅菌と消毒の意義、原理および代表的な方法を説明できる。 *④化学療法の目的、原理、作用機序および薬剤耐性機序を説明できる。 *⑤新興・再興感染症について説明できる。	續橋 治
2014/07/09 (水) 3時限 13:00~14:30	免疫	【授業の一般目標】 感染防御免疫のしくみを理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 免疫担当細胞の種類と機能を説明できる。 2. 自然免疫と獲得免疫について説明できる。 3. 細胞性免疫と体液性免疫について説明できる。 4. 自己と非自己の識別機構と免疫寛容を説明できる。 5. アレルギーの分類を説明できる。 6. 自己免疫・アレルギー疾患の種類と発症機序を説明できる。 7. ワクチンの分類と意義を説明できる。 【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-3-1) 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 f 免疫 (自然免疫、獲得免疫) 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論III 人体の正常構造と機能 3 免疫 ア 免疫系臓器、免疫担当細胞 イ 免疫応答とその調節 ウ 自然免疫 エ 獲得免疫 【コアカリキュラム】 C 生命科学	落合 智子 小林 良喜

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/07/09 (水) 3時限 13:00～14:30	免疫	<p>C-3 感染と免疫 C-3-2) 免疫 *①自然免疫と獲得免疫について説明できる。 *②細胞性免疫と体液性免疫について説明できる。【抗体の種類と特徴を含む。】 *③免疫担当細胞の種類と機能を説明できる。 *④自己と非自己の識別機構と免疫寛容を説明できる。 *⑤アレルギーの分類を説明できる。【発生機序を含む。】 *⑥免疫・アレルギー疾患の種類と発症機序を説明できる。 *⑦ワクチンの意義と問題点を説明できる。</p>	落合 智子 小林 良喜
2014/07/16 (水) 3時限 13:00～14:30	薬物と医薬品・薬理作用・薬物動態・薬物の副作用	<p>【授業の一般目標】 歯科領域における薬物療法を適切に行うために、薬物と医薬品、薬理作用、薬物の適用と体内動態、薬物の副作用と有害作用を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 薬物と医薬品を説明できる。 2. 薬理作用を説明できる。 3. 薬物の適用と体内動態を説明できる。 4. 薬物の副作用と有害作用を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 (c-5 生体と薬物)</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 h 薬物療法 a 薬物作用の種類 (局所作用、全身作用、直接作用、間接作用)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 h 薬物療法 b 薬物の適用方法 c 薬物の体内動態 (吸収、分布、代謝、排泄) d 薬物の効果に影響する因子 (年齢、個体差、種差、性差、プラセボ効果) e 薬物の作用部位 f 薬物の反復投与 g 用量と薬理作用 (LD50、ED50、治療係数 <安全域>、TDM <therapeutic drug monitoring> <薬物の血中濃度モニタリング>) h 薬物の併用 (協力作用、拮抗作用) i 薬物の副作用・有害作用 (薬物アレルギー (アナフィラキシーショック)、皮膚障害、血液障害、消化器障害、肝障害、腎障害、呼吸器障害、中央神経障害) k 薬物の保管・管理</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 生体と薬物 C-5-1) 薬物と医薬品 *①医薬品の分類を説明できる。 *②毒薬、劇薬および麻薬等の表示と保管を説明できる。 C-5-2) 薬理作用 *①薬物療法 (原因療法、対症療法) を説明できる。【歯科臨床において適用される薬物の特徴を含む。】 *②薬理作用の基本形式と分類を説明できる。 *③薬物の作用機序を説明できる。 *④薬理作用を規定する要因 (用量と反応、感受性) を説明できる。 *⑤薬物の連用の影響 (薬物耐性、蓄積および薬物依存) を説明できる。 *⑥薬物の併用 (協力作用、拮抗作用、相互作用) を説明できる。 C-5-3) 薬物の適用と体内動態 *②薬物動態 (吸収、分布、代謝、排泄) を説明できる。 C-5-4) 薬物の副作用と有害作用 *①薬物の一般的副作用、有害作用と口唇・口腔・顎顔面領域に現れる副作用、有害作用を説明できる。</p>	松本 裕子
2014/07/23 (水) 3時限 13:00～14:30	素材と器械・器具の所要性質	<p>【授業の一般目標】 歯科材料および歯科用器械・器具の適切な取り扱い法を理解するために、それらの基本的性質について学ぶ。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科材料の物理的、機械的、化学的および生物学的性質について説明できる。 2. 応力-ひずみ曲線について説明できる。 3. 歯科用器械・器具の特徴について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯科材料を素材別に分類することができる。 歯科用器械の用途を述べることができる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技</p>	谷本 安浩

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/07/23 (水) 3時限 13:00~14:30	素材と器械・器具 の所要性質	マ 歯科材料 a 基本的性質 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅺ 歯科材料と歯科医療機器 1 生体材料の科学 ア 有機材料 イ セラミック材料 ウ 金属材料 エ 複合材料 オ 物理的性質 カ 機械的性質 キ 化学的性質 ク 生物学的性質と生体安全性 2 診療用器械 エ レーザー装置 1 1 セラミックスの成形技術・機器 エ CAD/CAM 【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-1 素材と器械・器具の所要性質 *①高分子材料、セラミック材料、金属材料および複合材料の構造と物性を説明できる。【構造と物性は基本的かつ一般的なものに限る。また、歯科材料に使用される素材間の物性比較を含む。】 *②生体材料の力学的、物理的、化学的および生物学的所要性質を説明できる。 *③生体材料と歯科材料の安全性の評価を説明できる。 *④歯科用器械・器具の用途と特徴について説明できる。	谷本 安浩
2014/09/10 (水) 3時限 13:00~14:30	平常試験 1-③	【授業の一般目標】 これまでの講義内容に対する理解度の確認 【行動目標（SBOs）】 1. これまでの講義内容を説明できる。 【準備学習項目】 これまでの講義内容 【学習場所・媒体等】 【筆記試験】302教室 6/25、7/2、7/9、7/16、7/23 講義範囲 【学習方略（LS）】 演習 【場所（教室/実習室）】 302教室	大峰 浩隆
2014/09/29 (月) 2時限 10:40~12:10	オリエンテーション 成績評価法の 確認 CBT, OSCE についての説明	【授業の一般目標】 総合講義4の目的を理解する 【行動目標（SBOs）】 1. webクラスを用いて学習をすすめることができる。 【準備学習項目】 特になし 【学習場所・媒体等】 302教室 【学習方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 302教室 【国家試験出題基準（主）】 【コアカリキュラム】	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一
2014/09/29 (月) 3時限 13:00~14:30	オリエンテーション PC動作環境の 確認 個人面談	【授業の一般目標】 Webクラスを活用する 【行動目標（SBOs）】 1. Webクラスを利用して効果的な学習をすすめることができる。 【準備学習項目】 特になし 【学習場所・媒体等】 302教室 【学習方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 302教室 【国家試験出題基準（主）】 【コアカリキュラム】	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/09/30 (火) 3時限 13:00~14:30	プレテスト	<p>【授業の一般目標】 現在の知識の確認</p> <p>【準備学習項目】 これまでの学習内容に対する理解度の確認</p> <p>【学習場所・媒体等】 302教室 PC</p> <p>【学習方略 (LS)】 演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p>	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一
2014/10/01 (水) 2時限 10:40~12:10	顎運動とその疾患	<p>【授業の一般目標】 コアカりに記載されている学習内容を理解する</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. コアカりに記載されている学習内容を理解する</p> <p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-2-3), E-2-1), 2), 4), E-3-4)</p> <p>【学習場所・媒体等】 【講義】302教室 PC</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 顎・口腔領域の疾患 14 顎関節疾患 サ 顎関節症</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (2) 運動器系 *①生体を構成する主な骨と筋を列挙できる。 *②骨の基本構造と結合様式を説明できる。 *③骨の改造現象と全身および局所因子による調節機構を概説できる。 *④骨格筋の構造と機能を説明できる。【収縮の特徴と筋収縮の機序を含む。】</p>	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一
2014/10/02 (木) 3時限 13:00~14:30	顎運動とその疾患	<p>【授業の一般目標】 コアカりに記載されている学習内容を理解する</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. コアカりに記載されている学習内容を理解する</p> <p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-2-3), E-2-1), 2), 4), E-3-4)</p> <p>【学習場所・媒体等】 【講義】302教室 PC</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 顎・口腔領域の疾患 14 顎関節疾患 サ 顎関節症</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 *①頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 *②咀嚼筋、表情筋、前頸筋の構成と機能を説明できる。 *③頭頸部の脈管系を説明できる。 *④三叉神経と顔面神経の走行と分布および線維構成を説明できる。 *⑤顎関節の構造と機能を説明できる。 *⑥下顎の随意運動の基本を説明できる。 *⑦下顎反射の機序を説明できる。 *⑧嚥下の機序を説明できる。</p>	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一
2014/10/06 (月) 2時限 10:40~12:10	顎運動とその疾患	<p>【授業の一般目標】 コアカりに記載されている学習内容を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p>	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/06 (月) 2時限 10:40～12:10	顎運動とその疾患	<p>1. コアカリに記載されている学習内容を理解する。</p> <p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-2-3), E-2-1), 2), 4), E-3-4)</p> <p>【学習場所・媒体等】 【講義】302教室 PC</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 顎・口腔領域の疾患 14 顎関節疾患 シ 顎関節に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (6) 顎関節疾患 *①顎関節疾患の種類と特徴を説明できる。 *②顎関節疾患 (外傷、脱臼、炎症、顎関節症、顎関節強直症) の症状、診断法および治療法を概説できる。</p>	岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一
2014/10/06 (月) 3時限 13:00～14:30	顎運動とその疾患	<p>【授業の一般目標】 コアカリに記載されている学習内容を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. コアカリに記載されている学習内容を理解する。</p> <p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-2-3), E-2-1), 2), 4), E-3-4)</p> <p>【学習場所・媒体等】 【講義】302教室 PC</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 顎・口腔領域の疾患 14 顎関節疾患 ス 顎関節疾患の治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (6) 顎関節疾患 *①顎関節疾患の種類と特徴を説明できる。 *②顎関節疾患 (外傷、脱臼、炎症、顎関節症、顎関節強直症) の症状、診断法および治療法を概説できる。</p>	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一
2014/10/07 (火) 3時限 13:00～14:30	炎症・痛みとその疾患	<p>【授業の一般目標】 コアカリに記載されている学習内容を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. コアカリに記載されている学習内容を理解する。</p> <p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-1-4), C-2-3), C-4-4), E-2-1), E-2-4), E-3-3)</p> <p>【学習場所・媒体等】 【講義】302教室 PC</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 5 炎症 エ 炎症の機序・病態</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-4 病因と病態 C-4-4) 炎症</p>	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/07 (火) 3時限 13:00~14:30	炎症・痛みとその疾患	<p>*①炎症の定義を説明できる。【発症機序を含む。】</p> <p>*②炎症に関与する細胞の種類と機能を説明できる。</p> <p>*③滲出性炎の種類と病理組織学的特徴および経時的变化を説明できる。</p> <p>*④肉芽腫性炎の種類と病理組織学的な特徴および経時的变化を説明できる。</p>	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一
2014/10/08 (水) 2時限 10:40~12:10	炎症・痛みとその疾患	<p>【授業の一般目標】 コアカりに記載されている学習内容を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. コアカりに記載されている学習内容を理解する。</p> <p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-1-4), C-2-3), C-4-4), E-2-1), E-2-4), E-3-3)</p> <p>【学習場所・媒体等】 【講義】302教室 PC</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 5 成人の歯髄・根尖性歯周組織疾患 イ 歯髄疾患</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-4 病因と病態 C-4-4) 炎症 *①炎症の定義を説明できる。【発症機序を含む。】 *②炎症に関与する細胞の種類と機能を説明できる。 *③滲出性炎の種類と病理組織学的特徴および経時的变化を説明できる。 *④肉芽腫性炎の種類と病理組織学的な特徴および経時的变化を説明できる。</p>	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一
2014/10/09 (木) 3時限 13:00~14:30	炎症・痛みとその疾患	<p>【授業の一般目標】 コアカりに記載されている学習内容を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. コアカりに記載されている学習内容を理解する。 2. コアカりに記載されている学習内容を理解する。</p> <p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-1-4), C-2-3), C-4-4), E-2-1), E-2-4), E-3-3)</p> <p>【学習場所・媒体等】 【講義】302教室 PC</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 5 成人の歯髄・根尖性歯周組織疾患 ウ 根尖性歯周組織疾患</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-4 病因と病態 C-4-6) 疼痛 *①疼痛の種類を説明できる。【関連痛を含む。】 *②疼痛の発生機序を説明できる。 *③疼痛の制御機構・方法の概念を説明できる。</p>	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一
2014/10/14 (火) 3時限 13:00~14:30	炎症・痛みとその疾患	<p>【授業の一般目標】 コアカりに記載されている学習内容を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. コアカりに記載されている学習内容を理解する。</p> <p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-1-4), C-2-3), C-4-4), E-2-1), E-2-4), E-3-3)</p> <p>【学習場所・媒体等】</p>	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/14 (火) 3時限 13:00~14:30	炎症・痛みとその疾患	<p>【講義】302教室 PC</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 5 成人の歯髄・根尖性歯周組織疾患 エ 歯内-歯周疾患</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-4 病因と病態 C-4-3) 循環障害 *①虚血、充血およびうっ血の徴候、原因および転帰を説明できる。 *②出血の原因、種類および転帰を説明できる。 *③血栓の形成機構と形態学的特徴および転帰を説明できる。 *④塞栓の成因、種類および転帰を説明できる。 *⑤梗塞の種類、形態学的特徴および転帰を説明できる。 *⑥浮腫の原因とその転帰を説明できる。 *⑦ショックの成因と種類を説明できる。</p>	吉野 祥一
2014/10/15 (水) 2時限 10:40~12:10	炎症・痛みとその疾患	<p>【授業の一般目標】 コアカリに記載されている学習内容を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. コアカリに記載されている学習内容を理解する。</p> <p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-1-4), C-2-3), C-4-4), E-2-1), E-2-4), E-3-3)</p> <p>【学習場所・媒体等】 【講義】302教室 PC</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 5 成人の歯髄・根尖性歯周組織疾患 オ 歯の外傷</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-4 病因と病態 C-4-1) 細胞傷害、組織傷害および萎縮 *①細胞傷害と組織傷害について説明できる。【変性を含む。】 *②壊死の多様性、原因、意義および形態的所見の特徴を説明できる。 *③アポトーシスと疾患の関連性について説明できる。 *④萎縮と仮性肥大を説明できる。</p>	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一
2014/10/16 (木) 3時限 13:00~14:30	炎症・痛みとその疾患	<p>【授業の一般目標】 コアカリに記載されている学習内容を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. コアカリに記載されている学習内容を理解する。</p> <p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-1-4), C-2-3), C-4-4), E-2-1), E-2-4), E-3-3)</p> <p>【学習場所・媒体等】 【講義】302教室 PC</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 5 成人の歯髄・根尖性歯周組織疾患 キ 根尖性歯周組織疾患が全身の健康に及ぼす影響</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-4 病因と病態 C-4-6) 疼痛 *①疼痛の種類を説明できる。【関連痛を含む。】 *②疼痛の発生機序を説明できる。 *③疼痛の制御機構・方法の概念を説明できる。</p>	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/20 (月) 2時限 10:40～12:10	平常試験	<p>【授業の一般目標】 これまでの学習内容に対する理解度の確認</p> <p>【準備学習項目】 これまでの講義内容</p> <p>【学習場所・媒体等】 302教室 PC Webクラスを用いた試験</p> <p>【学習方略 (LS)】 演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p>	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一
2014/10/20 (月) 3時限 13:00～14:30	プレテスト	<p>【授業の一般目標】 現在の知識の確認</p> <p>【準備学習項目】 これまでの講義内容</p> <p>【学習場所・媒体等】 302教室 PC Webクラスを用いた試験</p> <p>【学習方略 (LS)】 演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p>	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一
2014/10/21 (火) 3時限 13:00～14:30	3. 微生物・感染・ 免疫とその疾患	<p>【授業の一般目標】 コアカりに記載されている学習内容を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. コアカりに記載されている学習内容を理解する。</p> <p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-2-3), C-3-1), 2), E-2-4), E-3-2)</p> <p>【学習場所・媒体等】 【講義】302 教室</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 顎・口腔領域の疾患 3 軟組織の炎症 ア 歯冠周囲炎 <智歯周囲炎></p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *①細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫の形態学的特徴と基本的性状を説明できる。 *②細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫のヒトに対する感染機構とこれらの微生物がヒトに対して示す病原性を説明できる。 *③清潔と不潔の区分および滅菌と消毒の意義、原理および代表的な方法を説明できる。 *④化学療法の目的、原理、作用機序および薬剤耐性機序を説明できる。 *⑤新興・再興感染症について説明できる。 *⑥院内感染について、原因、予防法について説明できる。</p>	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一
2014/10/22 (水) 2時限 10:40～12:10	3. 微生物・感染・ 免疫とその疾患	<p>【授業の一般目標】 コアカりに記載されている学習内容を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. コアカりに記載されている学習内容を理解する。</p> <p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-2-3), C-3-1), 2), E-2-4), E-3-2)</p> <p>【学習場所・媒体等】 【講義】302 教室</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 顎・口腔領域の疾患 3 軟組織の炎症 イ 口腔軟組織の炎症</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/22 (水) 2時限 10:40～12:10	3. 微生物・感染・免疫とその疾患	E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (3) 炎症とアレルギー *①菌性感染症の原因菌と感染経路を説明できる。 *②急性炎症と慢性炎症の異同を説明できる。 *③炎症の診断に必要な検査法を説明できる。 *④口唇・口腔・顎顔面領域の特異性炎の種類と特徴を説明できる。 *⑤菌血症および菌性病巣感染の病態を説明できる。 *⑥一般的な消炎療法の意義と特徴を説明できる。 *⑦主な炎症(舌炎、口唇炎、口底炎、智歯周囲炎、歯槽骨炎、顎骨炎、顎骨骨膜炎、顎骨周囲炎、下顎骨骨髄炎、歯性上顎洞炎等)を概説できる。 ⑧菌性病巣感染の成立機序、症状、検査法および治療法を説明できる。 ⑨消炎手術を概説できる。	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一
2014/10/23 (木) 3時限 13:00～14:30	3. 微生物・感染・免疫とその疾患	【授業の一般目標】 コアカリに記載されている学習内容を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. コアカリに記載されている学習内容を理解する。 【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-2-3), C-3-1), 2), E-2-4), E-3-2) 【学習場所・媒体等】 【講義】302 教室 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302 教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 顎・口腔領域の疾患 3 軟組織の炎症 ウ 蜂窩織炎 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-2) 免疫 *①自然免疫と獲得免疫について説明できる。 *②細胞性免疫と体液性免疫について説明できる。【抗体の種類と特徴を含む。】 *③免疫担当細胞の種類と機能を説明できる。 *④自己と非自己の識別機構と免疫寛容を説明できる。 *⑤アレルギーの分類を説明できる。【発生機序を含む。】 *⑥免疫・アレルギー疾患の種類と発症機序を説明できる。 *⑦ワクチンの意義と問題点を説明できる。	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一
2014/10/27 (月) 2時限 10:40～12:10	3. 微生物・感染・免疫とその疾患	【授業の一般目標】 コアカリに記載されている内容を理解する 【行動目標 (SBOs)】 1. コアカリに記載されている内容を理解する 【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-2-3), C-3-1), 2), E-2-4), E-3-2) 【学習場所・媒体等】 【講義】302 教室 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302 教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 顎・口腔領域の疾患 3 軟組織の炎症 エ 所属リンパ節の炎症 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 *①歯の硬組織の疾患の病因と病態を説明できる。 *②歯の発育障害と加齢変化の病因と病態を説明できる。 *③歯髄・根尖歯周組織疾患の病因と病態を説明できる。 *④歯周疾患の病因と病態を説明できる。 *⑤口腔細菌、歯垢および歯石について説明できる。 *⑥歯痛の機序を説明できる。	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一
2014/10/27 (月) 3時限 13:00～14:30	自主学習 個人面談	【授業の一般目標】 これまでの学習内容をすべて復習する 【行動目標 (SBOs)】 1. これまでの学習内容をすべて復習する	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/27 (月) 3時限 13:00~14:30	自主学習 個人面談	<p>【準備学習項目】 これまでの学習内容</p> <p>【学習場所・媒体等】 【講義】302 教室 PC</p> <p>【学習方略 (LS)】 その他</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一
2014/10/28 (火) 3時限 13:00~14:30	4. 歯質・歯の欠損と歯科材料	<p>【授業の一般目標】 コアカリに記載されている学習項目を理解する</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. コアカリに記載されている学習項目を理解する</p> <p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 D-1, D-2, E-3-2), 3), 4)</p> <p>【学習場所・媒体等】 【講義】302 教室 PC</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ア 歯冠補綴装置の選択</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-1 素材と器械・器具の所要性質 *①高分子材料、セラミック材料、金属材料および複合材料の構造と物性を説明できる。【構造と物性は基本的かつ一般的なものに限定。また、歯科材料に使用される素材間の物性比較を含む。】 *②生体材料の力学的、物理的、化学的および生物学的所要性質を説明できる。 *③生体材料と歯科材料の安全性の評価を説明できる。 *④歯科用器械・器具の用途と特徴について説明できる。</p>	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一
2014/10/29 (水) 2時限 10:40~12:10	4. 歯質・歯の欠損と歯科材	<p>【授業の一般目標】 コアカリに記載されている学習項目を理解する</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. コアカリに記載されている学習項目を理解する</p> <p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 D-1, D-2, E-3-2), 3), 4)</p> <p>【学習場所・媒体等】 【講義】302 教室 PC</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論III 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 エ 窩洞形成法</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-2 成形法と成形用材料 *①修復材料と修復法の種類と特徴を説明できる。 *②歯冠修復・義歯の製作に必要な材料の特性を説明できる。 *③印象材の種類と特性を説明できる。 *④歯科用石膏の種類と特性を説明できる。 *⑤ワックスの種類と特性を説明できる。 *⑥レジン重合、金属の鑄造・熱処理およびセラミックスの加工・焼成の特徴を使用機器と関連つけて説明できる。【歯科用レジン・金属・セラミックスの種類、用途および特性を含む。】 *⑦接着材と合着材の種類と成分および特性を説明できる。</p>	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一
2014/10/30 (木) 3時限 13:00~14:30	4. 歯質・歯の欠損と歯科材料	<p>【授業の一般目標】 コアカリに記載されている学習項目を理解する</p>	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
	4. 歯質・歯の欠損と歯科材料	<p>【行動目標 (SBOs)】 1. コアカりに記載されている学習項目を理解する</p> <p>【準備学習項目】 【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 D-1, D-2, E-3-2), 3), 4)</p> <p>【学習場所・媒体等】 【講義】 302 教室 PC</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 オ 象牙質・歯髄保護法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 *①歯の硬組織の疾患の病因と病態を説明できる。 *②歯の発育障害と加齢変化の病因と病態を説明できる。 *③歯髄・根尖歯周組織疾患の病因と病態を説明できる。 *④歯周疾患の病因と病態を説明できる。 *⑤口腔細菌、歯垢および歯石について説明できる。 *⑥歯痛の機序を説明できる。</p>	<p>大口 純人 岡本 康裕 岡部 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一</p>
2014/11/04 (火) 3時限 13:00~14:30	4. 歯質・歯の欠損と歯科材料	<p>【授業の一般目標】 コアカりに記載されている学習項目を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. コアカりに記載されている学習項目を理解する。</p> <p>【準備学習項目】 【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 D-1, D-2, E-3-2), 3), 4)</p> <p>【学習場所・媒体等】 【講義】 302 教室</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 キ 歯の漂白</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *①う蝕の症状と診断を説明できる。【検査法を含む】 *②う蝕の予防と治療の方法を説明できる。【う蝕の予防については、B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理の項を参照】 *③tooth wear (酸蝕症、咬耗、摩耗等)の原因、症状、診断および処置を説明できる。 *④MI (Minimal Intervention) に基づく歯科治療の意義、臨床的対応を説明できる。 *⑤生活歯の変色の原因、種類および処置を説明できる。 *⑥う蝕およびその他の硬組織疾患に対する歯冠修復の臨床的意義を説明できる。 *⑦修復材料と修復法の適応を説明できる。 *⑧修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。 *⑨歯髄保護の種類と方法を述べ、その重要性を説明できる。 *⑩窩洞形成の意義と方法を説明できる。</p>	<p>大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡部 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一</p>
2014/11/05 (水) 2時限 10:40~12:10	4. 歯質・歯の欠損と歯科材料	<p>【授業の一般目標】 コアカりに記載されている学習項目を理解する</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. コアカりに記載されている学習項目を理解する</p> <p>【準備学習項目】 【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 D-1, D-2, E-3-2), 3), 4)</p> <p>【学習場所・媒体等】 【講義】 302 教室 PC</p> <p>【学習方略 (LS)】</p>	<p>大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡部 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/05 (水) 2時限 10:40～12:10	4. 歯質・歯の欠損と歯科材料	<p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 オ 象牙質・歯髄保護法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *⑪仮封の意義、種類および特徴を説明できる。 *⑫修復後の管理の目的と方法を説明できる。 *⑬う蝕およびその他の硬組織疾患の診察、検査および診断ができる。 ⑭歯髄保護の術式を適切に実施できる。 ⑮修復法に関する模型上での基本的操作ができる。 ⑯う蝕およびその他の硬組織疾患の簡単な修復処置を行うことができる。 ⑰修復後の適切なメンテナンスができる。</p>	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一
2014/11/06 (木) 3時限 13:00～14:30	4. 歯質・歯の欠損と歯科材料	<p>【授業の一般目標】 コアカリに記載されている学習項目を理解する</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. コアカリに記載されている学習項目を理解する</p> <p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 D-1, D-2, E-3-2), 3), 4)</p> <p>【学習場所・媒体等】 【講義】302教室</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅴ 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ア 歯冠補綴装置の選択</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *①クラウンブリッジの意義と具備条件を説明できる。 *②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製作法を説明できる。【ポイントの選択を含む。】 *③支台築造の意義、種類および特徴を説明できる。 *④支台歯形成の意義と方法を説明できる。 *⑤暫間補綴装置の意義とその製作法を説明できる。 *⑥クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。 *⑦研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。 *⑧平均値咬合器および調節性咬合器の種類と特徴を説明できる。【使用方法を含む。】</p>	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一
2014/11/10 (月) 2時限 10:40～12:10	平常試験	<p>【授業の一般目標】 これまでの学習内容に対する理解度の確認</p> <p>【準備学習項目】 これまでの講義内容</p> <p>【学習場所・媒体等】 302教室 PC Webクラスを用いた試験</p> <p>【学習方略（LS）】 その他</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一
2014/11/10 (月) 3時限 13:00～14:30	プレテスト	<p>【授業の一般目標】 現在の知識の確認</p> <p>【準備学習項目】 これまでの学習内容</p> <p>【学習場所・媒体等】 302教室 PC Webクラスを用いた試験</p>	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/10 (月) 3時限 13:00~14:30	プレテスト	<p>【学習方略 (LS)】 その他</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一
2014/11/11 (火) 3時限 13:00~14:30	5. 代謝・薬物動態・全身疾患と歯科治療	<p>【授業の一般目標】 コアカリに記載されている内容を理解する</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. コアカリに記載されている内容を理解する</p> <p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-1-1), C-2-3), C-4-3), C-5-1), 2), 3), 4), E-1-3), 5), E-2-4)</p> <p>【学習場所・媒体等】 【講義】302教室 PC</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 エ 循環器系<脈管系></p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-4 病因と病態 C-4-3) 循環障害 *①虚血、充血およびうっ血の徴候、原因および転帰を説明できる。 *②出血の原因、種類および転帰を説明できる。 *③血栓の形成機構と形態学的特徴および転帰を説明できる。 *④塞栓の成因、種類および転帰を説明できる。 *⑤梗塞の種類、形態学的特徴および転帰を説明できる。 *⑥浮腫の原因とその転帰を説明できる。 *⑦ショックの成因と種類を説明できる。</p>	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一
2014/11/12 (水) 2時限 10:40~12:10	5. 代謝・薬物動態・全身疾患と歯科治療	<p>【授業の一般目標】 コアカリに記載されている学習項目を理解する</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. コアカリに記載されている学習項目を理解する</p> <p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-1-1), C-2-3), C-4-3), C-5-1), 2), 3), 4), E-1-3), 5), E-2-4)</p> <p>【学習場所・媒体等】 【講義】302教室 PC</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅴ 治療 9 薬物療法 ア 薬物療法の種類</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 生体と薬物 C-5-1) 薬物と医薬品 *①医薬品の分類を説明できる。 *②毒薬、劇薬および麻薬等の表示と保管を説明できる。 *③日本薬局方を説明できる。</p>	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一
2014/11/13 (木) 3時限 13:00~14:30	5. 代謝・薬物動態・全身疾患と歯科治療	<p>【授業の一般目標】 コアカリに記載されている学習項目を理解する</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. コアカリに記載されている学習項目を理解する</p> <p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-1-1), C-2-3), C-4-3), C-5-1), 2), 3), 4), E-1-3), 5), E-2-4)</p> <p>【学習場所・媒体等】 【講義】302教室 PC</p>	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/13 (木) 3時限 13:00～14:30	5. 代謝・薬物動態・全身疾患と歯科治療	<p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論X 治療 9 薬物療法 オ 薬物の作用部位・作用機序</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 生体と薬物 C-5-2) 薬理作用 *①薬物療法 (原因療法、対症療法) を説明できる。【歯科臨床において適用される薬物の特徴を含む。】 *②薬理作用の基本形式と分類を説明できる。 *③薬物の作用機序を説明できる。 *④薬理作用を規定する要因 (用量と反応、感受性) を説明できる。 *⑤薬物の連用の影響 (薬物耐性、蓄積および薬物依存) を説明できる。 *⑥薬物の併用 (協力作用、拮抗作用、相互作用) を説明できる。 C-5-3) 薬物の適用と体内動態 *①薬物の適用方法の種類とその特徴を説明できる。 *②薬物動態 (吸収、分布、代謝、排泄) を説明できる。 C-5-4) 薬物の副作用と有害作用 *①薬物の一般的副作用、有害作用と口唇・口腔・顎顔面領域に現れる副作用、有害作用を説明できる。</p>	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一
2014/11/17 (月) 2時限 10:40～12:10	6. 口腔領域の疾患 (外傷)・画像検査・放射線	<p>【授業の一般目標】 コアカリに記載されている学習項目を理解する</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. コアカリに記載されている学習項目を理解する</p> <p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-4-1), 2), E-1-2), E-2-4), E-4-2)</p> <p>【学習場所・媒体等】 【講義】302 教室 PC</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 顎・口腔領域の疾患 8 歯・歯槽骨・顎骨・顔面骨の損傷 サ 損傷に対する治療</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-4 病因と病態 C-4-1) 細胞傷害、組織傷害および萎縮 *①細胞傷害と組織傷害について説明できる。【変性を含む。】 *②壊死の多様性、原因、意義および形態的所見の特徴を説明できる。 *③アポトーシスと疾患の関連性について説明できる。 *④萎縮と仮性肥大を説明できる。 C-4-2) 修復と再生 *①修復と再生について説明できる。 *②化生を説明できる。 *③創傷治癒に関与する細胞とその過程を説明できる。 *④器質化を説明できる。</p>	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一
2014/11/17 (月) 3時限 13:00～14:30	6. 口腔領域の疾患 (外傷)・画像検査・放射線	<p>【授業の一般目標】 コアカリに記載されている学習項目を理解する</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. コアカリに記載されている学習項目を理解する</p> <p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-4-1), 2), E-1-2), E-2-4), E-4-2)</p> <p>【学習場所・媒体等】 【講義】302 教室 PC</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 顎・口腔領域の疾患 8 歯・歯槽骨・顎骨・顔面骨の損傷 サ 損傷に対する治療</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/17 (月) 3時限 13:00～14:30	6. 口腔領域の疾患(外傷)・画像検査・放射線	E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (2) 外傷 *①一般的な骨折の種類と特徴および治癒過程を説明できる。 *②歯の外傷と顎顔面骨折の原因と種類を列挙できる。 *③外傷時の検査法を列挙できる。 *④歯の外傷の症状、診断法および治療法を説明できる。 *⑤歯槽骨骨折、上顎骨骨折、頬骨骨折および下顎骨骨折の症状、診断法および治療法を説明できる。 *⑥骨折の治療原則を説明できる。 ⑦軟組織損傷を分類し、それぞれの症状と処置法を説明できる。	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一
2014/11/18 (火) 3時限 13:00～14:30	6. 口腔領域の疾患(外傷)・画像検査・放射線	【授業の一般目標】 コアカりに記載されている学習項目を理解する 【行動目標 (SBOs)】 1. コアカりに記載されている学習項目を理解する 【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-4-1), 2), E-1-2), E-2-4), E-4-2) 【学習場所・媒体等】 【講義】302 教室 PC 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302 教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 顎・口腔領域の疾患 2 軟組織の損傷 ウ 損傷に対する治療 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-4 病因と病態 C-4-1) 細胞傷害、組織傷害および萎縮 *①細胞傷害と組織傷害について説明できる。【変性を含む。】 *②壊死の多様性、原因、意義および形態的所見の特徴を説明できる。 *③アポトーシスと疾患の関連性について説明できる。 *④萎縮と仮性肥大を説明できる。 C-4-2) 修復と再生 *①修復と再生について説明できる。 *②化生を説明できる。 *③創傷治癒に関与する細胞とその過程を説明できる。 *④器質化を説明できる。	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一
2014/11/19 (水) 2時限 10:40～12:10	6. 口腔領域の疾患(外傷)・画像検査・放射線	【授業の一般目標】 コアカりに記載されている学習項目を理解する 【行動目標 (SBOs)】 1. コアカりに記載されている学習項目を理解する 【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-4-1), 2), E-1-2), E-2-4), E-4-2) 【学習場所・媒体等】 【講義】302 教室 PC 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302 教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅸ 検査 2 画像検査 エ エックス線撮影装置・器材 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査 *①放射線の種類、性質、測定法と単位を説明できる。 *②放射線の人体(胎児を含む)への影響の特徴(急性影響と晩発影響等)を説明できる。 *③放射線防護の基準と方法を説明できる。 *④エックス線画像の形成原理を説明できる。【画像不良の原因を含む。】 *⑤エックス線装置とその周辺機器の原理と管理技術を説明できる。 *⑥口内法エックス線撮影とパノラマエックス線撮影の種類および適応を説明できる。 *⑧頭部エックス線撮影の種類および適応を説明できる。 *⑨造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法(CT)、磁気共鳴撮像法(MRI)および核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。 *⑦口内法エックス線撮影とパノラマエックス線撮影を行い、読影できる。	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/20 (木) 3時限 13:00~14:30	7. 口腔領域の疾患 (炎症・嚢胞)	<p>【授業の一般目標】 コアカりに記載されている学習項目を理解する</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. コアカりに記載されている学習項目を理解する</p> <p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-4-1), 2), E-1-2), E-2-4), E-4-2)</p> <p>【学習場所・媒体等】 【講義】302 教室 PC</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 顎・口腔領域の疾患 4 軟組織に発生する嚢胞 ク 嚢胞に対する治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (5) 嚢胞、腫瘍および類似疾患 *①顎骨に発生する歯源性嚢胞の種類と特徴を列挙できる。 *②顎骨に発生する非歯源性嚢胞の種類と特徴を列挙できる。 *③軟組織に発生する嚢胞の種類と特徴を列挙できる。 *④口唇・口腔・顎顔面領域に発生する嚢胞の一般的な症状、診断法および治療法を説明できる。 *⑤歯源性腫瘍の種類と特徴を列挙できる。 *⑥非歯源性良性腫瘍の種類と特徴を列挙できる。 *⑦口唇・口腔・顎顔面領域に発生する腫瘍の一般的な症状、診断法 (組織診、画像診断) および治療法を説明できる。</p>	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一
2014/11/25 (火) 3時限 13:00~14:30	7. 口腔領域の疾患 (炎症・嚢胞)	<p>【授業の一般目標】 コアカりに記載されている学習項目を理解する</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. コアカりに記載されている学習項目を理解する</p> <p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-4-1), 2), E-1-2), E-2-4), E-4-2)</p> <p>【学習場所・媒体等】 【講義】302 教室 PC</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 顎・口腔領域の疾患 4 軟組織に発生する嚢胞 ク 嚢胞に対する治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (5) 嚢胞、腫瘍および類似疾患 *⑧腫瘍類似疾患の種類と特徴を列挙できる。 *⑨エプーリスの特徴、症状および治療法を説明できる。</p>	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一
2014/11/26 (水) 2時限 10:40~12:10	7. 口腔領域の疾患 (炎症・嚢胞)	<p>【授業の一般目標】 コアカりに記載されている学習項目を理解する</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. コアカりに記載されている学習項目を理解する</p> <p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-4-1), 2), E-1-2), E-2-4), E-4-2)</p> <p>【学習場所・媒体等】 【講義】302 教室</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 5 炎症</p>	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/26 (水) 2時限 10:40～12:10	7. 口腔領域の疾患 (炎症・嚢胞)	エ 炎症の機序・病態 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (3) 炎症とアレルギー *①菌性感染症の原因菌と感染経路を説明できる。 *②急性炎症と慢性炎症の異同を説明できる。 *③炎症の診断に必要な検査法を説明できる。 *④口唇・口腔・顎顔面領域の特異性炎の種類と特徴を説明できる。 *⑤菌血症および菌性病巣感染の病態を説明できる。 *⑥一般的な消炎療法の意義と特徴を説明できる。 *⑦主な炎症 (舌炎、口唇炎、口底炎、智歯周囲炎、歯槽骨炎、顎骨炎、顎骨膜炎、顎骨周囲炎、下顎骨骨髓炎、歯性上顎洞炎等) を概説できる。 ⑧菌性病巣感染の成立機序、症状、検査法および治療法を説明できる。 ⑨消炎手術を概説できる。	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一
2014/11/27 (木) 3時限 13:00～14:30	7. 口腔領域の疾患 (炎症・嚢胞)	【授業の一般目標】 コアカリに記載されている学習項目を理解する 【行動目標 (SBOs)】 1. コアカリに記載されている学習項目を理解する 【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-4-1), 2), E-1-2), E-2-4), E-4-2) 【学習場所・媒体等】 【講義】 302 教室 PC 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302 教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 5 炎症 オ 急性炎症、慢性炎症 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (3) 炎症とアレルギー *①菌性感染症の原因菌と感染経路を説明できる。 *②急性炎症と慢性炎症の異同を説明できる。 *③炎症の診断に必要な検査法を説明できる。 *④口唇・口腔・顎顔面領域の特異性炎の種類と特徴を説明できる。 *⑤菌血症および菌性病巣感染の病態を説明できる。 *⑥一般的な消炎療法の意義と特徴を説明できる。 *⑦主な炎症 (舌炎、口唇炎、口底炎、智歯周囲炎、歯槽骨炎、顎骨炎、顎骨膜炎、顎骨周囲炎、下顎骨骨髓炎、歯性上顎洞炎等) を概説できる。 ⑧菌性病巣感染の成立機序、症状、検査法および治療法を説明できる。 ⑨消炎手術を概説できる。	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一
2014/12/01 (月) 2時限 10:40～12:10	平常試験	【授業の一般目標】 これまでの講義内容に対する理解度の確認 【準備学習項目】 これまでの講義内容 【学習場所・媒体等】 302教室 PC Webクラスを用いた試験 【学習方略 (LS)】 演習 【場所 (教室/実習室)】 302 教室	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一
2014/12/01 (月) 3時限 13:00～14:30	プレテスト	【授業の一般目標】 これまでの学習内容に対する理解度の確認 【準備学習項目】 これまでの学習内容 【学習場所・媒体等】 302教室 PC Webクラスを用いた試験 【学習方略 (LS)】 その他 【場所 (教室/実習室)】 302 教室	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/01 (月) 3時限 13:00~14:30	プレテスト	【国家試験出題基準 (主)】 【コアカリキュラム】	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一
2014/12/02 (火) 3時限 13:00~14:30	8. 口腔領域の疾患 (腫瘍)、小手術の基本手技、救急処置	【授業の一般目標】 コアカリに記載されている学習項目を理解する 【行動目標 (SBOs)】 1. コアカリに記載されている学習項目を理解する 【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-4-5), E-2-2), 4) 【学習場所・媒体等】 【講義】302 教室 PC 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302 教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 7 腫瘍 イ 腫瘍発生の病因 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (5) 嚢胞、腫瘍および類似疾患 *⑤歯源性腫瘍の種類と特徴を列挙できる。 *⑥非歯源性良性腫瘍の種類と特徴を列挙できる。 *⑦口唇・口腔・顎顔面領域に発生する腫瘍の一般的な症状、診断法 (組織診、画像診断) および治療法を説明できる。 *⑩前癌病変 (白板症、紅板症) の特徴、症状および治療法を説明できる。 *⑪前癌状態の種類と特徴を列挙できる。 *⑫口腔癌の特徴、予防、症状および治療法を説明できる。 *⑧腫瘍類似疾患の種類と特徴を列挙できる。 *⑨エプーリスの特徴、症状および治療法を説明できる。 *⑬口唇・口腔領域の悪性腫瘍の種類、症状および治療法を説明できる。	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一
2014/12/03 (水) 2時限 10:40~12:10	8. 口腔領域の疾患 (腫瘍)、小手術の基本手技、救急処置	【授業の一般目標】 コアカリに記載されている学習項目を理解する 【行動目標 (SBOs)】 1. コアカリに記載されている学習項目を理解する 【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-4-5), E-2-2), 4) 【学習場所・媒体等】 【講義】302 教室 PC 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302 教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 7 腫瘍 イ 腫瘍発生の病因 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (5) 嚢胞、腫瘍および類似疾患 *⑤歯源性腫瘍の種類と特徴を列挙できる。 *⑥非歯源性良性腫瘍の種類と特徴を列挙できる。 *⑦口唇・口腔・顎顔面領域に発生する腫瘍の一般的な症状、診断法 (組織診、画像診断) および治療法を説明できる。 *⑩前癌病変 (白板症、紅板症) の特徴、症状および治療法を説明できる。 *⑪前癌状態の種類と特徴を列挙できる。 *⑫口腔癌の特徴、予防、症状および治療法を説明できる。 *⑧腫瘍類似疾患の種類と特徴を列挙できる。 *⑨エプーリスの特徴、症状および治療法を説明できる。 *⑬口唇・口腔領域の悪性腫瘍の種類、症状および治療法を説明できる。	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/04 (木) 3時限 13:00～14:30	8. 口腔領域の疾患(腫瘍)、小手術の基本手技、救急処置	<p>【授業の一般目標】 コアカりに記載されている学習項目を理解する</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. コアカりに記載されている学習項目を理解する</p> <p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-4-5), E-2-2), 4)</p> <p>【学習場所・媒体等】 【講義】302 教室 PC</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ア 意義, 目標 a 疾患の治療、自然治癒</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-4) 小手術の基本手技 *①抜歯の適応症と禁忌症を説明できる。【相対的禁忌への対応および小手術の適応症と禁忌を含む。】 *②小手術の合併症(偶発症)を説明できる。 *③抜歯(小手術)に必要な器具の用法と基本手技を説明できる。 *④粘膜の切開、剥離に必要な器具の用法を説明できる。 *⑤縫合と止血に必要な器具の用法を説明できる。 *⑥手指と術野の消毒について説明できる。 *⑦清潔と不潔の区別を説明できる。 *⑧器具の滅菌、消毒について説明できる。 *⑨埋伏歯(智歯を含む)の抜歯法を説明できる。</p>	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一
2014/12/08 (月) 2時限 10:40～12:10	8. 口腔領域の疾患(腫瘍)小手術の基本手技 救急処置	<p>【授業の一般目標】 コアカりに記載されている学習項目を理解する</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. コアカりに記載されている学習項目を理解する</p> <p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 E-1-4), E-1-5)</p> <p>【学習場所・媒体等】 【講義】302 教室 PC</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論 X 治療 3 救急医療 ウ 成人に対する一次救命処置</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-5) 救急処置 *①歯科治療時の全身合併症(偶発症)を説明できる。 *②意識レベル、呼吸および脈拍の状態を把握できる。 *③気道閉塞および気道確保法を説明できる。【誤嚥・誤飲時の症状と対応を含む】 *④気道確保と呼気吹き込みによる人工呼吸を実施できる。 *⑤胸骨圧迫と自動的体外式除細動器(AED)の操作を実施できる。 *⑥救急処置に用いられる薬物を列挙し、その作用機序を説明できる。</p>	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一
2014/12/08 (月) 3時限 13:00～14:30	自主学習 個人面談	<p>【授業の一般目標】 これまでの学習内容をすべて復習する</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. コアカりに記載されている学習項目の内容を理解する</p> <p>【準備学習項目】 これまでの学習内容</p> <p>【学習場所・媒体等】 【講義】302 教室 PC</p> <p>【学習方略 (LS)】 その他</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p>	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/08 (月) 3時限 13:00～14:30	自主学习 個人面談	【コアカリキュラム】	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛一 吉野 祥一
2014/12/09 (火) 3時限 13:00～14:30	9. 口腔領域の疾患 (唾液腺疾患・粘膜疾患等)	<p>【授業の一般目標】 コアカリに記載されている学習項目の内容を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. コアカリに記載されている学習項目の内容を理解する。</p> <p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-4-1), 2), E-1-2), E-2-4), E-4-2)</p> <p>【学習場所・媒体等】 【講義】302 教室 PC</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 2 口腔・顎・顔面の構造 カ 唾液腺</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-2) 口唇・口腔の基本構造と機能 *④唾液の性状と役割を説明できる。【構成成分とその機能を含む。】 *⑤唾液腺の構造と機能を説明できる。【分泌調節を含む。】 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (7) 唾液腺疾患 *①唾石症の特徴、症状、診断法および治療法を説明できる。 *②唾液腺炎の種類と特徴、症状、診断法および治療法を概説できる。 *③唾液腺腫瘍の種類と特徴、症状、診断法および治療法を説明できる。 *④流行性耳下腺炎の特徴、症状、診断法および治療法を説明できる。 *⑤Sjögren 症候群の特徴、症状、診断法および治療法を説明できる。</p>	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛一 吉野 祥一
2014/12/10 (水) 2時限 10:40～12:10	9. 口腔領域の疾患 (唾液腺疾患・粘膜疾患等)	<p>【授業の一般目標】 コアカリに記載されている学習項目の内容を理解する</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. コアカリに記載されている学習項目の内容を理解する</p> <p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-4-5), E-2-2), 4)</p> <p>【学習場所・媒体等】 【講義】302 教室 PC</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 顎・口腔領域の疾患 6 口腔粘膜疾患 リ 口腔粘膜疾患に対する治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-2) 口唇・口腔の基本構造と機能 *①口唇・口腔粘膜の特徴を部位ごとに説明できる。【口唇・口腔感覚の特徴を含む。】 *②舌の構造と機能を説明できる。 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (4) 口腔粘膜疾患 *①口腔粘膜疾患の種類と特徴を説明できる。 *②水疱、紅斑、びらん、潰瘍、白斑、色素沈着等を主徴とする主な粘膜疾患を概説できる。</p>	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛一 吉野 祥一
2014/12/11 (木) 3時限 13:00～14:30	9. 口腔領域の疾患 (唾液腺疾患・粘膜疾患等)	<p>【授業の一般目標】 コアカリに記載されている学習項目の内容を理解する</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p>	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/11 (木) 3時限 13:00~14:30	9. 口腔領域の疾患 (唾液腺疾患・粘膜疾患等)	1. コアカリに記載されている学習項目の内容を理解する 【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-4-5), E-2-2), 4) 【学習場所・媒体等】 【講義】302 教室 PC 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302 教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 顎・口腔領域の疾患 6 口腔粘膜疾患 リ 口腔粘膜疾患に対する治療 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-2) 口唇・口腔の基本構造と機能 *①口唇・口腔粘膜の特徴を部位ごとに説明できる。【口唇・口腔感覚の特徴を含む。】 *②舌の構造と機能を説明できる。 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (4) 口腔粘膜疾患 *①口腔粘膜疾患の種類と特徴を説明できる。 *②水疱、紅斑、びらん、潰瘍、白斑、色素沈着等を主徴とする主な粘膜疾患を概説できる。	岡本 康裕 岡本 京達 岡部 剛至 北川 千恵子 田口 佐智代 林 恵 布施 剛 平川 祥一 吉野
2014/12/15 (月) 2時限 10:40~12:10	10. 基本的事項基本的事項 (医の倫理・医療事故・コミュニケーションなど)	【授業の一般目標】 コアカリに記載されている学習項目の内容を理解する 【行動目標 (SBOs)】 1. コアカリに記載されている学習項目の内容を理解する 【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 A-1, A-2, A-3, A-4, A-5, A-7 【学習場所・媒体等】 【講義】302 教室 PC 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302 教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム ア 医の倫理、生命倫理 a 患者の人権と医療 【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-1 患者の尊厳 *①患者の権利を説明できる。 *②患者の自己決定権を説明できる。 *③患者が自己決定ができない場合の対応を説明できる。 A-2 医の倫理 *①医の倫理と生命倫理の歴史経過と諸問題を概説できる。 *②医の倫理に関する規範・国際規範 (ヒポクラテスの誓い、ジュネーブ宣言、ヘルシンキ宣言等) を概説できる。 *③生と死に関わる倫理的問題を説明できる。	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡部 京達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一
2014/12/15 (月) 3時限 13:00~14:30	10. 基本的事項基本的事項 (医の倫理・医療事故・コミュニケーションなど)	【授業の一般目標】 コアカリに記載されている学習項目の内容を理解する 【行動目標 (SBOs)】 1. コアカリに記載されている学習項目の内容を理解する 【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-4-5), E-2-2), 4) 【学習場所・媒体等】 【講義】302 教室 PC 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302 教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療、インフォームドコンセント、セカンドオピニオン	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡部 京達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/15 (月) 3時限 13:00～14:30	10. 基本的事項 基本的事項 (医の倫理・医療事故・コミュニケーションなど)	<p>【コアカリキュラム】</p> <p>A 基本事項</p> <p>A-3 歯科医師の責務</p> <p>*①患者との信頼関係を築くことができる。</p> <p>*②個人的、社会的背景等が異なる患者に、わけへだてなく対応できる。</p> <p>*③患者の価値観が多様であることを認識し、柔軟に対応できる。</p> <p>*④患者に最も適した医療を説明できる。</p> <p>*⑤歯科医師の法的義務を列挙できる。</p> <p>A-4 インフォームドコンセント</p> <p>*①インフォームドコンセントの意義と重要性を説明できる。</p> <p>②必要な情報を整理し、わかりやすい口頭説明と文書を準備できる。</p> <p>③説明を行うために適切な時期・場所・機会に配慮できる。</p> <p>④説明を受ける患者の心理状態や理解度に配慮できる。</p> <p>⑤患者からの質問に適切に応え、その様々な反応に柔軟に対応できる。</p>	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一
2014/12/16 (火) 3時限 13:00～14:30	10. 基本的事項 基本的事項 (医の倫理・医療事故・コミュニケーションなど)	<p>【授業の一般目標】</p> <p>コアカリに記載されている学習項目の内容を理解する</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>1. コアカリに記載されている学習項目の内容を理解する</p> <p>【準備学習項目】</p> <p>今まで学んだコアカリの範囲</p> <p>A-1, A-2, A-3, A-4, A-5, A-7</p> <p>【学習場所・媒体等】</p> <p>【講義】302 教室 PC</p> <p>【学習方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>302 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>必修の基本的事項</p> <p>1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム</p> <p>イ 歯科医師と患者・家族との関係</p> <p>b 患者の権利と義務</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>A 基本事項</p> <p>A-3 歯科医師の責務</p> <p>*①患者との信頼関係を築くことができる。</p> <p>*②個人的、社会的背景等が異なる患者に、わけへだてなく対応できる。</p> <p>*③患者の価値観が多様であることを認識し、柔軟に対応できる。</p> <p>*④患者に最も適した医療を説明できる。</p> <p>*⑤歯科医師の法的義務を列挙できる。</p>	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一
2014/12/17 (水) 2時限 10:40～12:10	10. 基本的事項 基本的事項 (医の倫理・医療事故・コミュニケーションなど)	<p>【授業の一般目標】</p> <p>コアカリに記載されている学習項目の内容を理解する</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>1. コアカリに記載されている学習項目の内容を理解する</p> <p>【準備学習項目】</p> <p>今まで学んだコアカリの範囲</p> <p>A-1, A-2, A-3, A-4, A-5, A-7</p> <p>【学習場所・媒体等】</p> <p>【講義】302 教室 PC</p> <p>【学習方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>302 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>必修の基本的事項</p> <p>4 歯科医療の質と安全の確保</p> <p>イ 医療事故の防止</p> <p>b 医療事故の発生要因</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>A 基本事項</p> <p>A-5 歯科医療における安全性への配慮と危機管理</p> <p>A-5-1) 安全性の確保</p> <p>*①歯科医療における事故の特異性を説明できる。</p> <p>*②実際の医療には、多職種が多段階の医療業務内容に関与していることを具体的に説明できる。</p> <p>*③医療上の事故等を防止するには、個人の注意力はもとより組織的なリスク管理が重要であることを説明できる。</p> <p>*④医療の安全性に関する情報 (薬剤等の副作用、薬害や医療過誤等の事例 (経緯を含む)、やってはいけないこと、優れた取組事例等) を共有し、事後に役立てるための分析の重要性を説明できる。</p> <p>*⑤医療機関における医療安全管理体制の在り方 (事故報告書、インシデントレポート、リスク管理者、事故防止委員会、事故調査委員会等) を概説できる。</p> <p>*⑥医療の安全性確保のため、職種・段階に応じた能力向上の必要性を説明できる。</p> <p>*⑦医療の安全性確保のため、職種・段階に応じた能力向上の必要性を説明できる。</p> <p>*⑧医療関連感染症の原因および回避する方法を概説できる。</p>	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一
2014/12/18 (木) 3時限	10. 基本的事項 基本的事項 (医の倫	<p>【授業の一般目標】</p> <p>コアカリに記載されている学習項目の内容を理解する</p>	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
13:00~14:30	理・医療事故・コミュニケーションなど)	<p>【行動目標 (SBOs)】 1. コアカリに記載されている学習項目の内容を理解する</p> <p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 (C-4-5), E-2-2), 4)</p> <p>【学習場所・媒体等】 【講義】302 教室 PC</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 4 歯科医療の質と安全の確保 イ 医療事故の防止 e 医療危機管理 <リスクマネジメント></p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-5 歯科医療における安全性への配慮と危機管理 A-5-1) 安全性の確保 *①歯科医療における事故の特異性を説明できる。 *②実際の医療には、多職種が多段階の医療業務内容に関与していることを具体的に説明できる。 *③医療上の事故等を防止するには、個人の注意力はもとより組織的なリスク管理が重要であることを説明できる。 *④医療現場における報告・連絡・相談および診療録記載の重要性について説明できる。 *⑥医療機関における医療安全管理体制の在り方 (事故報告書、インシデントレポート、リスク管理者、事故防止委員会、事故調査委員会等) を概説できる。 ⑦医療の安全性確保のため、職種・段階に応じた能力向上の必要性を説明できる。 *⑧医療関連感染症の原因および回避する方法を概説できる。</p>	伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一
2014/12/22 (月) 2時限 10:40~12:10	平常試験	<p>【授業の一般目標】 これまでの講義内容に対する理解度の確認</p> <p>【準備学習項目】 これまでの講義内容</p> <p>【学習場所・媒体等】 302教室 PC Webクラスを用いた試験</p> <p>【学習方略 (LS)】 演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302 教室</p>	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一
2014/12/22 (月) 3時限 13:00~14:30	プレテスト	<p>【授業の一般目標】 これまでの学習内容に対する理解度の確認</p> <p>【準備学習項目】 これまでの学習内容</p> <p>【学習場所・媒体等】 302教室 PC Webクラスを用いた試験</p> <p>【学習方略 (LS)】 演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302 教室</p>	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一
2014/12/24 (水) 2時限 10:40~12:10	11. 口腔衛生・関連法規	<p>【授業の一般目標】 コアカリに記載されている学習項目の内容を理解する</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. コアカリに記載されている学習項目の内容を理解する</p> <p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 (B-1, B-2-1), 2), 3), B-3-1), 2), B-4-1), 2), 3)</p> <p>【学習場所・媒体等】 【講義】302 教室 PC</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302 教室</p>	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/24 (水) 2時限 10:40~12:10	11. 口腔衛生・関連法規	<p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健医療論 1 健康・疾病・障害の概念 ア 健康の概念</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-1 健康の概念 *①健康の概念を説明できる。 *②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 *③疾病の概念、種類および予防を概説できる。 B-2 健康と社会、環境 B-2-1) 歯科医師法・関係法規 *①歯科医師法を概説できる。 *②医療法を概説できる。 *③歯科衛生士法と歯科技工士法を概説できる。 *④医師法、薬剤師法および保健師助産師看護師法を概説できる。</p>	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一
2014/12/25 (木) 2時限 10:40~12:10	11. 口腔衛生・関連法規	<p>【授業の一般目標】 コアカリに記載されている学習項目の内容を理解する</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. コアカリに記載されている学習項目の内容を理解する</p> <p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 B-1, B-2-1), 2), 3), B-3-1), 2), B-4-1), 2), 3)</p> <p>【学習場所・媒体等】 【講義】302 教室 PC</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302 教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健医療論 3 保健・医療・福祉・介護の仕組みと資源 ア 衛生行政の組織</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-2 健康と社会、環境 B-2-2) 保健・医療・福祉制度 *①保健・医療制度を説明できる。【産業保健および医療供給体制を含む。】 *②医療保険制度を説明できる。【医療経済（国民医療費）を含む。】 *③介護保険制度を説明できる。 *④社会福祉制度を説明できる。 *⑤高齢者のおかれた社会環境を説明できる。 *⑥障害者のおかれた社会環境を説明できる。 *⑦ノーモラライゼーションの考え方を説明できる。 *⑧地域医療に求められる役割と機能および体制等、地域医療の在り方を概説できる。 *⑨地域における保健・医療・福祉・介護の分野間の連携および他職種間の連携の必要性について説明できる。 *⑩地域医療の基盤となるプライマリ・ケアの必要性を説明できる。</p>	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一
2014/12/25 (木) 3時限 13:00~14:30	11. 口腔衛生・関連法規	<p>【授業の一般目標】 コアカリに記載されている学習項目の内容を理解する</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. コアカリに記載されている学習項目の内容を理解する</p> <p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-4-5), E-2-2), 4)</p> <p>【学習場所・媒体等】 【講義】302 教室 PC</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302 教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 1 健康の保持・増進と予防 ア 健康教育・学習、保健指導、健康相談</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-2 健康と社会、環境 B-2-4) 環境と健康 *①環境による健康への影響を説明できる。 *②環境基準と環境汚染を説明できる。 B-3 予防と健康管理 B-3-1) 予防の概念</p>	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/25 (木) 3時限 13:00~14:30	11. 口腔衛生・関連法規	<p>*①第一次、第二次および第三次予防を説明できる。 *②プロフェッショナルケア、セルフケアおよびコミュニティケアを説明できる。 *③プライマリヘルスケアとヘルスプロモーションを説明できる。 B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理 *①主な口腔疾患(う蝕、歯周疾患、不正咬合)の予防を説明できる。【生活習慣病の改善指導を含む。】 *②う蝕予防におけるフッ化物の応用方法を説明できる。【予防充填とブラークコントロールを含む。】 *③ライフステージにおける予防を説明できる。 *④集団レベルの予防と健康管理(地域歯科保健、学校歯科保健、産業歯科保健)を説明できる。 *⑤口腔ケアの意義と効果を説明できる。</p>	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一
2015/01/08 (木) 3時限 13:00~14:30	11. 口腔衛生・関連法規	<p>【授業の一般目標】 コアカリに記載されている学習項目の内容を理解する</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. コアカリに記載されている学習項目の内容を理解する</p> <p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 (C-4-5), E-2-2), 4)</p> <p>【学習場所・媒体等】 【講義】302 教室 PC</p> <p>【学習方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 302 教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論II 健康管理・増進と予防 1 健康の保持・増進と予防 オ 口腔の環境・機能</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-4 疫学・保健医療統計 B-4-1) 口腔疾患の疫学 *①疫学とEBM の概念を説明できる。 *②スクリーニング検査を説明できる。 *③口腔疾患の疫学的指標を説明できる。 B-4-2) 保健医療統計 *①主な保健医療統計(人口動態・静態統計、患者調査、医療施設調査、医師・歯科医師・薬剤師調査、歯科疾患実態調査、学校保健統計調査)を説明できる。 *②主な健康指標(平均寿命、平均余命、新生児・乳幼児死亡率)を説明できる。 *③調査方法と統計的分析法を説明できる。 B-4-3) 保健医療情報 *①保健医療情報の取扱いと情報のセキュリティーを説明できる。【診療情報(診療録等)を含む。】 *②医療情報の開示に関する注意点を説明できる。</p>	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一
2015/01/13 (火) 3時限 13:00~14:30	自主学習 個人面談	<p>【授業の一般目標】 これまでの学習内容をすべて復習する</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. これまでの学習内容をすべて復習する</p> <p>【準備学習項目】 これまでの学習内容</p> <p>【学習場所・媒体等】 【講義】302 教室 PC</p> <p>【学習方略(LS)】 その他</p> <p>【場所(教室/実習室)】 302 教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一
2015/01/14 (水) 2時限 10:40~12:10	12. 発生・成長・加齢とその疾患	<p>【授業の一般目標】 コアカリに記載されている学習項目の内容を理解する</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. コアカリに記載されている学習項目の内容を理解する</p> <p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 (C-4-5), E-2-2), 4)</p> <p>【学習場所・媒体等】 【講義】302 教室 PC</p> <p>【学習方略(LS)】</p>	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/14 (水) 2時限 10:40～12:10	12. 発生・成長・加齢とその疾患	<p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 7 人体の発生・成長・発達・加齢 ア 人体の成長発育 a 発育区分（出生前期、新生児期、乳児期、幼児期、学童期、思春期）</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-1 生命の分子的基盤 C-1-1) 生命を構成する基本物質 *①アミノ酸とタンパク質の構造、機能および代謝を説明できる。 *②糖質の構造、機能および代謝を説明できる。 *③脂質の構造、機能および代謝を説明できる。 *④生体内におけるエネルギー利用を説明できる。 *⑤酵素の機能と主な代謝異常を説明できる。 C-2 人体の構造と機能 C-2-2) 個体発生、器官発生 *①個体発生と器官発生を概説できる。 C-2-4) 人体諸器官の成長、発育と加齢変化 *①人体諸器官の形態と機能の成長、発育および加齢に伴う変化を説明できる。</p>	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一
2015/01/15 (木) 3時限 13:00～14:30	12. 発生・成長・加齢とその疾患	<p>【授業の一般目標】 コアカリに記載されている学習項目の内容を理解する</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. コアカリに記載されている学習項目の内容を理解する</p> <p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-2-2), 3), 4), E-3-1), 2), E-4-1), 2), 3), 4), 5)</p> <p>【学習場所・媒体等】 【講義】302教室 PC</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論V 発生、成長、発達、加齢 1 人体の発生・成長・発達・加齢 ア 生殖、初期発生</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-2) 個体発生、器官発生 *①個体発生と器官発生を概説できる。 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (1) 組織（上皮組織、結合組織、筋組織）【神経組織の構造と機能はC-2-3) - (5) 神経系の項を参照】 *①上皮を形態的および機能的に分類できる。 C-2-4) 人体諸器官の成長、発育と加齢変化 *①人体諸器官の形態と機能の成長、発育および加齢に伴う変化を説明できる。 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-3) 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の発生、成長・発育および加齢とその異常 *①口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の発生を概説できる。 *②一次口蓋と二次口蓋の発生を説明できる。 *③口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の成長・発育および加齢による変化を説明できる。【歯の喪失に伴う変化を含む。】 *④口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の成長・発育異常（不正咬合）を説明できる。 *⑤舌と唾液腺の発生とその加齢現象を説明できる。 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (1) 先天異常および後天異常 *①口唇・口腔・頭蓋・顎顔面に症状をきたす先天性異常を説明できる。 *②口唇・口蓋裂の病態と治療方針を説明できる。</p>	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一
2015/01/19 (月) 2時限 10:40～12:10	12. 発生・成長・加齢とその疾患	<p>【授業の一般目標】 コアカリに記載されている学習項目の内容を理解する</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. コアカリに記載されている学習項目の内容を理解する</p> <p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-2-2), 3), 4), E-3-1), 2), E-4-1), 2), 3), 4), 5)</p> <p>【学習場所・媒体等】 【講義】302教室</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p>	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/19 (月) 2時限 10:40～12:10	12. 発生・成長・加齢とその疾患	302教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論V 発生、成長、発達、加齢 4 歯・口腔・顎・顔面・頭蓋の成長発育 イ 顔面頭蓋の成長発育 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-2) 個体発生、器官発生 *①個体発生と器官発生を概説できる。 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-3) 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の発生、成長・発育および加齢とその異常 *①口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の発生を概説できる。 *②一次口蓋と二次口蓋の発生を説明できる。 *③口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の成長・発育および加齢による変化を説明できる。【歯の喪失に伴う変化を含む。】 *④口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の成長・発育異常（不正咬合）を説明できる。 *⑤舌と唾液腺の発生とその加齢現象を説明できる。 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (1) 先天異常および後天異常 *①口唇・口腔・頭蓋・顎顔面に症状をきたす先天性異常を説明できる。 *②口唇・口蓋裂の病態と治療方針を説明できる。	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一
2015/01/19 (月) 3時限 13:00～14:30	12. 発生・成長・加齢とその疾患	【授業の一般目標】 コアカリに記載されている学習項目の内容を理解する 【行動目標（SBOs）】 1. コアカリに記載されている学習項目の内容を理解する 【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-2-2), 3), 4), E-3-1), 2), E-4-1), 2), 3), 4), 5) 【学習場所・媒体等】 【講義】302 教室 PC 【学習方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 302教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論V 発生、成長、発達、加齢 4 歯・口腔・顎・顔面・頭蓋の成長発育 ウ 歯列・咬合の成長発育 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-2) 個体発生、器官発生 *①個体発生と器官発生を概説できる。 C-2-4) 人体諸器官の成長、発育と加齢変化 *①人体諸器官の形態と機能の成長、発育および加齢に伴う変化を説明できる。 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-3) 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の発生、成長・発育および加齢とその異常 *①口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の発生を概説できる。 *②一次口蓋と二次口蓋の発生を説明できる。 *③口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の成長・発育および加齢による変化を説明できる。【歯の喪失に伴う変化を含む。】 *④口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の成長・発育異常（不正咬合）を説明できる。 *⑤舌と唾液腺の発生とその加齢現象を説明できる。 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (1) 先天異常および後天異常 *①口唇・口腔・頭蓋・顎顔面に症状をきたす先天性異常を説明できる。 *②口唇・口蓋裂の病態と治療方針を説明できる。	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一
2015/01/20 (火) 3時限 13:00～14:30	12. 発生・成長・加齢とその疾患	【授業の一般目標】 コアカリに記載されている学習項目の内容を理解する 【行動目標（SBOs）】 1. コアカリに記載されている学習項目の内容を理解する 【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-2-2), 3), 4), E-3-1), 2), E-4-1), 2), 3), 4), 5) 【学習場所・媒体等】 【講義】302 教室 PC 【学習方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 302教室	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/20 (火) 3時限 13:00~14:30	12. 発生・成長・加齢とその疾患	<p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 4 歯科医療の質と安全の確保 イ 医療事故の防止 c 患者の安全管理（誤飲、誤嚥、誤薬、出血、外傷、感染、被曝、目の保護）</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-2) 個体発生、器官発生 *①個体発生と器官発生を概説できる。 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-3) 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の発生、成長・発育および加齢とその異常 *①口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の発生を概説できる。 *②一次口蓋と二次口蓋の発生を説明できる。 *③口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の成長・発育および加齢による変化を説明できる。【歯の喪失に伴う変化を含む。】 *④口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の成長・発育異常（不正咬合）を説明できる。 *⑤舌と唾液腺の発生とその加齢現象を説明できる。 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (1) 先天異常および後天異常 *①口唇・口腔・頭蓋・顎顔面に症状をきたす先天性異常を説明できる。 *②口唇・口蓋裂の病態と治療方針を説明できる。</p>	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛一 吉野 祥一
2015/01/21 (水) 2時限 10:40~12:10	12. 発生・成長・加齢とその疾患	<p>【授業の一般目標】 コアカリに記載されている学習項目の内容を理解する</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. コアカリに記載されている学習項目の内容を理解する</p> <p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-2-2), 3), 4), E-3-1), 2), E-4-1), 2), 3), 4), 5)</p> <p>【学習場所・媒体等】 【講義】302 教室 PC</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302 教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論 V 発生、成長、発達、加齢 1 人体の発生・成長・発達・加齢 ク 加齢、老化</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-2) 個体発生、器官発生 *①個体発生と器官発生を概説できる。 C-2-4) 人体諸器官の成長、発育と加齢変化 *①人体諸器官の形態と機能の成長、発育および加齢に伴う変化を説明できる。 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-3) 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の発生、成長・発育および加齢とその異常 *①口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の発生を概説できる。 *②一次口蓋と二次口蓋の発生を説明できる。 *③口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の成長・発育および加齢による変化を説明できる。【歯の喪失に伴う変化を含む。】 *④口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の成長・発育異常（不正咬合）を説明できる。 *⑤舌と唾液腺の発生とその加齢現象を説明できる。 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (1) 先天異常および後天異常 *①口唇・口腔・頭蓋・顎顔面に症状をきたす先天性異常を説明できる。 *②口唇・口蓋裂の病態と治療方針を説明できる。</p>	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛一 吉野 祥一
2015/01/22 (木) 3時限 13:00~14:30	12. 発生・成長・加齢とその疾患	<p>【授業の一般目標】 コアカリに記載されている学習項目の内容を理解する</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. コアカリに記載されている学習項目の内容を理解する</p> <p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-2-2), 3), 4), E-3-1), 2), E-4-1), 2), 3), 4), 5)</p> <p>【学習場所・媒体等】 【講義】302 教室 PC</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302 教室</p>	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛一 吉野 祥一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/22 (木) 3時限 13:00~14:30	12. 発生・成長・加齢とその疾患	<p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論V 発生、成長、発達、加齢 4 歯・口腔・顎・顔面・頭蓋の成長発育 イ 顔面頭蓋の成長発育</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-3) 高齢者の歯科治療 *①老化の身体的、精神的および心理的特徴を説明できる。 *②老化に伴う口腔諸組織の構造と機能の変化を説明できる。 *③高齢者に多くみられる疾患を説明できる。 *④高齢者における口腔ケア処置について説明できる。 *⑤口腔機能向上による介護予防について説明できる。 *⑥高齢者の歯科治療時の全身管理を説明できる。 *⑧要介護高齢者(在宅要介護者も含む)の歯科治療時の注意点を説明できる。 *⑨歯科訪問診療について説明できる。 *⑩摂食・嚥下障害の診察、検査、診断を説明できる。 *⑪摂食・嚥下リハビリテーションを説明できる。</p>	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一
2015/01/26 (月) 2時限 10:40~12:10	平常試験	<p>【授業の一般目標】 これまでの講義内容を説明できる</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. これまでの講義内容を説明できる</p> <p>【準備学習項目】 これまでの講義内容</p> <p>【学習場所・媒体等】 302教室PCWebクラスを用いた試験</p> <p>【学習方略（LS）】 その他</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一
2015/01/26 (月) 3時限 13:00~14:30	共用試験（CBT・OSCE）受験に当たっての諸注意	<p>【準備学習項目】</p> <p>【学習場所・媒体等】 302教室</p> <p>【学習方略（LS）】 演習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一
2015/01/27 (火) 3時限 13:00~14:30	自学自習	<p>【授業の一般目標】 これまでの学習内容をすべて復習する</p> <p>【準備学習項目】 これまでの学習項目</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一
2015/01/28 (水) 2時限 10:40~12:10	自主学習	<p>【授業の一般目標】 これまでの学習内容をすべて復習する</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. これまでの学習内容をすべて復習する</p> <p>【準備学習項目】 これまでの学習内容</p> <p>【学習方略（LS）】 その他</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p>	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/28 (水) 2時限 10:40～12:10	自主学習	【国家試験出題基準 (主)】 【コアカリキュラム】	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一
2015/01/29 (木) 3時限 13:00～14:30	自主学習	【授業の一般目標】 これまでの学習内容をすべて復習する 【準備学習項目】 これまでの学習内容 【学習方略 (L S)】 その他 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 【コアカリキュラム】	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一
2015/02/02 (月) 2時限 10:40～12:10	自主学習	【授業の一般目標】 これまでの学習内容をすべて復習する 【準備学習項目】 これまでの学習内容 【学習方略 (L S)】 その他 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 【コアカリキュラム】	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一
2015/02/02 (月) 3時限 13:00～14:30	模擬試験 個人面談	【授業の一般目標】 これまでの学習内容を説明できる 【行動目標 (SBOs)】 1. これまでの学習内容を説明できる 【学習方略 (L S)】 その他 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 【コアカリキュラム】	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一
2015/02/03 (火) 3時限 13:00～14:30	自主学習	【授業の一般目標】 これまでの学習内容をすべて復習する 【行動目標 (SBOs)】 1. これまでの学習内容をすべて復習する 【準備学習項目】 これまでの学習内容すべて 【学習方略 (L S)】 その他 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 【コアカリキュラム】	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一
2015/02/05 (木) 2時限 10:40～12:10	自主学習	【授業の一般目標】 これまでの学習内容をすべて復習する 【行動目標 (SBOs)】 1. これまでの学習内容をすべて復習する 【準備学習項目】 これまでの学習内容すべて 【学習方略 (L S)】 その他 【場所 (教室/実習室)】 302教室	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/02/05 (木) 2時限 10:40~12:10	自主学習	【国家試験出題基準 (主)】 【コアカリキュラム】	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一
2015/02/05 (木) 3時限 13:00~14:30	自主学習	【授業の一般目標】 これまでの学習内容をすべて復習する 【行動目標 (SBOs)】 1. これまでの学習内容をすべて復習する 【準備学習項目】 これまでの学習内容すべて 【学習方略 (LS)】 その他 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 【コアカリキュラム】	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一
2015/02/09 (月) 2時限 10:40~12:10	自主学習	【授業の一般目標】 これまでの学習内容をすべて復習する 【行動目標 (SBOs)】 1. これまでの学習内容をすべて復習する 【準備学習項目】 これまでの学習内容すべて 【学習方略 (LS)】 その他 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 【コアカリキュラム】	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一
2015/02/09 (月) 3時限 13:00~14:30	自主学習	【授業の一般目標】 これまでの学習内容をすべて復習する 【行動目標 (SBOs)】 1. これまでの学習内容をすべて復習する 【学習方略 (LS)】 その他 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 【コアカリキュラム】	大峰 浩隆 宇都宮 忠彦 伊藤 誠康 大口 純人 岡本 康裕 岡本 京 岡部 達 北川 剛至 田口 千恵子 林 佐智代 布施 恵 平川 剛 吉野 祥一

小児歯科学

年次	学期	学則科目責任者
4年次	通年	清水 武彦 (小児歯科学)

学習目標 (G I O)	小児歯科学は他の学科目と異にし包括歯科医療を行い、その対象は成長発育の過程にある乳児から20歳前までと広いことから多岐に亘る知識と他科との相互理解を必要とする。心身の成長と顎顔面、歯、口腔軟組織の発育ならびに咀嚼、咬合の発達を形態、構造、機能の面から正常と異常また疾患を対比し、治療を中心とした臨床実習へ進むために基本的な知識を理解し説明できる。
担当教員	清水 武彦、清水 邦彦、荒井 清司、岡本 京、伊藤 龍朗、根本 晴子、前田 隆秀、青木 望、※赤羽 康彦、※有馬 嗣雄、※生田 剛史、※生田 哲、伊藤 奈々、※井上 雄温、※植松 晃樹、※臼井 朗、※太田 宅哉、※岡本 和久、※小川 恭央、小尾 友美、折野 大輔、※倉田 康弘、※倉持 治彦、※栗田 朋治、※小林 亮介、※小宮 城治、※清水 久美子、砂田 怜子、※高澤 竜一郎、※田中 眞理、※谷 博司、※寺田 英史、※中村 佐和子、※中村 均、※中山 務、※西川 康博、※原 昌伸、平井 則光、※松村 東栄、※三好 克実、※山崎 優、※横屋 知恵子、※吉田 明弘
教科書	小児の口腔科学 第3版 前田隆秀 他 学建書院 小児歯科学基礎・臨床実習 大東道治 他 医歯薬出版
実習器材	小児顎模型、石膏歯牙模型、ワックス棒、スチールバー、カーバイドバー、金冠バサミ、乳歯冠、印象材、コバルトクロム線、ラバダムシート他
評価方法 (E V)	前期講義：前期期間最後（9月12日）に行う平常試験（各80%）と講義中の態度（出席状況を含む）（20%）によって評価する。平常試験の結果に応じて、補講を行う事がある。 後期実習：実習評価（40%）、小テスト（30%）、平常試験（10%）と実習態度（20%）によって評価する。 態度評価は出席状態を含む。前期平常試験の再試、後期平常試験の追、再試験は原則行わない。 前期講義回数の1/5以上または後期実習回数の1/5以上を欠席した場合、成績評価は0～60点とする。 最終評価は、前期50%、後期50%の割合とする。
学生へのメッセージ オフィスアワー	小児歯科というと乳幼児歯科学と誤解しないで欲しい、誕生から20歳前までの成長発育期にある人間を対象とした包括歯科医学であり、予測というロマンに満ちた学問。“小児歯科学は予測の学問である”

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/04 (金) 1時限 09:00～10:30	小児歯科学の定義、目的と特異性 小児歯科学の歴史 小児の発育 身体発育の特徴 精神的発育の特徴	<p>【授業の一般目標】 小児の歯科治療を行えるようになるために、小児の心身の発育を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 小児歯科学とはどのような学問であり、臨床であるかを説明できる。 2. 小児歯科学の発生・変遷とその社会的背景を説明できる。 3. 小児歯科学の包括歯科医療について理解し、他科ならびに周辺医学領域の必要性を説明できる。 4. 発育の原則を述べ正常と異常を対比し理解し説明できる。 5. 乳児から成人前期に至る身体発育の特徴を理解し説明できる。 6. 精神ならびに情緒の発達を述べ小児歯科臨床との関わりを理解し説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 小児の発育 身体発育の特徴 精神的発育の特徴</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 7 人体の発生・成長・発達・加齢 ア 人体の成長発育 c 成長発育・発達の特徴 (身体成長、原始反射、運動の発達、社会性の発達、言語の発達、情動の発達)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 7 人体の発生・成長・発達・加齢 ア 人体の成長発育 a 発育区分 (出生前期、新生児期、乳児期、幼児期、学童期、思春期) b 発育期の特徴</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 *①小児の身体発育、精神発達の特徴と評価法を説明できる。</p>	清水 武彦
2014/04/11 (金) 1時限	小児の発育 身体発育の特徴	<p>【授業の一般目標】 小児の歯科治療を行えるようになるために、小児の心身の発育を理解する。</p>	清水 武彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
09:00～10:30	精神的発達の特徴 小児歯科生理学的特徴	<p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 乳児から成人前期に至る身体発育の特徴を理解し説明できる。 2. 精神ならびに情緒の発達を述べ小児歯科臨床との関わりを理解し説明できる。 3. 小児の体温の変移、血圧、脈波、血液成分等の生理の特徴が説明できる。 <p>【準備学習項目】 小児の心身の発育</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 7 人体の発生・成長・発達・加齢 ア 人体の成長発育 c 成長発育・発達の特徴（身体成長、原始反射、運動の発達、社会性の発達、言語の発達、情動の発達）</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 7 人体の発生・成長・発達・加齢 ア 人体の成長発育 b 発育期の特徴 d 小児の生理学的特徴 e 身体成長と精神発達の評価法（Kaup指数、Rohrer指数、BMI、歴年齢、生理学的年齢、発達スクリーニング検査）</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 *①小児の身体発育、精神発達の特徴と評価法を説明できる。</p>	清水 武彦
2014/04/18（金） 1時限 09:00～10:30	頭蓋顎顔面の発育とその評価法 口腔機能の発達 歯列・咬合の発育	<p>【授業の一般目標】 小児の歯科治療を理解するために、頭蓋顎顔面・歯列咬合の発育を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 頭蓋の発育パターンを理解し説明できる。 2. 顔面頭蓋の発育パターンを理解し説明できる。 3. 無歯期から永久歯列に至る歯列咬合の発育変化を理解し説明できる。 <p>【準備学習項目】 頭蓋顎顔面・歯列咬合の発育</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 7 人体の発生・成長・発達・加齢 イ 歯・口腔・顎・顔面の発生・成長発育 a 歯・歯列の成長発育（歯の発生、発育時期、萌出時期・順序、歯の脱落・交換時期、歯齢）</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 7 人体の発生・成長・発達・加齢 イ 歯・口腔・顎・顔面の発生・成長発育 b 上顎骨・下顎骨の成長発育の特徴 歯科医学総論 総論V 発生、成長、発達、加齢 4 歯・口腔・顎・顔面・頭蓋の成長発育 ウ 歯列・咬合の成長発育</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *①歯の発生、発育および交換の過程を説明できる。【構成成分とその変化を含む。】</p>	清水 武彦
2014/04/25（金） 1時限 09:00～10:30	乳歯、幼若永久歯の特徴 歯の発育と異常 歯の形成 歯の形成異常 萌出の異常 歯の形態・構造の異常 歯の色調の異常	<p>【授業の一般目標】 小児の歯科治療を理解するために、歯の形態、発育と異常を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 歯の発育過程と発育段階とその評価法を理解し説明できる。 2. 歯の発育時期と形成障害とその理由を理解し説明できる。 3. 歯数、形態、構造、色調の異常を理解し説明できる。 4. 幼若永久歯の形態、組織、物理的特徴を述べ、易齲蝕性であることを理解し説明できる。 <p>【準備学習項目】 歯の発育と異常 乳歯、幼若永久歯の特徴</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p>	清水 武彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/25 (金) 1時限 09:00~10:30	乳歯、幼若永久歯の特徴 歯の発育と異常 歯の形成 歯の形成異常 萌出の異常 歯の形態・構造の異常 歯の色調の異常	302教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 7 人体の発生・成長・発達・加齢 イ 歯・口腔・顎・顔面の発生・成長発育 a 歯・歯列の成長発育（歯の発生、発育時期、萌出時期・順序、歯の脱落・交換時期、歯齢） 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 4 歯・歯周組織の構造と機能 ア 歯の形態 総論Ⅴ 発生、成長、発達、加齢 3 歯・口腔・顎・顔面の発生 カ 歯の形成・萌出 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 3 歯の異常 ア 過剰歯 イ 歯の先天欠如 ウ 癒合歯、癒着歯、双生歯 エ 異常咬頭・結節 シ エナメル質形成不全〔症〕 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *②歯種別の形態と特徴を説明できる。 *③歯（乳歯、幼若永久歯を含む）の硬組織の構造と機能を説明できる。【構成成分とその特徴を含む。】	清水 武彦
2014/05/09 (金) 1時限 09:00~10:30	小児歯科診療システム 口腔管理計画 1) 小児の口腔健康管理 2) 診査と診断 3) 集団を対象とする歯科保健 小児の虐待の兆候と対応	【授業の一般目標】 小児の歯科治療を理解するために、小児歯科診療システムと児童虐待の徴候と対応について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 小児の診療体系の流れを理解する。 2. 小児の診察、診療計画、定期健康診査について理解する。 3. 保護者へのインフォームドコンセントについて理解する。 4. 小児歯科での医療面接の特徴について理解する。 5. 虐待の種類、虐待が生じる要因と口腔状態が説明できる。 【準備学習項目】 小児歯科診療システム 【学習方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅹ 治療 1 治療計画 ア 治療計画の立案 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 9 主要な症候 イ 歯・口腔・顎・顔面の症候のとらえ方 a 口腔・顎・顔面の一般的症候（疼痛、腫脹、腫瘍、色調の変化、熱感、出血、癢、硬さの異常、触感の異常、機能障害） 歯科医学総論 総論Ⅷ 診察 2 小児への対応 ウ 診察 エ 評価 必修の基本的事項 11 検査の基本 ア 意義、目標 a 診断 8 医療面接 ア 意義、目的 a 医療情報の収集・提供 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-1) 基本的診療技能 *①診察、検査および診断に必要な事項を列挙できる。 A 基本事項 A-4 インフォームドコンセント *①インフォームドコンセントの意義と重要性を説明できる。 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-1) 基本的診療技能 ⑩基本的診察および検査結果よりの確な診断と治療方針を立案し説明できる。 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 ⑫小児の虐待の徴候と対応について説明できる。	清水 武彦
2014/05/16 (金)	小児歯科治療時に	【授業の一般目標】	前田 隆秀

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
1時限 09:00～10:30	留意すべき小児疾患 心身障害児の歯科医療	<p>小児の歯科治療を理解するために、歯科治療時に留意すべき小児疾患と心身障害児の歯科医療について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 先天性心疾患を有する小児の歯科治療を理解する。 2. 免疫不全症を有する小児の歯科治療について説明できる。 3. 出血傾向を有する患児の解説と観血処置時の注意を説明できる。 4. 内分泌疾患を有し易ショック性が疑われる患児の解説と歯科治療を説明できる。 5. 心身障害児の種類とその病態を説明できる。 6. 心身障害児の歯科治療の特徴が説明できる。 <p>【準備学習項目】 小児歯科治療時に留意すべき小児疾患</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅷ 診察 6 全身疾患を有する者への対応 ア 留意すべき疾患</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅷ 診察 3 障害者への対応 ア 障害の概念 イ 障害の分類</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (9) 口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す疾患 *①口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す血液疾患（貧血、出血性素因、白血病）とスクリーニング検査法を列挙できる。</p>	前田 隆秀
2014/05/23（金） 1時限 09:00～10:30	小児への歯科的対応	<p>【授業の一般目標】 小児の歯科治療を理解するために、小児への歯科的対応を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 小児への歯科的対応が説明できる。 2. 歯科診療を行うにあたって知っておくべき小児の心理を理解し説明できる。 3. 年齢別にみた歯科的対応を理解し説明できる。 4. 診療内容からみた歯科的対応を述べ、成人の対応と異なることを理解し説明できる。 <p>【準備学習項目】 小児への歯科的対応</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅷ 診察 2 小児への対応 イ 心理・社会的特徴</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅹ 治療 2 治療の基礎 ケ 小児の治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 *⑩小児患者の対応について説明できる。 ⑫小児の虐待の徴候と対応について説明できる。</p>	清水 武彦 前田 隆秀
2014/05/30（金） 1時限 09:00～10:30	小児の齲蝕 小児の齲蝕予防	<p>【授業の一般目標】 小児の歯科治療を理解するために、小児の齲蝕と予防を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 小児齲蝕の年次推移を説明できる。 2. 乳歯齲蝕の特徴を説明できる。 3. 幼若永久歯齲蝕の特徴を説明できる。 4. フッ化物の応用法とその効果を理解し説明できる。 5. シーラントの効果、術式、注意点をあげ、理解し説明できる。 6. 小児のブラッシング指導について説明できる。 <p>【準備学習項目】 小児の齲蝕と予防</p>	清水 武彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/05/30 (金) 1時限 09:00～10:30	小児の齲蝕 小児の齲蝕予防	<p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅰ 歯科疾患の予防・管理 1 齲蝕の予防・管理 オ 齲蝕の予防手段</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅰ 歯科疾患の予防・管理 1 齲蝕の予防・管理 ア 齲蝕の原因 キ フッ化物の応用法 7 食育と食の支援 ウ 間食指導 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 小児の歯の硬組織疾患 ア 乳歯齲蝕 イ 幼若永久歯齲蝕 ウ 齲蝕のリスクファクター</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 *②乳歯と幼若永久歯のう蝕の特徴、う蝕予防を説明できる。 *③乳歯と幼若永久歯のう蝕の診察、検査と診断を説明できる。</p>	清水 武彦
2014/06/06 (金) 1時限 09:00～10:30	小児の歯冠修復 小児の歯内療法	<p>【授業の一般目標】 小児の歯科治療を理解するために、小児の歯内療法を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯冠修復の種類とその適応症が説明できる。 2. 乳歯の歯髄炎の分類が説明できる。 3. 乳歯の断髄法の種類と術式が説明できる。 4. 乳歯の根管治療が説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 小児の歯冠修復 小児の歯内療法</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 ア 乳歯・幼若永久歯の歯冠修復法</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 4 小児の歯髄・根尖性歯周組織疾患 ア 乳歯の歯髄疾患 イ 乳歯の根尖性歯周組織疾患 ウ 幼若永久歯の歯髄疾患 エ 幼若永久歯の根尖性歯周組織疾患</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 *④乳歯と幼若永久歯の歯冠修復の目的と種類、適応症、手順と留意事項を説明できる。【小児のラバーダム防湿法を含む。】 *⑤乳歯と根未完成永久歯の歯髄炎・根尖歯周組織疾患の診察、検査と診断を説明できる。 *⑥乳歯と根未完成永久歯の歯髄炎・根尖歯周組織疾患の処置法の種類と適応症、予後および手順と留意点を説明できる。</p>	清水 武彦
2014/06/13 (金) 1時限 09:00～10:30	小児の歯周疾患 小児の歯肉炎と歯周炎	<p>【授業の一般目標】 小児の歯科治療を理解するために、小児の歯周疾患について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 小児の歯周組織の健康状態が認識できて説明できる。 2. 不潔性歯肉炎が説明できる。 3. 思春期前歯周炎が説明できる。 4. 小児の侵襲性歯周炎が説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 小児の歯周疾患</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p>	清水 武彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/13 (金) 1時限 09:00～10:30	小児の歯周疾患 小児の歯肉炎と歯周炎	302教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 7 小児の歯周病 イ 歯周病への対応 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 7 小児の歯周病 ア 歯周病の特徴 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 *⑦小児の歯の外傷・粘膜疾患の診察、検査と診断および処置法と予後を説明できる。	清水 武彦
2014/06/20 (金) 1時限 09:00～10:30	小児期の外科処置 小児の局所麻酔 小児の抜歯	【授業の一般目標】 小児の歯科治療を理解するために、小児の外科処置を理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 上唇、下唇小帯の切除術の適応と術式を理解し説明できる。 2. 小児期における無痛の局所麻酔の操作法が説明できる。 3. 乳歯の抜歯時の注意点が説明できる。 4. 小児薬用量の算出法を理解し説明できる。 5. 胎児への副作用と小児自身の副作用を理解し説明できる。 【準備学習項目】 小児期の外科処置 小児の局所麻酔 小児の抜歯 【学習方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 302教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 顎・口腔領域の疾患 1 先天異常と変形を主徴とする疾患 キ 小帯の異常 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅹ 治療 5 手術基本手技 カ 抜歯 キ 口腔の小手術 9 薬物療法 ウ 薬物動態 カ 用量と反応 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-3) 歯科麻酔の基本 E-1-3)-(3) 局所麻酔法 *⑤局所麻酔法の種類と特徴を説明できる。 E-1-4) 小手術の基本手技 *①抜歯の適応症と禁忌症を説明できる。【相対的禁忌への対応および小手術の適応症と禁忌を含む。】 *②小手術の合併症（偶発症）を説明できる。 *③抜歯（小手術）に必要な器具の用法と基本手技を説明できる。 ⑨埋伏歯（智歯を含む）の抜歯法を説明できる。	清水 武彦
2014/06/27 (金) 1時限 09:00～10:30	小児の歯の外傷 乳歯ならびに永久歯の外傷	【授業の一般目標】 小児の歯科治療を理解するために、小児の歯の外傷を理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 乳歯、永久歯の外傷の特徴が説明できる。 2. 乳歯外傷が永久歯に及ぼす影響が説明できる。 3. 乳歯・永久歯の歯冠、歯根破折の処置が説明できる。 4. 乳歯・永久歯の脱臼に対しての処置が説明できる。 【準備学習項目】 小児の歯の外傷 乳歯ならびに永久歯の外傷 【学習方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 302教室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 5 歯の外傷 ウ 乳歯・幼若永久歯の外傷の処置と経過	清水 武彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/27 (金) 1時限 09:00～10:30	小児の歯の外傷 乳歯ならびに永久 歯の外傷	<p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 5 歯の外傷 ア 歯の外傷の状況と影響 イ 診察と診断、治療方針 エ 小児の歯の外傷の予防</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 *⑦小児の歯の外傷・粘膜疾患の診察、検査と診断および処置法と予後を説明できる。</p>	清水 武彦
2014/07/04 (金) 1時限 09:00～10:30	小児の口腔粘膜疾 患	<p>【授業の一般目標】 小児の歯科治療ができるようになるために、小児の口腔粘膜疾患について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1.小児期の粘膜疾患の病態を説明できる。 2.小児の口腔粘膜疾患の対応法が説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 小児の口腔粘膜疾患</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 4 歯・口腔・顎疾患 ス 舌の異常</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 4 歯・口腔・顎疾患 サ 萌出嚢胞 シ 上皮真珠 セ Riga-Fede 病 ソ Bednar アфта タ 疱疹性歯肉口内炎 チ 手足口病 ツ ヘルパンギーナ テ Koplik 班</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 *⑦小児の歯の外傷・粘膜疾患の診察、検査と診断および処置法と予後を説明できる。</p>	清水 武彦
2014/07/11 (金) 1時限 09:00～10:30	小児歯科と遺伝性 疾患 小児の口腔奇形と 先天奇形症候群	<p>【授業の一般目標】 小児の歯科治療を理解するために、小児の遺伝性疾患について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 遺伝性疾患の成因を説明できる。 2. 頭蓋顎顔面の形成異常を伴う先天奇形を供覧しその概念について考察し説明できる。 3. 歯の異常を伴う先天奇形を供覧しその概念について考察しせつめいできる。</p> <p>【準備学習項目】 小児歯科と遺伝性疾患 小児の口腔奇形と先天奇形症候群</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 1 歯・口腔・顎・顔面の発育を障害する先天異常 フ その他の先天異常・遺伝性疾患</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 1 歯・口腔・顎・顔面の発育を障害する先天異常 ウ 鎖骨頭蓋骨異形成症 <鎖骨頭蓋異骨症> オ Treacher Collins 症候群 <下顎顔面異骨症> カ Crouzon 症候群 <頭蓋顔面異骨症> ケ 第一第二鰓弓症候群 ソ エナメル質形成不全 {症} タ 象牙質形成不全症 ツ 先天性表皮水疱症 テ 先天性外胚葉形成不全 <先天性外胚葉異形成症></p>	前田 隆秀 清水 武彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/07/11 (金) 1時限 09:00～10:30	小児歯科と遺伝性疾患 小児の口腔奇形と先天奇形症候群	ナ 低フォスファターゼ症 ニ Papillon-Lefevre 症候群 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (1) 先天異常および後天異常 *①口唇・口腔・頭蓋・顎顔面に症状をきたす先天性異常を説明できる。 E-2-4) - (9) 口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す疾患 *⑤口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す症候群の種類と症状を列挙できる。	前田 隆秀 清水 武彦
2014/07/18 (金) 1時限 09:00～10:30	咬合誘導 小児の顎関節症	【授業の一般目標】 小児の歯科治療を理解するために、小児期の咬合誘導と顎関節症を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 永久歯列期の歯列長分析が理解できる。 2. 咬合誘導の理念が理解して説明できる。 3. 咬合誘導の症例をとおしてその適応と術式を説明できる。 4. 保険装置の適応を説明できる。 5. 小児の顎関節症の特徴を説明できる。 【準備学習項目】 咬合誘導 小児の顎関節症 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 6 歯列・咬合異常の予防 イ 咬合誘導の考え方 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 6 歯列・咬合異常の予防 ア 歯列・咬合異常の要因 ウ 保険 エ 動的咬合誘導 オ 口腔習癖とその対応 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 *⑧咬合誘導の概念を説明できる。 *⑨保険処置の目的と種類、適応症および留意点を説明できる。	清水 武彦
2014/09/12 (金) 1時限 09:00～10:30	前期平常試験	【授業の一般目標】 前期平常試験 【準備学習項目】 前期講義の内容を理解する。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 【コアカリキュラム】	清水 武彦 前田 隆秀
2014/10/03 (金) 1時限 09:00～10:30	乳歯の解剖学的特徴 (1)	【授業の一般目標】 乳歯の形態について説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 乳白歯の解剖学的形態の特徴を説明できる。 2. 先行乳歯と後継永久歯との違いを説明できる。 【準備学習項目】 乳歯の形態について説明できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ウ 歯・歯周組織の構造・組成・機能 a 歯の形態 (歯種の鑑別) 【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能	清水 邦彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/03 (金) 1時限 09:00~10:30	乳歯の解剖学的特徴 (1)	ウ 歯・歯周組織の構造・組成・機能 b 歯式 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *②歯種別の形態と特徴を説明できる。	清水 邦彦
2014/10/03 (金) 2時限 10:40~12:10	ガイダンス 器具配布 ワックスカービング (下顎右側第一乳臼歯)	【授業の一般目標】 下顎右側第一乳臼歯の形態について説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 下顎右側第一乳臼歯の形態を説明できる。 2. 下顎右側第一乳臼歯のワックス彫刻ができる。 【準備学習項目】 下顎右側第一乳臼歯の形態について説明できる。 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ウ 歯・歯周組織の構造・組成・機能 a 歯の形態 (歯種の鑑別) 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *②歯種別の形態と特徴を説明できる。	清水 武彦 清水 邦彦 清水 清司 荒井 京 岡本 龍朗 伊藤 晴子 根本 隆秀 前田 望 青木 彦 赤羽 康彦 有馬 嗣雄 馬生 剛史 生田 哲々 伊藤 奈々 井上 雄温 植松 晃樹 白井 朗 太田 宅哉 岡本 和久 小川 恭央 折野 大輔 倉田 康弘 倉持 治彦 栗田 朋治 小林 亮介 小宮 城治 清水 久美子 砂田 怜子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 中山 務 西川 康博 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘
2014/10/03 (金) 3時限 13:00~14:30	ワックスカービング (下顎右側第一乳臼歯)	【授業の一般目標】 下顎右側第一乳臼歯の形態について説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 下顎右側第一乳臼歯の形態を説明できる。 2. 下顎右側第一乳臼歯のワックス彫刻ができる。 【準備学習項目】 下顎右側第一乳臼歯の形態について説明できる。 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ウ 歯・歯周組織の構造・組成・機能 a 歯の形態 (歯種の鑑別) 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *②歯種別の形態と特徴を説明できる。	清水 武彦 清水 邦彦 清水 清司 荒井 京 岡本 龍朗 伊藤 晴子 根本 隆秀 前田 望 青木 彦 赤羽 康彦 有馬 嗣雄 馬生 剛史 生田 哲々 伊藤 奈々 井上 雄温 植松 晃樹 白井 朗 太田 宅哉 岡本 和久 小川 恭央 折野 大輔 倉田 康弘 倉持 治彦 栗田 朋治 小林 亮介 小宮 城治 清水 久美子 砂田 怜子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 中山 務 西川 康博 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘
2014/10/10 (金) 1時限	乳歯の解剖学的特徴 (2)	【授業の一般目標】 乳歯の形態について説明できる。	清水 邦彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
09:00～10:30	乳歯の解剖学的特徴 (2)	<p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 乳歯の歯根形態を説明できる。 2. 乳歯の歯髄について説明できる。 3. 乳歯の歯根吸収について説明できる。 <p>【準備学習項目】</p> <p>乳歯の形態について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>必修の基本的事項</p> <p>6 人体の正常構造・機能</p> <p>ウ 歯・歯周組織の構造・組成・機能</p> <p>a 歯の形態 (歯種の鑑別)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>必修の基本的事項</p> <p>6 人体の正常構造・機能</p> <p>ウ 歯・歯周組織の構造・組成・機能</p> <p>c 歯の構造・組成</p> <p>7 人体の発生・成長・発達・加齢</p> <p>イ 歯・口腔・顎・顔面の発生・成長発育</p> <p>a 歯・歯列の成長発育 (歯の発生、発育時期、萌出時期・順序、歯の脱落・交換時期、歯齢)</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学教育</p> <p>E-3 歯と歯周組織の常態と疾患</p> <p>E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能</p> <p>*③歯 (乳歯、幼若永久歯を含む) の硬組織の構造と機能を説明できる。【構成成分とその特徴を含む。】</p> <p>*④歯髄の構造と機能を説明できる。</p> <p>*①歯の発生、発育および交換の過程を説明できる。【構成成分とその変化を含む。】</p>	清水 邦彦
2014/10/10 (金) 2時限 10:40～12:10	ワックスカービング (下顎右側第一乳臼歯)	<p>【授業の一般目標】</p> <p>下顎右側第一乳臼歯の形態について説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 下顎右側第一乳臼歯の形態について説明できる。 2. 下顎右側第一乳臼歯の歯冠および歯根 (一部) のワックス彫刻ができる。 <p>【準備学習項目】</p> <p>下顎右側第一乳臼歯の形態について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】</p> <p>実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>必修の基本的事項</p> <p>6 人体の正常構造・機能</p> <p>ウ 歯・歯周組織の構造・組成・機能</p> <p>a 歯の形態 (歯種の鑑別)</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学教育</p> <p>E-3 歯と歯周組織の常態と疾患</p> <p>E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能</p> <p>*②歯種別の形態と特徴を説明できる。</p>	清水 武彦 清水 邦彦 荒井 清司 岡本 京 伊藤 龍朗 根本 晴子 前田 隆秀 青木 望 赤羽 康彦 有馬 嗣雄 生田 剛史 生田 哲々 伊藤 奈々 井上 雄温 植松 晃樹 白井 朗 太田 宅哉 岡本 和久 小川 恭央 折野 大輔 倉田 康弘 倉持 治彦 栗田 朋治 小林 亮介 小宮 城治 清水 久美子 砂田 怜子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 中山 務 西川 康博 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘
2014/10/10 (金) 3時限 13:00～14:30	ワックスカービング (上顎右側第一乳臼歯)	<p>【授業の一般目標】</p> <p>上顎右側第一乳臼歯の形態について説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 上顎右側第一乳臼歯の形態について説明できる。 2. 上顎右側第一乳臼歯の歯冠および歯根 (一部) のワックス彫刻ができる。 <p>【準備学習項目】</p> <p>下顎右側第一乳臼歯の形態について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】</p> <p>実習</p>	清水 武彦 清水 邦彦 荒井 清司 岡本 京 伊藤 龍朗 根本 晴子 前田 隆秀 青木 望 赤羽 康彦 有馬 嗣雄 生田 剛史 生田 哲々 伊藤 奈々

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/10 (金) 3時限 13:00~14:30	ワックスカービング (上顎右側第一乳臼歯)	<p>【場所 (教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ウ 歯・歯周組織の構造・組成・機能 a 歯の形態 (歯種の鑑別)</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *②歯種別の形態と特徴を説明できる。</p>	井上 雄温 植松 晃樹 白井 朗 太田 宅哉 岡本 和久 小川 恭央 折野 大輔 倉田 康弘 倉持 治彦 栗田 朋治 田林 亮介 小宮 城治 清水 久美子 砂田 怜子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 中山 務 西川 康博 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘
2014/10/17 (金) 1時限 09:00~10:30	乳臼歯の歯冠修復 (1)	<p>【授業の一般目標】 乳歯の歯冠修復について説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 乳歯の歯冠修復の種類を説明できる。 2. 乳歯の歯冠修復の適応症を説明できる。 3. 乳歯の歯冠修復の術式を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 乳歯の歯冠修復について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ソ 歯の硬組織疾患の治療 a 基本的術式</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 ア 乳歯・幼若永久歯の歯冠修復法 1 小児の歯の硬組織疾患 ア 乳歯齲蝕</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 *②乳歯と幼若永久歯のう蝕の特徴、う蝕予防を説明できる。 *③乳歯と幼若永久歯のう蝕の診察、検査と診断を説明できる。 *④乳歯と幼若永久歯の歯冠修復の目的と種類、適応症、手順と留意事項を説明できる。【小児のラバーダム防湿法を含む。】</p>	荒井 清司
2014/10/17 (金) 2時限 10:40~12:10	ワックスカービング (下顎右側第二乳臼歯)	<p>【授業の一般目標】 下顎右側第二乳臼歯の形態について説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 下顎右側第二乳臼歯の形態について説明できる。 2. 下顎右側第二乳臼歯の歯冠および歯根 (一部) のワックス彫刻ができる。</p> <p>【準備学習項目】 下顎右側第二乳臼歯の形態について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ウ 歯・歯周組織の構造・組成・機能 a 歯の形態 (歯種の鑑別)</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *②歯種別の形態と特徴を説明できる。</p>	清水 武彦 清水 邦彦 荒井 清司 岡本 京 伊藤 龍朗 根本 晴子 前田 秀隆 青木 望 赤羽 康彦 有馬 嗣雄 生田 剛史 生田 哲 伊藤 奈々 井上 雄温 植松 晃樹 白井 朗 太田 宅哉 岡本 和久 小川 恭央 折野 大輔 倉田 康弘 倉持 治彦 栗田 朋治 小林 亮介 小宮 城治 清水 久美子 砂田 怜子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/17 (金) 2時限 10:40～12:10	ワックスカービング (下顎右側第二乳臼歯)		高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 中山 務 西川 康博 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘
2014/10/17 (金) 3時限 13:00～14:30	ワックスカービング (上顎右側第二乳臼歯)	<p>【授業の一般目標】 上顎右側第二乳臼歯の形態について説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 上顎右側第二乳臼歯の形態について説明できる。 2. 上顎右側第二乳臼歯の歯冠および歯根 (一部) のワックス彫刻ができる。</p> <p>【準備学習項目】 上顎右側第二乳臼歯の形態について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ウ 歯・歯周組織の構造・組成・機能 a 歯の形態 (歯種の鑑別)</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *②歯種別の形態と特徴を説明できる。</p>	清水 武彦 清水 邦彦 荒井 清司 岡本 京 伊藤 龍朗 根本 晴子 前田 隆秀 青木 望 赤羽 康彦 有馬 嗣雄 生田 剛史 生田 哲 伊藤 奈々 井上 雄温 植松 晃樹 白井 朗 太田 宅哉 岡本 和久 小川 恭央 折野 大輔 倉持 康弘 倉田 治彦 栗田 朋治 小林 亮介 小宮 城治 清水 久美子 砂田 怜子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 中山 務 西川 康博 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘
2014/10/24 (金) 1時限 09:00～10:30	CR窩洞形成	<p>【授業の一般目標】 乳臼歯の窩洞形成を説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 乳臼歯のM0窩洞を説明できる。 2. 乳臼歯のOD窩洞を説明できる。 3. 乳臼歯のO窩洞を説明できる。 4. 2倍歯に窩洞形成ができる。</p> <p>【準備学習項目】 乳臼歯の窩洞形成を説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ソ 歯の硬組織疾患の治療 a 基本的術式</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論III 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 ア 乳歯・幼若永久歯の歯冠修復法 エ 窩洞形成法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 *④乳歯と幼若永久歯の歯冠修復の目的と種類、適応症、手順と留意事項を説明できる。【小児のラバーダム防湿法を含む。】</p>	清水 武彦 清水 邦彦 荒井 清司 岡本 京 伊藤 龍朗 根本 晴子 前田 隆秀 青木 望 赤羽 康彦 有馬 嗣雄 生田 剛史 生田 哲 伊藤 奈々 井上 雄温 植松 晃樹 白井 朗 太田 宅哉 岡本 和久 小川 恭央 折野 大輔 倉持 康弘 倉田 治彦 栗田 朋治 小林 亮介 小宮 城治 清水 久美子 砂田 怜子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 中山 務 西川 康博 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 三好 克実

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/24 (金) 1時限 09:00~10:30	CR窩洞形成	<p>【授業の一般目標】 乳臼歯の窩洞形成を説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 乳臼歯のM0窩洞を説明できる。 2. 乳臼歯のOD窩洞を説明できる。 3. 乳臼歯のO窩洞を説明できる。 4. 2倍歯に窩洞形成ができる。</p> <p>【準備学習項目】 乳臼歯の窩洞形成を説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 5 治療の基礎・基本手技 ソ 歯の硬組織疾患の治療 a 基本的術式</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 ア 乳歯・幼若永久歯の歯冠修復法 エ 窩洞形成法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 *④乳歯と幼若永久歯の歯冠修復の目的と種類、適応症、手順と留意事項を説明できる。【小児のラバーダム防湿法を含む。】</p>	山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘
2014/10/24 (金) 2時限 10:40~12:10	CR窩洞形成	<p>【授業の一般目標】 乳臼歯の窩洞形成を説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 乳臼歯のM0窩洞を説明できる。 2. 乳臼歯のOD窩洞を説明できる。 3. 乳臼歯のO窩洞を説明できる。 4. 2倍歯に窩洞形成ができる。</p> <p>【準備学習項目】 乳臼歯の窩洞形成を説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 5 治療の基礎・基本手技 ソ 歯の硬組織疾患の治療 a 基本的術式</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 ア 乳歯・幼若永久歯の歯冠修復法 エ 窩洞形成法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 *④乳歯と幼若永久歯の歯冠修復の目的と種類、適応症、手順と留意事項を説明できる。【小児のラバーダム防湿法を含む。】</p>	清水 武彦 清水 邦彦 荒井 清司 岡本 京 伊藤 龍朗 根本 晴子 前田 秀 青木 望 赤羽 康彦 有馬 嗣雄 生田 剛史 生田 哲 伊藤 奈々 井上 雄温 植松 晃樹 白井 朗 太田 宅哉 岡本 和久 小川 恭央 折野 大輔 倉持 康弘 栗田 朋治 小林 亮介 小宮 城治 清水 久美子 砂田 怜子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 中山 務 西川 康博 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘
2014/10/31 (金) 1時限 09:00~10:30	小児への歯科的対応法	<p>【授業の一般目標】 小児への歯科的対応法を説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科診療に必要な小児の心理を理解し説明できる。 2. 年齢別に見た歯科的対応を理解し説明できる。 3. 非協力児の対応法を理解し説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 小児への歯科的対応法を説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p>	伊藤 龍朗

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/31 (金) 1時限 09:00～10:30	小児への歯科的対応法	<p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論V 発生、成長、発達、加齢 1 人体の発生・成長・発達・加齢 オ 幼児期、学童期</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 7 人体の発生・成長・発達・加齢 ア 人体の成長発育 c 成長発育・発達の特徴（身体成長、原始反射、運動の発達、社会性の発達、言語の発達、情動の発達）</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 *①小児の身体発育、精神発達の特徴と評価法を説明できる。 *⑩小児患者の対応について説明できる。</p>	伊藤 龍朗
2014/10/31 (金) 2時限 10:40～12:10	ラバーダム防湿 コンポジットレジン修復（下顎右側第一、第二乳臼歯）	<p>【授業の一般目標】 小児診療時のポジショニングを理解する。 乳歯を対象としたラバーダム防湿法を説明できる。 乳臼歯のコンポジットレジン修復を説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 診療に適したポジショニングを説明できる。 2. 乳歯にラバーダム防湿を施術できる。 3. 乳臼歯のMO窩洞を説明できる。 4. 乳臼歯のOD窩洞を説明できる。 5. 乳臼歯のO窩洞を説明できる。 6. 人工歯に窩洞形成ができる。 7. 人工歯にコンポジットレジン充填ができる。</p> <p>【準備学習項目】 乳臼歯のコンポジットレジン修復を説明できる。</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ソ 歯の硬組織疾患の治療 a 基本的術式</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論III 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 ア 乳歯・幼弱永久歯の歯冠修復法 エ 窩洞形成法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 *④乳歯と幼若永久歯の歯冠修復の目的と種類、適応症、手順と留意事項を説明できる。【小児のラバーダム防湿法を含む。】 E-1 診療の基本 E-1-1) 基本的診療技能 *⑬診療室における患者の心理と行動を理解し配慮できる。</p>	清水 武彦 清水 邦彦 荒井 清司 岡本 京 伊藤 龍朗 根本 晴子 前田 隆秀 青木 望 赤羽 彦彦 有馬 嗣雄 生田 剛史 生田 剛史 伊藤 奈々 井上 雄温 植松 晃樹 臼井 朗 太田 宅哉 岡本 和久 小川 恭央 折野 大輔 倉田 康弘 倉持 治彦 栗田 朋治 小林 亮介 小宮 城治 清水 久美子 砂田 怜子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 中山 務 西川 康博 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘
2014/10/31 (金) 3時限 13:00～14:30	ラバーダム防湿 コンポジットレジン修復（上顎右側第一、第二乳臼歯）	<p>【授業の一般目標】 小児診療時のポジショニングを理解する。 乳歯を対象としたラバーダム防湿法を説明できる。 乳臼歯のコンポジットレジン修復を説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 診療に適したポジショニングを説明できる。 2. 乳歯にラバーダム防湿を施術できる。 3. 乳臼歯のMO窩洞を説明できる。 4. 乳臼歯のOD窩洞を説明できる。 5. 乳臼歯のO窩洞を説明できる。 6. 人工歯に窩洞形成ができる。 7. 人工歯にコンポジットレジン充填ができる。</p> <p>【準備学習項目】 乳臼歯のコンポジットレジン修復を説明できる。</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ソ 歯の硬組織疾患の治療 a 基本的術式</p>	清水 武彦 清水 邦彦 荒井 清司 岡本 京 伊藤 龍朗 根本 晴子 前田 隆秀 青木 望 赤羽 彦彦 有馬 嗣雄 生田 剛史 生田 剛史 伊藤 奈々 井上 雄温 植松 晃樹 臼井 朗 太田 宅哉 岡本 和久 小川 恭央 折野 大輔 倉田 康弘 倉持 治彦 栗田 朋治 小林 亮介 小宮 城治 清水 久美子 砂田 怜子 高澤 竜一郎 田中 眞理

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/31 (金) 3時限 13:00~14:30	ラバーダム防湿 コンボジットレジ ン修復 (上顎右側 第一、第二乳臼歯)	<p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 ア 乳歯・幼若永久歯の歯冠修復法 エ 窩洞形成法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 *④乳歯と幼若永久歯の歯冠修復の目的と種類、適応症、手順と留意事項を説明できる。【小児のラバーダム防湿法を含む。】 E-1 診療の基本 E-1-1) 基本的診療技能 *⑩診療室における患者の心理と行動を理解し配慮できる。</p>	谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 中山 務 西川 康博 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘
2014/11/07 (金) 1時限 09:00~10:30	乳歯・幼若永久歯 の歯内療法 1) 間接覆髄法 2) 直接覆髄法 3) 歯髄切断法	<p>【授業の一般目標】 乳歯および幼若永久歯の歯内療法について説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 間接・直接覆髄法の適応症とその術式を理解し説明できる。 2. 歯髄切断法の種類、適応症、病理組織学的変化、術式を理解し説明できる。 3. 覆髄法、特に暫間的間接覆髄法の適応症と術式を理解し説明できる。 4. 抜髄法ならびに根管充填法の根完成歯との相違点を理解し説明できる。 5. 抜髄法ならびに根管充填法の根完成歯との相違点を理解し説明できる。 6. Apexogenesis と Apexification の術式と治癒過程を理解し説明できる</p> <p>【準備学習項目】 乳歯および幼若永久歯の歯内療法について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 4 小児の歯髄・根尖性歯周組織疾患 ア 乳歯の歯髄疾患</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 4 小児の歯髄・根尖性歯周組織疾患 ウ 幼若永久歯の歯髄疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 ウ 歯髄除去療法 キ 根未完成歯の治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 *⑤乳歯と根未完成永久歯の歯髄炎・根尖歯周組織疾患の診察、検査と診断を説明できる。 *⑥乳歯と根未完成永久歯の歯髄炎・根尖歯周組織疾患の処置法の種類と適応症、予後および手順と留意点を説明できる。</p>	荒井 清司
2014/11/07 (金) 2時限 10:40~12:10	水酸化カルシウム 法による歯髄切断 法 (下顎左側第二 乳臼歯)	<p>【授業の一般目標】 歯髄切断 (断髄) 法の術式について説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 水酸化カルシウム法による歯髄切断法の術式ができる。</p> <p>【準備学習項目】 歯髄切断 (断髄) 法の術式について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 4 小児の歯髄・根尖性歯周組織疾患 ア 乳歯の歯髄疾患</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 4 小児の歯髄・根尖性歯周組織疾患 ウ 幼若永久歯の歯髄疾患</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 *④乳歯と幼若永久歯の歯冠修復の目的と種類、適応症、手順と留意事項を説明できる。【小児のラバーダム防湿法を含む。】 *⑤乳歯と根未完成永久歯の歯髄炎・根尖歯周組織疾患の診察、検査と診断を説明できる。</p>	清水 武彦 清水 邦彦 荒井 清司 岡本 京 伊藤 龍朗 根本 晴子 前田 隆秀 青木 望 赤羽 彦 有馬 康 生田 剛雄 生田 剛史 伊藤 哲 井上 奈々 植松 雄温 白井 晃樹 太田 朗 岡本 宅哉 小川 和久 折野 大輔 倉田 康弘 倉持 治彦 栗田 朋治 小林 亮介 小宮 城治 清水 久美子 砂田 伶子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 中山 務 西川 康博

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/07 (金) 2時限 10:40~12:10	水酸化カルシウム法による歯髄切断法(下顎左側第二乳臼歯)		原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘
2014/11/07 (金) 3時限 13:00~14:30	乳歯用冠支台歯形成(下顎左側第二乳臼歯)	<p>【授業の一般目標】 乳歯用冠の支台歯形成の術式について説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 既製乳歯用冠の形成法の術式ができる。</p> <p>【準備学習項目】 乳歯用冠の支台歯形成の術式について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 ア 乳歯・幼弱永久歯の歯冠修復法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 *④乳歯と幼若永久歯の歯冠修復の目的と種類、適応症、手順と留意事項を説明できる。【小児のラバーダム防湿法を含む。】</p>	清水 武彦 清井 邦彦 荒井 清司 岡本 京 伊藤 龍朗 根本 晴子 前田 隆秀 青木 望 赤羽 彦 有馬 嗣雄 生田 剛史 生田 哲 伊藤 奈々 井上 雄 植松 晃樹 白井 朗 太田 宅哉 岡本 和久 小川 恭央 折野 大輔 倉田 康弘 倉持 治彦 栗田 朋治 小林 亮介 小宮 城治 清水 久美子 砂田 怜子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 中山 務 西川 康博 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘
2014/11/14 (金) 1時限 09:00~10:30	乳臼歯の歯冠修復(2)	<p>【授業の一般目標】 乳歯の歯冠修復について説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 乳歯用冠の適応と術式について理解し説明できる。 2. クラウンフォームの適応と術式について理解し説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 乳歯の歯冠修復について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 ア 乳歯・幼弱永久歯の歯冠修復法</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 小児の歯の硬組織疾患 ア 乳歯齲蝕</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 *④乳歯と幼若永久歯の歯冠修復の目的と種類、適応症、手順と留意事項を説明できる。【小児のラバーダム防湿法を含む。】</p>	荒井 清司
2014/11/14 (金) 2時限 10:40~12:10	乳歯用冠(下顎左側第二乳臼歯) 1) 乳歯用冠の試適 2) 取り込み印象	<p>【授業の一般目標】 乳歯用冠の支台歯形成の術式について説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 乳歯用冠の試適ができる。 2. 乳歯用冠の調整ができる。 3. クラウンループ作成のための取り込み印象ができる。</p> <p>【準備学習項目】 乳歯用冠の支台歯形成の術式について説明できる。</p>	清水 武彦 清井 邦彦 荒井 清司 岡本 京 伊藤 龍朗 根本 晴子 前田 隆秀 青木 望 赤羽 彦 有馬 嗣雄 生田 剛史

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/14 (金) 2時限 10:40~12:10	乳歯用冠 (下顎 左側第二乳臼歯) 1) 乳歯用冠の試適 2) 取り込み印象	<p>【学習方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 ア 乳歯・幼弱永久歯の歯冠修復法</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論X 治療 2 治療の基礎 ケ 小児の治療 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 6 歯列・咬合異常の予防 ウ 保険</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 *④乳歯と幼若永久歯の歯冠修復の目的と種類、適応症、手順と留意事項を説明できる。【小児のラバーダム防湿法を含む。】 *⑨保険処置の目的と種類、適応症および留意点を説明できる。</p>	生田 哲々 伊藤 奈々 井上 雄温 植松 晃樹 白井 朗 太田 宅哉 岡本 和久 小川 恭央 折野 大輔 倉田 康弘 倉持 治彦 栗田 朋治 小林 亮介 小宮 城治 清水 久美子 砂田 怜子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 中山 務 西川 康博 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘
2014/11/14 (金) 3時限 13:00~14:30	クラウンループの 屈曲	<p>【授業の一般目標】 クラウンループ保険装置について説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 作業模型の調整ができる。 2. クラウンループの外形線の設定ができる。 3. クラウンループの屈曲ができる。</p> <p>【準備学習項目】 保険装置について説明できる。</p> <p>【学習方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 6 歯列・咬合異常の予防 ウ 保険</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 *⑨保険処置の目的と種類、適応症および留意点を説明できる。</p>	清水 武彦 清水 邦彦 荒井 清司 岡本 京 伊藤 龍朗 根本 晴子 前田 隆秀 青木 望 赤羽 康彦 有馬 嗣雄 生田 剛史 生田 哲々 伊藤 奈々 井上 雄温 植松 晃樹 白井 朗 太田 宅哉 岡本 和久 小川 恭央 折野 大輔 倉田 康弘 倉持 治彦 栗田 朋治 小林 亮介 小宮 城治 清水 久美子 砂田 怜子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 中山 務 西川 康博 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘
2014/11/21 (金) 1時限 09:00~10:30	保険	<p>【授業の一般目標】 保険装置について説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 保険の必要性について説明できる。 2. クラウンループについて説明できる。 3. バンドループについて説明できる。 4. ディスタルシューについて説明できる。 5. ナンスのホールディングアーチについて説明できる。 6. リンガルアーチ保険装置について説明できる。 7. 小児義歯について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 保険装置について説明できる。</p> <p>【学習方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論</p>	岡本 京

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/21 (金) 1時限 09:00～10:30	保険	各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 6 歯列・咬合異常の予防 ウ 保険 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 *⑨保険処置の目的と種類、適応症および留意点を説明できる。	岡本 京
2014/11/21 (金) 2時限 10:40～12:10	クラウンループの作成	【授業の一般目標】 クラウンループ保険装置について説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. クラウンループの屈曲ができる。 2. クラウンループの鑲着ができる。 3. クラウンループの研磨ができる。 【準備学習項目】 保険装置について説明できる。 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 6 歯列・咬合異常の予防 ウ 保険 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 *⑨保険処置の目的と種類、適応症および留意点を説明できる。	清水 武彦 清井 邦彦 荒井 清司 岡本 京 伊藤 龍朗 根本 晴子 前田 隆秀 青木 望彦 赤羽 康彦 有馬 嗣雄 生田 剛史 生田 哲 伊藤 奈々 井上 雄温 植松 晃樹 白井 朗 太田 宅哉 岡本 和久 小川 恭央 折野 大輔 倉田 康弘 倉持 治彦 栗田 朋治 小林 亮介 小宮 城治 小宮 久美子 砂田 怜子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 中山 務 西川 康博 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘
2014/11/21 (金) 3時限 13:00～14:30	クラウンループの作成	【授業の一般目標】 クラウンループ保険装置について説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. クラウンループの鑲着ができる。 2. クラウンループの研磨ができる。 3. クラウンループの装着ができる。 【準備学習項目】 保険装置について説明できる。 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 6 歯列・咬合異常の予防 ウ 保険 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 *⑨保険処置の目的と種類、適応症および留意点を説明できる。	清水 武彦 清井 邦彦 荒井 清司 岡本 京 伊藤 龍朗 根本 晴子 前田 隆秀 青木 望彦 赤羽 康彦 有馬 嗣雄 生田 剛史 生田 哲 伊藤 奈々 井上 雄温 植松 晃樹 白井 朗 太田 宅哉 岡本 和久 小川 恭央 折野 大輔 倉田 康弘 倉持 治彦 栗田 朋治 小林 亮介 小宮 城治 小宮 久美子 砂田 怜子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 中山 務 西川 康博 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘
2014/11/28 (金)	動的咬合誘導(1)	【授業の一般目標】	岡本 京

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
1時限 09:00～10:30	歯列周長分析	<p>歯列周長分析について説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯列周長分析(小野の分析法とMoyersの分析法)を理解し説明できる。 2. 乳歯列期および混合歯列期の動的咬合誘導の種類および適応症を理解し説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯列周長分析について説明できる。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 6 歯列・咬合異常の予防 イ 咬合誘導の考え方</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 8 不正咬合の診断 エ 治療計画 ウ 診断 必修の基本的事項 7 人体の発生・成長・発達・加齢 イ 歯・口腔・顎・顔面の発生・成長発育 a 歯・歯列の成長発育（歯の発生、発育時期、萌出時期・順序、歯の脱落・交換時期、歯齢）</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 *⑧咬合誘導の概念を説明できる。</p>	岡本 京
2014/11/28（金） 2時限 10:40～12:10	歯列周長の分析	<p>【授業の一般目標】 歯列周長分析について説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 小野の分析法によって実習症例の歯列周長分析ができる。</p> <p>【準備学習項目】 歯列周長分析について説明できる。</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 8 不正咬合の診断 ウ 診断</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 6 歯列・咬合異常の予防 イ 咬合誘導の考え方</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 *⑧咬合誘導の概念を説明できる。</p>	<p>清水 武彦 荒井 邦彦 岡本 清司 伊藤 京 根本 龍朗 前田 晴子 青木 隆秀 赤羽 望 有馬 康彦 生田 嗣雄 生田 剛史 伊藤 哲々 井上 奈々 植松 雄 白井 晃樹 太田 朗 岡本 宅哉 小川 和久 折野 恭央 倉田 大輔 倉持 康弘 栗田 治彦 小林 朋治 小宮 亮介 清水 城治 砂田 久美子 高澤 怜子 田中 竜一郎 谷 眞理 寺田 博司 中村 英史 中村 佐和子 中山 均 西川 務 原 康博 昌伸 平井 則光 松村 東栄 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘</p>
2014/11/28（金） 3時限 13:00～14:30	アダムのクラスプの屈曲(1) (上顎右側第一大臼歯)	<p>【授業の一般目標】 アダムのクラスプの屈曲ができる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. アダムのクラスプの特徴を説明できる。 2. 乳歯列期および混合歯列期の動的咬合誘導の種類および適応症を理解し説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 アダムのクラスプの特徴を説明できる</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p>	<p>清水 武彦 荒井 邦彦 岡本 清司 伊藤 京 根本 龍朗 前田 晴子 青木 隆秀 赤羽 望 有馬 康彦 生田 嗣雄 生田 剛史 伊藤 哲々 井上 雄温</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/28 (金) 3時限 13:00~14:30	アダムのクラスプの屈曲(1) (上顎右側第一大臼歯)	<p>【場所(教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 8 不正咬合の診断 ウ 診断</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 6 歯列・咬合異常の予防 イ 咬合誘導の考え方</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 *⑧咬合誘導の概念を説明できる。</p>	植松 晃樹 白井 和久 太田 宅哉 岡本 和久 小川 恭央 折野 大輔 野田 康弘 倉持 治彦 栗田 朋治 小林 亮介 小宮 城治 清水 久美子 砂田 怜子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 中山 務 西川 康博 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘
2014/12/05 (金) 1時限 09:00~10:30	動的咬合誘導(2)	<p>【授業の一般目標】 乳歯列期および混合歯列期の動的咬合誘導の種類および適応症を理解し説明できる。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 乳歯列期および混合歯列期の動的咬合誘導の種類および適応症を理解し説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 咬合誘導について説明できる。</p> <p>【学習方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 8 不正咬合の診断 ウ 診断</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 6 歯列・咬合異常の予防 イ 咬合誘導の考え方</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 *⑧咬合誘導の概念を説明できる。</p>	岡本 京
2014/12/05 (金) 2時限 10:40~12:10	アダムのクラスプの屈曲(2) (上顎左右側第一大臼歯)	<p>【授業の一般目標】 アダムのクラスプの屈曲ができる。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. アダムのクラスプの特徴を説明できる。 2. 乳歯列期および混合歯列期の動的咬合誘導の種類および適応症を理解し説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 アダムのクラスプの特徴を説明できる</p> <p>【学習方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 8 不正咬合の診断 ウ 診断</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 6 歯列・咬合異常の予防 イ 咬合誘導の考え方</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療</p>	清水 武彦 清水 邦彦 荒井 清司 岡本 京 伊藤 龍朗 根本 晴子 前田 秀隆 青木 望 赤羽 康彦 有馬 嗣雄 生田 剛史 生田 哲 伊藤 奈々 井上 雄温 植松 晃樹 白井 朗 太田 宅哉 岡本 和久 小川 恭央 折野 大輔 倉持 康弘 倉持 治彦 栗田 朋治 小林 亮介 小宮 城治 清水 久美子 砂田 怜子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/05 (金) 2時限 10:40~12:10	アダムのクラスプの屈曲(2) (上顎左右側第一乳臼歯)	*⑧咬合誘導の概念を説明できる。	中山 務 西川 康博 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘
2014/12/05 (金) 3時限 13:00~14:30	アダムのクラスプの屈曲(3) (上顎左右側第一乳臼歯)	<p>【授業の一般目標】 アダムのクラスプの屈曲ができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. アダムのクラスプの特徴を説明できる。 2. 乳歯列期および混合歯列期の動的咬合誘導の種類および適応症を理解し説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 アダムのクラスプの特徴を説明できる</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 8 不正咬合の診断 ウ 診断</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 6 歯列・咬合異常の予防 イ 咬合誘導の考え方</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 *⑧咬合誘導の概念を説明できる。</p>	清水 武彦 清水 邦彦 荒井 清司 岡本 京 伊藤 龍朗 根本 晴子 前田 隆秀 青木 望 赤羽 彦 有馬 康 生田 嗣雄 生田 剛史 伊藤 哲々 井上 雄温 植松 晃樹 臼井 朗 太田 宅哉 岡本 和久 小川 恭央 折野 大輔 倉田 康弘 倉持 治彦 栗田 朋治 小林 亮介 小宮 城治 清水 久美子 砂田 怜子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 中山 務 西川 康博 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘
2014/12/12 (金) 1時限 09:00~10:30	歯と歯列の発育	<p>【授業の一般目標】 歯の発育について説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 乳歯および永久歯の発生と歯列の成長を理解し説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯および歯列の発育について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 7 人体の発生・成長・発達・加齢 イ 歯・口腔・顎・顔面の発生・成長発育 a 歯・歯列の成長発育 (歯の発生、発育時期、萌出時期・順序、歯の脱落・交換時期、歯齢)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 7 人体の発生・成長・発達・加齢 ウ 加齢による歯・口腔・顎・顔面の変化 e 歯列・咬合の変化</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *①歯の発生、発育および交換の過程を説明できる。【構成成分とその変化を含む。】 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 *⑧咬合誘導の概念を説明できる。</p>	岡本 京
2014/12/12 (金) 2時限 10:40~12:10	アダムのクラスプの屈曲(4) (上顎左右側第一乳臼歯)	<p>【授業の一般目標】 アダムのクラスプの屈曲ができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. アダムのクラスプの特徴を説明できる。 2. 乳歯列期および混合歯列期の動的咬合誘導の種類および適応症を理解し説明</p>	清水 武彦 清水 邦彦 荒井 清司 岡本 京 伊藤 龍朗 根本 晴子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/12 (金) 2時限 10:40~12:10	アダムのクラスプの屈曲(4) (上顎左右側第一乳臼歯)	できる。 【準備学習項目】 アダムのクラスプの特徴を説明できる 【学習方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 第4実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 8 不正咬合の診断 ウ 診断 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 6 歯列・咬合異常の予防 イ 咬合誘導の考え方 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 *⑧咬合誘導の概念を説明できる。	前田 隆秀 青木 望彦 赤羽 康彦 有馬 嗣雄 生田 剛史 生田 哲 伊藤 奈々 井上 雄温 植松 晃樹 臼井 朗 太田 宅哉 岡本 和久 小川 恭央 折野 大輔 倉田 康弘 倉持 治彦 栗田 朋治 小林 亮介 小宮 城治 清水 久美子 砂田 怜子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 中山 務 西川 康博 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘
2014/12/12 (金) 3時限 13:00~14:30	シャーミーのコイルスプリングの屈曲(1)	【授業の一般目標】 シャーミーのコイルスプリングの屈曲ができる。 【行動目標(SBOs)】 1. シャーミーのコイルスプリングの屈曲ができる。 2. スペースリゲーターについて説明できる。 【準備学習項目】 動的咬合誘導について理解する。 【学習方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 第4実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 8 不正咬合の診断 ウ 診断 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 6 歯列・咬合異常の予防 イ 咬合誘導の考え方 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 *⑧咬合誘導の概念を説明できる。	清水 武彦 清水 邦彦 荒井 清司 岡本 京 伊藤 龍朗 根本 晴子 前田 隆秀 青木 望彦 赤羽 康彦 有馬 嗣雄 生田 剛史 生田 哲 伊藤 奈々 井上 雄温 植松 晃樹 臼井 朗 太田 宅哉 岡本 和久 小川 恭央 折野 大輔 倉田 康弘 倉持 治彦 栗田 朋治 小林 亮介 小宮 城治 清水 久美子 砂田 怜子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 中山 務 西川 康博 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘
2014/12/19 (金) 1時限 09:00~10:30	小児の歯周疾患	【授業の一般目標】 小児の歯周疾患を理解する。 【行動目標(SBOs)】 1. 小児の歯周組織の正常像を説明できる。 2. 小児の歯肉炎を説明できる。 3. 小児の歯周炎を説明できる。 【準備学習項目】 小児の歯周疾患を理解する。 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準(主)】	伊藤 龍朗

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/19 (金) 1時限 09:00~10:30	小児の歯周疾患	<p>必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ウ 歯・歯周組織の構造・組成・機能 d 歯周組織の構造・組成 (根尖歯周組織、辺縁歯周組織)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 7 小児の歯周病 ア 歯周病の特徴 イ 歯周病への対応</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *⑤歯周組織の発生、構造および機能を説明できる。 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 *④歯周疾患の病因と病態を説明できる。</p>	伊藤 龍朗
2014/12/19 (金) 2時限 10:40~12:10	シャーミーのコイルスプリングの屈曲(2)	<p>【授業の一般目標】 シャーミーのコイルスプリングの屈曲ができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. シャーミーのコイルスプリングの屈曲ができる。 2. スペースリゲーターについて説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 動的咬合誘導について理解する。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 8 不正咬合の診断 ウ 診断</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 6 歯列・咬合異常の予防 イ 咬合誘導の考え方</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 *⑧咬合誘導の概念を説明できる。</p>	清水 武彦 清水 邦彦 荒井 清司 岡本 京 伊藤 龍朗 根本 晴子 前田 隆秀 青木 望 赤羽 康彦 有馬 嗣雄 生田 剛史 生田 哲 伊藤 奈々 井上 雄温 植松 晃樹 白井 朗 太田 宅哉 岡本 和久 小川 恭央 折野 大輔 倉田 康弘 倉持 治彦 栗田 朋治 小林 亮介 小宮 城治 清水 久美子 砂田 怜子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 中山 務 西川 康博 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘
2014/12/19 (金) 3時限 13:00~14:30	レジンによる床部作製(1)	<p>【授業の一般目標】 レジン床の作製法について説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. シャーミーのコイルスプリングの屈曲ができる。 2. スペースリゲーターについて説明できる。 3. アダムスのクラスプとシャーミーのコイルスプリングを床の中へレジンを埋入できる。 4. レジン床の作製法について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 レジン床の作製法について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 8 不正咬合の診断 ウ 診断</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 6 歯列・咬合異常の予防 イ 咬合誘導の考え方</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開</p>	清水 武彦 清水 邦彦 荒井 清司 岡本 京 伊藤 龍朗 根本 晴子 前田 隆秀 青木 望 赤羽 康彦 有馬 嗣雄 生田 剛史 生田 哲 伊藤 奈々 井上 雄温 植松 晃樹 白井 朗 太田 宅哉 岡本 和久 小川 恭央 折野 大輔 倉田 康弘 倉持 治彦 栗田 朋治 小林 亮介 小宮 城治 清水 久美子 砂田 怜子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 中山 務

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/19 (金) 3時限 13:00~14:30	レジンによる床部 作製(1)	E-4-2) 小児の歯科治療 *⑧咬合誘導の概念を説明できる。	西川 康博 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘
2015/01/09 (金) 1時限 09:00~10:30	小児期の抜歯 1)麻酔法 2)乳歯の抜歯	【授業の一般目標】 乳歯の抜歯について説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 局所麻酔法の説明ができる。 2. 乳歯抜去の適応症を説明できる。 3. 乳歯抜去の術式を説明できる。 【準備学習項目】 乳歯の抜歯について説明できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ス 抜歯 a 基本的術式 【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 コ 麻酔法 a 局所麻酔 (局所麻酔法、局所麻酔薬、血管収縮薬、合併症、偶発症) 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-3) 歯科麻酔の基本 E-1-3) - (3) 局所麻酔法 *⑤局所麻酔法の種類と特徴を説明できる。 E-1-4) 小手術の基本手技 *①抜歯の適応症と禁忌症を説明できる。【相対的禁忌への対応および小手術の適応症と禁忌を含む。】 *③抜歯 (小手術)に必要な器具の用法と基本手技を説明できる。 E-1-3) 歯科麻酔の基本 E-1-3) - (1) 全身管理 *⑥歯科治療時に注意を要する全身疾患(小児も含む)を説明できる。【歯科治療時の対応を含む。】 *⑧小児、妊婦、授乳婦および高齢者の歯科治療時の注意点を説明できる。	根本 晴子
2015/01/09 (金) 2時限 10:40~12:10	レジンによる床部 作製(2)	【授業の一般目標】 レジン床の研磨ができる。 【行動目標 (SBOs)】 1. スペーシリゲーターについて説明できる。 2. レジン床の作製法について説明できる。 3. レジン床の研磨ができる。 【準備学習項目】 レジン床の作製法について説明できる。 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論II 成長発育に関連した疾患・病態 8 不正咬合の診断 ウ 診断 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論II 成長発育に関連した疾患・病態 6 歯列・咬合異常の予防 イ 咬合誘導の考え方 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 *⑧咬合誘導の概念を説明できる。	清水 武彦 清水 邦彦 荒井 清司 岡本 京 伊藤 龍朗 根本 晴子 前田 隆秀 青木 望 赤羽 康彦 有馬 嗣雄 生田 剛史 生田 哲 伊藤 奈々 井上 雄温 植松 晃樹 白井 朗 太田 宅哉 岡本 和久 小川 恭央 折野 大輔 倉田 康弘 倉持 治彦 栗田 朋治 小林 亮介 小宮 城治 清水 久美子 砂田 怜子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 中山 務 西川 康博 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/09 (金) 3時限 13:00~14:30	シャーマーの装置の装着と第一大臼歯の遠心移動	<p>【授業の一般目標】 シャーマーの装置の調製法について説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. スペーシリゲーターについて説明できる。 2. 装置の装着ができる。 3. 第一大臼歯の遠心移動ができる。 4. 歯の移動の後の対応法を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 シャーマーの装置の調製法について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 6 歯列・咬合異常の予防 ウ 保隙</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 6 歯列・咬合異常の予防 イ 咬合誘導の考え方 エ 動的咬合誘導</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 *⑧咬合誘導の概念を説明できる。</p>	清水 武彦 清水 邦彦 荒井 清司 岡本 京 伊藤 龍朗 根本 晴子 前田 隆秀 青木 望 赤羽 康彦 有馬 嗣雄 生田 剛史 生田 哲 伊藤 奈々 井上 雄温 植松 晃樹 白井 朗 太田 宅哉 岡本 和久 小川 恭央 折野 大輔 倉田 康弘 倉持 治彦 栗田 朋治 小林 亮介 小宮 城治 清水 久美子 砂田 怜子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 中山 務 西川 康博 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘
2015/01/16 (金) 1時限 09:00~10:30	小児期の歯の外傷	<p>【授業の一般目標】 小児期の外傷について説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 乳歯外傷の好発年齢と部位を理解し説明できる。 2. 永久歯外傷の好発年齢と部位を理解し説明できる。 3. 外傷の程度とその処置法を乳歯の外傷と比較しながら理解し説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 小児期の外傷について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 5 歯の外傷 ウ 乳歯・幼若永久歯の外傷の処置と経過</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 5 歯の外傷 ア 歯の外傷の状況と影響 イ 診察と診断、治療方針 エ 小児の歯の外傷の予防</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 *⑦小児の歯の外傷・粘膜疾患の診察、検査と診断および処置法と予後を説明できる。</p>	根本 晴子
2015/01/16 (金) 2時限 10:40~12:10	外傷歯のワイヤー固定	<p>【授業の一般目標】 小児期の外傷の治療法について説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 亜脱臼歯の整復ができる。 2. 固定用ワイヤーの屈曲ができる。 3. 永久歯の外傷におけるワイヤー固定処置ができる。</p> <p>【準備学習項目】 小児期の外傷の治療法について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第4実習室</p>	清水 武彦 清水 邦彦 荒井 清司 岡本 京 伊藤 龍朗 根本 晴子 前田 隆秀 青木 望 赤羽 康彦 有馬 嗣雄 生田 剛史 生田 哲 伊藤 奈々 井上 雄温 植松 晃樹 白井 朗

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/16 (金) 2時限 10:40~12:10	外傷歯のワイヤー固定	<p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 5 歯の外傷 ア 歯の外傷の状況と影響</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 5 歯の外傷 イ 診察と診断、治療方針 ウ 乳歯・幼若永久歯の外傷の処置と経過</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 *⑦小児の歯の外傷・粘膜疾患の診察、検査と診断および処置法と予後を説明できる。</p>	太田 宅哉 岡本 和久 小川 恭央 折野 大輔 倉田 康弘 持田 治彦 栗田 朋治 小林 亮介 小宮 城治 清水 久美子 砂田 怜子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 中山 務 西川 康博 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘
2015/01/16 (金) 3時限 13:00~14:30	後期平常試験	<p>【授業の一般目標】 小児歯科実習で行った内容について理解する。</p> <p>【準備学習項目】 小児歯科実習で行った内容について理解する。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	清水 武彦 水邦彦 荒井 清司 岡本 京 伊藤 龍朗 根本 晴子 前田 秀 青木 隆望 赤羽 康彦 馬副 雄史 生田 剛史 生田 哲 伊藤 奈々 井上 雄温 植松 晃樹 白井 朗 太田 宅哉 岡本 和久 小川 恭央 折野 大輔 倉田 康弘 持田 治彦 栗田 朋治 小林 亮介 小宮 城治 清水 久美子 砂田 怜子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 中山 務 西川 康博 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘
2015/01/23 (金) 1時限 09:00~10:30	小児の齲蝕予防(1)	<p>【授業の一般目標】 小児期の齲蝕予防について説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 小児の齲蝕予防法を理解し説明できる。 2. フッ化物局所応用について説明できる。 3. 予防填塞について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 小児期の齲蝕予防について説明できる。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ 歯科疾患の予防・管理 1 齲蝕の予防・管理 オ 齲蝕の予防手段</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅰ 歯科疾患の予防・管理 1 齲蝕の予防・管理 キ フッ化物の応用法</p>	清水 邦彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/23 (金) 1時限 09:00～10:30	小児の齲蝕予防(1)	<p>歯科医学総論 総論X 治療 2 治療の基礎 ケ 小児の治療 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 キ フッ化物応用 b 局所的応用</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理 *①主な口腔疾患(う蝕、歯周疾患、不正咬合)の予防を説明できる。【生活習慣病の改善指導を含む。】 *②う蝕予防におけるフッ化物の応用方法を説明できる。【予防填塞とブラークコントロールを含む。】 *③ライフステージにおける予防を説明できる。 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 *②乳歯と幼若永久歯のう蝕の特徴、う蝕予防を説明できる。</p>	清水 邦彦
2015/01/23 (金) 2時限 10:40～12:10	小窩裂溝填塞法 フッ化物歯面塗布 法	<p>【授業の一般目標】 小児期の齲蝕予防について説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 小児の齲蝕予防法を理解し説明できる。 2. フッ化物局所応用ができる。 3. 予防填塞ができる</p> <p>【準備学習項目】 小児期の齲蝕予防について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論I 歯科疾患の予防・管理 1 齲蝕の予防・管理 オ 齲蝕の予防手段</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論I 歯科疾患の予防・管理 1 齲蝕の予防・管理 キ フッ化物の応用法 歯科医学総論 総論X 治療 2 治療の基礎 ケ 小児の治療 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 キ フッ化物応用 b 局所的応用</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理 *①主な口腔疾患(う蝕、歯周疾患、不正咬合)の予防を説明できる。【生活習慣病の改善指導を含む。】 *②う蝕予防におけるフッ化物の応用方法を説明できる。【予防填塞とブラークコントロールを含む。】 *③ライフステージにおける予防を説明できる。 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-6) 口腔保健 E-1-6) - (1) 予防処置 ①フッ化物の歯面塗布を実施できる。 ②予防填塞を実施できる。 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 *②乳歯と幼若永久歯のう蝕の特徴、う蝕予防を説明できる。</p>	<p>清水 武彦 清水 邦彦 荒井 清司 岡本 京 伊藤 龍朗 根本 晴子 前田 隆秀 青木 望 赤羽 康彦 有馬 嗣雄 馬田 剛史 生田 哲 生田 奈々 伊藤 雄温 井上 晃樹 植松 朗 白井 宅哉 太田 和久 岡本 恭央 小川 大輔 折野 康弘 倉田 治彦 倉田 朋治 栗田 亮介 小林 城治 小宮 久美子 清水 怜 砂田 竜一郎 高澤 眞理 田中 博司 谷 英史 寺田 佐和子 中村 均 中村 務 中山 康博 西川 昌伸 原 則光 平井 東栄 松村 克美 三好 優 山崎 知恵子 横屋 明弘 吉田</p>
2015/01/23 (金) 3時限 13:00～14:30	保護者への保険装置の説明	<p>【授業の一般目標】 保護者への保険装置の説明ができる</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 保険装置の必要性を説明できる。 2. 保険装置について説明できる。 3. 様々な媒体を用いて説明できる。 4. 患者や保護者の理解度を確認しながら説明できる。 5. 分かりやすい言葉使いと聞き取りやすい話し方ができる。</p> <p>【準備学習項目】 保険装置の種類と適応が説明ができる</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p>	<p>清水 武彦 清水 邦彦 荒井 清司 岡本 京 伊藤 龍朗 根本 晴子 前田 隆秀 青木 望 赤羽 康彦 有馬 嗣雄 馬田 剛史 生田 哲 生田 奈々 伊藤 雄温 井上 晃樹 植松 朗 白井 宅哉 太田</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/23 (金) 3時限 13:00~14:30	保護者への保険装置の説明	第4実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 6 歯列・咬合異常の予防 ウ 保険 【コアカリキュラム】	岡本 和久 小川 恭央 折野 大輔 倉田 康弘 持田 治彦 栗田 朋治 小林 亮介 小宮 城治 清水 久美子 砂田 怜子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 中山 務 西川 康博 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘
2015/01/30 (金) 1時限 09:00~10:30	小児のう蝕予防(2)	【授業の一般目標】 齲蝕予防について説明できる 【行動目標(SBOs)】 1.小児の口腔衛生指導法を理解し説明できる。 【準備学習項目】 齲蝕予防について説明できる 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 302教室、第4実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅰ 歯科疾患の予防・管理 6 保健指導 ア 口腔清掃の意義 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論Ⅰ 歯科疾患の予防・管理 6 保健指導 イ 口腔清掃法 ウ 口腔清掃指導 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 ケ 口腔清掃 c 口腔清掃行動 コ 口腔のケア a 口腔衛生管理のための口腔ケア 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 *②乳歯と幼若永久歯のう蝕の特徴、う蝕予防を説明できる。 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理 *①主な口腔疾患(う蝕、歯周疾患、不正咬合)の予防を説明できる。【生活習慣病の改善指導を含む。】 *⑤口腔ケアの意義と効果を説明できる。	清水 邦彦
2015/01/30 (金) 2時限 10:40~12:10	保護者へのブラッシング指導	【授業の一般目標】 小児期の齲蝕予防、特に口腔衛生指導について説明できる。 【行動目標(SBOs)】 1.小児の口腔衛生指導法を理解し説明できる。 2.保護者へのブラッシング指導ができる。 【準備学習項目】 齲蝕予防について説明できる 【学習方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 302教室、第4実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅰ 歯科疾患の予防・管理 6 保健指導 ア 口腔清掃の意義 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論Ⅰ 歯科疾患の予防・管理	清水 武彦 荒井 邦彦 岡本 清司 藤本 京 伊藤 龍朗 根本 晴子 前田 隆秀 青木 望 赤羽 彦 有馬 康 生田 嗣雄 生田 剛史 伊藤 哲 井上 奈々 植松 雄温 白井 晃樹 太田 朗 岡本 宅哉 小川 和久 折野 恭央 倉田 康弘 持田 治彦 栗田 朋治 小林 亮介 小宮 城治

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/30 (金) 2時限 10:40～12:10	保護者へのブラッシング指導	6 保健指導 イ 口腔清掃法 ウ 口腔清掃指導 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 ケ 口腔清掃 c 口腔清掃行動 コ 口腔のケア a 口腔衛生管理のための口腔ケア 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 *②乳歯と幼若永久歯のう蝕の特徴、う蝕予防を説明できる。 F 臨床実習 F-9 小児歯科実習 F-9-3) 保護者へのブラッシング指導 ①分かりやすい言葉使いと聴き取りやすい話し方ができる。 ②保護者の理解度を確認しながら指導できる。 ③仕上げ磨きの方法を指導できる。 ④保護者に練習させながら指導できる。 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理 *①主な口腔疾患（う蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。【生活習慣病の改善指導を含む。】 *⑤口腔ケアの意義と効果を説明できる。	清水 久美子 砂田 怜子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 中山 務 西川 康博 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘
2015/01/30 (金) 3時限 13:00～14:30	後期平常試験解説	【授業の一般目標】 実習中間試験について知識の再確認を行う。 【行動目標（SBOs）】 1. 実習中間試験の正答を理解する。 2. 自身の小児歯科知識の弱点を理解する。 【準備学習項目】 学年を通じ学んだ内容の再確認 【学習方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 302教室 【国家試験出題基準（主）】 【コアカリキュラム】	清水 武彦 清水 邦彦 荒井 清司 岡本 京 伊藤 龍朗 根本 晴子 前田 秀 青木 望 赤羽 康彦 有馬 嗣雄 生田 剛史 生田 哲 伊藤 奈々 井上 雄温 植松 晃樹 白井 朗 太田 宅哉 岡本 和久 小川 恭央 折野 大輔 倉田 康弘 倉持 治彦 栗田 朋治 小林 亮介 小宮 城治 清水 久美子 砂田 怜子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 中山 務 西川 康博 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘
2015/02/06 (金) 1時限 09:00～10:30	小児の口腔粘膜疾患	【授業の一般目標】 小児の口腔粘膜疾患について説明できる。 【行動目標（SBOs）】 1. 小児の口腔粘膜疾患について説明できる。 2. 小児の口腔粘膜疾患の治療法について説明できる。 【準備学習項目】 小児の口腔粘膜疾患について説明できる。 【学習方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 302教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 11 歯・口腔・顎・顔面・頭蓋の病因・病態 ウ 口腔粘膜の疾患 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論IV 顎・口腔領域の疾患	清水 邦彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/02/06 (金) 1時限 09:00～10:30	小児の口腔粘膜疾患	<p>6 口腔粘膜疾患 ア 単純疱疹 <疱疹性口内炎> イ 帯状疱疹 ウ ヘルパンギーナ エ 手足口病 ミ 溝(状)舌 ム 黒毛舌 モ 地図状舌 リ 口腔粘膜疾患に対する治療 4 軟組織に発生する嚢胞 ア 萌出嚢胞 ウ 粘液嚢胞</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (4) 口腔粘膜疾患</p> <p>*①口腔粘膜疾患の種類と特徴を説明できる。 *②水疱、紅斑、びらん、潰瘍、白斑、色素沈着等を主徴とする主な粘膜疾患を概説できる。</p>	清水 邦彦

総合医学

年次	学期	学則科目責任者
4年次	通年	坂巻 達夫 (内科学)

学習目標 (G I O)	歯科診療において全人的医療を遂行する上で必要な医学的知識を理解する。
評価方法 (E V)	平常試験 (多肢選択問題) によって評価点 (100%) とする。 総合医学に含まれる各科目は追試験は行うが、再試験は行わない。 成績評価は含まれる各科目の授業時間に応じた重み付けを行い、総合医学全体として評価点を出す。 60点以上を合格とする。

外科系

年次	学期	学習ユニット責任者
4年次	通年	牧山 康秀 (頭頸部外科学)

学習ユニット 学習目標 (G I O)	歯科診療を行う上で必要となる隣接医学の知識を外科学を中心に習得する。
担当教員	廣田 均、※荻野 暁義、※谷 眞弓、野本 たかと、※落合 豊子、※宋 圭男、※畠中 康晴、 ※前田 剛、※櫻井 健一、牧山 康秀
教科書	特になし
参考図書	標準外科学 第13版 加藤ら 医学書院 標準皮膚科学 富田ら 医学書院 よくわかる摂食・嚥下のしくみ 山田好秋 医歯薬出版
評価方法 (E V)	学期末に平常試験で評価する。その他、予告なしに試験を行う場合がある。受講態度により減点する。
学生への メッセージ オフィスアワー	質問などは牧山まで、まず、メールをください: makiyama.yasuhide@nihon-u.ac.jp

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/01 (水) 1時限 09:00~10:30	外科系1 外科学概論 近代外科学の発展 基本的外科手技	<p>【授業の一般目標】 広義の外科の一分野としての歯科を理解する。 近代外科学の進歩を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 外科学が発展してきた要因を説明できる。 2. 外科手術に用いる器械・器具を理解し、切開縫合・止血法の基本を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯科学の歴史について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 オ 使用器材、取扱法 a 基本的器材</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論X 治療 5 手術基本手技 イ 切開法 ウ 止血法 エ 縫合法</p> <p>【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-6 口腔外科系実習 ⑦基本的な縫合操作、抜糸を実施できる。</p>	谷 眞弓
2014/10/08 (水) 1時限 09:00~10:30	外科系2 消毒法・滅菌法・ 清潔操作・損傷・	<p>【授業の一般目標】 無菌法・滅菌法を通じ、手術における感染防止の重要性を理解する。 損傷・炎症の分類、病態・治療法について基本的概念を理解する。</p>	廣田 均 荻野 暁義

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
	炎症	<p>創傷治癒のメカニズムを理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 各種消毒法を説明できる 2. 滅菌法を説明できる 3. 損傷、炎症を説明できる 4. 創傷治癒を説明できる <p>【準備学習項目】</p> <p>外科総論の該当部分を通読。</p> <p>【学習方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学総論 総論X 治療 5 手術基本手技 ア 消毒と滅菌</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>歯科医学総論 総論X 治療 5 手術基本手技 ア 消毒と滅菌 エ 縫合法 ケ 創傷の治療</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-4) 小手術の基本手技 *⑥手指と術野の消毒について説明できる。 *⑦清潔と不潔の区別を説明できる。 *⑧器具の滅菌、消毒について説明できる。</p>	<p>廣田 均 荻野 暁義</p>
2014/10/15 (水) 1時限 09:00~10:30	外科系3 免疫	<p>【授業の一般目標】</p> <p>外科免疫に関する臓器・細胞について説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 外科免疫に関する臓器・細胞について説明できる。 <p>【準備学習項目】</p> <p>免疫について説明できる</p> <p>【学習方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 f 免疫 (自然免疫、獲得免疫)</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-2) 免疫 *①自然免疫と獲得免疫について説明できる。 *②細胞性免疫と体液性免疫について説明できる。【抗体の種類と特徴を含む。】 *③免疫担当細胞の種類と機能を説明できる。 *④自己と非自己の識別機構と免疫寛容を説明できる。 *⑤アレルギーの分類を説明できる。【発生機序を含む。】 *⑥免疫・アレルギー疾患の種類と発症機序を説明できる。</p>	<p>畠中 康晴</p>
2014/10/22 (水) 1時限 09:00~10:30	外科系4 皮膚疾患 総論・各論1	<p>【授業の一般目標】</p> <p>皮膚の解剖を説明できる。 発疹学を説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 代表的な発疹疾患を説明できる <p>【準備学習項目】</p> <p>皮膚の解剖</p> <p>【学習方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学総論 総論VII 主要症候 1 全身的症候 イ 皮膚、外表</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>C 生命科学</p>	<p>落合 豊子</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/22 (水) 1時限 09:00～10:30	外科系4 皮膚疾患 総論・各論1	C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (1) 組織 (上皮組織、結合組織、筋組織) 【神経組織の構造と機能はC-2-3) - (5) 神経系の項を参照】 *①上皮を形態的および機能的に分類できる。 *②皮膚と粘膜の基本構造と機能を説明できる。 *③腺を分泌物の性状、形態および分泌機構に基づいて分類できる。	落合 豊子
2014/10/29 (水) 1時限 09:00～10:30	外科系5 ショック 救急蘇生法	【授業の一般目標】 ショックを説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. ショックの定義と症状、分類を説明できる。 2. ショックに対し救急蘇生法ができる。 【準備学習項目】 血圧、循環、呼吸について。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 13 初期救急 イ 救急処置 b 救急処置を要する症状 (失神、意識障害、ショック、けいれん、呼吸困難、胸痛、嘔吐、皮膚症状、誤飲と誤嚥) 【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 13 初期救急 ア 救急患者の診察 b バイタルサインの把握 c 意識障害の評価 e 重要臓器の機能状態の把握 イ 救急処置 a 一次救命処置<BLS>、気道確保、人工呼吸、胸骨圧迫、除細動、静脈路確保、酸素療法、基本的救急薬品、止血法、輸液療法、輸血 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-4 病因と病態 C-4-3) 循環障害 *⑦ショックの成因と種類を説明できる。	前田 剛
2014/11/05 (水) 1時限 09:00～10:30	外科系6 腫瘍、抗腫瘍剤	【授業の一般目標】 腫瘍について基本的概念を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 良性・悪性の鑑別点を説明できる 2. 抗腫瘍剤の作用機序・使用法・副作用を説明できる。 【準備学習項目】 腫瘍を定義できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 14 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 g 腫瘍 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 7 腫瘍 ア 腫瘍の概念 イ 腫瘍発生の病因 ウ 腫瘍の疫学 エ 腫瘍の発育様式 ケ 腫瘍と宿主の関係 総論X 治療 8 放射線治療 ア 放射線治療の生物学的・物理学的基礎 9 薬物療法 セ 抗腫瘍薬 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-4 病因と病態 C-4-5) 腫瘍 *①腫瘍の定義を説明できる。 *②腫瘍の病因を説明できる。 *③異形成を説明できる。 *④腫瘍の異型性と組織学的分化度を説明できる。 *⑤良性腫瘍と悪性腫瘍の異同を説明できる。 *⑥局所における腫瘍の増殖、浸潤および転移を説明できる。 E 臨床歯学教育	丹羽 秀夫

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/05 (水) 1時限 09:00～10:30	外科系6 腫瘍, 抗腫瘍剤	E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (5) 嚢胞、腫瘍および類似疾患 *⑪前癌状態の種類と特徴を列挙できる。 *⑫口腔癌の特徴、予防、症状および治療法を説明できる。 *⑧腫瘍類似疾患の種類と特徴を列挙できる。	丹羽 秀夫
2014/11/12 (水) 1時限 09:00～10:30	外科系7 気管・食道科学 総論	【授業の一般目標】 気管食道の病態、嚥下とその病態について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 誤飲、誤嚥を説明できる。 2. 気管・食道の異物について説明できる。 【準備学習項目】 気管・食道の解剖・機能を理解できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 顎・口腔領域の疾患 18 歯科における全身偶発症 キ 誤飲と誤嚥 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論VI 高齢者の歯科診療 15 摂食・嚥下機能 イ 摂食・嚥下障害の病因・病態 ウ 摂食・嚥下障害の評価・検査 エ 摂食・嚥下障害の主な原因 オ 摂食・嚥下に関する諸因子 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 *⑧嚥下の機序を説明できる。 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (10) 口唇・口腔・顎顔面領域の機能障害 *②嚥下障害を概説できる。	宋 圭男
2014/11/19 (水) 1時限 09:00～10:30	外科系8 甲状腺・リンパ腺・ 乳腺	【授業の一般目標】 歯科科学領域で遭遇頻度の高い頭頸部疾患を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 代表的な甲状腺疾患を説明できる。 2. 代表的な乳腺疾患を説明できる。 【準備学習項目】 甲状腺、乳腺の解剖生理を説明できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論III 人体の正常構造と機能 2 器官系 ケ 内分泌系 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (8) 内分泌系 *①各内分泌器官の構造と機能およびホルモンを説明できる。【ホルモンの特徴と機能、内分泌系と神経系との機能相関を含む。】 C-4 病因と病態 C-4-5) 腫瘍 *①腫瘍の定義を説明できる。 *②腫瘍の病因を説明できる。 *③異形成を説明できる。 *④腫瘍の異型性と組織学的分化度を説明できる。 *⑤良性腫瘍と悪性腫瘍の異同を説明できる。 *⑥局所における腫瘍の増殖、浸潤および転移を説明できる。	櫻井 健一
2014/11/26 (水) 1時限 09:00～10:30	外科系9 急性腹症	【授業の一般目標】 急性腹症とは何かを説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 代表的な急性腹症を説明できる。 【準備学習項目】 腹腔の解剖生理を理解する。	畠中 康晴

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/26 (水) 1時限 09:00～10:30	外科系9 急性腹症	<p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 e 器官系 (骨格系、筋系、消化器系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、泌尿器系、生殖器系、神経系、感覚器系、内分泌系)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 13 初期救急 ア 救急患者の診察 e 重要臓器の機能状態の把握</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (6) 消化器系 *①消化管 (咽頭、食道、胃、小腸、大腸) の基本構造と機能を説明できる。 【腸管平滑筋の特徴、消化液、消化管ホルモンの機能を含む。】 *②肝臓の構造と機能および胆汁の分泌を説明できる。 *③膵臓の外分泌腺と内分泌腺の特徴を説明できる。</p>	畠中 康晴
2014/12/03 (水) 1時限 09:00～10:30	外科系10 食道疾患	<p>【授業の一般目標】 食道の臨床解剖と疾患を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 代表的な食道疾患を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 食道の解剖生理について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 9 主要な症候 ア 全身の症候 a 発熱、全身倦怠感、体重減少・増加、ショック、意識障害、失神、脱水、浮腫、けいれん、めまい、咳、喀痰、喘鳴、チアノーゼ、胸痛、呼吸困難、息切れ、動悸、頻脈、徐脈、不整脈、血圧上昇・低下、食思 (欲) 不振、悪心、嘔吐、下痢、貧血、睡眠障害、頭痛、頭重感、摂食・嚥下障害</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (6) 消化器系 *①消化管 (咽頭、食道、胃、小腸、大腸) の基本構造と機能を説明できる。 【腸管平滑筋の特徴、消化液、消化管ホルモンの機能を含む。】</p>	宋 圭男
2014/12/10 (水) 1時限 09:00～10:30	外科系11 消化管・肝・胆・膵	<p>【授業の一般目標】 消化性潰瘍の概念を理解する。 消化性潰瘍の診断と治療法を説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 胃癌の疫学と概念を理解し診断・治療法を説明できる。 2. 大腸癌の疫学と概念を理解し診断・治療法を説明できる。 3. 大腸の炎症性疾患を説明できる。 4. 代表的な肛門疾患の診断治療について説明できる。 5. 代表的な肝臓・胆嚢・膵臓疾患を理解し、診断・治療法を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 消化管の解剖と生理を説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 イ 消化器系</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 主要症候 1 全身的症候 エ 消化器</p>	宋 圭男

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/10 (水) 1時限 09:00～10:30	外科系11 消化管・肝・胆・ 膵	<p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (6) 消化器系 *①消化管(咽頭、食道、胃、小腸、大腸)の基本構造と機能を説明できる。 【腸管平滑筋の特徴、消化液、消化管ホルモンの機能を含む。】</p>	宋 圭男
2014/12/17 (水) 1時限 09:00～10:30	外科系12 皮膚疾患 各論2	<p>【授業の一般目標】 口腔に見られる皮膚粘膜疾患の説明できる。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 天疱瘡を説明できる 2. 単純ヘルペスを説明できる。 3. 口腔カンジダ症を説明できる。 4. 扁平苔癬を説明できる。 5. 口腔アレルギー症候群を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 口腔粘膜の解剖生理を説明できる。</p> <p>【学習方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 主要症候 2 歯・口腔・顎・顔面の症候 エ 口腔粘膜</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 顎・口腔領域の疾患 6 口腔粘膜疾患 ア 単純疱疹 <疱疹性口内炎> オ 天疱瘡 カ 類天疱瘡 ケ 粘膜・皮膚・眼症候群 <Stevens-Johnson 症候群> コ 中毒性表皮壊死剥離症 <TEN> チ 口腔扁平苔癬 ツ 口腔カンジダ症<顎口瘡></p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (1) 組織(上皮組織、結合組織、筋組織)【神経組織の構造と機能はC-2-3) - (5) 神経系の項を参照】 *①上皮を形態的および機能的に分類できる。 *②皮膚と粘膜の基本構造と機能を説明できる。 *③腺を分泌物の性状、形態および分泌機構に基づいて分類できる。 *④結合組織の線維要素と細胞要素を説明できる。</p>	落合 豊子
2014/12/24 (水) 1時限 09:00～10:30	外科系13 摂食・嚥下機能と 摂食・嚥下機能障 害	<p>【授業の一般目標】 摂食・嚥下機能を理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1.1. 摂食・嚥下機能の発達を説明できる。 2. 2. 嚥下の機序について説明できる。 3. 3. 嚥下動作にかかわる解剖・生理を説明できる。 4. 4. 摂食・嚥下機能障害を合併する疾患を述べられる。</p> <p>【準備学習項目】 頭頸部の解剖について説明できる。</p> <p>【学習方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 へ 口腔機能のリハビリテーション a 機能の回復 <咀嚼機能、摂食・嚥下機能、構音機能></p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 *⑧嚥下の機序を説明できる。</p>	野本 たかと
2015/01/14 (水) 1時限 09:00～10:30	外科系14 摂食・嚥下機能障 害のリハビリテー ション1	<p>【授業の一般目標】 摂食・嚥下障害の診断ができるために診査法および検査法を理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. リハビリテーションの概念について説明できる。 2. 摂食・嚥下機能障害の診査法および検査法を説明できる。 3. 摂食・嚥下機能障害の診断を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】</p>	野本 たかと

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/14 (水) 1時限 09:00～10:30	外科科系14 摂食・嚥下機能障 害のリハビリテー ション1	リハビリテーションについて説明できる。 【学習方略 (L S)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 3 0 2 教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論IX 検査 2 画像検査 チ 造影検査 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-3) 高齢者の歯科治療 *⑩摂食・嚥下障害の診察、検査、診断を説明できる。	野本 たかと
2015/01/21 (水) 1時限 09:00～10:30	外科科系15 摂食・嚥下機能障 害のリハビリテー ション2	【授業の一般目標】 摂食・嚥下リハビリテーションができるよう訓練法を理解する。 【行動目標 (S B O s)】 1. 間接訓練法と直接訓練法について説明できる。 2. 嚥下障害と誤嚥性肺炎について説明できる。 3. 嚥下障害と栄養について説明できる。 【準備学習項目】 嚥下障害について説明できる。 【学習方略 (L S)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 3 0 2 教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論VI 高齢者の歯科診療 1 6 摂食・嚥下障害 イ 摂食・嚥下障害の対応 c 直接訓練、段階的摂食訓練 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-3) 高齢者の歯科治療 *⑩摂食・嚥下リハビリテーションを説明できる。	野本 たかと
2015/01/28 (水) 1時限 09:00～10:30	外科科系16 平常試験	【授業の一般目標】 客観問題を中心に出題する。 【学習方略 (L S)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 3 0 2 教室	廣田 均 牧山 康秀

頭蓋・顔面・頭頸部外科系

年次	学期	学習ユニット責任者
4年次	通年	牧山 康秀 (頭頸部外科学)

学習ユニット 学習目標 (GIO)	歯学と機能上不可分な解剖学的隣接領域である耳鼻咽喉科の疾患を学習する。 機能修復、温存に必要な形成外科、疼痛学を学習する。
担当教員	※久保 英之、※鳴原 俊太郎、牧山 康秀、丹羽 秀夫、※下田 勝巳、※副島 一孝、小見山 道
教科書	複教科目にわたるため参考図書とする
参考図書	標準耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 鈴木ら 医学書院 標準形成外科学 平林ら 医学書院 口腔顔面痛の診断と治療ガイドブック 日本口腔顔面痛学会 医歯薬出版 Bell's Orofacial Pain Jeffrey P. Okeson Quintessence
評価方法 (EV)	学期末の平常試験による評価とする。ただし、学習状況により減点を行う場合がある。また、予告のない平常試験を追加し評価に加味する場合がある。
学生への メッセージ オフィスアワー	本学のMottoであるmedico-dental scienceの理解と構築発展のための基礎となる講義群である。本講座では顎口腔と解剖学的に隣接した医学領域の基本知識を得る。周辺分野をよりよく知ることによって歯科口腔外科の理解が一層深まり、self-confidentとなる。境界領域ではあるがそのほとんどは歯科医学教育の標準的内容と重複していることを追記しておく。 詳細はユニット責任者へ： 連絡はまずメールで：makiyama.yasuhide@nihon-u.ac.jp

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/09/29 (月) 1時限 09:00～10:30	頭蓋・顔面・頭頸部外科系1 頭部顔面外傷・総論	<p>【授業の一般目標】 頭部顔面外傷の総論を説明できる</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 頭蓋顔面外傷に必要な解剖を説明できる 2. 頭蓋顔面外傷の特殊性、特徴を説明できる 3. 頭蓋顔面外傷の初期診断、初期治療を説明できる 4. 頭蓋顔面外傷の徴候と診断を説明できる 5. 頭蓋顔面外傷の治療を説明できる</p> <p>【準備学習項目】 頭蓋顔面の解剖を説明できる 外傷の総論が説明できる</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 顎・口腔領域の疾患 8 歯・歯槽骨・顎骨・顔面骨の損傷 イ 骨折の様態</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論IV 顎・口腔領域の疾患 8 歯・歯槽骨・顎骨・顔面骨の損傷 ア 骨の亀裂・破折・脱臼 サ 損傷に対する治療</p> <p>【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-2 診察の基本 F-2-2) 頭頸部の診察 ①顔面の色調変化の診察ができる。 ②顔面の対称性の診察ができる。</p>	牧山 康秀
2014/10/06 (月) 1時限 09:00～10:30	頭蓋顔面頭頸部外科系2 耳鼻咽喉科学総論 解剖・生理・機能	<p>【授業の一般目標】 耳鼻咽喉科学が歯科医学においてどのような位置づけにあるのかを理解し、解剖、生理について説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 耳鼻咽喉科領域の解剖を説明できる 2. 耳鼻咽喉科領域の生理を説明できる</p> <p>【準備学習項目】 聴器、平衡器、鼻腔、副鼻腔、咽頭喉頭の解剖と生理が説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p>	丹羽 秀夫

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/06 (月) 1時限 09:00～10:30	頭蓋顔面頭頸部外科系2 耳鼻咽喉科学総論 解剖・生理・機能	<p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 e 器官系（骨格系、筋系、消化器系、呼吸器系、循環器系（脈管系）、泌尿器系、生殖器系、神経系、感覚器系、内分泌系）</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 *①頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 *③頭頸部の脈管系を説明できる。 *⑧嚥下の機序を説明できる。</p>	丹羽 秀夫
2014/10/20 (月) 1時限 09:00～10:30	頭蓋顔面頭頸部外科系3 耳科学総論	<p>【授業の一般目標】 耳の臨床解剖・機能を説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 聴器、平衡器の臨床解剖、生理を説明できる</p> <p>【準備学習項目】 聴器、平衡器の解剖生理を説明できる。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ク 感覚器系</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 e 器官系（骨格系、筋系、消化器系、呼吸器系、循環器系（脈管系）、泌尿器系、生殖器系、神経系、感覚器系、内分泌系）</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (4) 感覚器系 *③視覚器、聴覚・平衡感覚器の構造と機能を説明できる。</p>	嶋原 俊太郎
2014/10/27 (月) 1時限 09:00～10:30	頭蓋顔面頭頸部外科系4 疼痛学総論	<p>【授業の一般目標】 疼痛学の基礎を説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 口腔・顎・顔面・頭部の痛覚伝導路を説明できる 2. 口腔・顎・顔面・頭部の筋支配を説明できる 3. 疼痛の定義、意義、機能を説明できる 4. 疼痛の分類を説明できる</p> <p>【準備学習項目】 口腔・顎・顔面・頭部の知覚と運動の解剖生理を説明できる。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅵ 病因、病態 8 疼痛 エ 口腔・顔面領域の疼痛</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅵ 病因、病態 8 疼痛 ア 侵害受容性疼痛 イ 神経障害性疼痛 ウ 心因性疼痛 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 3 口腔・顎・顔面・頭頸部の機能 ス 顔面皮膚の感覚</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (5) 神経系 *①脳神経の種類、走行、線維構築および支配領域を説明できる。</p>	小見山 道 牧山 康秀
2014/11/10 (月) 1時限	頭蓋顔面頭頸部外科系5	<p>【授業の一般目標】 鼻科領域において歯科医学と関連の深い検査法・診断・治療を説明できる。</p>	丹羽 秀夫

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
09:00～10:30	鼻科学各論 咽喉頭科学総論各論	<p>咽頭・喉頭の解剖・機能を説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 副鼻腔炎の病態、症状、診断、治療について説明できる。 2. 咽喉頭疾患を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 鼻腔、副鼻腔の解剖と生理を説明できる。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 顎・口腔領域の疾患 3 軟組織の炎症 カ 歯性上顎洞炎</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 顎・口腔領域の疾患 5 軟組織に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 エ 舌癌 ケ 上顎洞癌 コ 軟組織の肉腫</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (7) 呼吸器系 *①気道系（鼻腔、副鼻腔、喉頭、気管、気管支）の構造と機能を説明できる。</p>	丹羽 秀夫
2014/11/17（月） 1時限 09:00～10:30	頭蓋顔面頭頸部外 科系6 疼痛学各論1 口腔・顎領域の慢性疼痛1	<p>【授業の一般目標】 口腔・顎・顔面領域に発生する慢性疼痛疾患に対応できるようになるために、各種原因疾患の診査、診断治療方針に関する基本的知識を理解する</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 顎関節症の診査、診断、治療方針を説明できる 2. 舌痛症の診査、診断、治療方針を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 顎関節の解剖、生理、機能。 舌の神経支配、舌に疼痛を引き起こす系統疾患。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅴ 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 1 病態 カ 顎関節症・口腔顔面痛</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 顎・口腔領域の疾患 13 神経疾患 オ 舌痛症</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (6) 顎関節疾患 *②顎関節疾患（外傷、脱臼、炎症、顎関節症、顎関節強直症）の症状、診断法および治療法を概説できる。 E-2-4) - (8) 神経性疾患 *②口腔・顔面痛について概説できる。</p>	小見山 道 牧山 康秀 久保 英之
2014/12/01（月） 1時限 09:00～10:30	頭蓋顔面頭頸部外 科系7 疼痛学各論2 頭部・顔面領域の慢性疼痛	<p>【授業の一般目標】 慢性の頭痛・顔面痛について説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 緊張型頭痛、片頭痛、群発頭痛が説明できる 2. 三叉神経痛、舌咽神経痛が説明できる 3. 非定型顔面痛、非定型歯痛が説明できる 4. 帯状疱疹後神経痛が説明できる 5. 複合性局所疼痛症候群が説明できる</p> <p>【準備学習項目】 疼痛の基礎医学を説明できる。 疼痛の臨床的意味を説明できる。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p>	牧山 康秀 小見山 道 久保 英之

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/01 (月) 1時限 09:00～10:30	頭蓋顔面頭頸部外 科系7 疼痛学各論2 頭部・顔面領域の 慢性疼痛	<p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 8 疼痛 エ 口腔・顔面領域の疼痛</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論IV 顎・口腔領域の疾患 13 神経疾患 ア 三叉神経痛 イ 舌咽神経痛 ウ 非定型顔面痛、非歯原性歯痛 エ 複合性局所疼痛症候群 <complex regional pain syndrome></p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (8) 神経性疾患 *①三叉神経痛の原因、症状および治療法を説明できる。 *②口腔・顔面痛について概説できる。</p>	牧山 康秀 小見山 道 久保 英之
2014/12/08 (月) 1時限 09:00～10:30	頭蓋顔面頭頸部外 科系8 形成外科総論・顎 顔面領域の形成外 科総論	<p>【授業の一般目標】 形成外科の理念・方法論を理解する。 顎顔面領域で関わる形成外科の疾患を説明できる。 顎顔面領域における歯科ならびに形成外科学的審美学を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 形成外科を定義できる 2. 形成外科の対象となる顎顔面領域の先天異常、外傷、組織欠損、再生医療について説明できる 3. 顎顔面領域における審美学を説明できる</p> <p>【準備学習項目】 皮膚の組織、創傷の治癒を説明できる。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論IV 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 1 頭頸部の構造 カ 顔面</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論IV 顎・口腔領域の疾患 1 先天異常と変形を主徴とする疾患 ア 口唇・口蓋裂 ウ 顔面裂 エ 口唇・頬部の異常 ク 先天異常と変形に対する治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-3) 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の発生、成長・発育および加齢とその異常 *①口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の発生を概説できる。 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (1) 先天異常および後天異常 *①口唇・口腔・頭蓋・顎顔面に症状をきたす先天性異常を説明できる。</p>	副島 一孝
2014/12/15 (月) 1時限 09:00～10:30	頭蓋顔面頭頸部外 科系9 形成外科学各論1 口唇裂・口蓋裂	<p>【授業の一般目標】 口唇裂、口蓋裂を説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 口唇裂、口蓋裂を定義できる 2. 口唇裂、口蓋裂の分類、疫学、病態、合併症、解剖、治療計画、手術について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 顔面の発生学と臨床解剖を説明できる。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論V 発生、成長、発達、加齢 3 歯・口腔・顎・顔面の発生 イ 顎、口蓋</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論II 成長発育に関連した疾患・病態</p>	下田 勝巳 副島 一孝

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/15 (月) 1時限 09:00～10:30	頭蓋顔面頭頸部外 科系9 形成外科学各論1 口唇裂・口蓋裂	1 歯・口腔・顎・顔面の発育を障害する先天異常 ア 口唇・口蓋裂 各論IV 顎・口腔領域の疾患 1 先天異常と変形を主徴とする疾患 ア 口唇・口蓋裂 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-3) 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の発生、成長・発育および加齢と その異常 *①口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の発生を概説できる。 *②一次口蓋と二次口蓋の発生を説明できる。 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (1) 先天異常および後天異常 *②口唇・口蓋裂の病態と治療方針を説明できる。	下田 勝巳 副島 一孝
2014/12/22 (月) 1時限 09:00～10:30	頭蓋顔面頭頸部外 科系10 疼痛学各論3 口腔・顎領域の慢 性疼痛2	【授業の一般目標】 歯に原因がないにも関わらず歯に疼痛を引き起こす非菌原性歯痛の適切な診査、 診断、治療方針の決定ができるようになるために、各種原因疾患の特長を理解 する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 筋・筋膜痛による関連痛の特徴が説明できる 2. 神経障害性疼痛による歯痛の特長が説明できる。 3. 神経血管性疼痛による歯痛の特徴が説明できる。 4. その他の原因による非菌原性歯痛による歯痛の特徴が説明できる。 【準備学習項目】 疼痛学総論、疼痛学各論1、疼痛学各論2の内容 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 1 病態 カ 顎関節症・口腔顔面痛 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (8) 神経性疾患 *②口腔・顔面痛について概説できる。	小見山 道 牧山 康秀 久保 英之
2014/12/25 (木) 1時限 09:00～10:30	頭蓋顔面頭頸部外 科系11 顎顔面領域の神経 疾患	【授業の一般目標】 顎顔面領域の神経支配を説明できる。 神経疾患による顎顔面領域の症状・病態・診断につ いて説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 顔面けいれん、口腔ジスキネジーについて説明できる。 2. 顔面神経麻痺、Ramsay Hunt症候群について説明できる。 3. 三叉神経麻痺、舌神経麻痺、舌下神経麻痺について説明できる。 【準備学習項目】 頭部、顔面、口腔、頸部の解剖、生理について説明できる。 けいれん、不随意運動、てんかんを定義できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VII 主要症候 1 全身的症候 ク 神経 (知覚障害と運動障害を含む) 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論IV 顎・口腔領域の疾患 13 神経疾患 キ 舌神経麻痺 ク 顔面神経麻痺 ケ 軟口蓋麻痺 コ Ramsay-Hunt 症候群 <Hunt症候群> サ 顔面けいれん シ 三叉神経麻痺 ス 舌下神経麻痺 セ 神経疾患の治療 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (8) 神経性疾患	牧山 康秀

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/25 (木) 1時限 09:00～10:30	頭蓋顔面頭頸部外 科系1 1 顎顔面領域の神経 疾患	<p>*③顔面神経麻痺の原因、症状および治療法を説明できる。 *④三叉神経麻痺（感覚麻痺、運動麻痺）の原因、症状および治療法を説明できる。</p> <p>F 臨床実習 F-2 診察の基本 F-2-2) 頭頸部の診察 ②顔面の対称性の診察ができる。</p>	牧山 康秀
2015/01/19 (月) 1時限 09:00～10:30	頭蓋顔面頭頸部外 科系1 2 耳科学各論 めまい・平衡機能	<p>【授業の一般目標】 平衡器官とその疾患について検査・診断・治療法を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. メニエール病、突発性難聴について説明できる。 2. 良性発作性頭位眩暈症、前庭神経炎について説明できる。 3. 聴力検査、他覚聴力検査について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 平衡器の解剖生理について説明できる。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 9 主要な症候 ア 全身の症候 a 発熱、全身倦怠感、体重減少・増加、ショック、意識障害、失神、脱水、浮腫、けいれん、めまい、咳、喀痰、喘鳴、チアノーゼ、胸痛、呼吸困難、息切れ、動悸、頻脈、徐脈、不整脈、血圧上昇・低下、食思（欲）不振、悪心、嘔吐、下痢、貧血、睡眠障害、頭痛、頭重感、摂食・嚥下障害</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 主要症候 1 全身の症候 ク 神経（知覚障害と運動障害を含む）</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (4) 感覚器系 *③視覚器、聴覚・平衡感覚器の構造と機能を説明できる。</p>	嶋原 俊太郎
2015/01/26 (月) 1時限 09:00～10:30	頭蓋顔面頭頸部外 科系1 3 形成外科学各論 2 顔面頭頸部の形成 再建外科	<p>【授業の一般目標】 顔面頭頸部形成再建術に必要な解剖・術式・合併症を説明できる。 顔面頭部領域で関わる形成外科的知識を説明できる。 再建外科に必要な皮膚移植（組織移植）について説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 自家組織移植による再建について説明できる。 2. 植皮術と皮弁について説明できる。 3. 顔面頭頸部再建術を説明できる。 4. 口腔、中咽頭再建術を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 皮弁の作成と創の形成を説明できる。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅹ 治療 5 手術基本手技 ク 移植、再植</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 顎・口腔領域の疾患 5 軟組織に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 タ 腫瘍・腫瘍類似疾患に対する治療 a 外科療法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (2) 外傷 ⑦軟組織損傷を分類し、それぞれの症状と処置法を説明できる。</p>	副島 一孝
2015/02/02 (月) 1時限 09:00～10:30	頭蓋顔面頭頸部外 科系1 4 頭頸部腫瘍学	<p>【授業の一般目標】 唾液腺腫瘍、頸部郭清術について説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 唾液腺の種類・解剖・機能を説明できる。 2. 唾液腺疾患の検査法、診断治療を説明できる。 3. 頸部郭清術の解剖、術式、合併症を説明できる。</p>	丹羽 秀夫

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/02/02 (月) 1時限 09:00～10:30	頭蓋顔面頭頸部外科系14 頭頸部腫瘍学	<p>【準備学習項目】 頸部の解剖について説明できる。 唾液腺の解剖と生理を説明できる。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 顎・口腔領域の疾患 5 軟組織に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 タ 腫瘍・腫瘍類似疾患に対する治療 a 外科療法</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 顎・口腔領域の疾患 5 軟組織に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 エ 舌癌 ク 口底癌 コ 軟組織の肉腫 12 唾液腺疾患 タ 良性腫瘍 チ 悪性腫瘍 テ 唾液腺疾患の治療</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-4 病因と病態 C-4-5) 腫瘍 *⑤良性腫瘍と悪性腫瘍の異同を説明できる。 *⑥局所における腫瘍の増殖、浸潤および転移を説明できる。</p>	丹羽 秀夫
2015/02/05 (木) 1時限 09:00～10:30	頭蓋顔面頭頸部外科系15 頭部顔面外傷各論	<p>【授業の一般目標】 頭部顔面外傷の各病型の診断治療を説明できる</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 頭蓋骨骨折の分類・診断・治療を説明できる。 2. 眼科骨折の分類・診断・治療を説明できる。 3. 頬骨骨折の分類・診断・治療を説明できる。 4. 上顎Le Fort 骨折の分類・診断・治療を説明できる。 5. 下顎骨骨折の分類・診断・治療を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 頭蓋、顔面の解剖を説明できる。 外傷の総論が説明できる。 頭部・顔面外傷の総論が説明できる。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 顎・口腔領域の疾患 2 軟組織の損傷 ウ 損傷に対する治療</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 顎・口腔領域の疾患 8 歯・歯槽骨・顎骨・顔面骨の損傷 ア 骨の亀裂・破折・脱臼 イ 骨折の様態 エ 下顎骨骨折 カ 上顎骨骨折 キ 頬骨・頬骨弓骨折 ク 鼻骨骨折 ケ 眼窩壁吹き抜け骨折 サ 損傷に対する治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (2) 外傷 *①一般的な骨折の種類と特徴および治癒過程を説明できる。 *②歯の外傷と顎顔面骨折の原因と種類を列挙できる。 *③外傷時の検査法を列挙できる。 *④骨折の治療原則を説明できる。 ⑦軟組織損傷を分類し、それぞれの症状と処置法を説明できる。</p>	前田 剛
2015/02/09 (月) 1時限 09:00～10:30	頭蓋顔面頭頸部外科系16 平常試験	<p>【授業の一般目標】 客観問題による試験。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p>	牧山 康秀

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/02/09 (月) 1時限 09:00～10:30	頭蓋顔面頭頸部外 科系16 平常試験	【国家試験出題基準(主)】 【コアカリキュラム】	牧山 康秀

内科・臨床検査医学系

年次	学期	学習ユニット責任者
4年次	通年	坂巻 達夫 (内科学)

学習ユニット 学習目標 (GIO)	全身疾患を有する患者に適切な歯科診療を行うために必要な臨床検査の知識を習得する。歯科診療において全人的医療を遂行する上で必要な医学的知識を理解する。
担当教員	坂巻 達夫、近藤 壽郎、福本 雅彦、牧村 正治、大口 純人、西村 均、伊藤 耕、深津 晶、 續橋 治、布施 恵、山口 桜子、岩井 聡、羽田 紗綾
教科書	教科書は使用しない。基礎歯科医学で使用した教科書を参考とする。 内科：テキストを配布する。
参考図書	臨床検査法提要 金井 泉著 金原出版 新臨床内科学第8版 高久史磨 医学書院 歯科のための内科学 改訂第3版 井田和徳 南江堂 チャート式こんな患者が来院したら 和嶋浩一 デンタルダイヤモンド社 有病者歯科ポケットブック全身疾患VS 歯科治療 渋谷鑛 デンタルダイヤモンド社
評価方法 (EV)	臨床検査：中間試験 45% 小テスト(講義終了後毎回試験を行う) 10% 平常試験 45% *正当な理由がなく、授業を1/5以上欠席した場合は、評価点は上限60点とする。 内科：平常試験(多肢選択問題) 100% 事例検討：平常試験(多肢選択問題) 100% 総合医学に含まれる各科目は追試験は行うが、再試験は行わない。成績評価は含まれる各科目の授業時間に応じての重みづけを行い、総合医学全体として評価点を出す。60点以上を合格とする。
学生への メッセージ オフィスアワー	すでに履修した生理学、生化学、病理学、解剖学、などと系統立てて学習すると理解しやすい。 全人的医療という言葉が表わすように、患者さんを取り巻く社会的、生理的、心理的、倫理的といった様々な要素を理解するためにも幅広い知識が要求されます。歯科医学を遂行する上で必ず役に立つ時が来ますので、集中して受講してください。 内科：オフィスアワー 午前8時ころから午後5時ころまで。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/03 (木) 1時限 09:00~10:30	総論 1) 臨床検査とは 2) 臨床検査の種類 3) 歯科診療と臨床検査 一般検査 尿検査 1) 尿検査とは 2) 尿検査の重要性 3) 採尿法 4) 尿検査	【授業の一般目標】 臨床検査医学とはどのような学問かを理解し説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床検査に用いられる検査材料の種類とその取り扱いを説明できる。 2. 各検査項目の臨床的意義を理解し説明できる。 3. 歯科診療における臨床検査の重要性を理解し説明できる。 4. 腎臓の形態、尿、尿検査の利点欠点を説明できる。 5. 尿一般検査、尿化学的検査、尿形態学的検査の項目と臨床的意義について説明できる。 【準備学習項目】 1) 生化学、生理学、栄養学、組織・解剖学、病理学を十分理解する。 2) 解剖学的・組織学的な腎臓の特徴を説明できる。 3) 代謝についてを説明できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 11 検査の基本 ウ 検体検査の種類 a 一般臨床検査 (尿、穿刺液、関節液) 【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 12 臨床判断の基本 イ 基準値 a 基準範囲の概念 b 生理学的変動 c 性差、年齢差 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-1) 基本的診療技能 *①診察、検査および診断に必要な事項を列挙できる。 *⑤各種臨床検査の基準値を知り、重要な異常値の意味を説明できる。	福本 雅彦 深津 晶
2014/04/03 (木) 2時限 10:40~12:10	内科診断学1	【授業の一般目標】 循環動態、意識障害、発熱、咳嗽、胸痛、血圧異常について理解する。	坂巻 達夫

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
	内科診断学1	<p>【行動目標 (SBOs)】 1. 症候から考えられる疾患の診断過程を説明できる。 2. 症候に関連する検査データを踏まえて鑑別診断ができる。</p> <p>【準備学習項目】 循環動態、意識障害、発熱、咳嗽、胸痛、血圧異常について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 9 主要な症候 ア 全身の症候 a 発熱、全身倦怠感、体重減少・増加、ショック、意識障害、失神、脱水、浮腫、けいれん、めまい、咳、喀痰、喘鳴、チアノーゼ、胸痛、呼吸困難、息切れ、動悸、頻脈、徐脈、不整脈、血圧上昇・低下、食思(欲)不振、悪心、嘔吐、下痢、貧血、睡眠障害、頭痛、頭重感、摂食・嚥下障害</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 10 診察の基本 オ 全身の診察 a 全身の外観 (体型、栄養、姿勢、歩行、発声) b 意識状態、精神状態 c バイタルサイン (呼吸、脈拍、血圧、体温) 歯科医学総論 総論Ⅶ 主要症候 1 全身的症候 ア 一般的症候 イ 皮膚、外表 ウ 呼吸器、心臓、血管 エ 消化器 オ 血液、造血器、免疫 カ 口腔の診察・検査 ク 神経 (知覚障害と運動障害を含む)</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (3) 循環器系 *①心臓の構造と機能を説明できる。【心臓の刺激(興奮)伝導系、心筋の特徴、標準的心電図波形および心音を含む。】 *②肺循環と体循環の2系統を説明できる。 *③動脈、毛細血管および静脈の構造と血管系の役割を説明できる。 *④血液循環と血管運動、血圧の調節機構を説明できる。 *⑤主な動脈と静脈を列挙できる。 *⑥リンパの循環路とリンパ節の構造と機能を説明できる。 C-2-3) - (5) 神経系 *②末梢神経系の機能分類(体性神経系と自律神経系)を説明できる。 *③交感神経系と副交感神経系の構造と機能を説明できる。 *④脳と脊髄の基本的構造と機能を説明できる。【主要な自律機能(呼吸、循環、体温)の調節中枢の働きを含む。】 C-2-3) - (7) 呼吸器系 *①気道系(鼻腔、副鼻腔、喉頭、気管、気管支)の構造と機能を説明できる。</p>	坂巻 達夫
2014/04/10 (木) 1時限 09:00~10:30	糖尿病 糖尿病と歯科 診療	<p>【授業の一般目標】 糖尿病について理解できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 糖尿病の定義を説明できる。 2. インスリンの働きを説明できる 3. 糖尿病の種類と特徴を説明できる。 4. 糖尿病の症状および合併症を説明できる 5. 糖尿病を調べるための検査項目を説明できる</p> <p>【準備学習項目】 1) 人体に必要なエネルギーについて説明できる。 2) 栄養の代謝特に糖代謝について説明できる</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 主要症候 1 全身的症候 ケ 内分泌、代謝、栄養</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 主要症候 1 全身的症候 ケ 内分泌、代謝、栄養 必修の基本的事項 11 検査の基本 ウ 検体検査の種類 a 一般臨床検査(尿、穿刺液、関節液)</p>	深津 晶

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/10 (木) 1時限 09:00～10:30	糖尿病 糖尿病と歯科 診療	<p>c 生化学検査 (糖質、糖、代謝関連物質、蛋白、含窒素成分、脂質代謝関連物質、電解質、酸塩基平衡、酵素、ホルモン)</p> <p>キ 結果の解釈</p> <p>b 症候との関連</p> <p>歯科医学総論 総論VI 病因、病態</p> <p>1 2 歯の喪失に伴う口腔・顎・顔面の変化</p> <p>オ 全身への影響</p> <p>歯科医学各論 各論IV 顎・口腔領域の疾患</p> <p>1 6 口腔症状を呈する疾患</p> <p>エ 内分泌障害、代謝障害</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学教育</p> <p>E-1 診療の基本</p> <p>E-1-1) 基本的診療技能</p> <p>*①診察、検査および診断に必要な事項を列挙できる。</p> <p>*②③各種臨床検査の基準値を知り、重要な異常値の意味を説明できる。</p> <p>*④口腔領域の疾患と全身疾患との関連を理解し説明できる。【歯科治療時の対応を含む。】</p>	深津 晶
2014/04/10 (木) 2時限 10:40～12:10	内科診断学2	<p>【授業の一般目標】</p> <p>悪心、嘔吐、腹痛、下痢、急性腹症について理解する。</p> <p>出血傾向、貧血について理解する。</p> <p>浮腫、血尿、タンパク尿について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>1. 症候から考えられる疾患の診断過程を説明できる。</p> <p>2. 症候に関連する検査を踏まえて鑑別診断ができる。</p> <p>【準備学習項目】</p> <p>悪心、嘔吐、腹痛、下痢、急性腹症について説明できる。</p> <p>出血傾向、貧血について説明できる。</p> <p>浮腫、血尿、タンパク尿について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>必修の基本的事項</p> <p>9 主要な症候</p> <p>ア 全身の症候</p> <p>a 発熱、全身倦怠感、体重減少・増加、ショック、意識障害、失神、脱水、浮腫、けいれん、めまい、咳、喀痰、喘鳴、チアノーゼ、胸痛、呼吸困難、息切れ、動悸、頻脈、徐脈、不整脈、血圧上昇・低下、食思 (欲) 不振、悪心、嘔吐、下痢、貧血、睡眠障害、頭痛、頭重感、摂食・嚥下障害</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>必修の基本的事項</p> <p>1 1 検査の基本</p> <p>ウ 検体検査の種類</p> <p>a 一般臨床検査 (尿、穿刺液、関節液)</p> <p>b 血球検査、凝固・線溶、血液型・輸血関連検査、赤沈</p> <p>c 生化学検査 (糖質、糖、代謝関連物質、蛋白、含窒素成分、脂質代謝関連物質、電解質、酸塩基平衡、酵素、ホルモン)</p> <p>d 免疫血清学検査 (抗体、補体、炎症反応、感染症の血清学的診断)</p> <p>歯科医学総論 総論VII 主要症候</p> <p>1 全身の症候</p> <p>ア 一般的症候</p> <p>エ 消化器</p> <p>オ 血液、造血器、免疫</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>C 生命科学</p> <p>C-2 人体の構造と機能</p> <p>C-2-3) 身体を構成する組織、器官</p> <p>C-2-3) - (6) 消化器系</p> <p>*①消化管 (咽頭、食道、胃、小腸、大腸) の基本構造と機能を説明できる。【腸管平滑筋の特徴、消化液、消化管ホルモンの機能を含む。】</p> <p>*②肝臓の構造と機能および胆汁の分泌を説明できる。</p> <p>*③膵臓の外分泌腺と内分泌腺の特徴を説明できる。</p> <p>C-2-3) - (9) 泌尿器系</p> <p>*①腎臓と尿路 (尿管、膀胱、尿道) の構造と機能を説明できる。</p> <p>*②体液の量と組成および浸透圧の調節機構を説明できる。【ネフロン働き (濾過、再吸収、分泌) を含む。】</p> <p>*③水代謝と主な電解質の出納を説明できる。【酸-塩基平衡を含む。】</p> <p>C-2-3) - (11) 血液、造血器、リンパ性器官</p> <p>*①リンパ性組織とリンパ性器官を説明できる。</p> <p>*②造血器を説明できる。</p> <p>*③赤血球、白血球および血小板の形成過程と機能を説明できる。</p> <p>*④止血と血液凝固の機序を説明できる。【線溶系を含む。】</p>	坂巻 達夫
2014/04/17 (木) 1時限 09:00～10:30	血液 1) 血液の組成と役割 2) 採血法 3) 試料の取り扱い 血液疾患 (1) 貧血①	<p>【授業の一般目標】</p> <p>血液の組成と役割を理解できる。</p> <p>貧血について理解できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>1. 血液成分について理解し説明できる</p> <p>2. 採血方法を説明できる</p> <p>3. 貧血の定義を理解し説明できる</p> <p>4. 貧血の一般症状について理解し説明できる</p>	牧村 正治 續橋 治

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/17 (木) 1時限 09:00～10:30	1) 貧血とは 2) 貧血の分類 3) 貧血の検査	<p>5. 貧血の分類を理解し説明できる</p> <p>【準備学習項目】</p> <p>1) 血球成分（赤血球、白血球、血小板）、血清成分の働きを説明できる。 2) 静脈の位置を説明できる。 3) 造血について説明できる。 4) 赤血球の働きについて説明できる。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論IX 検査 3 検体検査 ウ 血液学検査</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論IX 検査 3 検体検査 ア 検体の採取・保存 ウ 血液学検査 総論VII 主要症候 1 全身的症候 オ 血液、造血器、免疫 必修の基本的事項 14 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 歯・口腔・顎・顔面の疾患の概念 p 口腔に症状を現す血液疾患・出血性素因 9 主要な症候 ア 全身の症候 a 発熱、全身倦怠感、体重減少・増加、ショック、意識障害、失神、脱水、浮腫、けいれん、めまい、咳、喀痰、喘鳴、チアノーゼ、胸痛、呼吸困難、息切れ、動悸、頻脈、徐脈、不整脈、血圧上昇・低下、食思（欲）不振、悪心、嘔吐、下痢、貧血、睡眠障害、頭痛、頭重感、摂食・嚥下障害 ウ 全身的疾患による主な口腔症状 a 貧血による舌炎</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-1) 基本的診療技能 *①診察、検査および診断に必要な事項を列挙できる。 *⑮各種臨床検査の基準値を知り、重要な異常値の意味を説明できる。 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (11) 血液、造血器、リンパ性器官 *③赤血球、白血球および血小板の形成過程と機能を説明できる。</p>	牧村 正治 續橋 治
2014/04/17 (木) 2時限 10:40～12:10	内科診断学3	<p>【授業の一般目標】 腰痛について理解する。 運動麻痺、認知症について理解する。 睡眠障害、うつ状態について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 症候から考えられる疾患の診断過程を説明できる。 2. 症候に関連する検査を踏まえて鑑別診断ができる。</p> <p>【準備学習項目】 腰痛について説明できる。 運動麻痺、認知症について説明できる。 睡眠障害、うつ状態について説明できる。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 9 主要な症候 ア 全身の症候 a 発熱、全身倦怠感、体重減少・増加、ショック、意識障害、失神、脱水、浮腫、けいれん、めまい、咳、喀痰、喘鳴、チアノーゼ、胸痛、呼吸困難、息切れ、動悸、頻脈、徐脈、不整脈、血圧上昇・低下、食思（欲）不振、悪心、嘔吐、下痢、貧血、睡眠障害、頭痛、頭重感、摂食・嚥下障害</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論VII 主要症候 1 全身的症候 キ 心理、精神機能 ク 神経（知覚障害と運動障害を含む）</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (2) 運動器系</p>	坂巻 達夫

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/17 (木) 2時限 10:40～12:10	内科診断学3	<p>*①生体を構成する主な骨と筋を列挙できる。 *②骨の基本構造と結合様式を説明できる。</p>	坂巻 達夫
2014/04/24 (木) 1時限 09:00～10:30	<p>血液疾患 (1) 貧血② 4) 各種貧血について 5) 貧血患者の歯科診療における対応</p> <p>血液疾患 (2) 出血性素因① 1) 出血性素因とは 2) 出血性素因の分類</p>	<p>【授業の一般目標】 貧血を理解できる 出血性素因を理解できる</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 代表的な貧血とその特徴を理解し説明できる。 2. 貧血患者の歯科診療の対応について理解し説明できる 3. 止血の機序を説明できる 4. 血液凝固因子の種類および働きを説明できる 5. 血液凝固の機序を説明できる 6. 出血性素因の定義および原因を説明でき、原因別に分類することができる</p> <p>【準備学習項目】 血液の働き特に血小板および血液凝固因子の働きを説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VII 主要症候 1 全身的症候 オ 血液、造血器、免疫</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-4 病因と病態 C-4-3) 循環障害 *②出血の原因、種類および転帰を説明できる。 *③血栓の形成機構と形態学的特徴および転帰を説明できる。</p>	牧村 正治 續橋 治
2014/04/24 (木) 2時限 10:40～12:10	生体機能検査 (胸部X線写真、心電図)	<p>【授業の一般目標】 胸部の解剖について理解する。 心臓の電気生理について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 胸部エックス線写真、心電図、呼吸機能検査について重要な所見を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 胸部の解剖について説明できる。 心臓の電気生理について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 e 器官系 (骨格系、筋系、消化器系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、泌尿器系、生殖器系、神経系、感覚器系、内分泌系)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論IX 検査 4 生体機能検査 ア 呼吸機能検査 イ 心機能検査</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (3) 循環器系 *①心臓の構造と機能を説明できる。【心臓の刺激 (興奮) 伝導系、心筋の特徴、標準的心電図波形および心音を含む。】 C-2-3) - (7) 呼吸器系 *①気道系 (鼻腔、副鼻腔、喉頭、気管、気管支) の構造と機能を説明できる。 *②肺の構造と機能を説明できる。【内呼吸、外呼吸および呼吸運動の機序とその調節系を含む。】</p>	井上 文央
2014/05/08 (木) 1時限 09:00～10:30	血液疾患 (2) 出血性素因② 3) 出血性素因の検査 4) 出血に対する歯科診療時の対応	<p>【授業の一般目標】 出血性素因について理解する</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 出血性素因を原因別に調べる検査項目および検査意義を説明できる 2. 代表的な出血性素因とその特徴を理解し説明できる 3. 出血性素因患者の歯科診療の対応について理解し説明できる</p> <p>【準備学習項目】 血液の働き特に血小板および血液凝固因子の働きを説明できる。</p>	牧村 正治 續橋 治

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/05/08 (木) 1時限 09:00～10:30	血液疾患(2) 出血性素因② 3) 出血性素因の検査 4) 出血に対する歯科診療時の対応	<p>【学習方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 9 主要な症候 ウ 全身的疾患による主な口腔症状 b 出血性素因による歯肉出血・抜歯後出血</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-4 病因と病態 C-4-3) 循環障害 C-4-3) 出血の原因、種類および転帰を説明できる。 *②出血の原因、種類および転帰を説明できる。 *③血栓の形成機構と形態学的特徴および転帰を説明できる。 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (9) 口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す疾患 *①口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す血液疾患(貧血、出血性素因、白血病)とスクリーニング検査法を列挙できる。</p>	牧村 正治 續橋 治
2014/05/08 (木) 2時限 10:40～12:10	呼吸器疾患	<p>【授業の一般目標】 呼吸器系の解剖、生理機能について理解する。 呼吸器系の疾患について理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 急性呼吸器感染症、肺結核、慢性閉塞性肺疾患、肺腫瘍について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 呼吸器系の解剖、生理機能について説明できる。 呼吸器系の疾患について説明できる。</p> <p>【学習方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ウ 呼吸器系</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 主要症候 1 全身的症候 ウ 呼吸器、心臓、血管 総論Ⅸ 検査 2 画像検査 シ CT 4 生体機能検査 ア 呼吸機能検査</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (7) 呼吸器系 *①気道系(鼻腔、副鼻腔、喉頭、気管、気管支)の構造と機能を説明できる。 *②肺の構造と機能を説明できる。【内呼吸、外呼吸および呼吸運動の機序とその調節系を含む。】</p>	坂巻 達夫
2014/05/15 (木) 1時限 09:00～10:30	血液疾患(3) 白血球系疾患について	<p>【授業の一般目標】 白血病について理解できる</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 造血の概要を述べることができる 2. 血球の分化の過程を述べることができる 3. がん遺伝子、癌抑制遺伝子の役割を説明できる 4. 主な造血器疾患を列挙できる 5. 急性骨髄性白血病の臨床病態を述べるができる 6. 急性リンパ性白血病の臨床病態を述べることができる 7. 急性単球性白血病の臨床病態を述べることができる 8. 慢性骨髄性白血病の臨床病態を述べることができる 9. 成人T細胞性白血病の臨床病態を述べることができる</p> <p>【準備学習項目】 1) 人体における白血球(好中球・好酸球・好塩基球・単球・リンパ球)の働きを説明することができる。 2) 人体における白血球(好中球・好酸球・好塩基球・単球・リンパ球)の基準値を列挙できる。</p> <p>【学習方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】</p>	福本 雅彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/05/15 (木) 1時限 09:00～10:30	血液疾患 (3) 白血球系疾患について	<p>歯科医学総論 総論Ⅶ 主要症候 1 全身的症候 オ 血液、造血器、免疫</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-1) 基本的診療技能 *①診察、検査および診断に必要な事項を列挙できる。 *②各種臨床検査の基準値を知り、重要な異常値の意味を説明できる。 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (9) 口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す疾患 *①口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す血液疾患 (貧血、出血性素因、白血病) とスクリーニング検査法を列挙できる。</p>	福本 雅彦
2014/05/15 (木) 2時限 10:40～12:10	循環器疾患	<p>【授業の一般目標】 循環器系の解剖、生理機能について理解する。 循環器系の疾患について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 循環動態、高血圧症、虚血性心疾患、感染性心内膜炎関連疾患について説明できる。 2. 弁膜症、心筋症について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 循環器系の解剖、生理機能について説明できる。 循環器系の疾患について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 エ 循環器系<脈管系></p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 主要症候 1 全身的症候 ウ 呼吸器、心臓、血管 総論Ⅵ 病因、病態 4 循環障害 ア 全身の循環障害 ウ 閉塞性の循環障害 総論Ⅸ 検査 2 画像検査 タ 超音波検査 4 生体機能検査 イ 心機能検査</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (3) 循環器系 *①心臓の構造と機能を説明できる。【心臓の刺激 (興奮) 伝導系、心筋の特徴、標準的心電図波形および心音を含む。】 *②肺循環と体循環の2系統を説明できる。 *③動脈、毛細血管および静脈の構造と血管系の役割を説明できる。 *④血液循環と血管運動、血圧の調節機構を説明できる。 *⑤主な動脈と静脈を列挙できる。 *⑥リンパの循環路とリンパ節の構造と機能を説明できる。 C-4 病因と病態 C-4-3) 循環障害 *①虚血、充血およびうっ血の徴候、原因および転帰を説明できる。 *③血栓の形成機構と形態学的特徴および転帰を説明できる。 *④血栓の成因、種類および転帰を説明できる。 *⑤梗塞の種類、形態学的特徴および転帰を説明できる。</p>	坂巻 達夫
2014/05/22 (木) 1時限 09:00～10:30	中間試験 感染症 (1) 感染症の概要と臨床検査	<p>【授業の一般目標】 炎症・感染症について理解できる</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 炎症、感染症に関連する臨床検査項目を列挙できる 2. 測定結果から感染の有無を判定できる 3. 梅毒、結核感染症の病態および検査項目を述べることができる</p> <p>【準備学習項目】 1) これまでの臨床検査医学の講義内容 (臨床検査総論、一般検査・尿検査、血液、貧血、出血性素因、白血球系疾患) について理解し、述べるができる。 2) 炎症・感染症の概要が述べられる。 3) 感染症の種類を列挙できる。 4) 口腔領域に症状を示す感染症を挙げるができる</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p>	福本 雅彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/05/22 (木) 1時限 09:00～10:30	中間試験 感染症(1) 感染症の概要と 臨床検査	302教室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 1 1 検査の基本 ウ 検体検査の種類 d 免疫血清学検査 (抗体、補体、炎症反応、感染症の血清学的診断) 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *②細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫のヒトに対する感染機構とこれらの微生物がヒトに対して示す病原性を説明できる。	福本 雅彦
2014/05/22 (木) 2時限 10:40～12:10	内分泌疾患 代謝・栄養疾患	【授業の一般目標】 内分泌器官の生理機能について理解する。 内分泌系の疾患について理解する。 糖尿病の病態について理解する。 高脂血症の病態について理解する。 【行動目標(SBOs)】 1. 内分泌器官を中枢と末梢のフィードバック機構を説明できる。 2. 主な内分泌疾患について説明できる。 3. 糖尿病とその合併症について説明できる。 4. 高脂血症について説明できる。 【準備学習項目】 内分泌器官の生理機能について説明できる。 内分泌系の疾患について説明できる。 糖尿病の病態について説明できる。 高脂血症の病態について説明できる。 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 主要症候 1 全身的症候 ケ 内分泌、代謝、栄養 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 顎・口腔領域の疾患 1 7 全身管理に留意すべき全身疾患・状態 ク 内分泌疾患 ケ 代謝性疾患 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3)-(8) 内分泌系 *①各内分泌器官の構造と機能およびホルモンを説明できる。【ホルモンの特徴と機能、内分泌系と神経系との機能相関を含む。】	大口 純人
2014/05/29 (木) 1時限 09:00～10:30	感染症(2) ウイルス性感染症 について	【授業の一般目標】 ウイルス感染症について理解できる 【行動目標(SBOs)】 1. ウイルス性肝炎の種類を列挙でき 2. B・C型肝炎の病態を述べるができる 3. B・C型肝炎の臨床検査方法を説明することができる 4. B・C型肝炎の感染防止および消毒法を述べるができる 5. HIV感染症の病態を述べるができる 6. HIV感染症の臨床検査方法を説明することができる。 7. HIV感染症の感染防止および消毒法を述べるができる 8. Epstein-Barrウイルス感染症の病態を述べるができる。 9. Epstein-Barrウイルス感染症の臨床検査方法を説明することができる。 【準備学習項目】 歯科領域に関連の深いウイルスを列挙できる 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 1 1 検査の基本 ウ 検体検査の種類 d 免疫血清学検査 (抗体、補体、炎症反応、感染症の血清学的診断) 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *②細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫のヒトに対する感染機構とこれらの微生物がヒトに対して示す病原性を説明できる。 *③清潔と不潔の区分および滅菌と消毒の意義、原理および代表的な方法を説	福本 雅彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/05/29 (木) 1時限 09:00～10:30	感染症(2) ウイルス性感染症 について	明できる。 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (9) 口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す疾患 *②口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す感染症の種類とその症状を列挙できる。 *⑩ヒト免疫不全ウイルス (HIV) 感染症の検査法とその口腔症状と検査法を説明できる。	福本 雅彦
2014/05/29 (木) 2時限 10:40～12:10	脳・神経・筋疾患	【授業の一般目標】 脳神経の解剖について理解する。 運動・知覚の神経伝導路について理解する。 認知機能とその障害について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 主な脳血管疾患について説明できる。 2. 主な運動ニューロン疾患について説明できる。 3. 主な筋肉疾患について説明できる。 4. 認知障害をきたす主な疾患について説明できる。 5. 主な脱髄疾患について説明できる。 【準備学習項目】 脳神経の解剖について説明できる。 運動・知覚の神経伝導路について説明できる。 認知機能とその障害について説明できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 主要症候 1 全身的症候 ク 神経 (知覚障害と運動障害を含む) 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (5) 神経系 *①脳神経の種類、走行、線維構築および支配領域を説明できる。 *②末梢神経系の機能分類 (体性神経系と自律神経系) を説明できる。 *④脳と脊髄の基本的構造と機能を説明できる。【主要な自律機能 (呼吸、循環、体温) の調節中枢の働きを含む。】	坂巻 達夫
2014/06/05 (木) 1時限 09:00～10:30	肝臓 1) 肝臓について 2) 肝機能検査の種類とその臨床的意義 3) 肝機能検査データの解析	【授業の一般目標】 肝臓の働き・検査を理解できる 【行動目標 (SBOs)】 1. 肝臓の働きを説明できる 2. 肝機能検査の種類と検査意義を説明できる 3. 各種検査から疑われる肝臓の異常を説明できる 【準備学習項目】 1) 肝臓の解剖学的、組織学的特徴を説明できる。 2) 栄養の代謝を説明できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 イ 消化器系 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (6) 消化器系 *②肝臓の構造と機能および胆汁の分泌を説明できる。	深津 晶
2014/06/05 (木) 2時限 10:40～12:10	中毒・環境要因疾患 肝疾患 院内感染	【授業の一般目標】 環境要因による人体の変化について理解する。 中毒による人体の変化について理解する。 肝臓疾患について理解する。 院内感染について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 熱中症、低体温症について説明できる。 2. さまざまな中毒による症状と対応を説明できる。 3. おもな肝臓疾患について説明できる。 4. 院内感染の予防と対応について説明できる。 【準備学習項目】 環境要因による人体の変化について説明できる。 中毒による人体の変化について説明できる。	坂巻 達夫

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/05 (木) 2時限 10:40~12:10	中毒・環境要因疾患 肝疾患 院内感染	<p>肝臓疾患を説明できる。 院内感染について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 9 中毒、放射線障害 ア 中毒の発生要因・病態生理</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 6 感染症、アレルギー、免疫疾患 ア 感染症の概念 イ 病原微生物 ウ 宿主側の因子 エ 感染症</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *⑥院内感染について、原因、予防法について説明できる。 C-5 生体と薬物 C-5-3) 薬物の適用と体内動態 *①薬物の適用方法の種類とその特徴を説明できる。 *②薬物動態 (吸収、分布、代謝、排泄) を説明できる。</p>	坂巻 達夫
2014/06/12 (木) 1時限 09:00~10:30	口腔がんの検査	<p>【授業の一般目標】 口腔がんについて理解できる</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 悪性腫瘍の発生について理解し説明できる 2. 本邦における口腔がんの発生状況を説明できる 3. 口腔がんのRisk factorを理解し説明できる 4. 口腔がんの検査法を列挙できる 5. 口腔がんの各種検査法の特徴を述べることができる</p> <p>【準備学習項目】 1) 本邦における悪性腫瘍の発生状況を述べることができる。 2) 腫瘍の分類を説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 14 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 g 腫瘍</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-4 病因と病態 C-4-5) 腫瘍 *③異形成を説明できる。 *④腫瘍の異型性と組織学的分化度を説明できる。 *⑤良性腫瘍と悪性腫瘍の異同を説明できる。 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (5) 嚢胞、腫瘍および類似疾患 *⑩前癌病変 (白板症、紅板症) の特徴、症状および治療法を説明できる。 *⑪前癌状態の種類と特徴を列挙できる。 *⑫口腔癌の特徴、予防、症状および治療法を説明できる。</p>	福本 雅彦
2014/06/12 (木) 2時限 10:40~12:10	腎・泌尿器科疾患 血液疾患	<p>【授業の一般目標】 腎臓の解剖、生理機能について理解する。 止血、凝固機能について理解する。 貧血、出血傾向について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 腎臓の機能を説明できる。 2. 急性・慢性腎不全を説明できる。 3. 主な腎臓疾患を説明できる。 4. 全身疾患や薬剤による腎臓の変化を説明できる。 5. 止血・凝固・造血機構について説明できる。 6. 主な貧血について説明できる。 7. 主な出血性疾患について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 腎臓の解剖、生理機能について説明できる。 止血、凝固機能について説明できる。 貧血、出血傾向について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】</p>	坂巻 達夫

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/12 (木) 2時限 10:40～12:10	腎・泌尿器科疾患 血液疾患	講義 【場所(教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 主要症候 1 全身的症候 オ 血液、造血器、免疫 【国家試験出題基準(副)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 e 器官系 (骨格系、筋系、消化器系、呼吸器系、循環器系(脈管系)、泌尿器系、生殖器系、神経系、感覚器系、内分泌系) 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3)-(9) 泌尿器系 *①腎臓と尿路(尿管、膀胱、尿道)の構造と機能を説明できる。 *②体液の量と組成および浸透圧の調節機構を説明できる。【ネフロン働き(濾過、再吸収、分泌)を含む。】 *③水代謝と主な電解質の出納を説明できる。【酸-塩基平衡を含む。】 C-2-3)-(11) 血液、造血器、リンパ性器官 *①リンパ性組織とリンパ性器官を説明できる。 *②造血器を説明できる。 *③赤血球、白血球および血小板の形成過程と機能を説明できる。 *④止血と血液凝固の機序を説明できる。【線溶系を含む。】	坂巻 達夫
2014/06/19 (木) 1時限 09:00～10:30	腎疾患	【授業の一般目標】 腎疾患と検査を関連付けられるようになる。 【行動目標(SBOs)】 1.腎臓の機能、主な腎疾患・泌尿器疾患、腎不全、全身疾患や薬剤による腎障害を説明できる。 【準備学習項目】 1)腎臓の解剖、生理機能および腎機能検査について説明できる。 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 オ 泌尿器系 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3)-(9) 泌尿器系 *①腎臓と尿路(尿管、膀胱、尿道)の構造と機能を説明できる。 *②体液の量と組成および浸透圧の調節機構を説明できる。【ネフロン働き(濾過、再吸収、分泌)を含む。】 *③水代謝と主な電解質の出納を説明できる。【酸-塩基平衡を含む。】	福本 雅彦
2014/06/19 (木) 2時限 10:40～12:10	膠原病・アレルギー疾患	【授業の一般目標】 アレルギー疾患の病態を理解する。 膠原病の病態について理解する。 【行動目標(SBOs)】 1.主は膠原病について説明できる。 2.気管支喘息について説明できる。 3.アナフィラキシーショックについて説明できる。 【準備学習項目】 アレルギー疾患の病態を説明できる。 膠原病の病態について説明できる。 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅵ 病因、病態 6 感染症、アレルギー、免疫疾患 カ 自己免疫疾患 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅵ 病因、病態 6 感染症、アレルギー、免疫疾患 キ アレルギー反応(過敏症)	坂巻 達夫

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/19 (木) 2時限 10:40～12:10	膠原病・アレルギー疾患	<p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-2) 免疫 *④自己と非自己の識別機構と免疫寛容を説明できる。 *⑤アレルギーの分類を説明できる。【発生機序を含む。】 *⑥免疫・アレルギー疾患の種類と発症機序を説明できる。</p>	坂巻 達夫
2014/06/26 (木) 1時限 09:00～10:30	事例検討1, 2	<p>【授業の一般目標】 事例検討</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 事例検討</p> <p>【準備学習項目】 事例検討</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	近藤 壽郎 岩井 聡
2014/06/26 (木) 2時限 10:40～12:10	事例検討3, 4	<p>【授業の一般目標】 事例検討</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 事例検討</p> <p>【準備学習項目】 事例検討</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	近藤 壽郎 岩井 聡
2014/07/03 (木) 1時限 09:00～10:30	事例検討5	<p>【授業の一般目標】 事例検討</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 事例検討</p> <p>【準備学習項目】 事例検討</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	西村 均 山口 桜子 羽田 紗綾
2014/07/03 (木) 2時限 10:40～12:10	事例検討6, 7	<p>【授業の一般目標】 事例検討</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 事例検討</p> <p>【準備学習項目】 事例検討</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	丹羽 秀夫
2014/07/10 (木) 1時限 09:00～10:30	事例検討8, 9	<p>【授業の一般目標】 事例検討</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 事例検討</p> <p>【準備学習項目】 事例検討</p>	福本 雅彦 牧村 正治 深津 晶恵 布施 恵治 續橋

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/07/10 (木) 1時限 09:00～10:30	事例検討8, 9	【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 【コアカリキュラム】	福本 雅彦 牧村 正治 深津 晶 布施 恵 瀬橋 治
2014/07/10 (木) 2時限 10:40～12:10	事例検討10, 11	【授業の一般目標】 事例検討 【行動目標 (SBOs)】 1. 事例検討 【準備学習項目】 事例検討 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 【コアカリキュラム】	福本 雅彦 牧村 正治 深津 晶 布施 恵 瀬橋 治
2014/07/17 (木) 1時限 09:00～10:30	事例検討12, 13	【授業の一般目標】 事例検討 【行動目標 (SBOs)】 1. 事例検討 【準備学習項目】 事例検討 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 【コアカリキュラム】	大口 純人
2014/07/17 (木) 2時限 10:40～12:10	事例検討14, 15	【授業の一般目標】 事例検討 【行動目標 (SBOs)】 1. 事例検討 【準備学習項目】 事例検討 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 【コアカリキュラム】	坂巻 達夫
2014/09/11 (木) 1時限 09:00～10:30	平常試験	【準備学習項目】 平常試験 【学習方略 (LS)】 その他 【場所 (教室/実習室)】 302教室	福本 雅彦 布施 恵 深津 晶 牧村 正治 瀬橋 治
2014/09/11 (木) 2時限 10:40～12:10	平常試験	【学習方略 (LS)】 その他 【場所 (教室/実習室)】 302教室	坂巻 達夫 近藤 壽郎 福本 雅彦 牧村 正治 大口 純人 丹羽 秀夫 西村 均 井上 文央 深津 晶 布施 恵 瀬橋 治 伊藤 耕 山口 桜子 羽田 紗綾 岩井 聡

隣接医学系①

年次	学期	学習ユニット責任者
4年次	通年	坂巻 達夫 (内科学)

学習ユニット 学習目標 (GIO)	歯科診療において全人的医療を遂行する上で必要な医学的知識を理解する。
担当教員	※小室 歳信、※太田 克也、※織田 健司、※平井 伸英
教科書	臨床のための法医学 第6版 小室歳信, 澤口彰子ほか 朝倉書店 事例・判例から学ぶ歯科の法律 第1版 第4刷 小室歳信 医歯薬出版 精神・神経科学は教科書は使用しないが、レジメのプリントを配布する。
参考図書	カプラン臨床精神医学テキスト 第2版監訳 井上 令一・四宮 滋 メディカル・サイエンス・インターナショナル DSM - IV - TR 精神疾患の分類と診断の手引 新訂版 訳: 高橋 三郎/大野 裕/染矢 俊幸 医学書院 ICD - 10 精神および行動の障害 臨床記述と診断ガイドライン監訳 融 道男/中根 允文/小見山 実 医学書院 現代臨床精神医学 大熊輝雄 金原出版
評価方法 (EV)	平常試験(多肢選択問題)によって評価点(100%)とする。総合医学に含まれる各科目は追試験は行わぬが、再試験は行わない。 成績評価は含まれる各科目の授業時間に応じての重みづけを行い、総合医学全体として評価点を出す。 60点以上を合格とする。
学生への メッセージ オフィスアワー	全人的医療という言葉が表すように、患者さんを取り巻く生理的、社会的、心理的、倫理的といった様々な要素を理解するためにも幅広い知識が要求されます。歯科医学を遂行する上で必ず役に立つときがきますので、集中して受講してください。 すべて、外部講師の方々です。礼節のある授業態度で臨んでください。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/09 (水) 4時限 14:40~16:10	1. 総論 1) 法医学の歴史、定義、対象 2) 検屍と解剖 3) 日本における異状死体の取り扱い方 2. 生と死 1) 出生と死の判定効果 2) 生と死の判定時期	【授業の一般目標】 法医学の定義について説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 「法律上問題となる」「医学的事項」「解決に寄与する」とは何を意味しているかを説明できる。 2. 法医学の対象は、死体ばかりでないことを説明できる。 3. 検屍の対象となる異状死体とは何か、どのような場合に法医解剖に付されるのかを説明できる。 4. 我国における死体の取り扱いについて説明できる。 5. ヒトはどの時点で生きる権利を認められるか。どの時点で死と判定されるのかを説明できる。 【準備学習項目】 法医学の定義について説明できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論 I 保健医療論 5 歯科法医学 ア 死体解剖と死因究明制度 【コアカリキュラム】	小室 歳信
2014/04/16 (水) 4時限 14:40~16:10	3. 死体現象 1) 定義 2) 早期死体現象 3) 晩期死体現象 4) 特殊死体現象 5) 死後経過時間推定 4. 異常環境による障害と死 1) 高温による障害	【授業の一般目標】 死体の時間的変化を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 死体に現れてくる様々な変化・現象を説明できる。 2. 早期死体現象と晩期死体現象の発生機序と法医学的意義について理解を説明できる。 3. ミイラ化や死蟻化現象について説明できる。 4. 死因や死体の環境などを考慮して死後経過時間を推定できることを説明できる。 5. 異常温度による障害・死亡の発生機序を説明できる。 6. 火傷死と焼死との死体所見の差異について説明できる。 【準備学習項目】 死体の時間的変化を説明できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室	小室 歳信

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/16 (水) 4時限 14:40～16:10	3. 死体現象 1) 定義 2) 早期死体現象 3) 晩期死体現象 4) 特殊死体現象 5) 死後経過時間推定 4. 異常環境による障害と死 1) 高温による障害	【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論 I 保健医療論 5 歯科法医学 イ 死後変化 【コアカリキュラム】	小室 歳信
2014/04/23 (水) 4時限 14:40～16:10	5. 損傷 1) 定義と用語, 法医学的意義 2) 法医学的問題点 3) 分類 4) 被虐待児童症候群 5) 損傷による死因 6) 生活反応	【授業の一般目標】 創傷とその法医学的意義について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 人体に生じた創傷を観察し, その検査の法医学的意義について説明できる。 2. 創傷の数, 部位, 性状および程度から, 自・他殺、事故死の区別ができることを説明できる。 3. 乳幼児や小児が繰り返し虐待を受け, それによって生じた外傷の特徴的性状を説明できる。 4. 損傷による死因について検討し説明できる。 5. 生体でなければ現れない所見 (生活反応) の意義, 死後損傷と識別ができることを説明できる。 【準備学習項目】 創傷とその法医学的意義について説明できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論 I 保健医療論 5 歯科法医学 ア 死体解剖と死因究明制度 【コアカリキュラム】	小室 歳信
2014/05/07 (水) 4時限 14:40～16:10	6. 中毒 1) 中毒, 毒物の定義 2) 薬毒物の分類 3) 一酸化炭素・青酸 4) 農薬 5) 犯罪の成立要件 6) 薬物依存症	【授業の一般目標】 農薬中毒・一酸化炭素中毒について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 薬毒物の定義および薬理学的分類について説明できる。 2. 一酸化炭素, 青酸および農薬などの性質, 中毒作用機序および死体所見などを説明できる。 3. 「行為者の責任能力」について正当防衛, 緊急避難, 心神耗弱, 心神喪失と関連づけて説明できる。 4. 耽溺性のある麻薬類, 覚醒剤等の代謝と排泄を説明できる。 5. アルコール依存症の定義と症状, ならびに代謝と排泄について説明できる。 6. 薬物依存症者の犯法行為と法律の関係について説明できる。 【準備学習項目】 農薬中毒・一酸化炭素中毒について説明できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 【コアカリキュラム】	小室 歳信
2014/05/14 (水) 4時限 14:40～16:10	7. 窒息 1) 窒息死の定義と分類 2) 窒息死の経過 3) 窒息死の特徴	【授業の一般目標】 窒息死について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 窒息の種々のタイプ (縊死, 絞死, 扼死など), 作用機序および窒息死体の剖検所見を説明できる。 2. 窒息死体の特徴を知り, 自・他殺あるいは事故死の区別を説明できる 【準備学習項目】 窒息死について説明できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 【コアカリキュラム】	小室 歳信
2014/05/21 (水) 4時限 14:40～16:10	8. 個人識別 1) 必要性・重要性 2) 生体・死体の個人識別	【授業の一般目標】 個人識別について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 個人識別の定義について説明できる。	小室 歳信

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/05/21 (水) 4時限 14:40～16:10	3) 災害事故死の身元確認 9. 歯科法医学 1) 法医学的意義 2) 歯から性別・年齢推定 3) 歯痕	2. 白骨死体の頭蓋骨の形態観察から性別判定法と年齢推定法について説明できる。 3. 大量災害死事故における身元不明死体の個人識別の効果的な手順について説明できる。 4. 歯・歯科所見の証拠物件としての価値を知り、それらの所見が身元確認に有効なのかを説明できる。 5. 歯の形態(大きさ、形)からの性別判定法を説明できる。 6. 歯の発生的変化、生理学的変化、病理学的変化、物理化学的变化からの年齢推定法を説明できる。 7. 歯に関する損傷のうち、歯痕からの個人識別について説明できる。 8. 歯科所見から職業、出身地、教養や生活程度などを推定できる場合があることを説明できる。 【準備学習項目】 個人識別について説明できる。 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論1 保健医療論 5 歯科法医学 ウ 個人識別、身元確認 【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-2 健康と社会、環境 B-2-3) 歯科による個人識別 ①個人識別について説明できる。 ②歯科による個人識別について説明できる。	小室 歳信
2014/05/28 (水) 4時限 14:40～16:10	10. 医療行為 1) 医療行為の定義 2) 医療行為と歯科医療行為	【授業の一般目標】 医療行為について理解する。 【行動目標(SBOs)】 1. 業としての医療行為とはなにかを説明できる。 2. 正当な医療行為の条件(治療、医学的・社会的正当性、承諾)について説明できる。 3. 生体腎移植、正常分娩および美容整形手術などは医療行為といえるかについて説明できる。 【準備学習項目】 医療行為について説明できる。 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準(主)】 【コアカリキュラム】	小室 歳信
2014/06/04 (水) 4時限 14:40～16:10	11. 医療事故と法医学 1) ヒヤリ・ハット 2) リスクマネジメント	【授業の一般目標】 医療事故について理解する。 【行動目標(SBOs)】 1. 遺体は変死体と見なされ司法解剖に付されることを説明できる。 2. 事故には至らないヒヤリ・ハット事例を収集・分析し、再発防止策を説明できる。 3. 医療事故からリスクマネジメント構築を説明できる。 【準備学習項目】 医療事故について説明できる。 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準(主)】 【国家試験出題基準(副)】 必修の基本的事項 4 歯科医療の質と安全の確保 イ 医療事故の防止 f ヒヤリハット、アクシデント、インシデント、医療事故報告書、インシデントレポート 【コアカリキュラム】	小室 歳信
2014/06/11 (水) 4時限 14:40～16:10	精神・神経科学1 総論	【授業の一般目標】 外因性、内因性、心因性精神障害について理解する。 【行動目標(SBOs)】 1. 医師・患者関係の心理学、疾病や治療に対する心理的反応を説明できる。 2. 人格による心理的反応の違いについて説明できる。 3. 外因性、内因性、心因性精神障害の分類について説明できる。 4. 自殺の原因、手段、対応について説明できる。	太田 克也

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/11 (水) 4時限 14:40～16:10	精神・神経科学1 総論	5. ストレスの成因、背景、対処について説明できる。 【準備学習項目】 外因性、内因性、心因性精神障害について説明できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 【コアカリキュラム】	太田 克也
2014/06/18 (水) 4時限 14:40～16:10	精神・神経科学2 心身症と緩和医療	【授業の一般目標】 心身症について理解する。 緩和医療について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 精神疾患の症状、治療法、治療薬について説明できる。 2. 身体科入院中の患者に合併しやすい精神疾患を説明できる。 3. 緩和医療について説明できる。 4. 心身症の症状、精神・心理的な要因の関与、治療について説明できる。 【準備学習項目】 心身症について説明できる。 緩和医療について説明できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 【コアカリキュラム】	平井 伸英
2014/06/25 (水) 4時限 14:40～16:10	精神・神経科学3 外因性精神障害と 睡眠障害	【授業の一般目標】 睡眠障害について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 外因性精神障害、睡眠障害の症状、対応、治療について説明できる。 【準備学習項目】 睡眠障害について説明できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 【コアカリキュラム】	織田 健司
2014/07/02 (水) 4時限 14:40～16:10	精神・神経科学4 内因性精神障害 (統合失調症)	【授業の一般目標】 内因性精神障害について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 内因性精神障害 (統合失調症圏) およびてんかんの症状、対応、治療について説明できる。 【準備学習項目】 内因性精神障害について説明できる 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 【コアカリキュラム】	太田 克也
2014/07/09 (水) 4時限 14:40～16:10	精神・神経科学5 小児および高齢者 の精神障害	【授業の一般目標】 小児・高齢者の精神的特性、精神障害について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 小児・高齢者に特有の精神的特性、精神障害の症状、対応、治療について説明できる。 【準備学習項目】 小児・高齢者の精神的特性、精神障害について説明できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室	平井 伸英

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/07/09 (水) 4時限 14:40～16:10	精神・神経科学5 小児および高齢者の精神障害	【国家試験出題基準 (主)】 【コアカリキュラム】	平井 伸英
2014/07/16 (水) 4時限 14:40～16:10	精神・神経科学6 てんかん	【授業の一般目標】 てんかんについて理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. てんかん、心因性精神障害の症状、対応、治療について説明できる。 2. 人格障害の特徴、対応、治療について説明できる。 【準備学習項目】 てんかんについて説明できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 【コアカリキュラム】	織田 健司
2014/07/23 (水) 4時限 14:40～16:10	精神・神経科学7 内因性精神障害 (気分障害)	【授業の一般目標】 感情障害について理解する。 うつ症状を呈する疾患について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 感情障害 (躁うつ病圏) の症状、対応、治療について説明できる。 2. うつ症状を呈する様々な疾患について、その病態症状、対応、治療について説明できる。 【準備学習項目】 感情障害について説明できる。 うつ症状を呈する疾患について説明できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 【コアカリキュラム】	太田 克也
2014/09/10 (水) 4時限 14:40～16:10	平常試験	【学習方略 (LS)】 その他 【場所 (教室/実習室)】 302教室	坂巻 達夫 小室 歳信 太田 克也 平井 伸英 織田 健司

隣接医学系②

年次	学期	学習ユニット責任者
4年次	通年	坂巻 達夫 (内科学)

学習ユニット 学習目標 (GIO)	歯科診療において全人的医療を遂行する上で必要な医学的知識を理解する。
担当教員	※崎元 暢、※宮本 幸伸、※永石 匡司
教科書	イラスト眼科学 大野重昭、澤充 医学書院
参考図書	臨床エビデンス産科学・臨床エビデンス婦人科学 佐藤和雄 佐藤 和雄 藤本 征一郎 編 メディカルビュー社 標準産科婦人科学 第3版 丸尾 猛・岡井 崇 編 医学書院 黒田泰弘(編) 南江堂 最新育児小児病学<改訂第5版> 南江堂 小児歯科マニュアル(第4版) 前田隆秀(編) 南山堂
評価方法 (EV)	平常試験(多肢選択問題)によって評価点(100%)とする。総合医学に含まれる各科目は追試験は行わぬが、再試験は行わない。 成績評価は含まれる各科目の授業時間に応じての重みづけを行い、総合医学全体として評価点を出す。 60点以上を合格とする。
学生への メッセージ オフィスアワー	全人的医療という言葉が表すように、患者さんを取り巻く生理的、社会的、心理的、倫理的といった様々な要素を理解するためにも幅広い知識が要求されます。歯科医学を遂行する上で必ず役に立つときがきますので、集中して受講してください。 すべて、外部講師の方々です。礼節のある授業態度で臨んでください。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/02 (木) 4時限 14:40~16:10	眼科学1(眼の解剖・生理、視機能と眼科検査)	<p>【授業の一般目標】 目の解剖と生理機能を理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 視覚器の構成を述べることができる。 2. 視機能について説明できる。 3. 基本的な眼内の解剖を述べることができる 4. 基本的な眼科検査を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 目の解剖と生理機能を説明できる。</p> <p>【学習方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 e 器官系 (骨格系、筋系、消化器系、呼吸器系、循環器系(脈管系)、泌尿器系、生殖器系、神経系、感覚器系、内分泌系)</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3)-(4) 感覚器系 *③視覚器、聴覚・平衡感覚器の構造と機能を説明できる。</p>	崎元 暢
2014/10/09 (木) 4時限 14:40~16:10	眼科学2(角膜・結膜疾患)	<p>【授業の一般目標】 角膜・結膜疾患について理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 角膜の解剖生理について述べるができる。 2. 代表的な角膜疾患・結膜疾患を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 角膜・結膜疾患について説明できる。</p> <p>【学習方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 e 器官系 (骨格系、筋系、消化器系、呼吸器系、循環器系(脈管系)、泌尿器系、生殖器系、神経系、感覚器系、内分泌系)</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学</p>	崎元 暢

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/09 (木) 4時限 14:40～16:10	眼科学2 (角膜・結膜疾患)	C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (4) 感覚器系 *③視覚器、聴覚・平衡感覚器の構造と機能を説明できる。	崎元 暢
2014/10/16 (木) 4時限 14:40～16:10	眼科学3 (眼瞼と眼窩の疾患、眼科救急疾患)	【授業の一般目標】 眼瞼・眼窩の疾患について理解する。 眼科救急疾患について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 眼瞼と眼窩の解剖について説明できる。 2. 代表的な眼瞼・眼科疾患を説明できる。 3. 代表的な眼科救急疾患について説明できる。 【準備学習項目】 眼瞼・眼窩の疾患について説明できる。 眼科救急疾患について説明できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 e 器官系 (骨格系、筋系、消化器系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、泌尿器系、生殖器系、神経系、感覚器系、内分泌系) 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (4) 感覚器系 *③視覚器、聴覚・平衡感覚器の構造と機能を説明できる。	崎元 暢
2014/10/23 (木) 4時限 14:40～16:10	水晶体と白内障について理解する。	【授業の一般目標】 眼科学4 (水晶体と白内障) 【行動目標 (SBOs)】 1. 水晶体の構造とその機能を説明できる。 2. 白内障の分類を説明できる。 3. 白内障手術の術式を説明できる。 【準備学習項目】 水晶体と白内障について説明できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 e 器官系 (骨格系、筋系、消化器系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、泌尿器系、生殖器系、神経系、感覚器系、内分泌系) 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (4) 感覚器系 *③視覚器、聴覚・平衡感覚器の構造と機能を説明できる。	崎元 暢
2014/10/30 (木) 4時限 14:40～16:10	眼科学5 (緑内障、神経眼科)	【授業の一般目標】 緑内障について理解する。 視神経・眼球運動・瞳孔反応について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 緑内障の分類と眼圧上昇の機序を説明できる。 2. 緑内障の治療法を説明できる。 3. 散瞳が禁忌である緑内障について説明できる。 4. 視神経・眼球運動・瞳孔反応の生理と異常を説明できる。 【準備学習項目】 緑内障について説明できる。 視神経・眼球運動・瞳孔反応について説明できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 e 器官系 (骨格系、筋系、消化器系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、泌尿器系、生殖器系、神経系、感覚器系、内分泌系)	崎元 暢

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/30 (木) 4時限 14:40～16:10	眼科学5 (緑内障、 神経眼科)	<p>【コアカリキュラム】</p> <p>C 生命科学</p> <p>C-2 人体の構造と機能</p> <p>C-2-3) 身体を構成する組織、器官</p> <p>C-2-3) - (4) 感覚器系</p> <p>*③視覚器、聴覚・平衡感覚器の構造と機能を説明できる。</p>	崎元 暢
2014/11/06 (木) 4時限 14:40～16:10	眼科学6 (ぶどう 膜炎、全身疾患と 眼)	<p>【授業の一般目標】</p> <p>ぶどう膜炎について理解する。 全身疾患による眼障害を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>1.3 大ぶどう膜炎について述べることができる。 2. 全身疾患による代表的な眼障害を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】</p> <p>ぶどう膜炎について説明できる。 全身疾患による眼障害を説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>必修の基本的事項</p> <p>6 人体の正常構造・機能</p> <p>ア 全身の構造・機能</p> <p>e 器官系 (骨格系、筋系、消化器系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、泌尿器系、生殖器系、神経系、感覚器系、内分泌系)</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>C 生命科学</p> <p>C-2 人体の構造と機能</p> <p>C-2-3) 身体を構成する組織、器官</p> <p>C-2-3) - (4) 感覚器系</p> <p>*③視覚器、聴覚・平衡感覚器の構造と機能を説明できる。</p>	崎元 暢
2014/11/13 (木) 4時限 14:40～16:10	眼科学7 (網膜硝 子体疾患)	<p>【授業の一般目標】</p> <p>網膜硝子体疾患について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>1. 代表的な網膜硝子体疾患を説明できる。 2. 網膜硝子体手術の術式について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】</p> <p>網膜硝子体疾患について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>必修の基本的事項</p> <p>6 人体の正常構造・機能</p> <p>ア 全身の構造・機能</p> <p>e 器官系 (骨格系、筋系、消化器系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、泌尿器系、生殖器系、神経系、感覚器系、内分泌系)</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>C 生命科学</p> <p>C-2 人体の構造と機能</p> <p>C-2-3) 身体を構成する組織、器官</p> <p>C-2-3) - (4) 感覚器系</p> <p>*③視覚器、聴覚・平衡感覚器の構造と機能を説明できる。</p>	崎元 暢
2014/11/20 (木) 4時限 14:40～16:10	小児科1 1) 小児の成長・ 発達とその異常 2) 先天異常・染 色体異常	<p>【授業の一般目標】</p> <p>正常な小児とは何かを理解し、異常な小児とを区別し理解することができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>1. 小児の正常な成長と発達を理解し、説明することができる。 2. 成長障害と発達障害を理解し、説明することができる。 3. 先天異常・染色体異常の代表的な疾患を理解し説明することができる。</p> <p>【準備学習項目】</p> <p>正常な小児とは何かを理解し、異常な小児とを区別し説明することができる。</p> <p>【学習方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>必修の基本的事項</p> <p>7 人体の発生・成長・発達・加齢</p> <p>ア 人体の成長発育</p> <p>a 発育区分 (出生前期、新生児期、乳児期、幼児期、学童期、思春期)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>必修の基本的事項</p>	宮本 幸伸

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/20 (木) 4時限 14:40～16:10	小児科1 1) 小児の成長・発達とその異常 2) 先天異常・染色体異常	7 人体の発生・成長・発達・加齢 ア 人体の成長発育 b 発育期の特徴 c 成長発育・発達の特徴 (身体成長、原始反射、運動の発達、社会性の発達、言語の発達、情動の発達) d 小児の生理的特徴 e 身体成長と精神発達の評価法 (K a u p 指数、R o h r e r 指数、B M I、歴年齢、生理学的年齢、発達スクリーニング検査) 【コアカリキュラム】	宮本 幸伸
2014/11/27 (木) 4時限 14:40～16:10	小児科2 1) 発疹を伴う小児の感染症 2) その他の小児のウイルス感染症と細菌感染症	【授業の一般目標】 小児の感染症を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 発疹を伴う小児の感染症の症状と経過を説明することができる。 2. 小児の代表的な細菌感染症・ウイルス感染症の症状と経過を説明できる。 【準備学習項目】 小児の感染症を説明することができる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *②細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫のヒトに対する感染機構とこれらの微生物がヒトに対して示す病原性を説明できる。	宮本 幸伸
2014/12/04 (木) 4時限 14:40～16:10	小児科3 1) 出血をきたす小児疾患 2) 小児の気管支喘息と糖尿病	【授業の一般目標】 出血をきたす小児疾患を理解する。 小児の気管支喘息・糖尿病を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 出血性素因を持つ血液疾患や急性白血病について症状と治療について説明できる。 2. 小児の糖尿病・気管支喘息について説明することができる。 【準備学習項目】 出血をきたす小児疾患を説明することができる。 小児の気管支喘息・糖尿病を説明することができる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 9 主要な症候 ア 全身の症候 a 発熱、全身倦怠感、体重減少・増加、ショック、意識障害、失神、脱水、浮腫、けいれん、めまい、咳、喀痰、喘鳴、チアノーゼ、胸痛、呼吸困難、息切れ、動悸、頻脈、徐脈、不整脈、血圧上昇・低下、食思 (欲) 不振、悪心、嘔吐、下痢、貧血、睡眠障害、頭痛、頭重感、摂食・嚥下障害 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-4 病因と病態 C-4-3) 循環障害 *②出血の原因、種類および転帰を説明できる。	宮本 幸伸
2014/12/11 (木) 4時限 14:40～16:10	小児科4 1) 小児救急疾患 2) 小児の処置と輸液療法	【授業の一般目標】 小児救急疾患の病態を理解する。 小児の輸液療法を指示することができる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 小児の救急疾患とその病態、処置について説明できる。 2. 小児の輸液療法について説明できる。 【準備学習項目】 小児救急疾患の病態を説明することができる。 小児の輸液療法を説明することができる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 9 主要な症候 ア 全身の症候 a 発熱、全身倦怠感、体重減少・増加、ショック、意識障害、失神、脱水、浮腫、けいれん、めまい、咳、喀痰、喘鳴、チアノーゼ、胸痛、呼吸困難、息切れ、動悸、頻脈、徐脈、不整脈、血圧上昇・低下、食思 (欲) 不振、悪心、	宮本 幸伸

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/11 (木) 4時限 14:40～16:10	小児科4 1) 小児救急疾患 2) 小児の処置と輸液療法	嘔吐、下痢、貧血、睡眠障害、頭痛、頭重感、摂食・嚥下障害 【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 1 3 初期救急 イ 救急処置 a 一次救命処置<BLS>、気道確保、人工呼吸、胸骨圧迫、除細動、静脈路確保、酸素療法、基本的救急薬品、止血法、輸液療法、輸血 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-4 病因と病態 C-4-3) 循環障害 *⑦ショックの成因と種類を説明できる。	宮本 幸伸
2014/12/18 (木) 4時限 14:40～16:10	産婦人科1	【授業の一般目標】 女性生殖器の解剖と生理機能を理解する。 妊娠について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 女性生殖器の解剖と生理、診察と治療を説明できる。 2. 妊娠の診断と妊婦健診について説明できる。 3. 婦人科領域の主な症状から診断、治療への流れについて説明できる。 【準備学習項目】 女性生殖器の解剖と生理機能を説明できる。 妊娠について説明できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 e 器官系 (骨格系、筋系、消化器系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、泌尿器系、生殖器系、神経系、感覚器系、内分泌系) 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (10) 生殖器系 *①男性生殖器、女性生殖器の構造と機能を説明できる。【ホルモンによる調節を含む。】	永石 匡司
2015/01/08 (木) 4時限 14:40～16:10	産婦人科2	【授業の一般目標】 正常および異常な妊娠、分娩、産褥について理解する。 妊婦と歯科疾患の関連性について理解する 【行動目標 (SBOs)】 1. 正常な妊娠、分娩、産褥経過および産科手術を説明できる。 2. 異常妊娠、異常分娩、異常産褥について説明できる。 3. 妊婦と歯科疾患の関連性について説明できる。 【準備学習項目】 正常および異常な妊娠、分娩、産褥について説明できる。 妊婦と歯科疾患の関連性について説明できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 e 器官系 (骨格系、筋系、消化器系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、泌尿器系、生殖器系、神経系、感覚器系、内分泌系) 【コアカリキュラム】	永石 匡司
2015/01/15 (木) 4時限 14:40～16:10	産婦人科3	【授業の一般目標】 婦人科領域の悪性腫瘍について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 子宮頸癌および子宮頸部異形成について説明できる。 2. 子宮体癌および子宮内膜増殖症について説明できる。 3. 卵巣癌について説明できる。 【準備学習項目】 婦人科領域の悪性腫瘍について説明できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】	永石 匡司

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/15 (木) 4時限 14:40～16:10	産婦人科3	<p>必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 e 器官系 (骨格系、筋系、消化器系、呼吸器系、循環器系(脈管系)、泌尿器系、生殖器系、神経系、感覚器系、内分泌系)</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-4 病因と病態 C-4-5) 腫瘍 *①腫瘍の定義を説明できる。 *②腫瘍の病因を説明できる。 *③異形成を説明できる。 *④腫瘍の異型性と組織学的分化度を説明できる。 *⑤良性腫瘍と悪性腫瘍の異同を説明できる。 *⑥局所における腫瘍の増殖、浸潤および転移を説明できる。</p>	永石 匡司
2015/01/22 (木) 4時限 14:40～16:10	産婦人科4	<p>【授業の一般目標】 婦人科領域の良性腫瘍、月経異常、性感染症について理解する。 婦人科疾患治療中の歯科疾患管理について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 卵巣嚢腫、子宮筋腫、子宮内膜症の診断、治療について説明できる。 2. 月経困難症、過多月経などの月経異常や不妊症、性感染症について説明できる。 3. 婦人科疾患治療中の歯科疾患管理について説明できる</p> <p>【準備学習項目】 婦人科領域の良性腫瘍、月経異常、性感染症について説明できる。 婦人科疾患治療中の歯科疾患管理について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 e 器官系 (骨格系、筋系、消化器系、呼吸器系、循環器系(脈管系)、泌尿器系、生殖器系、神経系、感覚器系、内分泌系)</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-4 病因と病態 C-4-5) 腫瘍 *⑤良性腫瘍と悪性腫瘍の異同を説明できる。</p>	永石 匡司
2015/01/29 (木) 4時限 14:40～16:10	平常試験	<p>【学習方略 (LS)】 その他</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p>	坂巻 達夫 崎元 暢 宮本 幸伸 永石 匡司

医療行動科学7

年次	学期	学則科目責任者
4年次	前学期	伊藤 孝訓 (歯科総合診療学)

学習目標 (GIO)	「診断する」とは、患者に付随している異常な状態を病態生理学的立場のみならず、心理的、社会的要因を含む広い立場から、現状で可能な診断情報を収集し、総合的な (病態、臨床疫学的な確率データ、患者の意向・価値観、医師と患者の心理など) 判断に基づいて最適な医療を行うための根拠を得る過程 (プロセス) であることを理解する。 「歯科総合診療学」とは、歯科医学の細分化傾向に対して口腔疾患を総合的に診るとともに、患者の全身機能との関連、生活習慣や環境などの背景をも配慮し、歯科のcommon disease を対象にプライマリ・ケアとして治療と継続的なフォローを包括的に行う学問であることを理解する。
担当教員	伊藤 孝訓、多田 充裕、青木 伸一郎、内田 貴之、遠藤 弘康、岡本 康裕、※大山 篤
教科書	「歯科医療面接アートとサイエンス」 伊藤孝訓編著 砂書房(第2版)
参考図書	「患者ニーズにマッチした歯科医療面接の実際」 伊藤孝訓、寺中敏夫編集 クインテッセンス出版 「イラストレイテッド・クリニカルデンティストリー①患者の診かたと歯科診療」 黒崎紀正他編集 医歯薬出版 「臨床医になるための必修アイテム」 医療面接から臨床判断学まで 竹村洋典 南江堂 「臨床入門 臨床実習の手引き」 福井次矢 医学書院 「口腔診断学」 下里常弘他 医学書院 「歯科口腔診断ハンドブック」 増田 屯、藤澤盛一郎 医学情報社 「歯科医のための医療コーチング入門」 岸 英光 砂書房
評価方法 (EV)	講義：授業時間内に行う平常試験 (60%)，制作物・体験実習レポート (30%)，授講態度 (10%) をもって総合評価 (最終評価) する。 平常試験の結果に応じて、補講または再試験等の措置を講じることがある。 受講態度は出席することが前提として与えられ、講義・演習参加への積極性を評価対象とする。 授業時間数の1/5以上を欠席した場合、成績評価は0~60点とする。
学生へのメッセージ オフィスアワー	医療の本質は不確実性にあるといわれており、この問題に対処する方法として、本講義は歯科医師として眼前の患者さんに最良な治療やマネジメントが奏功できるように、臨床各科の知識を頭の中で整理統合し、再編成できる考える力を育てる学問であり、臨床において患者に対応する際に即役立つことなので、興味を抱いて講義に参加して欲しい。 E-mail(shindan.md.ml @ nihon-u.ac.jp) による質問を受け付ける。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/03 (木) 3時限 13:00~14:30	ガイダンス 1) 医療者の態度 2) 診断学とは 3) 医療の不確実性 4) 患者医師関係	【授業の一般目標】 全人的医療を実践するために、医療面接と臨床判断学に関する知識を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 期待される医師の態度を説明できる。 2. 口腔診断学と歯科総合診療学を説明できる。 3. 総合診療学の歯科臨床における役割を説明できる。 【準備学習項目】 医療者としてふさわしい態度について説明できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療、インフォームドコンセント、セカンドオピニオン 【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 8 医療面接 イ 面接のマナー a 身だしなみ b 挨拶、態度 c 会話のマナー、言葉遣い 【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-3 歯科医師の責務 *①患者との信頼関係を築くことができる。	伊藤 孝訓
2014/04/10 (木) 3時限 13:00~14:30	臨床判断学 (1) 1) 臨床 (診断) 推論 2) 診断プロセス 3) 医学判断学	【授業の一般目標】 全人的医療を実践するために、歯科疾患の診断思考に関する知識を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床情報には不確実性要素を含み、不確実性下で臨床判断を行うことを説明できる。 2. 基本的な診断論理を説明できる。 3. 意思決定の方法について説明できる。 4. 診断プロセス (診断情報の収集・分析・決定) について列挙し説明できる。 5. 医学判断学について説明できる。	伊藤 孝訓

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/10 (木) 3時限 13:00～14:30	臨床判断学 (1) 1) 臨床 (診断) 推論 2) 診断プロセス 3) 医学判断学	<p>【準備学習項目】 基本的な問題解決法について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 2 臨床判断の基本 ア 根拠に基づいた医療 < EBM > a 意義</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-1) 基本的診療技能 ⑩基本的診察および検査結果よりの確な診断と治療方針を立案し説明できる。</p>	伊藤 孝訓
2014/04/17 (木) 3時限 13:00～14:30	臨床判断学 (2) 1) EBM 2) 決断分析の実際	<p>【授業の一般目標】 全人的医療を実践するために、EBMに関する知識を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 診断テストを使うことができる。 2. EBMの概念を説明できる。 3. 臨床判断分析の手順を説明できる。 4. Decision tree による実際例を説明できる。 5. NBMの概念を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 診断について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 2 臨床判断の基本 ア 根拠に基づいた医療 < EBM > a 意義</p> <p>【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-1 医療面接 ⑧患者に診断結果と治療方針を説明できる。</p>	内田 貴之
2014/04/24 (木) 3時限 13:00～14:30	医師の心理 1) 誤診 2) 医療過誤最少化	<p>【授業の一般目標】 全人的医療を実践するために、医療過誤が発生する要因に関する知識を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 経験則による判断に内在する問題やバイアスを説明できる。 2. 臨床判断時の誤診を導く心理特性について説明できる。 3. 診断プロセスの各ステップに起こるバイアスを説明できる。 4. ヒューマンエラーについて説明できる。 5. 歯科の医療過誤訴訟の特性について説明できる。 6. クリティカルパスについて説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 医療過誤について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 4 歯科医療の質と安全の確保 イ 医療事故の防止 a 医療事故と医療過誤</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 4 歯科医療の質と安全の確保 イ 医療事故の防止 b 医療事故の発生要因 エ 医療裁判 a 医事紛争、賠償</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-5 歯科医療における安全性への配慮と危機管理 A-5-2) 医療上の事故等への対処と予防 *②医療上の事故等 (インシデント (ヒヤリハット)、医療過誤等を含む) の事例の原因を分析し、防止対策を説明できる。</p>	伊藤 孝訓
2014/05/08 (木)	患者の心理	【授業の一般目標】	多田 充裕

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
3時限 13:00～14:30	1) 歯科患者の特異性 2) 心理的配慮	<p>全人的医療を実践するために、歯科患者の心理特性に関する知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 歯科患者の特異的な心理状況について説明できる。 2. 患者対応時の注意点を列挙できる。 3. 患者の望む治療者（歯科医師）の人間像を説明できる。 <p>【準備学習項目】</p> <p>歯科患者の心理状態について説明できる。</p> <p>【学習方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>必修の基本的事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 2 社会と歯科医療 ア 患者・障害者のもつ心理・社会的問題 e 患者・障害者の心理と態度 <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学教育</p> <p>E-1 診療の基本</p> <p>E-1-1) 基本的診療技能</p> <p>*⑩診療室における患者の心理と行動を理解し配慮できる。</p>	多田 充裕
2014/05/15 (木) 3時限 13:00～14:30	医療面接（1）	<p>【授業の一般目標】</p> <p>全人的医療を実践するために、医療面接の意義と目的に関する知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療面接の目的を説明できる。 2. 医療面接で行う具体的な内容を説明できる。 3. 情報の伝達の難しさを説明できる。 <p>【準備学習項目】</p> <p>一般的なコミュニケーションの基礎について説明できる。</p> <p>【学習方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>必修の基本的事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 8 医療面接 イ 面接のマナー d コミュニケーションの進め方（質問法、傾聴の仕方、非言語的コミュニケーション） <p>【国家試験出題基準（副）】</p> <p>必修の基本的事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 8 医療面接 イ 面接のマナー c 会話のマナー、言葉遣い <p>【コアカリキュラム】</p> <p>F 臨床実習</p> <p>F-1 医療面接</p> <p>②医療面接における基本的なコミュニケーションができる。</p>	大山 篤
2014/05/22 (木) 3時限 13:00～14:30	医療面接（2） 1) 医療面接の意義 2) 会話のマナー 3) コミュニケーションの進め方 4) 感情面への対応	<p>【授業の一般目標】</p> <p>全人的医療を実践するために、効果的な会話に関する知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療面接の4要素（尋ねる、聴く、答える、観察する）について説明できる。 2. コミュニケーションスキルを列挙し説明できる。 3. 非言語的コミュニケーションを説明できる。 4. 基本的な医療者の態度について説明できる。 <p>【準備学習項目】</p> <p>医療現場での面接の大切さを説明できる。</p> <p>【学習方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>必修の基本的事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 8 医療面接 ア 意義、目的 a 医療情報の収集・提供 <p>【国家試験出題基準（副）】</p> <p>必修の基本的事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 8 医療面接 ア 意義、目的 b 患者歯科医師関係の確立 c 患者の指導、動機付け、治療への参加 <p>【コアカリキュラム】</p> <p>A 基本事項</p>	青木 伸一郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/05/22 (木) 3時限 13:00~14:30	医療面接 (2) 1) 医療面接の意義 2) 会話のマナー 3) コミュニケーションの進め方 4) 感情面への対応	A-7 対人関係能力 A-7-2) 医療面接 *①医療面接の役割を説明できる。 ②主訴をよく聞き取るとともに、患者の病気に対する考えや治療に対する希望を把握できる。 ③患者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出、整理できる。	青木 伸一郎
2014/05/29 (木) 3時限 13:00~14:30	平常試験 1	【学習方略 (LS)】 その他 【場所 (教室/実習室)】 302教室	伊藤 孝訓 多田 充裕
2014/06/05 (木) 3時限 13:00~14:30	医療面接 (3) 1) OSCE 2) 患者からの情報収集 3) 患者- 歯科医師コミュニケーション 4) 患者教育	【授業の一般目標】 全人的医療を実践するために、患者から効率的に情報収集する仕方を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 聴く態度の重要性について説明できる。 2. 患者とのよいラポールを確立するための方法を説明できる。 3. 患者教育のためのコーチングスキルを説明できる。 4. OSCE (試験) の実施の仕方を概説できる。 【準備学習項目】 OSCE (試験) の意味を概説できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 8 医療面接 ウ 病歴聴取 a 主訴 【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 8 医療面接 ウ 病歴聴取 b 現病歴 d 既往歴 f 患者背景 (生活習慣、喫煙歴、社会歴) 【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-7 対人関係能力 A-7-2) 医療面接 ④患者の不安、不満や表情・行動の変化に適切に対応できる。 ⑤患者に診断結果と治療方針を適切に説明できる。 *⑦患者のプライバシーに配慮できる。	青木 伸一郎
2014/06/12 (木) 3時限 13:00~14:30	医療面接 (4) 1) ロールプレイ 2) 会話分析 (トランスクリプト)	【授業の一般目標】 全人的医療を実践するために、効果的な会話スキルを学ぶ会話分析に関する知識を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. ロールプレイの目的や方法を説明できる。 2. 信頼関係を確立するための医療面接スキルを説明できる。 3. トランスクリプトの目的や方法を説明できる。 【準備学習項目】 医療におけるコミュニケーションの重要性について説明できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 8 医療面接 イ 面接のマナー f 感情面への対応 【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-1 医療面接 ②医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 ③患者の病歴 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴) を聴取できる。 ④患者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出、整理できる。 ⑤患者の不安、不満や表情、行動の変化に適切に対応できる。	青木 伸一郎
2014/06/19 (木) 3時限 13:00~14:30	診療録 (1) 1) 診療録の構成 2) 現症 (全身的所見) 3) 現症 (口腔内・外所見) 4) 口腔内診査 5) 患者背景 (生	【授業の一般目標】 全人的医療を実践するために、診療録の構成・記載内容に関する知識を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 診療録の構成を列挙できる。 2. 現症の基本的な記載について説明できる。 3. 口腔内診査の項目を列挙できる。	岡本 康裕

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/19 (木) 3時限 13:00～14:30	活習慣・社会歴 6) 主訴 7) 現病歴 8) 既往	4. 患者背景の重要性を説明できる。 5. 主訴の定義と歯科特有の主訴を列挙できる。 6. 現病歴の基本的な記載について説明できる。 7. 医科的・歯科的既往歴の重要性を説明できる。 8. 家族歴の重要性を説明できる。 【準備学習項目】 診療録に記載する内容について説明できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 5 診療記録と診療情報 ア 診療録、医療記録 a 診療に関する記録 (診療録、同意書、処方箋、検査所見記録、画像記録、手術記録、入院診療計画書、退院時要約、技工指示書、模型) 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-1) 基本的診療技能 *⑨病歴聴取、視診、触診および打診等によって患者の現症を的確に捉えることができる。 ⑩的確な診察と検査から得られた所見を適切に診療録に記載できる。	岡本 康裕
2014/06/26 (木) 3時限 13:00～14:30	診療録 (2) 1) POS 2) POMR 3) SOAP	【授業の一般目標】 全人的医療を実践するために、問題指向型診療録 (POMR) およびSOAPに関する知識を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. POSについて解説できる。 2. POMRの記載項目を挙げて各々について説明できる。 3. SOAPの記載項目を挙げて各々について説明できる。 4. 診断思考に基づいた問診 (病歴聴取) を説明できる。 【準備学習項目】 問題指向型診療録 (POMR) について説明できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 5 診療記録と診療情報 ア 診療録、医療記録 c SOAP (主観的情報、客観的情報、評価、計画) 【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-1 医療面接 ⑥診療録に得られた情報をPOMR (問題志向型診療記録) 形式で記載できる。	岡本 康裕
2014/07/03 (木) 3時限 13:00～14:30	診 察 1) 口腔内診査 2) 診査所見 3) 理学的診査と病態	【授業の一般目標】 全人的医療を実践するために、歯科治療における口腔診査に関する知識を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 口腔の特異性と口腔病変に対する基本的な考え方を説明できる。 2. 口腔内診査の特性について説明できる。 3. 口腔内診査に用いる基本的な診査法の術式を説明できる。 【準備学習項目】 歯科疾患の診断に必要な口腔内診査について説明できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅷ 診察 1 診察総論 イ 診察の基本 【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 10 診察の基本 イ 基本手技 a 視診 b 触診 c 打診 d 聴診 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本	岡本 康裕

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/07/03 (木) 3時限 13:00～14:30	診 察 1) 口腔内診査 2) 診査所見 3) 理学的診査と病態	E-1-1) 基本的診療技能 *⑨病歴聴取、視診、触診および打診等によって患者の現症を的確に捉えることができる。 F 臨床実習 F-2 診察の基本 F-2-3) 口唇・口腔内状態の診察 ①口唇・口腔内の状態を診察できる。	岡本 康裕
2014/07/10 (木) 3時限 13:00～14:30	症候学(1) 1) 歯の症候 2) 歯髄の症候 3) 根尖歯周組織の症候 4) 辺縁歯周組織の症候 5) 口腔粘膜の症候 6) 口腔の感覚異常(知覚・味覚)	【授業の一般目標】 全人的医療を実践するために、歯科疾患の症状・病態に関する知識を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 齲蝕の症状、診査所見、病態を関連づけることができる。 2. 歯髄疾患の症状、診査所見、病態を関連づけることができる。 3. 根尖性歯周炎の症状、診査所見、病態を関連づけることができる。 4. 辺縁性歯周炎の症状、診査所見、病態を関連づけることができる。 5. 口腔粘膜疾患の症状、診査所見、病態を関連づけることができる。 6. 口腔の感覚異常の診査所見、病態を関連づけることができる。 【準備学習項目】 歯科疾患の診断に必要な口腔内診査について説明できる。 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 11 歯・口腔・顎・顔面・頭蓋の病因・病態 イ 歯の硬組織・歯髄・根尖歯周組織・辺縁歯周組織の疾患 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 11 歯・口腔・顎・顔面・頭蓋の病因・病態 ウ 口腔粘膜の疾患 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4)-(4) 口腔粘膜疾患 *①口腔粘膜疾患の種類と特徴を説明できる。 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 *①歯の硬組織の疾患の病因と病態を説明できる。 *③歯髄・根尖歯周組織疾患の病因と病態を説明できる。 *④歯周疾患の病因と病態を説明できる。	遠藤 弘康
2014/07/17 (木) 3時限 13:00～14:30	症候学(2) 歯科における臨床推論(診断)の特徴	【授業の一般目標】 全人的医療を実践するために、歯科の臨床推論に関する知識を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 歯科診断における思考過程について説明できる。 2. 症状、診査所見から診断名を推論できる。 【準備学習項目】 歯科疾患の症状、診査所見、病態を説明できる。 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 11 歯・口腔・顎・顔面・頭蓋の病因・病態 イ 歯の硬組織・歯髄・根尖歯周組織・辺縁歯周組織の疾患 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *①う蝕の症状と診断を説明できる。【検査法を含む】 E-3-3)-(2) 歯髄・根尖歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】 E-3-3)-(3) 歯周疾患の診断と治療 *①歯周疾患の症状を説明できる。【疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】 E-3-3)-(4) 象牙質知覚過敏症の診断と治療 *①象牙質知覚過敏症の病因、病態、診断および治療法を説明できる。	多田 充裕
2014/09/11 (木) 3時限 13:00～14:30	平常試験2	【学習方略(LS)】 その他 【場所(教室/実習室)】 302教室	伊藤 孝訓 多田 充裕

高齢者歯科学

年次	学期	学則科目責任者
4年次	前学期	川良 美佐雄（顎口腔機能治療学）

学習目標 (GIO)	<p>わが国における高齢化率は、2013年（平成25年）には対全人口比で65歳以上が25%に達し、2030年（平成42年）には31.6%になると推測されている。このような超高齢社会において歯科医学、歯科医療の担う比重は大きい。</p> <p>高齢者にとって食べられるということは、QOLの最上位に位置すると言って過言ではなく、口腔保健の良否が社会生活を左右する。また、目標とされる健康長寿社会への貢献については関連分野との連携が必須である。</p> <p>したがって、顎口腔系の加齢変化および歯科的対応はもとより、高齢者をとりまく社会経済的環境、保健福祉制度をはじめとして、慢性疾患、薬物動態、全身管理についても理解を深めておかなければならない。</p> <p>GIO：健康長寿に貢献するために、高齢者歯科医学の基本的な知識、技能、態度を修得する。</p>
担当教員	川良 美佐雄、黒木 俊一、小見山 道、鈴木 浩司、浅野 隆、飯田 崇、那須 郁夫、坂巻 達夫、大口 純人、渋谷 鑛、山根 潤一、野本 たかと、※菊谷 武、齊藤 孝親、※平野 浩彦、竹蓋 道子
教科書	指定しない
参考図書	<p>高齢者歯科学 渡辺 誠 監修 永末書店</p> <p>高齢者歯科ガイドブック 植松 宏、稲葉 繁、渡辺 誠 編集 医歯薬出版</p> <p>新老年学（第2版） 折茂 肇 編集代表 東京大学出版会</p> <p>高齢者歯科診療ガイドブック 下山和弘、櫻井 薫、深山治久、米山武義 編集 （財）口腔保健協会</p> <p>動画で分る摂食・嚥下リハビリテーション 藤島一郎、柴本 勇 監修 中山書店</p>
評価方法 (EV)	<p>第1回平常試験（30%）試験範囲：第1回～第7回講義</p> <p>第2回平常試験（70%）試験範囲：第1回～第15回講義で評価します。</p> <p>特定の講義や課題に偏ることはない。</p> <p>問題形式は多肢選択問題および記述問題の混合形式とする。</p>
学生への メッセージ オフィスアワー	<p>毎回の講義のポイントをおさえるようにしましょう。</p> <p>すでに超高齢社会（21%以上）となったいま、高齢者歯科学の基礎を学び、しっかりと対応してゆこう。</p> <p>医科、看護、介護、社会福祉といった関連領域では歯科に対する期待も大きい。協働に備えよう。</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/01 (火) 1時限 09:00～10:30	高齢社会の現状 加齢に伴う歯、顎、 口腔の変化	<p>【授業の一般目標】</p> <p>健康長寿に医療人として貢献するために、高齢者歯科医学の基本的な知識、技能、態度を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人口統計学の立場から見たわが国の少子化、高齢化の伸長を知り、将来の人口動態を推論できる。 2. 老化の機序を説明できる。 3. 老化の身体的、精神的、心理的特徴を説明できる。 4. 加齢に伴う歯、顎、口腔の生理的、機能的変化を説明できる。 5. 高齢者の栄養ケア・マネジメントについて説明できる。 <p>【準備学習項目】</p> <p>高齢社会の現状 老化の身体的、精神的、心理的特徴 加齢に伴う歯、顎、口腔の生理的、機能的変化</p> <p>【学習方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学総論 総論V 発生、成長、発達、加齢 1 人体の発生・成長・発達・加齢 ク 加齢、老化</p> <p>【国家試験出題基準（副）】</p> <p>歯科医学総論 総論V 発生、成長、発達、加齢 6 加齢・老化による歯・口腔・顎・顔面の変化 ア 形態的变化 イ 機能的変化</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-4 人体諸器官の成長、発育と加齢変化 *①人体諸器官の形態と機能の成長、発育および加齢に伴う変化を説明できる。</p> <p>E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-3 高齢者の歯科治療 *①老化の身体的、精神的および心理的特徴を説明できる。</p>	川良 美佐雄 小見山 道

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/01 (火) 1時限 09:00～10:30	高齢社会の現状 加齢に伴う歯、顎、 口腔の変化	*②老化に伴う口腔諸組織の構造と機能の変化を説明できる。	川良 美佐雄 小見山 道
2014/04/08 (火) 1時限 09:00～10:30	高齢者の保健・医 療・福祉	<p>【授業の一般目標】 健康長寿に医療人として貢献するために、高齢者歯科医学の基本的な知識、技能、態度を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. わが国の高齢者に関する、保健、医療、福祉制度とその連携について説明できる。 2. 老人保健法の枠組みにおける、老人医療と保健事業のあり方を知り、歯科医師の役割を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 高齢者に関する、保健、医療、福祉制度とその連携 老人保健法の枠組みにおける、老人医療と保健事業のあり方</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ウ 保健・医療・福祉・介護の制度 f 保健・医療・福祉・介護の各制度と職種</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 カ 成人・高齢者保健 c 介護予防（地域支援事業、予防給付） d 福祉、介護保険</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-2 健康と社会、環境 B-2-2) 保健・医療・福祉制度 *③介護保険制度を説明できる。 *⑤高齢者のおかれた社会環境を説明できる。 *⑦ノーマライゼーションの考え方を説明できる。 *⑨地域における保健・医療・福祉・介護の分野間の連携および他職種間の連携の必要性について説明できる。 *⑩地域医療の基盤となるプライマリ・ケアの必要性を説明できる。</p>	那須 郁夫 川良 美佐雄 小見山 道
2014/04/15 (火) 1時限 09:00～10:30	高齢者医療の特徴 と慢性疾患	<p>【授業の一般目標】 老人保健法の枠組みにおける、老人医療と保健事業のあり方</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 高齢者医療の現状を説明できる。 2. 高齢者の生理的・機能的変化について説明できる。 3. 高齢者で頻度の高い慢性疾患を挙げ説明できる。 4. 慢性疾患として挙げられる老年病を機序別に説明できる。 5. 歯科治療と高齢者慢性疾患とのかかわりを説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 高齢者の生理的・機能的変化 高齢者で頻度の高い慢性疾患</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅷ 診察 5 高齢者への対応 ウ 医療情報の収集</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅵ 高齢者の歯科診療 13 管理に留意すべき全身疾患 ア 循環器疾患 イ 悪性新生物 ウ 呼吸器疾患 エ 腎臓疾患 オ 精神・心身医学的疾患 カ その他の高頻度にみられる全身疾患・症状 キ 要介護の原因疾患</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-3) 高齢者の歯科治療 *①老化の身体的、精神的および心理的特徴を説明できる。 *③高齢者に多くみられる疾患を説明できる。 E-4-6) 歯科医師に必要な医学的知識 *①代表的な医科疾患(内科的疾患)を説明できる。 *②主要な医科疾患の症候を説明できる。</p>	坂巻 達夫 大口 純人 川良 美佐雄 小見山 道

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/22 (火) 1時限 09:00～10:30	高齢者歯科診療における全身管理	<p>【授業の一般目標】 健康長寿に医療人として貢献するために、高齢者歯科医学の基本的な知識、技能、態度を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 高齢者歯科診療でのモニタリングを説明できる。 2. 循環器疾患患者での術前評価と注意点を説明できる。 3. 脳血管障害患者での術前評価と注意点を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 高齢者歯科診療でのモニタリング 循環器疾患患者での術前評価と注意点 脳血管障害患者での術前評価と注意点</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 顎・口腔領域の疾患 17 全身管理に留意すべき全身疾患・状態 ス 高齢者</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅵ 高齢者の歯科診療 13 管理に留意すべき全身疾患 ア 循環器疾患 イ 悪性新生物 ウ 呼吸器疾患 エ 腎臓疾患 カ その他の高頻度にみられる全身疾患・症状</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-3) 高齢者の歯科治療 *③高齢者に多くみられる疾患を説明できる。 *⑥高齢者の歯科治療時の全身管理を説明できる。</p>	渋谷 鏡 川良 美佐雄 小見山 道
2014/05/13 (火) 1時限 09:00～10:30	高齢者と臨床検査医学	<p>【授業の一般目標】 健康長寿に医療人として貢献するために、高齢者歯科医学の基本的な知識、技能、態度を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 高齢者における罹患頻度の高い慢性疾患を説明できる。 2. 臨床検査データから全身状況を説明できる。 3. 医師との連携を円滑に行うことができる。 4. 全身状態に応じた歯科治療を選択できる。</p> <p>【準備学習項目】 高齢者における罹患頻度の高い慢性疾患 全身状態に応じた歯科治療</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅷ 診察 5 高齢者への対応 ウ 医療情報の収集</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅵ 高齢者の歯科診療 13 管理に留意すべき全身疾患 ア 循環器疾患 イ 悪性新生物 エ 腎臓疾患 カ その他の高頻度にみられる全身疾患・症状</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-3) 高齢者の歯科治療 *①老化の身体的、精神的および心理的特徴を説明できる。 *③高齢者に多くみられる疾患を説明できる。 *⑥高齢者の歯科治療時の全身管理を説明できる。</p>	黒木 俊一 川良 美佐雄 小見山 道
2014/05/20 (火) 1時限 09:00～10:30	高齢者歯科と薬物	<p>【授業の一般目標】 健康長寿に医療人として貢献するために、高齢者歯科医学の基本的な知識、技能、態度を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 高齢者における薬物の体内動態について説明できる。 2. 高齢者の薬物投与の原則を説明できる。 3. 投薬の実際について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】</p>	山根 潤一 川良 美佐雄 小見山 道

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/05/20 (火) 1時限 09:00～10:30	高齢者歯科と薬物	<p>高齢者における薬物の体内動態 高齢者の薬物投与の原則 投薬の実際</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ヒ 薬物療法 j 薬物投与上の注意 (禁忌、小児、妊婦、高齢者、全身疾患を有する患者)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論X 治療 9 薬物療法 ア 薬物療法の種類 イ 適用方法と剤形 ウ 薬物動態 エ 薬効に影響を及ぼす因子 キ 薬物の連用 ク 服薬指導</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 生体と薬物 C-5-2) 薬理作用 *⑤薬物の連用の影響 (薬物耐性、蓄積および薬物依存) を説明できる。 *⑥薬物の併用 (協力作用、拮抗作用、相互作用) を説明できる。 C-5-3) 薬物の適用と体内動態 *①薬物の適用方法の種類とその特徴を説明できる。 *②薬物動態 (吸収、分布、代謝、排泄) を説明できる。 C-5-4) 薬物の副作用と有害作用 *①薬物の一般的副作用、有害作用と口唇・口腔・顎顔面領域に現れる副作用、有害作用を説明できる。</p>	山根 潤一 川良 美佐雄 小見山 道
2014/05/27 (火) 1時限 09:00～10:30	高齢者の心理と精神機能障害	<p>【授業の一般目標】 健康長寿に医療人として貢献するために、高齢者歯科医学の基本的な知識、技能、態度を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 高齢者の心理状態について説明できる。 2. 認知症の社会的問題を説明できる。 3. 認知症の分類とそれぞれの特徴を説明できる。 4. 症状改善の方略について説明できる。 5. 認知症患者への対応を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 高齢者の心理状態 認知症の社会的問題 認知症の分類とそれぞれの特徴</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論V 発生、成長、発達、加齢 1 人体の発生・成長・発達・加齢 ク 加齢、老化</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論VI 高齢者の歯科診療 10 神経疾患 オ 口腔ジスキネジア 13 管理に留意すべき全身疾患 オ 精神・心身医学的疾患 カ その他の高頻度に見られる全身疾患・症状 キ 要介護の原因疾患</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-3) 高齢者の歯科治療 *①老化の身体的、精神的および心理的特徴を説明できる。 *③高齢者に多くみられる疾患を説明できる。</p>	小見山 道 川良 美佐雄
2014/06/03 (火) 1時限 09:00～10:30	第1回平常試験	<p>【授業の一般目標】 健康長寿に医療人として貢献するために、高齢者歯科医学の基本的な知識、技能、態度を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 平常試験</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p>	川良 美佐雄 小見山 道 黒木 俊一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/03 (火) 1時限 09:00～10:30	第1回平常試験	302教室	川良 美佐雄 小見山 道 黒木 俊一
2014/06/10 (火) 1時限 09:00～10:30	高齢者の摂食嚥下障害とリハビリテーション	<p>【授業の一般目標】 健康長寿に医療人として貢献するために、高齢者歯科医学の基本的な知識、技能、態度を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 摂食・嚥下機能の病因・病態を説明できる。 2. 摂食・嚥下障害の評価・検査を説明できる。 3. 摂食・嚥下障害への対応を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 摂食・嚥下機能の病因・病態 摂食・嚥下障害の評価・検査 摂食・嚥下障害への対応</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅷ 診察 5 高齢者への対応 ク 摂食・嚥下機能とリハビリテーション</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅵ 高齢者の歯科診療 1 5 摂食・嚥下機能 ア 摂食・嚥下機能の加齢変化 イ 摂食・嚥下障害の病因・病態 ウ 摂食・嚥下障害の評価・検査 1 6 摂食・嚥下障害 ア 摂食・嚥下障害の評価・検査 c スクリーニングテスト b 間接訓練 c 直接訓練、段階的摂食訓練 e 歯科的アプローチ</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-3) 高齢者の歯科治療 *⑩摂食・嚥下障害の診察、検査、診断を説明できる。 *⑪摂食・嚥下リハビリテーションを説明できる。</p>	野本 たかと 川良 美佐雄 小見山 道
2014/06/17 (火) 1時限 09:00～10:30	高齢者の口腔介護・リハビリテーション	<p>【授業の一般目標】 健康長寿に医療人として貢献するために、高齢者歯科医学の基本的な知識、技能、態度を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 摂食・嚥下障害の身体所見を説明することができる。 2. 摂食・嚥下障害に対するリハビリテーションの理念を説明できる。 3. 摂食・嚥下障害の食事指導、食事介助を説明できる。 4. 高齢者の栄養管理・栄養療法について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 摂食・嚥下障害の身体所見 摂食・嚥下障害に対するリハビリテーションの理念 摂食・嚥下障害の食事指導、食事介助 高齢者の栄養管理・栄養療法</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅷ 診察 5 高齢者への対応 ク 摂食・嚥下機能とリハビリテーション</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅵ 高齢者の歯科診療 1 6 摂食・嚥下障害 ア 摂食・嚥下障害の評価・検査 a 身体所見 b 栄養、食事 d 検査 a リハビリテーションの理念 d 食事指導、食事介助 e 歯科的アプローチ 1 7 高齢者の栄養管理 ア 栄養状態の評価 イ 食内容の管理 ウ 食形態の管理 オ 栄養指導</p>	菊谷 武 川良 美佐雄 小見山 道

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/17 (火) 1時限 09:00~10:30	高齢者の口腔介護・ リハビリテーショ ン	<p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-3) 高齢者の歯科治療 *⑩摂食・嚥下障害の診察、検査、診断を説明できる。 *⑪摂食・嚥下リハビリテーションを説明できる。 *⑤口腔機能向上による介護予防について説明できる。</p>	菊谷 武 川良 美佐雄 小見山 道
2014/06/24 (火) 1時限 09:00~10:30	要介護高齢者と歯 科	<p>【授業の一般目標】 健康長寿に医療人として貢献するために、高齢者歯科医学の基本的な知識、技 能、態度を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 高齢者の福祉・介護の各制度について説明できる。 2. 要介護高齢者の食事の実際を説明できる。 3. 施設における口腔のケアについて説明できる。 4. 高齢患者とのコミュニケーション技法を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 高齢者の福祉・介護の各制度 要介護高齢者の食事の実際 施設における口腔のケア 高齢患者とのコミュニケーション技法</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ウ 保健・医療・福祉・介護の制度 f 保健・医療・福祉・介護の各制度と職種</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論 I 保健医療論 3 保健・医療・福祉・介護の仕組みと資源 カ 福祉・介護の制度と職種 キ 医療連携、チーム医療 ク 保健・医療・福祉・介護の制度と連携 歯科医学各論 各論 VI 高齢者の歯科診療 13 管理に留意すべき全身疾患 オ 精神・心身医学的疾患 キ 要介護の原因疾患 14 訪問歯科診療 イ 口腔衛生管理のための口腔ケア</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-2 健康と社会、環境 B-2-2) 保健・医療・福祉制度 *③介護保険制度を説明できる。 *④社会福祉制度を説明できる。 *⑤高齢者のおかれた社会環境を説明できる。 *⑨地域における保健・医療・福祉・介護の分野間の連携および他職種間の連 携の必要性について説明できる。</p>	齊藤 孝親 川良 美佐雄 小見山 道
2014/07/01 (火) 1時限 09:00~10:30	高齢者歯科訪問診 療	<p>【授業の一般目標】 健康長寿に医療人として貢献するために、高齢者歯科医学の基本的な知識、技 能、態度を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 在宅要介護者の歯科治療時の注意点を説明できる。 2. 要介護者の補綴装置の管理について説明できる。 3. 訪問歯科診療にかかわる社会保障制度を説明できる。 4. 口腔管理プランの策定について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 在宅要介護者の歯科治療時の注意点 要介護者の補綴装置の管理 訪問歯科診療にかかわる社会保障制度 口腔管理プランの策定</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論 VIII 診察 5 高齢者への対応 キ 在宅歯科医療</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論 VI 高齢者の歯科診療 13 管理に留意すべき全身疾患 カ その他高頻度にみられる全身疾患・症状 キ 要介護の原因疾患 14 訪問歯科診療</p>	飯田 崇 川良 美佐雄 小見山 道

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/07/01 (火) 1時限 09:00～10:30	高齢者歯科訪問診療	<p>ア 口腔管理プランの策定 イ 口腔衛生管理のための口腔ケア ウ 口腔機能管理のための口腔ケア エ 補綴装置の管理 18 補綴歯科治療 イ 咬合の変化とその対応 ウ 機能低下とその対応 エ 補綴装置の破損とその対応 オ 義歯の管理</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-3) 高齢者の歯科治療 *④高齢者における口腔ケア処置について説明できる。 *⑧要介護高齢者(在宅要介護者も含む)の歯科治療時の注意点を説明できる。 *⑨歯科訪問診療について説明できる。</p>	飯田 崇 川良 美佐雄 小見山 道
2014/07/08 (火) 1時限 09:00～10:30	高齢者歯科治療の実際	<p>【授業の一般目標】 健康長寿に医療人として貢献するために、高齢者歯科医学の基本的な知識、技能、態度を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 高齢者に多くみられる疾患を説明できる。 2. 有病高齢者の歯科治療時の注意点を説明できる。 3. 高齢者の歯科治療時の全身管理を説明できる。 4. 医科との連携について説明できる。 5. 高齢者の生活環境と口腔実態の関わりについて説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 高齢者に多くみられる疾患 有病高齢者の歯科治療時の注意点 高齢者の歯科治療時の全身管理 医科との連携 高齢者の生活環境と口腔実態の関わり</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅷ 診察 5 高齢者への対応 エ 診察</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅵ 高齢者の歯科診療 13 管理に留意すべき全身疾患 ア 循環器疾患 イ 悪性新生物 ウ 呼吸器疾患 エ 腎臓疾患 オ 精神・心身医学的疾患 カ その他の高頻度に見られる全身疾患・症状 キ 要介護の原因疾患 18 補綴歯科治療 ウ 機能低下とその対応</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-3) 高齢者の歯科治療 *①老化の身体的、精神的および心理的特徴を説明できる。 *②老化に伴う口腔諸組織の構造と機能の変化を説明できる。 *③高齢者に多くみられる疾患を説明できる。 *④高齢者における口腔ケア処置について説明できる。 *⑥高齢者の歯科治療時の全身管理を説明できる。</p>	平野 浩彦 川良 美佐雄 小見山 道
2014/07/15 (火) 1時限 09:00～10:30	高齢者におけるオーラルヘルスケア	<p>【授業の一般目標】 健康長寿に医療人として貢献するために、高齢者歯科医学の基本的な知識、技能、態度を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 高齢者における口腔のケアの重要性を説明できる。 2. 高齢者歯科診療での歯科医師と歯科衛生士の連携について説明できる。 3. 高齢者の口腔清掃指導について説明できる。 4. 地域保健における歯科衛生士の役割を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 高齢者における口腔のケアの重要性 高齢者歯科診療での歯科医師と歯科衛生士の連携 高齢者の口腔清掃指導 地域保健における歯科衛生士の役割</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項</p>	竹蓋 道子 川良 美佐雄 小見山 道

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/07/15 (火) 1時限 09:00～10:30	高齢者におけるオーラルヘルスケア	3 予防と健康管理・増進 コ 口腔のケア b 口腔機能維持向上のための口腔のケア 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論II 健康管理・増進と予防 6 高齢者保健 エ 要介護高齢者の歯科保健・医療 総論VIII 診察 5 高齢者への対応 ケ 多職種連携 歯科医学各論 各論I 歯科疾患の予防・管理 6 保健指導 ア 口腔清掃の意義 イ 口腔清掃法 ウ 口腔清掃指導 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-3) 高齢者の歯科治療 *④高齢者における口腔ケア処置について説明できる。 *⑤口腔機能向上による介護予防について説明できる。	竹蓋 道子 川良 美佐雄 小見山 道
2014/07/22 (火) 1時限 09:00～10:30	高齢者歯科診療における多職種連携	【授業の一般目標】 健康長寿に医療人として貢献するために、高齢者歯科医学の基本的な知識、技能、態度を修得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 歯科衛生士の役割を説明できる。 2. 看護師の役割を説明できる。 3. 言語聴覚士の役割を説明できる。 4. 理学療法士の役割を説明できる。 5. 作業療法士の役割を説明できる。 6. 管理栄養士の役割を説明できる。 7. 介護士の役割を説明できる。 8. 社会福祉士の役割を説明できる。 【準備学習項目】 高齢者歯科診療における歯科衛生士、看護師、言語聴覚士、理学療法士、作業療法士、管理栄養士の役割 【学習方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 302教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 16 チーム歯科医療 ア 医療機関でのチームワーク c 多職種連携 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論VIII 診察 5 高齢者への対応 ケ 多職種連携 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-3) 高齢者の歯科治療 *①老化の身体的、精神的および心理的特徴を説明できる。 *②老化に伴う口腔諸組織の構造と機能の変化を説明できる。 *③高齢者に多くみられる疾患を説明できる。 *④高齢者における口腔ケア処置について説明できる。 *⑤口腔機能向上による介護予防について説明できる。 *⑥高齢者の歯科治療時の全身管理を説明できる。 *⑧要介護高齢者(在宅要介護者も含む)の歯科治療時の注意点を説明できる。 *⑨歯科訪問診療について説明できる。	川良 美佐雄 小見山 道 鈴木 浩司 浅野 隆
2014/09/09 (火) 1時限 09:00～10:30	第2回平常試験	【授業の一般目標】 健康長寿に医療人として貢献するために、高齢者歯科医学の基本的な知識、技能、態度を修得する。 【学習方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 302教室	川良 美佐雄 黒木 俊一 小見山 道

歯科矯正学

年次	学期	学則科目責任者
4年次	前学期	葛西 一貴 (歯科矯正学)

学習目標 (G I O)	<p>歯科矯正学とは、歯、顎ならびに顔の正常な成長発育を研究し、それら諸構造の不正な成長発育から引き起こされる不正咬合や上下顎骨の異常な咬合関係を改善し、口腔の正しい機能を営ましめ、同時に顔貌の改善をはかり個人の福祉に寄与し、さらに不正状態の発生を予防するための研究と技術とを含めた歯科医学の一分科である。実際に歯科矯正治療を行うにあたっては、不正咬合がもたらす口腔機能障害や心理的障害を除去し、咬合を正常またはそれに近い状態に治すことである。</p> <p>授業内容は、総論として、歯科矯正学の歴史と定義、矯正治療の目的、成長発育概論、頭部の成長発育、歯列と咬合の発育、口腔機能の発育、咬合についての概論、正常咬合、不正咬合、診断法、不正咬合の原因および予防などである。また、診断学として診断学概論、診査、形態的・機能的検査、診断。さらに矯正治療における抜歯問題などを学ぶ。治療学として治療学概論、矯正力、矯正治療に伴う生体反応、固定、矯正治療用材料と器械器具、矯正装置、不正咬合の治療および保定などがある。</p> <p>不正咬合の治療としては、乳歯咬合期、混合歯咬合期および永久歯咬合期における治療を基本とし、それに加えて唇顎口蓋裂などに伴う治療、他科との共同による治療（外科的矯正法）、筋機能療法を学ぶ。</p> <p>矯正治療は一般歯科治療と比べると治療期間が2年から3年と比較的長い。顎骨の発育異常を伴う成長期の患者さんでは、顎の成長コントロールに更に期間を要することになり、矯正医の管理下に置かれる期間が長期にわたり、患者さんの負担も決して少なくない。矯正医はここで学んだ基礎知識と技術を駆使して患者さんの治療にあっている。講義ではたくさんの矯正治療症例を紹介するので、矯正治療に対する興味を持って頂きたい。</p> <p>また、歯科矯正学実習の目標は以下のとおりである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 種々の矯正装置（舌側弧線装置、上顎前方牽引装置）の基本的製作法を修得すると共にそれらの作用機序を学ぶ。 2. 頭部エックス線規格写真および口腔模型の基本的分析法を修得する。
担当教員	葛西 一貴、山口 大、今村 隆一、小野 修一、五関 たけみ、榎本 豊、齋藤 勝彦、根岸 慎一、徳永 理利、小堀 理恵、石井 かおり、弘松 美紀、清水 真美、※高橋 治
教科書	(講義) 歯科矯正学 第5版 相馬邦道、飯田順一郎、山本照子、葛西一貴、後藤滋巳 医歯薬出版 (実習) 歯科矯正学基礎実習書 葛西一貴、山口 大、今村隆一、小野修一、五関たけみ、榎本 豊、齋藤勝彦、高橋 治 わかば出版
参考図書	(講義) 混合歯列期の矯正歯科治療 後藤滋巳、葛西一貴、三浦廣行、氷室利彦 医歯薬出版 (講義) 新版 プロフィットの現代歯科矯正学 William R. proffit (高田健治 訳) 医歯薬出版
評価方法 (E V)	(講義) 平常試験(4回実施)で評価する。 (実習) 実習小テストと実習評価によって評価点とする。実習態度も実習評価に加味する。 歯科矯正学の評価は講義の評価および実習評価の合計で行う。 なお、講義・実習それぞれ 1/5以上を欠席した場合、評価点は0-60点とする。また、講義・実習のいずれかが合格点に達しない場合、歯科矯正学の評価点は60点未満とする。なお、平常試験の再試験は行わない。
学生へのメッセージ オフィスアワー	(講義) 近年不正咬合が増加しているといわれているが、その原因と診断について楽しみながら学んでいただきたい。また、ダイナミックな歯の移動により得られたきれいな咬み合わせや顔貌の改善の様子などをみて、矯正学への興味を深めていただきたい。e-mailによる質問を受け付ける。 (実習) 不正咬合の治療がどのような装置によって行われるか。また、歯がどのように動くのかを実習を通じて理解してほしい。e-mailによる質問を受け付ける

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/07 (月) 2時限 10:40~12:10	〔講義〕 第1回 ・ 歯科矯正学の歩みと定義 ・ 歯科矯正学の意義と目的 ・ 成長発育概論	<p>【授業の一般目標】 不正咬合がもたらす口腔機能障害や審美的障害を除去し、患者のQOLの向上を図るために、歯科矯正学の歩みと定義・歯科矯正学の意義と目的・成長発育概論について学ぶ。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 不正咬合による口腔機能障害を列挙できる。 2. 矯正治療の目的を述べるができる。 3. 成長発育と年齢(暦齢、生理的年齢)との関係を説明できる。 4. Harris と Scammon の成長発育パターンについて述べるができる。 5. 骨の成長様式を説明できる。 6. 成長発育の評価法および臨床上の利用意義を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 ・ 歯科矯正学の歴史について述べるができる。 ・ 歯科矯正学の定義について説明できる。 ・ 上顎および下顎の成長発育についてその特徴を列挙できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 302教室</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項</p>	葛西 一貴

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/07 (月) 2時限 10:40~12:10	〔講義〕第1回 ・歯科矯正学の歩 みと定義 ・歯科矯正学の意 義と目的 ・成長発育概論	7 人体の発生・成長・発達・加齢 ア 人体の成長発育 b 発育期の特徴 【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 7 人体の発生・成長・発達・加齢 ア 人体の成長発育 c 成長発育・発達の特徴 (身体成長、原始反射、運動の発達、社会性の発達、言語の発達、情動の発達) 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-4) 人体諸器官の成長、発育と加齢変化 *①人体諸器官の形態と機能の成長、発育および加齢に伴う変化を説明できる。 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 *①頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 E-2-3) 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の発生、成長・発育および加齢とその異常 *③口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の成長・発育および加齢による変化を説明できる。【歯の喪失に伴う変化を含む。】 *④口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の成長・発育異常 (不正咬合) を説明できる。	葛西 一貴
2014/04/07 (月) 3時限 13:00~14:30	(実習) 第1回 ・器具貸与・点検	【授業の一般目標】 不正咬合がもたらす口腔機能障害や審美的障害を除去し、患者のQOLの向上を図るために、矯正学実習で使用する器具の用途について学ぶ。 【行動目標 (SBOs)】 1. 矯正学実習で使用する器具の用途について説明できる。 【準備学習項目】 ・矯正用プライヤーの名称を列挙できる。 【学習場所・媒体等】 第5実習室 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ナ 不正咬合の治療 a 基本的術式 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-1) 不正咬合 *⑤矯正治療に用いる器材の名称と使い方を説明できる。	葛西 一貴 山口 大 今村 隆一 小野 修一 五関 たけみ 榎本 豊 齋藤 勝彦 根岸 慎一 徳永 理利 小堀 理恵 石井 かおり 弘松 美紀 清水 真美
2014/04/07 (月) 4時限 14:40~16:10	(実習) 第2回 ・ワイヤー屈曲 ・自在鑑着	【授業の一般目標】 不正咬合がもたらす口腔機能障害や審美的障害を除去し、患者のQOLの向上を図るために、0.9mm線の屈曲と自在鑑着について学ぶ。 【行動目標 (SBOs)】 1. 0.9mm線の屈曲ができる。 2. 自在鑑着ができる。 【準備学習項目】 ・舌側弧線装置の基本構造を説明できる。 【学習場所・媒体等】 第5実習室 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 10 矯正装置 シ リンガルアーチ <舌側弧線装置> 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-1) 不正咬合 *⑤矯正治療に用いる器材の名称と使い方を説明できる。 *⑥矯正装置の種類と特徴、および使用目的を説明できる。 *⑦矯正治療に必要な力学を説明できる。	葛西 一貴 山口 大 今村 隆一 小野 修一 五関 たけみ 榎本 豊 齋藤 勝彦 根岸 慎一 徳永 理利 小堀 理恵 石井 かおり 弘松 美紀 清水 真美
2014/04/14 (月)	〔講義〕第2回	【授業の一般目標】	葛西 一貴

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2時限 10:40～12:10	<ul style="list-style-type: none"> ・頭蓋の成長発育 ・顎顔面の成長発育 ・口唇裂, 口蓋裂および顔面裂 	<p>不正咬合がもたらす口腔機能障害や審美的障害を除去し、患者のQOLの向上を図るために、頭蓋の成長発育・顎顔面の成長発育・口唇裂, 口蓋裂および顔面裂について学ぶ。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 脳頭蓋と脳頭蓋底の成長発育様式について述べるができる。 2. 顔の成長発育および口唇裂の発生様式について説明できる。 3. 顔面裂の発生様式について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 ・頭蓋の成長発育についてその特徴を列挙できる。 ・上顎および下顎の成長発育についてその特徴を列挙できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 302教室</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 7 人体の発生・成長・発達・加齢 イ 歯・口腔・顎・顔面の発生・成長発育 a 歯・歯列の成長発育 (歯の発生、発育時期、萌出時期・順序、歯の脱落・交換時期、歯齢)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 7 人体の発生・成長・発達・加齢 イ 歯・口腔・顎・顔面の発生・成長発育 b 上顎骨・下顎骨の成長発育の特徴 14 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 歯・口腔・顎・顔面の疾患の概念 f 咬合・咀嚼障害 h 先天異常、発育異常 歯科医学総論 総論V 発生、成長、発達、加齢 3 歯・口腔・顎・顔面の発生 ア 顔面 イ 顎、口蓋 ク 軟骨内骨化、膜内骨化 4 歯・口腔・顎・顔面・頭蓋の成長発育 ア 脳頭蓋の成長発育 イ 顔面頭蓋の成長発育 ウ 歯列・咬合の成長発育 総論VI 病因、病態 11 歯・口腔・顎・顔面・頭蓋の病因・病態 ア 先天異常・後天異常</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-4) 人体諸器官の成長、発育と加齢変化 *①人体諸器官の形態と機能の成長、発育および加齢に伴う変化を説明できる。 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 *①頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 *⑤顎関節の構造と機能を説明できる。 E-2-3) 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の発生、成長・発育および加齢とその異常 *①口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の発生を概説できる。 *③口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の成長・発育および加齢による変化を説明できる。【歯の喪失に伴う変化を含む。】 *④口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の成長・発育異常 (不正咬合) を説明できる。 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (1) 先天異常および後天異常 *①口唇・口腔・頭蓋・顎顔面に症状をきたす先天性異常を説明できる。 *②口唇・口蓋裂の病態と治療方針を説明できる。 *③顎変形症を概説できる。</p>	葛西 一貴
2014/04/14 (月) 3時限 13:00～14:30	(実習前講義) 第1回 ・舌側弧線装置について (実習) 第3回 ・舌側弧線装置 1	<p>【授業の一般目標】 不正咬合がもたらす口腔機能障害や審美的障害を除去し、患者のQOLの向上を図るために、舌側弧線装置について学ぶ。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 舌側弧線装置の構成・適応症・歯の移動様式を説明できる。 2. タイポドント (矯正用咬合器) に人工歯を排列して装置製作の準備ができる。</p> <p>【準備学習項目】 ・舌側弧線装置の基本構造を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 前半=実習前講義: 302教室 後半=実習: 第5実習室</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室、第5実習室</p>	葛西 一貴 山口 大隆一 今村 修一 小野 たけみ 五関 豊彦 榎本 勝彦 齋藤 慎一 藤根 理利 岸永 理恵 根岸 理恵 小堀 かおり 石井 美紀 弘松 美紀 清水 真美

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/14 (月) 3時限 13:00~14:30	(実習前講義) 第1回 ・舌側弧線装置について (実習) 第3回 ・舌側弧線装置 1	<p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 10 矯正装置 シ リンガルアーチ <舌側弧線装置></p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-1) 不正咬合 *◎矯正装置の種類と特徴、および使用目的を説明できる。</p>	葛西 一貴 山口 大隆一 今村 修一 小野 たけみ 五関 豊 榎本 勝彦 齋藤 慎一 根岸 理利 徳永 理恵 小堀 かのり 石井 美紀 弘松 美紀 清水 真美
2014/04/14 (月) 4時限 14:40~16:10	(実習) 第4回 ・舌側弧線装置 2	<p>【授業の一般目標】 不正咬合がもたらす口腔機能障害や審美的障害を除去し、患者のQOLの向上を図るために、舌側弧線装置について学ぶ。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. タイポドントに植立した人工歯の排列をかえて、前歯部を反対咬合にすることができる。</p> <p>【準備学習項目】 ・舌側弧線装置の基本構造を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 第5実習室</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 10 矯正装置 シ リンガルアーチ <舌側弧線装置></p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-1) 不正咬合 *◎矯正装置の種類と特徴、および使用目的を説明できる。</p>	葛西 一貴 山口 大隆一 今村 修一 小野 たけみ 五関 豊 榎本 勝彦 齋藤 慎一 根岸 理利 徳永 理恵 小堀 かのり 石井 美紀 弘松 美紀 清水 真美
2014/04/21 (月) 2時限 10:40~12:10	〔講義〕 第3回 ・咬合概論 ・正常咬合 ・不正咬合 ・不正咬合のとりえ方 ・不正咬合の分類	<p>【授業の一般目標】 不正咬合がもたらす口腔機能障害や審美的障害を除去し、患者のQOLの向上を図るために、咬合概論・正常咬合・不正咬合・不正咬合のとりえ方・不正咬合の分類について学ぶ。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 正常咬合の種類および矯正治療目標について説明できる。 2. 正常咬合が成立し、かつそれが保持されるための条件を述べることができる。 3. 永久歯列期の正常咬合の概念について説明できる。 4. 不正咬合の病因、実態およびその疫学的特長を列挙できる。 5. 個々の歯の位置異常およびその用語について説明できる。 6. 上下歯列弓の咬合関係の異常について、先天異常も含めて説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 ・咬合の定義および顎位と咬合について説明できる。 ・咬合と顎運動について、関連する筋の主な名称や作用および閉鎖経路について説明できる。 ・Angleの分類および高橋分類などの不正咬合の診断について説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 302教室</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 a 口腔の構造 (口腔前庭、固有口腔、口蓋、舌、口{腔}底、唾液腺、頬、口唇、口峡、歯列)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 b 口腔の機能 (咬合、咀嚼、嚥下、呼吸、発音と構音、消化、皮膚・粘膜の体性感覚、味覚) d 頭部の筋 (表情筋・咀嚼筋の種類) h 顎関節の構成 (下顎頭、下顎窩、関節円板、関節包、関節結節、靭帯) 7 人体の発生・成長・発達・加齢 ア 人体の成長発育 b 発育期の特徴 イ 歯・口腔・顎・顔面の発生・成長発育 a 歯・歯列の成長発育 (歯の発生、発育時期、萌出時期・順序、歯の脱落・交換時期、歯齢)</p>	葛西 一貴

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/21 (月) 2時限 10:40～12:10	〔講義〕第3回 ・咬合概論 ・正常咬合 ・不正咬合 ・不正咬合のとりえ方 ・不正咬合の分類	b 上顎骨・下顎骨の成長発育の特徴 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 6 歯列・咬合異常の予防 ア 歯列・咬合異常の要因 イ 咬合誘導の考え方 ウ 保険 オ 口腔習癖とその対応 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-4) 人体諸器官の成長、発育と加齢変化 *①人体諸器官の形態と機能の成長、発育および加齢に伴う変化を説明できる。 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 *②咀嚼筋、表情筋、前頸筋の構成と機能を説明できる。 *⑤顎関節の構造と機能を説明できる。 *⑧嚙下の機序を説明できる。 E-2-2) 口唇・口腔の基本構造と機能 *③歯列と咬合について説明できる。 E-2-3) 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の発生、成長・発育および加齢とその異常 *④口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の成長・発育異常（不正咬合）を説明できる。 E-4 歯科医療の展開 E-4-1) 不正咬合 *①矯正治療の目的と意義を説明できる。 *②正常咬合の概念と成立・保持条件を説明できる。 *③不正咬合によって生じる障害を列挙できる。 *④不正咬合の原因、種類、診察、検査、診断、治療および予防法を説明できる。	葛西 一貴
2014/04/21 (月) 3時限 13:00～14:30	〔講義〕第4回 ・矯正用材料 ・矯正用器械・器具	【授業の一般目標】 不正咬合がもたらす口腔機能障害や審美的障害を除去し、患者のQOLの向上を図るために、矯正用材料・矯正用器械器具について学ぶ。 【行動目標（SBOs）】 1. 矯正用材料としての金属材料にどのようなものがあるかを述べるができる。 2. 矯正用材料としてのゴム質ならびにレジン材料の所要性質を述べるができる。 3. 矯正用器材の特徴について説明できる。 【準備学習項目】 ・矯正用器材を列挙できる。 【学習場所・媒体等】 302教室 【学習方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 302教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅵ 歯科材料と歯科医療機器 1 生体材料の科学 ウ 金属材料 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅵ 歯科材料と歯科医療機器 1 5 歯科矯正用材料 ア 線材料、ワイヤー イ バンド、ブラケット ウ 接着材 エ エラスティック オ 床用レジン 【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-1 素材と器械・器具の所要性質 *①高分子材料、セラミック材料、金属材料および複合材料の構造と物性を説明できる。【構造と物性は基本的かつ一般的なものに限る。また、歯科材料に使用される素材間の物性比較を含む。】 *②生体材料の力学的、物理的、化学的および生物学的所要性質を説明できる。 *③生体材料と歯科材料の安全性の評価を説明できる。 *④歯科用器械・器具の用途と特徴について説明できる。	榎本 豊
2014/04/21 (月) 4時限 14:40～16:10	〔実習〕第5回 ・舌側弧線装置 3	【授業の一般目標】 不正咬合がもたらす口腔機能障害や審美的障害を除去し、患者のQOLの向上を図るために、舌側弧線装置について学ぶ。 【行動目標（SBOs）】 1. タイポドント上で上顎第一大臼歯のバンドの調整ができる。 2. 矯正用バンドにSTロックを鑲着できる。 【準備学習項目】 ・舌側弧線装置の基本構造を説明できる。	葛西 一貴 山口 大 今村 隆一 小野 修一 五関 たけみ 榎本 豊 齋藤 勝彦 根岸 慎一 徳永 理恵 小堀 理恵 石井 かつお 弘松 美紀

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/21 (月) 4時限 14:40~16:10	(実習) 第5回 ・舌側弧線装置 3	<p>【学習場所・媒体等】 第5実習室</p> <p>【学習方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 10 矯正装置 シ リンガルアーチ <舌側弧線装置></p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-1) 不正咬合 *⑥矯正装置の種類と特徴、および使用目的を説明できる。</p>	清水 真美
2014/04/28 (月) 2時限 10:40~12:10	(実習) 第6回 ・舌側弧線装置 4	<p>【授業の一般目標】 不正咬合がもたらす口腔機能障害や審美的障害を除去し、患者のQOLの向上を図るために、舌側弧線装置について学ぶ。</p> <p>【行動目標 (S B O s)】 1. 上顎舌側弧線装置のための作業模型を製作できる。</p> <p>【準備学習項目】 ・舌側弧線装置の基本構造を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 第5実習室</p> <p>【学習方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 10 矯正装置 シ リンガルアーチ <舌側弧線装置></p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-1) 不正咬合 *⑥矯正装置の種類と特徴、および使用目的を説明できる。</p>	葛西 一貴 山口 大隆 今村 隆一 小野 修一 五関 修一 榎本 豊 齋藤 勝彦 根岸 慎一 徳永 理利 小堀 理恵 石井 理恵 弘松 美紀 清水 真美
2014/04/28 (月) 3時限 13:00~14:30	(実習) 第7回 ・舌側弧線装置 5	<p>【授業の一般目標】 不正咬合がもたらす口腔機能障害や審美的障害を除去し、患者のQOLの向上を図るために、舌側弧線装置について学ぶ。</p> <p>【行動目標 (S B O s)】 1. 上顎舌側弧線装置の主線の屈曲ができる。 2. 上顎舌側弧線装置の主線の鑑着ができる。</p> <p>【準備学習項目】 ・舌側弧線装置の基本構造を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 第5実習室</p> <p>【学習方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 10 矯正装置 シ リンガルアーチ <舌側弧線装置></p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-1) 不正咬合 *⑥矯正装置の種類と特徴、および使用目的を説明できる。</p>	葛西 一貴 山口 大隆 今村 隆一 小野 修一 五関 修一 榎本 豊 齋藤 勝彦 根岸 慎一 徳永 理利 小堀 理恵 石井 理恵 弘松 美紀 清水 真美
2014/04/28 (月) 4時限 14:40~16:10	(実習) 第8回 ・舌側弧線装置 6	<p>【授業の一般目標】 不正咬合がもたらす口腔機能障害や審美的障害を除去し、患者のQOLの向上を図るために、舌側弧線装置について学ぶ。</p> <p>【行動目標 (S B O s)】 1. 舌側弧線装置をタイポドントに装着できる。 2. 上顎舌側弧線装置の主線に補助弾線を自在鑑着できる。</p>	葛西 一貴 山口 大隆 今村 隆一 小野 修一 五関 修一 榎本 豊 齋藤 勝彦 根岸 慎一 徳永 理利

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/28 (月) 4時限 14:40～16:10	(実習) 第8回 ・舌側弧線装置 6	<p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・舌側弧線装置の基本構造を説明できる。 <p>【学習場所・媒体等】</p> <p>第5実習室</p> <p>【学習方略 (L S)】</p> <p>実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 10 矯正装置 シ リンガルアーチ <舌側弧線装置></p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-1) 不正咬合 *⑥矯正装置の種類と特徴、および使用目的を説明できる。</p>	小堀 理恵 石井 かおり 弘松 美紀 清水 真美
2014/05/12 (月) 2時限 10:40～12:10	〔講義〕 第5回 ・不正咬合の原因 ・不正咬合の予防	<p>【授業の一般目標】</p> <p>不正咬合がもたらす口腔機能障害や審美的障害を除去し、患者のQOLの向上を図るために、不正咬合の原因・不正咬合の予防について学ぶ。</p> <p>【行動目標 (S B O s)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 不正咬合の遺伝的原因および環境的原因を説明できる。 2. 不正咬合の全身的原因および局所的原因と不正咬合との関連を述べることができる。 3. 乳歯列期、混合歯列期および永久歯列期における不正咬合の予防について説明できる。 <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不良習癖がもたらす咬合異常について説明できる。 ・乳歯列期における不正咬合の予防について説明できる。 <p>【学習場所・媒体等】</p> <p>302教室</p> <p>【学習方略 (L S)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 9 人口統計と保健統計 イ 保健統計</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 10 疫学とその応用 シ 不正咬合の疫学要因 歯科医学各論 各論Ⅰ 歯科疾患の予防・管理 3 不正咬合の予防・管理 ア 不正咬合発生・進行の要因 イ 不正咬合発生の予防 ウ 不正咬合進行の抑制 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 6 歯列・咬合異常の予防 ア 歯列・咬合異常の要因 イ 咬合誘導の考え方 ウ 保険 エ 動的咬合誘導 7 不正咬合の病因・病態 エ 不正咬合の原因</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-4) 人体諸器官の成長、発育と加齢変化 *①人体諸器官の形態と機能の成長、発育および加齢に伴う変化を説明できる。 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-3) 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の発生、成長・発育および加齢とその異常 *③口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の成長・発育および加齢による変化を説明できる。【歯の喪失に伴う変化を含む。】 *④口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の成長・発育異常 (不正咬合) を説明できる。 E-4 歯科医療の展開 E-4-1) 不正咬合 *③不正咬合によって生じる障害を列挙できる。 *④不正咬合の原因、種類、診察、検査、診断、治療および予防法を説明できる。</p>	葛西 一貴
2014/05/12 (月) 3時限	(実習) 第9回 ・舌側弧線装置 7	<p>【授業の一般目標】</p> <p>不正咬合がもたらす口腔機能障害や審美的障害を除去し、患者のQOLの向上を</p>	葛西 一貴 山口 大

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
13:00~14:30	(実習) 第9回 ・舌側弧線装置 7	<p>図るために、舌側弧線装置について学ぶ。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1.ダンキングを行い、舌側弧線装置による反対咬合被蓋改善の過程を説明できる。 2.混合歯列期の反対咬合の治療法をタイプドントで実施できる。</p> <p>【準備学習項目】 ・舌側弧線装置の作用機序を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 第5実習室</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 10 矯正装置 シ リンガルアーチ <舌側弧線装置></p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-1) 不正咬合 *⑥矯正装置の種類と特徴、および使用目的を説明できる。</p>	今村 隆一 小野 修一 五関 たけみ 榎本 豊 齋藤 勝彦 根岸 慎一 徳永 理利 小堀 理恵 石井 かおり 弘松 美紀 清水 真美
2014/05/12 (月) 4時限 14:40~16:10	(実習前講義) 第2回 ・上顎前方牽引装置について	<p>【授業の一般目標】 不正咬合がもたらす口腔機能障害や審美的障害を除去し、患者のQOLの向上を図るために、上顎前方牽引装置について学ぶ。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1.上顎前方牽引装置の使用目的および装置の構成を説明できる。 2.上顎前方牽引装置の製作法を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 ・上顎前方牽引装置の基本構造について説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 302教室</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 10 矯正装置 ケ 上顎前方牽引装置</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-1) 不正咬合 *⑥矯正装置の種類と特徴、および使用目的を説明できる。</p>	齋藤 勝彦
2014/05/19 (月) 2時限 10:40~12:10	〔講義〕 第6回 ・平常試験①	<p>【授業の一般目標】 不正咬合がもたらす口腔機能障害や審美的障害を除去し、患者のQOLの向上を図るために、第1回から第5回までの講義内容の理解度について学ぶ。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1.第1回から第5回までの講義内容を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 ・第1回から第5回までの講義内容を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 302教室</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p>	葛西 一貴
2014/05/19 (月) 3時限 13:00~14:30	〔講義〕 第7回 ・形態検査1 (実習) 第10回 ・上顎前方牽引装置1	<p>【授業の一般目標】 〔講義〕不正咬合がもたらす口腔機能障害や審美的障害を除去し、患者のQOLの向上を図るために、形態検査について学ぶ。 (実習)不正咬合がもたらす口腔機能障害や審美的障害を除去し、患者のQOLの向上を図るために、上顎前方牽引装置について学ぶ。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1.初診から治療終了までのプロセスを説明することができる。 2.一般検査、全身的検査および局所的検査の項目を列挙できる。</p>	葛西 一貴 山口 大 今村 隆一 小野 修一 五関 たけみ 榎本 豊 齋藤 勝彦 根岸 慎一 徳永 理利 小堀 理恵

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/05/19 (月) 3時限 13:00～14:30	〔講義〕第7回 ・形態検査1 (実習)第10回 ・上顎前方牽引装置1	3. 顔面写真による顔面形態の検査について説明できる。 4. 口腔模型分析について説明できる。 5. 頭部X線規格写真の特徴および重要性について説明できる。 6. 頭部X線規格写真分析の計測点および基準平面を説明できる。 7. 上顎前方牽引装置の使用目的および装置の構成を説明できる。 8. タイポドント上で上顎第一大臼歯のバンドの調整ができる。 【準備学習項目】 〔講義〕 ・歯科矯正臨床における一般的診断項目について列挙できる。 ・平行模型について説明できる。 ・顎態模型について説明できる。 ・セットアップモデルについて説明できる。 ・頭部エックス線規格写真分析で用いる計測点を列挙できる。 ・頭部エックス線規格写真分析に用いる分析法を列挙できる。 (実習) ・上顎前方牽引装置の基本構造について説明できる。 【学習場所・媒体等】 〔講義〕302教室 (実習)第5実習室 【学習方略(LS)】 その他 【場所(教室/実習室)】 302教室、第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 9 主要な症候 イ 歯・口腔・顎・顔面の症候のとりえ方 e 歯列・咬合の症候 【国家試験出題基準(副)】 必修の基本的事項 9 主要な症候 イ 歯・口腔・顎・顔面の症候のとりえ方 g 顎骨の症候 (形態の異常) 10 診察の基本 カ 口腔・顎・顔面の診察 a 顔貌の対称性、顔色、皮膚 キ 歯列・咬合状態の診察 a 歯列弓の形態・大きさ 11 検査の基本 オ 画像検査 a エックス線撮影(口内法、パノラマエックス線撮影、CT、歯科用コーンビームCT、造影検査) 歯科医学総論 総論IV 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 2 口腔・顎・顔面の構造 サ 顎関節 総論VII 主要症候 2 歯・口腔・顎・顔面の症候 ウ 歯列、咬合 オ 顎骨 総論IX 検査 1 口腔内検査・口腔機能検査 カ 歯列・咬合検査 ケ 下顎位検査 歯科医学各論 各論II 成長発育に関連した疾患・病態 10 矯正装置 ケ 上顎前方牽引装置 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-4) 人体諸器官の成長、発育と加齢変化 *①人体諸器官の形態と機能の成長、発育および加齢に伴う変化を説明できる。 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-1) 基本的診療技能 *①診察、検査および診断に必要な事項を列挙できる。 *②口腔領域の疾患と全身疾患との関連を理解し説明できる。【歯科治療時の対応を含む。】 *⑦患者の訴えの中から主訴を的確に捉えることができる。 *⑧的確な病歴聴取(現病歴、既往歴、家族歴、薬歴等)を行い、必要な部分を抽出できる。 *⑨病歴聴取、視診、触診および打診等によって患者の現症を的確に捉えることができる。 ⑩基本的診察および検査結果よりの確な診断と治療方針を立案し説明できる。 *⑮各種臨床検査の基準値を知り、重要な異常値の意味を説明できる。 E-1-2) 画像検査 *⑧頭部エックス線撮影の種類および適応を説明できる。 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-3) 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の発生、成長・発育および加齢とその異常 *③口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の成長・発育および加齢による変化を説明できる。【歯の喪失に伴う変化を含む。】	石井 かおり 弘松 美紀 清水 真美
2014/05/19 (月) 4時限 14:40～16:10	(実習)第11回 ・上顎前方牽引装置2	【授業の一般目標】 不正咬合がもたらす口腔機能障害や審美的障害を除去し、患者のQOLの向上を図るために、上顎前方牽引装置について学ぶ。 【行動目標(SBOs)】	葛西 一貴 山口 大 今村 隆一 小野 修一 五関 たけみ

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/05/19 (月) 4時限 14:40～16:10	(実習) 第11回 ・上顎前方牽引装置2	<p>1. 上顎前方牽引装置の使用目的および装置の構成を説明できる。 2. Nance装置製作のための作業模型が製作できる。</p> <p>【準備学習項目】 ・上顎前方牽引装置の基本構造について説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 第5実習室</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 10 矯正装置 ケ 上顎前方牽引装置</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-1) 不正咬合 *⑥矯正装置の種類と特徴、および使用目的を説明できる。</p>	榎本 豊 齋藤 勝彦 根岸 慎一 徳永 理恵 小堀 理恵 石井 かいり 弘松 美紀 清水 真美
2014/05/26 (月) 2時限 10:40～12:10	〔講義〕 第8回 形態検査2	<p>【授業の一般目標】 不正咬合がもたらす口腔機能障害や審美的障害を除去し、患者のQOLの向上を図るために、形態検査について学ぶ。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 初診から治療終了までのプロセスを説明することができる。 2. 一般検査、全身的検査および局所的検査の項目を列挙できる。 3. 顔面写真による顔面形態の検査について説明できる。 4. 口腔模型分析について説明できる。 5. 頭部エックス線規格写真の特徴および重要性について説明できる。 6. 頭部エックス線規格写真分析の計測点および基準平面を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 ・歯科矯正臨床における一般的診断項目について列挙できる。 ・平行模型について説明できる。 ・顎態模型について説明できる。 ・セットアップモデルについて説明できる。 ・頭部エックス線規格写真分析で用いる計測点を列挙できる。 ・頭部エックス線規格写真分析に用いる分析法を列挙できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 303教室</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 9 主要な症候 イ 歯・口腔・顎・顔面の症候のとりえ方 e 歯列・咬合の症候</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 9 主要な症候 イ 歯・口腔・顎・顔面の症候のとりえ方 g 顎骨の症候 (形態の異常) 10 診察の基本 カ 口腔・顎・顔面の診察 a 顔貌の対称性、顔色、皮膚 キ 歯列・咬合状態の診察 a 歯列弓の形態・大きさ 11 検査の基本 オ 画像検査 a エックス線撮影 (口内法、パノラマエックス線撮影、CT、歯科用コーンビームCT、造影検査) 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 2 口腔・顎・顔面の構造 サ 顎関節 総論Ⅶ 主要症候 2 歯・口腔・顎・顔面の症候 ウ 歯列、咬合 オ 顎骨 総論Ⅸ 検査 1 口腔内検査・口腔機能検査 カ 歯列・咬合検査 ケ 下顎位検査 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 8 不正咬合の診断 ウ 診断</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能</p>	五関 たけみ

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/05/26 (月) 2時限 10:40～12:10	〔講義〕第8回 形態検査2	C-2-4) 人体諸器官の成長、発育と加齢変化 *①人体諸器官の形態と機能の成長、発育および加齢に伴う変化を説明できる。 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-1) 基本的診療技能 *①診察、検査および診断に必要な事項を列挙できる。 *②口腔領域の疾患と全身疾患との関連を理解し説明できる。【歯科治療時の対応を含む。】 *⑦患者の訴えの中から主訴を的確に捉えることができる。 *⑧的確な病歴聴取(現病歴、既往歴、家族歴、薬歴等)を行い、必要な部分を抽出できる。 *⑨病歴聴取、視診、触診および打診等によって患者の現症を的確に捉えることができる。 ⑫基本的診察および検査結果よりの確な診断と治療方針を立案し説明できる。 *⑮各種臨床検査の基準値を知り、重要な異常値の意味を説明できる。 E-1-2) 画像検査 *⑧頭部エックス線撮影の種類および適応を説明できる。 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-3) 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の発生、成長・発育および加齢とその異常 *③口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の成長・発育および加齢による変化を説明できる。【歯の喪失に伴う変化を含む。】	五関 たけみ
2014/05/26 (月) 3時限 13:00～14:30	(実習)第12回 ・上顎前方牽引装置3	【授業の一般目標】 不正咬合がもたらす口腔機能障害や審美的障害を除去し、患者のQOLの向上を図るために、上顎前方牽引装置について学ぶ。 【行動目標(SBOs)】 1. 上顎前方牽引装置の使用目的および装置の構成を説明できる。 2. Nance装置製作のための主線が屈曲できる。 3. Nance装置製作のための主線が鑑着できる。 【準備学習項目】 ・上顎前方牽引装置の基本構造について説明できる。 【学習場所・媒体等】 第5実習室 【学習方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 10 矯正装置 ケ 上顎前方牽引装置 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-1) 不正咬合 *⑥矯正装置の種類と特徴、および使用目的を説明できる。	葛西 一貴 山口 大隆一 今村 修一 小野 たけみ 五関 豊 榎本 勝彦 齋藤 慎一 根岸 理利 徳永 理恵 小堀 かおり 石井 美紀 弘松 真美 清水
2014/05/26 (月) 4時限 14:40～16:10	(実習)第13回 ・上顎前方牽引装置4	【授業の一般目標】 不正咬合がもたらす口腔機能障害や審美的障害を除去し、患者のQOLの向上を図るために、上顎前方牽引装置について学ぶ。 【行動目標(SBOs)】 1. 上顎前方牽引装置の使用目的および装置の構成を説明できる。 2. 牽引用アームの屈曲ができる。 3. 牽引用アームの鑑着ができる。 【準備学習項目】 ・上顎前方牽引装置の基本構造について説明できる。 【学習場所・媒体等】 第5実習室 【学習方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 10 矯正装置 ケ 上顎前方牽引装置 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-1) 不正咬合 *⑥矯正装置の種類と特徴、および使用目的を説明できる。	葛西 一貴 山口 大隆一 今村 修一 小野 たけみ 五関 豊 榎本 勝彦 齋藤 慎一 根岸 理利 徳永 理恵 小堀 かおり 石井 美紀 弘松 真美 清水
2014/06/02 (月) 2時限 10:40～12:10	〔講義〕第9回 ・形態検査3	【授業の一般目標】 不正咬合がもたらす口腔機能障害や審美的障害を除去し、患者のQOLの向上を図るために、形態検査について学ぶ。 【行動目標(SBOs)】 1. 初診から治療終了までのプロセスを説明することができる。	五関 たけみ

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/02 (月) 2時限 10:40～12:10	〔講義〕第9回 ・形態検査3	<p>2. 一般検査、全身的検査および局所的検査の項目を列挙できる。 3. 顔面写真による顔面形態の検査について説明できる。 4. 口腔模型分析について説明できる。 5. 頭部エックス線規格写真の特徴および重要性について説明できる。 6. 頭部エックス線規格写真分析の計測点および基準平面を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 ・歯科矯正臨床における一般的診断項目について列挙できる。 ・平行模型について説明できる。 ・顎態模型について説明できる。 ・セットアップモデルについて説明できる。 ・頭部エックス線規格写真分析で用いる計測点を列挙できる。 ・頭部エックス線規格写真分析に用いる分析法を列挙できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 302教室</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 9 主要な症候 イ 歯・口腔・顎・顔面の症候のとりえ方 e 歯列・咬合の症候</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 9 主要な症候 イ 歯・口腔・顎・顔面の症候のとりえ方 g 顎骨の症候（形態の異常） 10 診察の基本 キ 歯列・咬合状態の診察 a 歯列弓の形態・大きさ 11 検査の基本 オ 画像検査 a エックス線撮影（口内法、パノラマエックス線撮影、CT、歯科用コーンビームCT、造影検査） 歯科医学総論 総論IV 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 2 口腔・顎・顔面の構造 コ 歯列 サ 顎関節 総論VII 主要症候 2 歯・口腔・顎・顔面の症候 ウ 歯列、咬合 オ 顎骨 総論IX 検査 2 画像検査 サ 顎顔面頭蓋部エックス線検査 コ パノラマエックス線検査</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-4) 人体諸器官の成長、発育と加齢変化 *①人体諸器官の形態と機能の成長、発育および加齢に伴う変化を説明できる。 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 *①頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 E-2-3) 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の発生、成長・発育および加齢とその異常 *③口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の成長・発育および加齢による変化を説明できる。【歯の喪失に伴う変化を含む。】 *④口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の成長・発育異常（不正咬合）を説明できる。</p>	五関 たけみ
2014/06/02 (月) 3時限 13:00～14:30	〔講義〕第10回 ・機能検査	<p>【授業の一般目標】 不正咬合がもたらす口腔機能障害や審美的障害を除去し、患者のQOLの向上を図るために、機能検査について学ぶ。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 顎運動の検査と矯正診断とのかかわりを説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 ・種々の機能検査法を列挙できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 302教室</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 11 検査の基本 エ 歯・歯周組織・口腔・顎・顔面の検査 d 顎関節の検査</p>	齋藤 勝彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/02 (月) 3時限 13:00~14:30	〔講義〕第10回 ・機能検査	<p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 1 1 検査の基本 エ 歯・歯周組織・口腔・顎・顔面の検査 e 筋の検査 歯科医学総論 総論IV 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 3 口腔・顎・顔面・頭頸部の機能 ア 下顎位、下顎運動 コ 発音、構音 総論VII 主要症候 2 歯・口腔・顎・顔面の症候 ウ 歯列、咬合 カ 顎関節 総論IX 検査 1 口腔内検査・口腔機能検査 ケ 下顎位検査 シ 舌運動・舌圧検査 セ 咬合力検査 タ 構音機能検査 歯科医学各論 各論II 成長発育に関連した疾患・病態 7 不正咬合の病因・病態 イ 不正咬合の種類</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-4) 人体諸器官の成長、発育と加齢変化 *①人体諸器官の形態と機能の成長、発育および加齢に伴う変化を説明できる。 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-1) 基本的診療技能 ⑩的確な診察と検査から得られた所見を適切に診療録に記載できる。 *⑪基本的診察を行った後、次に必要となる検査を想定できる。 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-3) 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の発生、成長・発育および加齢とその異常 *③口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の成長・発育および加齢による変化を説明できる。【歯の喪失に伴う変化を含む。】 *④口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の成長・発育異常（不正咬合）を説明できる。</p>	齋藤 勝彦
2014/06/02 (月) 4時限 14:40~16:10	(実習)第14回 ・上顎前方牽引装置5	<p>【授業の一般目標】 不正咬合がもたらす口腔機能障害や審美的障害を除去し、患者のQOLの向上を図るために、上顎前方牽引装置について学ぶ。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. Nance装置の口蓋部にレジジンボタンを製作できる。 2. 上顎前方牽引装置の作用機序について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 ・上顎前方牽引装置の作用機序について説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 第5実習室</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論II 成長発育に関連した疾患・病態 1 0 矯正装置 ケ 上顎前方牽引装置</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-1) 不正咬合 *⑥矯正装置の種類と特徴、および使用目的を説明できる。</p>	葛西 一貴 山口 大 今村 隆一 小野 修一 小野 たけみ 榎本 豊 齋藤 勝彦 根岸 慎一 徳永 理利 小堀 理恵 石井 かおり 弘松 美紀 清水 真美
2014/06/09 (月) 2時限 10:40~12:10	〔講義〕第11回 ・矯正力	<p>【授業の一般目標】 不正咬合がもたらす口腔機能障害や審美的障害を除去し、患者のQOLの向上を図るために、矯正力について学ぶ。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 顎整形力について説明できる。 2. 機能的矯正力について説明できる。 3. 歯の傾斜移動と歯体移動について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 ・器械的矯正力について説明できる。 ・歯の移動様式について述べる事ができる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 302教室</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p>	山口 大

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/09 (月) 2時限 10:40～12:10	〔講義〕第11回 ・矯正力	<p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 9 矯正力と固定 ア 狭義の矯正力</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 9 矯正力と固定 イ 顎整形力 ウ 生体反応 エ 固定</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-1) 不正咬合 *⑦矯正治療に必要な力学を説明できる。 *⑧矯正治療によって起こる生体の反応を細胞あるいは分子生物学的に説明できる。</p>	山口 大
2014/06/09 (月) 3時限 13:00～14:30	〔講義〕第12回 ・矯正歯科治療における抜歯1	<p>【授業の一般目標】 不正咬合がもたらす口腔機能障害や審美的障害を除去し、患者のQOLの向上を図るために、矯正歯科治療における抜歯について学ぶ。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 矯正歯科治療における抜歯の歴史について説明できる。 2. 矯正歯科治療における抜歯の意義について説明できる。 3. 矯正歯科治療における抜歯の部位と数について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 ・矯正歯科治療のための抜歯の目的を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 302教室</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論X 治療 1 治療計画 ア 治療計画の立案</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論X 治療 1 治療計画 イ 治療計画を左右する因子 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 8 不正咬合の診断 ウ 診断 9 矯正力と固定 エ 固定</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *②歯種別の形態と特徴を説明できる。 E-4 歯科医療の展開 E-4-1) 不正咬合 *④不正咬合の原因、種類、診察、検査、診断、治療および予防法を説明できる。 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-3) 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の発生、成長・発育および加齢とその異常 *④口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の成長・発育異常（不正咬合）を説明できる。</p>	山口 大
2014/06/09 (月) 4時限 14:40～16:10	〔講義〕第13回 ・矯正歯科治療における抜歯2	<p>【授業の一般目標】 不正咬合がもたらす口腔機能障害や審美的障害を除去し、患者のQOLの向上を図るために、矯正歯科治療における抜歯について学ぶ。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 矯正歯科治療における抜歯の意義について説明できる。 2. 矯正歯科治療における抜歯の部位と数について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 ・矯正歯科治療のための抜歯の目的を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 302教室</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p>	山口 大

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/09 (月) 4時限 14:40～16:10	〔講義〕 第13回 ・矯正歯科治療における抜歯2	<p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論X 治療 1 治療計画 ア 治療計画の立案</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論X 治療 1 治療計画 イ 治療計画を左右する因子 歯科医学各論 各論II 成長発育に関連した疾患・病態 8 不正咬合の診断 ウ 診断 9 矯正力と固定 エ 固定</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-3) 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の発生、成長・発育および加齢とその異常 *④口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の成長・発育異常（不正咬合）を説明できる。 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *②歯種別の形態と特徴を説明できる。 E-4 歯科医療の展開 E-4-1) 不正咬合 *④不正咬合の原因、種類、診察、検査、診断、治療および予防法を説明できる。</p>	山口 大
2014/06/16 (月) 2時限 10:40～12:10	〔講義〕 第14回 ・平常試験②	<p>【授業の一般目標】 不正咬合がもたらす口腔機能障害や審美的障害を除去し、患者のQOLの向上を図るために、第7回から第11回までの講義内容の理解度について学ぶ。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 第7回から第11回までの講義内容を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 ・第7回から第11回までの講義内容を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 302教室</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p>	葛西 一貴
2014/06/16 (月) 3時限 13:00～14:30	〔講義〕 第15回 ・矯正歯科治療における固定	<p>【授業の一般目標】 不正咬合がもたらす口腔機能障害や審美的障害を除去し、患者のQOLの向上を図るために、矯正歯科治療における固定について学ぶ。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 部位による固定の種類を説明できる。 2. 抵抗の性質による固定の種類を説明できる。 3. 抜歯症例における抜歯空隙利用のための固定の強さについて説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 ・固定の意義を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 302教室</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論II 成長発育に関連した疾患・病態 9 矯正力と固定 エ 固定</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *②歯種別の形態と特徴を説明できる。 *⑤歯周組織の発生、構造および機能を説明できる。 E-4 歯科医療の展開 E-4-1) 不正咬合 *④不正咬合の原因、種類、診察、検査、診断、治療および予防法を説明できる。</p>	山口 大
2014/06/16 (月) 4時限 14:40～16:10	〔実習〕 第15回 ・矯正装置の説明 ・矯正用器具器具	<p>【授業の一般目標】 不正咬合がもたらす口腔機能障害や審美的障害を除去し、患者のQOLの向上を図るために、矯正装置・矯正用器具器具について学ぶ。</p>	葛西 一貴 山口 大 今村 隆一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
	の説明	<p>【行動目標（SBOs）】 1. 固定式および可撤式装置の構成・適応症・作用機序を説明できる。 2. 矯正用器材器具の使用法を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 ・固定式および可撤式装置を列挙できる。 ・基本的な矯正用器材器具を列挙できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 第5実習室</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅺ 歯科材料と歯科医療機器 15 歯科矯正用材料 ア 線材料、ワイヤー</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅺ 歯科材料と歯科医療機器 15 歯科矯正用材料 イ バンド、ブラケット ウ 接着材 エ エラスティック オ 床用レジン 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 10 矯正装置 サ マルチブラケット装置 11 不正咬合の治療 イ 永久歯列期の不正咬合の治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-1) 不正咬合 *⑥矯正装置の種類と特徴、および使用目的を説明できる。</p>	小野 修一 五関 たけみ 榎本 豊 齋藤 勝彦 根岸 慎一 徳永 理利 小堀 理恵 石井 かおり 弘松 美紀 清水 真美
2014/06/23（月） 2時限 10:40～12:10	〔講義〕第16回 ・矯正歯科治療に伴う生体反応	<p>【授業の一般目標】 不正咬合がもたらす口腔機能障害や審美的障害を除去し、患者のQOLの向上を図るために、矯正歯科治療に伴う生体反応について学ぶ。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯の移動に伴う圧迫側と牽引側の組織変化の特徴を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 ・歯および歯周組織の構造を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 302教室</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅴ 発生、成長、発達、加齢 3 歯・口腔・顎・顔面の発生 ク 軟骨内骨化、膜内骨化</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅴ 発生、成長、発達、加齢 3 歯・口腔・顎・顔面の発生 ケ 骨の形成・吸収・改造<リモデリング> コ 石灰化機構 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 9 矯正力と固定 ウ 生体反応</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *⑤歯周組織の発生、構造および機能を説明できる。 E-4 歯科医療の展開 E-4-1) 不正咬合 *⑦矯正治療に必要な力学を説明できる。 *⑧矯正治療によって起こる生体の反応を細胞あるいは分子生物学的に説明できる。</p>	山口 大
2014/06/23（月） 3時限 13:00～14:30	〔講義〕第17回 ・治療学概論 ・治療計画の立案 ・乳歯列期および	<p>【授業の一般目標】 不正咬合がもたらす口腔機能障害や審美的障害を除去し、患者のQOLの向上を図るために、治療学概論・治療計画の立案・乳歯列期および混合歯列期の治療について学ぶ。</p>	榎本 豊

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/23 (月) 3時限 13:00~14:30	混合歯列期の治療 1	<p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 検査および症例分析の結果を総合評価できる。 2. 矯正治療の開始時期と流れについて説明できる。 3. 乳歯列期における治療について説明できる。 4. 乳歯列期の治療についてその概略を述べることができる。 5. 混合歯列期の正中離開、前歯部叢生に対する対処法を説明できる。 <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予防矯正、抑制矯正、限局矯正、本格矯正について説明できる。 ・各種不正咬合についてその特徴を列挙できる。 ・混合歯列期に生じる不正咬合を列挙できる。 <p>【学習場所・媒体等】</p> <p>302教室</p> <p>【学習方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>必修の基本的事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 1 検査の基本 ア 意義、目標 c 医療情報の収集 <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>歯科医学総論 総論X 治療</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 治療計画 ア 治療計画の立案 イ 治療計画を左右する因子 ウ 治療計画の提示 エ 治療の評価 <p>歯科医学各論 各論II 成長発育に関連した疾患・病態</p> <ol style="list-style-type: none"> 8 不正咬合の診断 ウ 診断 エ 治療計画 1 1 不正咬合の治療 ア 乳歯列期・混合歯列期の不正咬合の治療 <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学教育</p> <p>E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患</p> <p>E-2-3) 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の発生、成長・発育および加齢とその異常</p> <p>*③口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の成長・発育および加齢による変化を説明できる。【歯の喪失に伴う変化を含む。】</p> <p>*④口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の成長・発育異常 (不正咬合) を説明できる。</p> <p>E-4 歯科医療の展開</p> <p>E-4-1) 不正咬合</p> <p>*④不正咬合の原因、種類、診察、検査、診断、治療および予防法を説明できる。</p> <p>*⑤矯正治療に用いる器材の名称と使い方を説明できる。</p> <p>*⑥矯正装置の種類と特徴、および使用目的を説明できる。</p> <p>E-4-2) 小児の歯科治療</p> <p>*⑩小児患者の対応について説明できる。</p>	榎本 豊
2014/06/23 (月) 4時限 14:40~16:10	(実習) 第16回 器具の点検・返却	<p>【授業の一般目標】</p> <p>不正咬合がもたらす口腔機能障害や審美的障害を除去し、患者のQOLの向上を図るために、矯正学実習で使用する器具の用途について学ぶ。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 矯正実習で使用する器具の用途について説明できる。 <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・矯正用プライヤーの名称を列挙できる。 <p>【学習場所・媒体等】</p> <p>第5実習室</p> <p>【学習方略 (LS)】</p> <p>実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>必修の基本的事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 5 治療の基礎・基本手技 ナ 不正咬合の治療 a 基本的術式 <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学教育</p> <p>E-4 歯科医療の展開</p> <p>E-4-1) 不正咬合</p> <p>*⑤矯正治療に用いる器材の名称と使い方を説明できる。</p>	葛西 一貴 山口 大 今村 隆一 小野 修一 五関 たけみ 榎本 豊 齋藤 勝彦 根岸 慎一 徳永 理利 小堀 理恵 石井 かおり 弘松 美紀 清水 真美
2014/06/30 (月) 2時限	〔講義〕 第18回 ・乳歯列期および	<p>【授業の一般目標】</p> <p>不正咬合がもたらす口腔機能障害や審美的障害を除去し、患者のQOLの向上を</p>	榎本 豊

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
10:40～12:10	混合歯列期の治療 2	<p>図るために、乳歯列期および混合歯列期の治療について学ぶ。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 乳歯列および混合歯列期の治療に用いる矯正装置について述べるができる。 2. 舌側弧線装置の構造および適応症について説明できる。 3. ヘッドギア、チンキャップおよび上顎前方牽引装置の使用目的および作用効果について説明できる。 4. 床矯正装置の種類および使用目的について説明できる。 5. Rapid expansion の作用効果について述べることができる。 6. Slow expansion の作用効果について述べることができる。</p> <p>【準備学習項目】 ・機能的矯正装置の種類および作用効果について述べるができる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 302教室</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論X 治療 1 治療計画 イ 治療計画を左右する因子</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論X 治療 1 治療計画 エ 治療の評価 歯科医学各論 各論II 成長発育に関連した疾患・病態 11 不正咬合の治療 ア 乳歯列期・混合歯列期の不正咬合の治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-3) 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の発生、成長・発育および加齢とその異常 *③口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の成長・発育および加齢による変化を説明できる。【歯の喪失に伴う変化を含む。】 *④口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の成長・発育異常（不正咬合）を説明できる。 E-4 歯科医療の展開 E-4-1) 不正咬合 *④不正咬合の原因、種類、診察、検査、診断、治療および予防法を説明できる。 *⑤矯正治療に用いる器材の名称と使い方を説明できる。 *⑥矯正装置の種類と特徴、および使用目的を説明できる。</p>	榎本 豊
2014/06/30（月） 3時限 13:00～14:30	（実習）第17回 模型分析および診断1	<p>【授業の一般目標】 不正咬合がもたらす口腔機能障害や審美的障害を除去し、患者のQOLの向上を図るために、模型分析および診断について学ぶ。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 矯正治療の診断のための模型分析を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 ・平行模型について説明できる。 ・口腔模型計測項目を列挙できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 第5実習室</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論IX 検査 1 口腔内検査・口腔機能検査 カ 歯列・咬合検査</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論II 成長発育に関連した疾患・病態 8 不正咬合の診断 ア 診察 ウ 診断 エ 治療計画</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-1) 不正咬合 *④不正咬合の原因、種類、診察、検査、診断、治療および予防法を説明できる。</p>	葛西 一貴 山口 大 今村 隆一 小野 修一 五関 たけみ 榎本 豊 齋藤 勝彦 根岸 慎一 徳永 理利 小堀 理恵 石井 かおり 弘松 美紀 清水 真美

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/30 (月) 3時限 13:00~14:30	(実習) 第17回 模型分析および診断1		葛西 一貴 山口 大隆一 今村 修一 小野 たけみ 五関 豊 榎本 勝彦 齋藤 慎一 根岸 理利 徳永 理恵 小堀 かおり 石井 美紀 弘松 真美 清水
2014/06/30 (月) 4時限 14:40~16:10	(実習) 第18回 ・模型分析および診断2	<p>【授業の一般目標】 不正咬合がもたらす口腔機能障害や審美的障害を除去し、患者のQOLの向上を図るために、模型分析および診断について学ぶ。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 矯正治療の診断のための模型分析を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 ・平行模型について説明できる。 ・口腔模型計測項目を列挙できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 第5実習室</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論IX 検査 1 口腔内検査・口腔機能検査 カ 歯列・咬合検査</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論II 成長発育に関連した疾患・病態 8 不正咬合の診断 ア 診療 ウ 診断 エ 治療計画</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-1) 不正咬合 *④不正咬合の原因、種類、診察、検査、診断、治療および予防法を説明できる。</p>	葛西 一貴 山口 大隆一 今村 修一 小野 たけみ 五関 豊 榎本 勝彦 齋藤 慎一 根岸 理利 徳永 理恵 小堀 かおり 石井 美紀 弘松 真美 清水
2014/07/07 (月) 2時限 10:40~12:10	〔講義〕 第19回 ・平常試験③	<p>【授業の一般目標】 不正咬合がもたらす口腔機能障害や審美的障害を除去し、患者のQOLの向上を図るために、第12回から第18回までの講義内容の理解度について学ぶ。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 第12回から第18回までの講義内容を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 ・第12回から第18回までの講義内容を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 302教室</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p>	葛西 一貴
2014/07/07 (月) 3時限 13:00~14:30	(実習) 第19回 ・セファロ分析および診断1	<p>【授業の一般目標】 不正咬合がもたらす口腔機能障害や審美的障害を除去し、患者のQOLの向上を図るために、セファロ分析および診断について学ぶ。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 矯正治療の診断のためのセファロ分析を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 ・頭部エックス線規格写真分析に用いる計測点を列挙できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 第5実習室</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論IX 検査</p>	葛西 一貴 山口 大隆一 今村 修一 小野 たけみ 五関 豊 榎本 勝彦 齋藤 慎一 根岸 理利 徳永 理恵 小堀 かおり 石井 美紀 弘松 真美 清水

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/07/07 (月) 3時限 13:00~14:30	(実習) 第19回 ・セファロ分析および診断1	2 画像検査 サ 顎顔面頭蓋部エックス線検査 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 8 不正咬合の診断 ウ 診断 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 *①頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 E-4 歯科医療の展開 E-4-1) 不正咬合 *④不正咬合の原因、種類、診察、検査、診断、治療および予防法を説明できる。	葛西 一貴 山口 大隆一 今村 修一 小野 たけみ 五関 豊彦 榎本 勝彦 齋藤 慎一 根岸 理利 徳永 理恵 小堀 かおり 石井 美紀 弘松 真美 清水
2014/07/07 (月) 4時限 14:40~16:10	(実習) 第20回 ・セファロ分析および診断2	【授業の一般目標】 不正咬合がもたらす口腔機能障害や審美的障害を除去し、患者のQOLの向上を図るために、セファロ分析および診断について学ぶ。 【行動目標(SBOs)】 1. 矯正治療の診断のためのセファロ分析を説明できる。 【準備学習項目】 ・頭部エックス線規格写真分析に用いる計測点を列挙できる。 【学習場所・媒体等】 第5実習室 【学習方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論IX 検査 2 画像検査 サ 顎顔面頭蓋部エックス線検査 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 8 不正咬合の診断 ウ 診断 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 *①頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 E-4 歯科医療の展開 E-4-1) 不正咬合 *④不正咬合の原因、種類、診察、検査、診断、治療および予防法を説明できる。	葛西 一貴 山口 大隆一 今村 修一 小野 たけみ 五関 豊彦 榎本 勝彦 齋藤 慎一 根岸 理利 徳永 理恵 小堀 かおり 石井 美紀 弘松 真美 清水
2014/07/14 (月) 2時限 10:40~12:10	〔講義〕 第20回 ・永久歯列期の治療	【授業の一般目標】 不正咬合がもたらす口腔機能障害や審美的障害を除去し、患者のQOLの向上を図るために、永久歯列期の治療について学ぶ。 【行動目標(SBOs)】 1. マルチブラケット装置(Edgewise 装置)の構成および特徴について説明できる。 2. Edgewise 装置のメカニズムについて説明できる。 3. Edgewise 法による治療の流れを説明できる。 4. アーチワイヤーの屈曲について説明できる。 5. Begg 法の特徴について説明できる。 6. 各種不正咬合の治療を説明できる。 【準備学習項目】 ・Edgewise 装置の概略について説明できる。 【学習場所・媒体等】 302教室 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 10 矯正装置 サ マルチブラケット装置 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 11 不正咬合の治療 イ 永久歯列期の不正咬合の治療	小野 修一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/07/14 (月) 2時限 10:40～12:10	〔講義〕第20回 ・永久歯列期の治療	<p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学教育</p> <p>E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患</p> <p>E-2-3) 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の発生、成長・発育および加齢とその異常</p> <p>*③口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の成長・発育および加齢による変化を説明できる。【歯の喪失に伴う変化を含む。】</p> <p>*④口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の成長・発育異常（不正咬合）を説明できる。</p> <p>E-4 歯科医療の展開</p> <p>E-4-1) 不正咬合</p> <p>*④不正咬合の原因、種類、診察、検査、診断、治療および予防法を説明できる。</p> <p>*⑤矯正治療に用いる器材の名称と使い方を説明できる。</p> <p>*⑥矯正装置の種類と特徴、および使用目的を説明できる。</p>	小野 修一
2014/07/14 (月) 3時限 13:00～14:30	〔講義〕第21回 ・他科との共同による治療 1	<p>【授業の一般目標】</p> <p>不正咬合がもたらす口腔機能障害や審美的障害を除去し、患者のQOLの向上を図るために、他科との共同による治療について学ぶ。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 口蓋裂の治療法について説明できる。 2. 唇顎口蓋裂患者の顎骨および咬合の特徴について説明できる。 3. 唇顎口蓋裂患者の治療の流れについてその概略を説明できる。 4. 口腔領域の奇形について述べるができる。 5. 顎変形症の原因、治療法について説明できる。 6. 外科矯正治療の目的および適応症について述べるができる。 <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口蓋裂の原因について説明できる。 ・顎顔面領域の成長発育を説明できる。 <p>【学習場所・媒体等】</p> <p>302教室</p> <p>【学習方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>必修の基本的事項</p> <p>16 チーム歯科医療</p> <p>ア 医療機関でのチームワーク</p> <p>a 歯科医師・医師間</p> <p>【国家試験出題基準（副）】</p> <p>歯科医学各論</p> <p>各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態</p> <p>1 歯・口腔・顎・顔面の発育を障害する先天異常</p> <p>ア 口唇・口蓋裂</p> <p>11 不正咬合の治療</p> <p>ウ 先天性疾患を伴う不正咬合の治療</p> <p>エ 顎変形症の治療</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学教育</p> <p>E-4 歯科医療の展開</p> <p>E-4-1) 不正咬合</p> <p>*④不正咬合の原因、種類、診察、検査、診断、治療および予防法を説明できる。</p> <p>E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患</p> <p>E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患</p> <p>E-2-4)-(1) 先天異常および後天異常</p> <p>*①口唇・口腔・頭蓋・顎顔面に症状をきたす先天性異常を説明できる。</p> <p>*②口唇・口蓋裂の病態と治療方針を説明できる。</p> <p>*③顎変形症を概説できる。</p>	今村 隆一
2014/07/14 (月) 4時限 14:40～16:10	〔講義〕第22回 ・他科との共同による治療 2	<p>【授業の一般目標】</p> <p>不正咬合がもたらす口腔機能障害や審美的障害を除去し、患者のQOLの向上を図るために、他科との共同による治療について学ぶ。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 口蓋裂の治療法について説明できる。 2. 唇顎口蓋裂患者の顎骨および咬合の特徴について説明できる。 3. 唇顎口蓋裂患者の治療の流れについてその概略を説明できる。 4. 口腔領域の奇形について述べるができる。 5. 顎変形症の原因、治療法について説明できる。 6. 外科矯正治療の目的および適応症について述べるができる。 <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口蓋裂の原因について説明できる。 ・顎顔面領域の成長発育を説明できる。 <p>【学習場所・媒体等】</p> <p>302教室</p> <p>【学習方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p>	今村 隆一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/07/14 (月) 4時限 14:40～16:10	〔講義〕第22回 ・他科との共同による治療2	<p>必修の基本的事項 1 6 チーム歯科医療 ア 医療機関でのチームワーク a 歯科医師・医師間</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 1 歯・口腔・顎・顔面の発育を障害する先天異常 ア 口唇・口蓋裂 1 1 不正咬合の治療 ウ 先天性疾患を伴う不正咬合の治療 エ 顎変形症の治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-1) 不正咬合 *④不正咬合の原因、種類、診察、検査、診断、治療および予防法を説明できる。 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4)-(1) 先天異常および後天異常 *①口唇・口腔・頭蓋・顎顔面に症状をきたす先天性異常を説明できる。 *②口唇・口蓋裂の病態と治療方針を説明できる。 *③顎変形症を概説できる。</p>	今村 隆一
2014/07/24 (木) 2時限 10:40～12:10	〔講義〕第23回 ・口腔筋機能療法	<p>【授業の一般目標】 不正咬合がもたらす口腔機能障害や審美的障害を除去し、患者のQOLの向上を図るために、口腔筋機能療法について学ぶ。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 口腔筋機能療法について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 ・矯正治療に障害となる口腔習癖を列挙できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 302教室</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 4 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 歯・口腔・顎・顔面の疾患の概念 e 不正咬合</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 6 歯列・咬合異常の予防 オ 口腔習癖とその対応 7 不正咬合の病因・病態 エ 不正咬合の原因 8 不正咬合の診断 イ 検査 ウ 診断</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4)-(10) 口唇・口腔・顎顔面領域の機能障害 *①咬合異常と咀嚼障害の原因と診察、検査、診断および治療方針を説明できる。 E-4 歯科医療の展開 E-4-1) 不正咬合 *④不正咬合の原因、種類、診察、検査、診断、治療および予防法を説明できる。</p>	高橋 治
2014/07/24 (木) 3時限 13:00～14:30	〔講義〕第24回 ・矯正歯科治療中の口腔衛生管理 ・保定	<p>【授業の一般目標】 不正咬合がもたらす口腔機能障害や審美的障害を除去し、患者のQOLの向上を図るために、矯正歯科治療中の口腔衛生管理・保定について学ぶ。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 矯正治療中の口腔衛生管理について説明できる。 2. 保定の定義、意義、および自然保定について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 ・矯正装置使用中の注意事項を列挙できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 302教室</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p>	今村 隆一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/07/24 (木) 3時限 13:00~14:30	〔講義〕第24回 ・矯正歯科治療中の口腔衛生管理 ・保定	<p>歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 1 1 不正咬合の治療 カ 治療中の管理</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 1 1 不正咬合の治療 キ 保定 1 0 矯正装置 テ Hawley タイプリテーナー ト Begg タイプリテーナー <ラップアラウンドリテーナー、サーカムフェレンシャルタイプリテーナー> ナ トゥースボジショナー ニ 犬歯間保定装置</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-1) 不正咬合 *④不正咬合の原因、種類、診察、検査、診断、治療および予防法を説明できる。 *⑥矯正装置の種類と特徴、および使用目的を説明できる。</p>	今村 隆一
2014/07/24 (木) 4時限 14:40~16:10	〔講義〕第25回 ・矯正歯科治療に伴う偶発症	<p>【授業の一般目標】 不正咬合がもたらす口腔機能障害や審美的障害を除去し、患者のQOLの向上を図るために、矯正歯科治療に伴う偶発症について学ぶ。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 矯正治療時に生じる偶発症について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 ・矯正治療時に生じる偶発症を列挙できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 302教室</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 3 0 2 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 1 1 不正咬合の治療 ク 偶発症</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖歯周組織疾患の診断と治療 *⑦失活歯の変色の原因、種類および処置を説明できる。 *⑧歯根吸収の原因、症状、診断および処置を説明できる。 E-4 歯科医療の展開 E-4-1) 不正咬合 *⑧矯正治療によって起こる生体の反応を細胞あるいは分子生物学的に説明できる。 *⑨矯正治療によって生じうる医原性障害を挙げ、その予防法と処置を説明できる。</p>	今村 隆一
2014/09/08 (月) 2時限 10:40~12:10	〔講義〕第26回 ・平常試験④	<p>【授業の一般目標】 不正咬合がもたらす口腔機能障害や審美的障害を除去し、患者のQOLの向上を図るために、第20回から第25回までの講義内容の理解度について学ぶ。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 第20回から第25回までの講義内容を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 ・第20回から第25回までの講義内容を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 302教室</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 3 0 2 教室</p>	葛西 一貴
2014/09/08 (月) 3時限 13:00~14:30	〔講義〕第27回	<p>【授業の一般目標】 不正咬合がもたらす口腔機能障害や審美的障害を除去し、患者のQOLの向上を図るために必要な知識と基本的技能を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 不正咬合の特徴を説明できる。 2. 診断に基づく治療計画を立案できる。</p> <p>【準備学習項目】 講義範囲全般について十分な復習を行う。</p> <p>【学習場所・媒体等】</p>	葛西 一貴

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/09/08 (月) 3時限 13:00~14:30	〔講義〕 第27回	302教室 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 【コアカリキュラム】	葛西 一貴
2014/09/08 (月) 4時限 14:40~16:10	〔講義〕 第28回	【授業の一般目標】 不正咬合がもたらす口腔機能障害や審美的障害を除去し、患者のQOLの向上を図るために必要な知識と基本的技能を習得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 不正咬合の特徴を説明できる。 2. 診断に基づく治療計画を立案できる。 【準備学習項目】 講義範囲全般について十分な復習を行う。 【学習場所・媒体等】 302教室 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 【コアカリキュラム】	葛西 一貴

歯科保存学 2

年次	学期	学則科目責任者
4年次	前学期	小方 頼昌 (歯周治療学)

学習目標 (G I O)	<p>歯科保存学は、う蝕、歯髄炎または歯周病などの疾患に陥った歯および歯を支える歯周組織を歯を抜かずに本来有している口腔の機能を維持・回復するための治療学であり、また、それらの疾患に罹患しないよう予防する学問である。歯科保存学は、保存修復学、歯内療法学および歯周治療学の3つの学問からなり、これらの学問が有機的に連携することで、歯および歯周組織の機能の維持を図ることができる。歯科保存学は日常臨床で、高頻度に遭遇する疾患であり、歯、歯周組織の機能を維持するためには、3つの学問を連携して学ぶ必要がある。</p> <p>臨床では、患者の訴え(疼痛、腫脹、動揺など)を聞き取る医療面接から始まり、訴えの原因や病態を探る検査を経て診断および処置方針の決定し、処置がされ、さらに経過の観察、機能の維持へと進行する。これらの進行が適切に行えるようになるために、歯科保存学の知識、技能を習得する。</p> <p>臨床学目である歯科保存学を習得するための正常な組織の形態と機能、原因に対する生体の反応などまた、治療に用いる材料など今までに学んだ事項と臨床を連携する歯科保存学の総論領域と、保存修復学、歯内療法学、歯周治療学の各論領域から構成される。</p>
評価方法 (E V)	歯周治療学(平常試験、実習)、保存修復学(平常試験、実習)、歯内療法学(平常試験、実習)の総合評価とする。

歯周治療学

年次	学期	学習ユニット責任者
4年次	前学期	小方 頼昌 (歯周治療学)

学習ユニット学習目標 (G I O)	日本の全年齢層において、約75%の人が歯周病に罹患しており、その罹患率を年齢別にみると20歳前後で65%、50歳前後では90%以上になる。さらに歯周病は、糖尿病を含む様々な全身疾患と関連する生活習慣病であることから、その予防と治療の社会的意義はきわめて大きい。そのため、一生自分の歯で美味しく食事ができるような良好な口腔環境が維持できるように、歯周病を予防または治療することを目的とする。重度慢性歯周炎または侵襲性歯周炎では、歯の動揺や移動、歯肉の腫れや痛みを伴うことから、適切な検査の実施および診断、治療計画の立案と歯周基本治療および歯周外科治療を行うことが要求される。そのために、歯周治療学の知識、技能を習得する。4年次では、歯周外科治療、メンテナンスおよびサポータティブペリオドンタルセラピーについて学び、次年度の臨床実習に向け、知識や問題解決について理解することを目的とする。
担当教員	小方 頼昌、中山 洋平、吉野 祥一、高井 英樹、目澤 優、岡野 千春、武井 美佑紀、豊嶋 泉、廣松 勇樹、井上 英子、蔦森 麻衣、松村 浩偵、清水 智生、※鈴木 真名
教科書	臨床歯周病学(第2版) 吉江弘正ほか 医歯薬出版 歯周治療学実習帳 小方頼昌ほか 日本大学松戸歯学部歯周治療学講座編
参考図書	ザ・ペリオドントロジー 和泉雄一ほか 永末書店 失敗しない歯周外科 小方頼昌ほか クインテッセンス出版 プリベンティブペリオドントロジー 鴨井久一ほか 医歯薬出版 コーエン審美再建歯周外科カラーアトラス 鴨井久一ほか 西村書店 ラタイチャーカラーアトラス歯周病学(第3版) 日本臨床歯周病学会 訳 永末書店
実習器材	顎模型、歯周外科治療用器具一式
評価方法 (E V)	平常試験：60% 実習内容の評価(実習作製、実技試験、実習中に行う試験等) 40%
学生へのメッセージ オフィスアワー	<p>歯科保存学は歯科臨床の基礎であり、日常臨床では高頻度で行われている処置である。適切な診断、処置が行えるようになるために、基礎医学から臨床まで系統だった知識の整理が必要で、試験間際のみでの学習ではなく、日頃から授業終了後のまとめを欠かさずしておくことが不可欠です。</p> <p>実習では、臨床の場を想定して主にファントム(マネキン)実習を行う。したがって、頭髪、爪、服装など歯科医療人として清潔な身だしなみを常に心がけて実習に臨むこと。</p> <p>講義、実習で、不明なところはそのままにせず積極的に質問すること。</p> <p>また、e-mail 小方：ogata.yorimasa@nihon-u.ac.jp による質問を受け付ける。</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/01 (火) 3時限 13:00~14:30	歯周実習1-⑦ 歯周外科総論 歯周ポケット搔爬術 歯肉切除術	<p>【授業の一般目標】 歯周外科治療の種類と適応を説明できる。歯周ポケット搔爬術と歯肉切除術の術式と適応を理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 歯周外科治療の種類とそれぞれの適応を説明できる。 2. 歯周ポケット搔爬術と歯肉切除術の術式を理解する。</p> <p>【準備学習項目】 歯周外科治療の種類とそれぞれの適応を再確認する。</p> <p>【学習場所・媒体等】</p>	小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 岡野 千春 武井 美佑紀 豊嶋 泉 廣松 勇樹 井上 英子 蔦森 麻衣 松村 浩偵 清水 智生

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/01 (火) 3時限 13:00~14:30	歯周実習 1-⑦ 歯周外科総論 歯 周ポケット搔爬術 歯肉切除術	302教室 板書とパワーポイント 第4実習室 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 302教室、第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 エ 歯周外科治療 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 8 成人の歯周病 ウ 歯周炎 【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-3) 歯周治療実習 ⑥歯周外科手術の介助が適切にできる。	小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 岡野 千春 武井 美佑 井 泉 豊嶋 樹 松上 勇 井 英子 上 麻衣 森 衣 村 偵 清 生 水 智
2014/04/01 (火) 4時限 14:40~16:10	歯周実習 1-⑦ 歯周外科総論 歯 周ポケット搔爬術 歯肉切除術	【授業の一般目標】 歯周外科治療の種類と適応を説明できる。歯周ポケット搔爬術と歯肉切除術の術式と適応を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 歯周外科治療の種類とそれぞれの適応を説明できる。 2. 歯周ポケット搔爬術と歯肉切除術の術式を理解する。 【準備学習項目】 歯周外科治療の種類とそれぞれの適応を再確認する。 【学習場所・媒体等】 302教室 板書とパワーポイント 第4実習室 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 302教室、第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 エ 歯周外科治療 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 8 成人の歯周病 ウ 歯周炎 【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-3) 歯周治療実習 ⑥歯周外科手術の介助が適切にできる。	小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 岡野 千春 武井 美佑 井 泉 豊嶋 樹 松上 勇 井 英子 上 麻衣 森 衣 村 偵 清 生 水 智
2014/04/08 (火) 3時限 13:00~14:30	歯周実習 2-⑧ 新付着術 (ENAP) 縫合	【授業の一般目標】 新付着術 (ENAP) の術式と適応を理解する。縫合法の種類および方法を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 新付着術 (ENAP) の術式を説明できる。 2. 縫合法の種類を理解する。 【準備学習項目】 新付着術 (ENAP) の術式と縫合法の種類を再確認する。 【学習場所・媒体等】 302教室 板書とパワーポイント 第4実習室 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 302教室、第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 エ 歯周外科治療 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論X 治療	小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 岡野 千春 武井 美佑 井 泉 豊嶋 樹 松上 勇 井 英子 上 麻衣 森 衣 村 偵 清 生 水 智

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/08 (火) 3時限 13:00~14:30	歯周実習 2-⑧ 新付着術 (ENAP) 縫合	5 手術基本手技 エ 縫合法 【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-3) 歯周治療実習 ⑥歯周外科手術の介助が適切にできる。	小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 岡野 千春 武井 美佑紀 豊嶋 泉 廣松 勇樹 井上 英子 蔦 麻衣 森 浩 村 偵 清 智 水 生
2014/04/08 (火) 4時限 14:40~16:10	歯周実習 2-⑧ 新付着術 (ENAP) 縫合	【授業の一般目標】 新付着術 (ENAP) の術式と適応を理解する。縫合法の種類および方法を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 新付着術 (ENAP) の術式を説明できる。 2. 縫合法の種類を理解する。 【準備学習項目】 新付着術 (ENAP) の術式と縫合法の種類を再確認する。 【学習場所・媒体等】 302教室 板書とパワーポイント 第4実習室 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 302教室、第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 エ 歯周外科治療 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論X 治療 5 手術基本手技 エ 縫合法 【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-3) 歯周治療実習 ⑥歯周外科手術の介助が適切にできる。	小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 岡野 千春 武井 美佑紀 豊嶋 泉 廣松 勇樹 井上 英子 蔦 麻衣 森 浩 村 偵 清 智 水 生
2014/04/15 (火) 3時限 13:00~14:30	歯周実習 3-⑨ 暫間固定 根分岐 部病変の処置 歯肉剥離掻爬手術 (1) 切開線の記入	【授業の一般目標】 暫間固定の種類を説明できる。根分岐部病変に対する処置法を説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 暫間固定の目的を説明できる。 2. 根分岐部病変の治療法を説明できる。 【準備学習項目】 暫間固定と根分岐部病変に対する処置法について予習をする。 【学習場所・媒体等】 302教室 板書とパワーポイント 第4実習室 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 302教室、第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 カ 根分岐部病変の治療 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 ウ 咬合性外傷に対する治療 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ⑦歯周疾患の簡単な症例を処置できる。	小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 岡野 千春 武井 美佑紀 豊嶋 泉 廣松 勇樹 井上 英子 蔦 麻衣 森 浩 村 偵 清 智 水 生
2014/04/15 (火) 4時限 14:40~16:10	歯周実習 3-⑨ 暫間固定 根分岐 部病変の処置 歯肉剥離掻爬手術 (1) 切開線の記	【授業の一般目標】 暫間固定の種類を説明できる。根分岐部病変に対する処置法を説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 暫間固定の目的を説明できる。	小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 岡野 千春

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/15 (火) 4時限 14:40～16:10	入	<p>2. 根分岐部病変の治療法を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 暫間固定と根分岐部病変に対する処置法について予習をする。</p> <p>【学習場所・媒体等】 302教室 板書とパワーポイント 第4実習室</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 カ 根分岐部病変の治療</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 ウ 咬合性外傷に対する治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ⑦歯周疾患の簡単な症例を処置できる。</p>	<p>武井 美佑紀 豊嶋 泉 廣松 勇樹 井上 英子 森 千春 村 浩 清水 智生</p>
2014/04/22 (火) 2時限 10:40～12:10	歯周客員教授講義 マイクロスコープ と歯周形成外科手術	<p>【授業の一般目標】 歯周形成外科手術の種類を説明できる。歯周形成外科手術の適応と禁忌を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯周形成外科手術の種類、適応と禁忌を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯周形成外科手術について学習する。</p> <p>【学習場所・媒体等】 302教室 パワーポイントまたはキーノート</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 エ 歯周外科治療</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 オ 使用器材、取扱法 a 基本的器材</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 *④歯周外科手術の種類と適応症を説明できる。 *⑤歯周治療後の組織の治癒機転と予後を説明できる。</p>	<p>鈴木 真名 小方 頼昌</p>
2014/04/22 (火) 3時限 13:00～14:30	歯周実習 4-⑩ 歯肉剥離搔爬手術 ② 剥離、搔爬、スケ リング・ルートブ レーニング、骨整 形、縫合	<p>【授業の一般目標】 歯肉剥離手術の適応と禁忌、術式を説明できる。歯肉剥離搔爬手術に使用する器具の名称と使用法を説明できる。歯槽骨に対する処置 (骨整形、骨削除、骨移植) について学ぶ。歯肉剥離搔爬手術の縫合法を習得する。術後の注意点について説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯肉剥離手術の術式を説明できる。 2. 歯肉剥離搔爬手術に使用する器具を説明できる。 3. 歯肉剥離搔爬手術の縫合法を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯肉剥離搔爬手術に関する内容について理解する。</p> <p>【学習場所・媒体等】 302教室 板書とパワーポイント 第4実習室</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p>	<p>小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 岡野 千春 武井 美佑紀 豊嶋 泉 廣松 勇樹 井上 英子 森 千春 村 浩 清水 智生</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/22 (火) 3時限 13:00~14:30	歯周実習 4-⑩ 歯肉剥離搔爬手術 ② 剥離、搔爬、スケーリング・ルートプレーニング、骨整形、縫合	<p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 エ 歯周外科治療</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論X 治療 5 手術基本手技 ア 消毒と滅菌 イ 切開法 エ 縫合法 ケ 創傷の治療</p> <p>【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-3) 歯周治療実習 ⑥歯周外科手術の介助が適切にできる。</p>	小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 岡野 千春 武井 美佑 井 泉 豊嶋 勇 松上 樹 井 英子 森 麻 村 衣 清 偵 水 智
2014/04/22 (火) 4時限 14:40~16:10	歯周実習 4-⑩ 歯肉剥離搔爬手術 ② 剥離、搔爬、スケーリング・ルートプレーニング、骨整形、縫合	<p>【授業の一般目標】 歯肉剥離手術の適応と禁忌、術式を説明できる。歯肉剥離搔爬手術に使用する器具の名称と使用法を説明できる。 歯槽骨に対する処置（骨整形、骨削除、骨移植）について学ぶ。歯肉剥離搔爬手術の縫合法を習得する。 術後の注意点について説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯肉剥離手術の術式を説明できる。 2. 歯肉剥離搔爬手術に使用する器具を説明できる。 3. 歯肉剥離搔爬手術の縫合法を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯肉剥離搔爬手術に関する内容について理解する。</p> <p>【学習場所・媒体等】 302教室 板書とパワーポイント 第4実習室</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 エ 歯周外科治療</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論X 治療 5 手術基本手技 ア 消毒と滅菌 イ 切開法 エ 縫合法 ケ 創傷の治療</p> <p>【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-3) 歯周治療実習 ⑥歯周外科手術の介助が適切にできる。</p>	小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 岡野 千春 武井 美佑 井 泉 豊嶋 勇 松上 樹 井 英子 森 麻 村 衣 清 偵 水 智
2014/05/13 (火) 2時限 10:40~12:10	歯周講義① 初診からサポータ イブペリオドンタ ルセラピーまで①	<p>【授業の一般目標】 初診からサポータイブペリオドンタルセラピーまでの一連の歯周治療を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯周治療の流れを理解する。</p> <p>【準備学習項目】 歯周治療全般を再復習する。</p> <p>【学習場所・媒体等】 302教室 板書とパワーポイント</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 イ 歯周基本治療</p> <p>【国家試験出題基準（副）】</p>	中山 洋平

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/05/13 (火) 2時限 10:40～12:10	歯周講義① 初診からサポータ イブペリオドンタ ルセラピーまで①	歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 エ 歯周外科治療 【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-3) 歯周治療実習 ①歯周組織疾患の診察、検査、診断が正しくできる。 ②診断に基づいて適切な治療計画を立案できる。 ③正しくブラークコントロールができる。 ④適切なスクリーニング・ルートプレーニングができる。 ⑤歯周治療時の生活上の注意事項を患者に伝えることができる。 ⑥歯周外科手術の介助が適切にできる。	中山 洋平
2014/05/13 (火) 3時限 13:00～14:30	歯周実習5-① 歯周形成外科手術 (1) 遊離歯肉移 植術	【授業の一般目標】 歯周形成外科手術の種類と適応を説明できる。 遊離歯肉移植術の術式と適応を理解する。 遊離歯肉移植術の縫合法を理解し、実施できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 遊離歯肉移植術の術式について説明できる。 【準備学習項目】 遊離歯肉移植術の適応、術式を再復習する。 【学習場所・媒体等】 302教室 板書とパワーポイント 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 302教室、第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 エ 歯周外科治療 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論X 治療 5 手術基本手技 イ 切開法 ウ 止血法 エ 縫合法 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 *④歯周外科手術の種類と適応症を説明できる。	小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 岡野 千春 武井 美佑 豊嶋 泉 廣松 勇樹 井上 英子 蔦森 衣偵 松村 浩生 清水 智生
2014/05/13 (火) 4時限 14:40～16:10	歯周実習5-① 歯周形成外科手術 (1) 遊離歯肉移 植術	【授業の一般目標】 歯周形成外科手術の種類と適応を説明できる。 遊離歯肉移植術の術式と適応を理解する。 遊離歯肉移植術の縫合法を理解し、実施できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 遊離歯肉移植術の術式について説明できる。 【準備学習項目】 遊離歯肉移植術の適応、術式を再復習する。 【学習場所・媒体等】 302教室 板書とパワーポイント 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 302教室、第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 エ 歯周外科治療 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論X 治療 5 手術基本手技 イ 切開法 ウ 止血法 エ 縫合法 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療	小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 岡野 千春 武井 美佑 豊嶋 泉 廣松 勇樹 井上 英子 蔦森 衣偵 松村 浩生 清水 智生

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/05/13 (火) 4時限 14:40～16:10	歯周実習 5-① 歯周形成外科手術 (1) 遊離歯肉移植術	*④歯周外科手術の種類と適応症を説明できる。	小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 岡野 千春 武井 美佑紀 豊嶋 泉 廣松 勇樹 井上 英子 蔦森 麻衣 松村 浩偵 清水 智生
2014/05/20 (火) 2時限 10:40～12:10	歯周講義② 初診からサポータ イブペリオドンタル セラピーまで②	【授業の一般目標】 初診からサポータイブペリオドンタルセラピーまでの一連の歯周治療を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 歯周治療の流れを理解する。 【準備学習項目】 歯周治療全般について再復習する。 【学習場所・媒体等】 302教室 板書とパワーポイント 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 イ 歯周基本治療 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 エ 歯周外科治療 【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-3) 歯周治療実習 ①歯周組織疾患の診察、検査、診断が正しくできる。 ②診断に基づいて適切な治療計画を立案できる。 ③正しくブラークコントロールができる。 ④適切なスケーリング・ルートプレーニングができる。 ⑤歯周治療時の生活上の注意事項を患者に伝えることができる。 ⑥歯周外科手術の介助が適切にできる。	高井 英樹
2014/05/20 (火) 3時限 13:00～14:30	歯周実習 6-② 歯周形成外科手術 (2) 結合組織移 植術	【授業の一般目標】 歯周形成外科手術の種類と適応を説明できる。 結合組織移植術の適応と術式を理解する。 結合組織移植術の縫合法を理解し、実施できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 結合組織移植術の術式を説明できる。 【準備学習項目】 結合組織移植術に関して再復習を行う。 【学習場所・媒体等】 302教室 板書とパワーポイント 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 302教室、第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 エ 歯周外科治療 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論X 治療 5 手術基本手技 イ 切開法 ウ 止血法 エ 縫合法 【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-3) 歯周治療実習 ⑥歯周外科手術の介助が適切にできる。	小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 岡野 千春 武井 美佑紀 豊嶋 泉 廣松 勇樹 井上 英子 蔦森 麻衣 松村 浩偵 清水 智生
2014/05/20 (火)	歯周実習 6-②	【授業の一般目標】	小方 頼昌

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
4時限 14:40～16:10	歯周形成外科手術 (2) 結合組織移植術	<p>歯周形成外科手術の種類と適応を説明できる。 結合組織移植術の適応と術式を理解する。 結合組織移植術の縫合法を理解し、実施できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 結合組織移植術の術式を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 結合組織移植術に関して再復習を行う。</p> <p>【学習場所・媒体等】 302教室 板書とパワーポイント</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 エ 歯周外科治療</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅹ 治療 5 手術基本手技 イ 切開法 ウ 止血法 エ 縫合法</p> <p>【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-3) 歯周治療実習 ⑥歯周外科手術の介助が適切にできる。</p>	中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 岡野 千春 武井 美佑 豊嶋 泉 廣松 勇樹 井上 英子 蔦森 麻衣 村松 浩 清水 智生
2014/05/27 (火) 2時限 10:40～12:10	歯周講義③ 初診からサポータ ィブペリオドンタル セラピーまで③	<p>【授業の一般目標】 初診からサポータィブペリオドンタルセラピーまでの一連の歯周治療を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯周治療の流れを理解する。</p> <p>【準備学習項目】 歯周治療全般について再復習する。</p> <p>【学習場所・媒体等】 302教室 板書とパワーポイント</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 イ 歯周基本治療</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 エ 歯周外科治療</p> <p>【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-3) 歯周治療実習 ①歯周組織疾患の診察、検査、診断が正しくできる。 ②診断に基づいて適切な治療計画を立案できる。 ③正しくブラークコントロールができる。 ④適切なスクーリング・ルートプレーニングができる。 ⑤歯周治療時の生活上の注意事項を患者に伝えることができる。 ⑥歯周外科手術の介助が適切にできる。</p>	吉野 祥一
2014/05/27 (火) 3時限 13:00～14:30	歯周実習7-③ 歯周組織再生誘導 法 画像診断	<p>【授業の一般目標】 歯周組織再生誘導法の適応と術式について説明できる。歯周治療における画像診断の意義を説明できる。 歯周外科治療における再生療法的位置付けについて説明できる。 歯周治療におけるサポータィブペリオドンタルセラピー (SPT) とメンテナンスの重要性について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯周組織再生誘導法について説明できる。 2. 歯周治療における画像診断の重要性を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯周組織再生誘導法に適応を学習する。 SPTとメンテナンスの違いを理解する。</p>	小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 岡野 千春 武井 美佑 豊嶋 泉 廣松 勇樹 井上 英子 蔦森 麻衣 村松 浩 清水 智生

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/05/27 (火) 3時限 13:00～14:30	歯周実習7-③ 歯周組織再生誘導法 画像診断	<p>【学習場所・媒体等】 302教室 板書とパワーポイント</p> <p>【学習方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 オ 歯周組織再生治療</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 必修の基本的事項 11 検査の基本 オ 画像検査 a エックス線撮影(口内法、パノラマエックス線撮影、CT、歯科用コーンビームCT、造影検査)</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ⑨歯周治療後の適切なメンテナンスができる。【歯周疾患の予防については、B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理の項を参照】 F 臨床実習 F-3 画像検査 ①放射線検査の必要性について説明できる。</p>	小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 岡野 千春 武井 美佑 井 泉 豊嶋 勇樹 松上 英子 森井 麻衣 村松 浩 清水 智生
2014/05/27 (火) 4時限 14:40～16:10	歯周実習7-③ 歯周組織再生誘導法 画像診断	<p>【授業の一般目標】 歯周組織再生誘導法の適応と術式について説明できる。歯周治療における画像診断の意義を説明できる。 歯周外科治療における再生療法的位置付けについて説明できる。 歯周治療におけるサポータティブペリオドンタルセラピー(SPT)とメンテナンスの重要性について理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 歯周組織再生誘導法について説明できる。 2. 歯周治療における画像診断の重要性を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯周組織再生誘導法に適応を学習する。 SPTとメンテナンスの違いを理解する。</p> <p>【学習場所・媒体等】 302教室 板書とパワーポイント</p> <p>【学習方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 オ 歯周組織再生治療</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 必修の基本的事項 11 検査の基本 オ 画像検査 a エックス線撮影(口内法、パノラマエックス線撮影、CT、歯科用コーンビームCT、造影検査)</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ⑨歯周治療後の適切なメンテナンスができる。【歯周疾患の予防については、B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理の項を参照】 F 臨床実習 F-3 画像検査 ①放射線検査の必要性について説明できる。</p>	小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 岡野 千春 武井 美佑 井 泉 豊嶋 勇樹 松上 英子 森井 麻衣 村松 浩 清水 智生
2014/06/03 (火) 2時限 10:40～12:10	歯周まとめ試験	<p>【授業の一般目標】 歯周基本治療と歯周外科治療について理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 歯周治療全般の治療の流れを説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯周治療全般について復習を行う。</p> <p>【学習場所・媒体等】 302教室</p> <p>【学習方略(LS)】</p>	小方 頼昌

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/03 (火) 2時限 10:40～12:10	歯周まとめ試験	<p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 エ 歯周外科治療</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 オ 歯周組織再生治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 *③歯周治療の術式と適応症を説明できる。 *④歯周外科手術の種類と適応症を説明できる。</p>	小方 頼昌
2014/06/03 (火) 3時限 13:00～14:30	歯周実習8-⑭ 実技試験 歯周治療学総括講義	<p>【授業の一般目標】 歯周治療の流れの中で、歯周基本治療と歯周外科治療の役割を説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯周基本治療と歯周外科治療の役割を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯周治療全般の復習を行う。</p> <p>【学習場所・媒体等】 302教室 第4実習室</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 エ 歯周外科治療</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 オ 歯周組織再生治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 *③歯周治療の術式と適応症を説明できる。 *④歯周外科手術の種類と適応症を説明できる。</p>	小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 岡野 千春 武井 美佑紀 豊嶋 泉 廣松 勇樹 井上 英子 蔦森 麻衣 松村 浩偵 清水 智生
2014/06/03 (火) 4時限 14:40～16:10	歯周実習8-⑭ 実技試験 歯周治療学総括講義	<p>【授業の一般目標】 歯周治療の流れの中で、歯周基本治療と歯周外科治療の役割を説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯周基本治療と歯周外科治療の役割を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯周治療全般の復習を行う。</p> <p>【学習場所・媒体等】 302教室 第4実習室</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 エ 歯周外科治療</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 オ 歯周組織再生治療</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 岡野 千春 武井 美佑紀 豊嶋 泉 廣松 勇樹 井上 英子 蔦森 麻衣 松村 浩偵 清水 智生

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/03 (火) 4時限 14:40～16:10	歯周実習 8-④ 実技試験 歯周治療学総括講義	E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 *③歯周治療の術式と適応症を説明できる。 *④歯周外科手術の種類と適応症を説明できる。	小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 岡野 千春 武井 美佑紀 豊嶋 泉 廣松 勇樹 井上 英子 蔦森 麻衣 松村 浩偵 清水 智生
2014/09/09 (火) 4時限 14:40～16:10	歯科保存学-2まとめ試験(歯周治療学)	<p>【授業の一般目標】 歯周治療の流れを理解し、種々の症例に的確に対応できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯周治療の流れを理解する。 2. 歯周基本治療および外科治療で実施する内容を説明できる。 3. 歯周外科治療の種類と適応を説明できる。 4. 歯周治療で使用する器具の名称と目的を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯科保存学1および2で学んだことを総復習する。</p> <p>【学習場所・媒体等】 302教室 平常試験</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 イ 歯周基本治療</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 エ 歯周外科治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 *①歯周疾患の症状を説明できる。【疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】 *②歯周疾患の診断と治療方針を説明できる。【検査法、メンテナンス法を含む。】 *③歯周治療の術式と適応症を説明できる。 *④歯周外科手術の種類と適応症を説明できる。 *⑤歯周治療後の組織の治癒機転と予後を説明できる。 *⑥歯周疾患の急性症状の診断と処置方法を説明できる。 ⑦歯周疾患の簡単な症例を処置できる。 ⑧歯周外科手術の介助を適切にできる。 ⑨歯周治療後の適切なメンテナンスができる。【歯周疾患の予防については、B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理の項を参照】</p>	小方 頼昌

保存修復学

年次	学期	学習ユニット責任者
4年次	前学期	平山 聡司 (保存修復学)

学習ユニット 学習目標 (GIO)	歯の硬組織に生じた部分的な欠損や病変の診断と治療法を学び、修復した歯をできるだけ長期間、機能的且つ審美的に良好な状態で口腔内に保たせることを目的とする学問である。 4年次では、3年次で学習した保存修復学1の基礎的知識の深化と確立を図るとともに、5次年からの充実した臨床実習に向け、臨床術式や問題解決について理解することを目的とする。
担当教員	平山 聡司、鈴木 英明、神谷 直孝、岡田 珠美、中島 光、森 俊幸、岩井 啓寿、壹岐 宏二、関根 哲子、岡野 智子、大塚 一聖
教科書	保存修復学 第6版 千田 彰、寺下正道、寺中敏夫、宮崎真至 [編] 医歯薬出版
参考図書	保存修復学21 第4版 田上順次、千田 彰、奈良陽一郎、桃井保子 [監修] 永末書店
実習器材	顎模型、顎粘膜マネキン、修復基本セット、切削器具、手用切削器具、コンポジットレジン充填器、タッフルマイヤー型マトリックスリテーナー
評価方法 (EV)	講義に関する平常試験：80%、実習に関する試験：20%をもって総合的に評価する。
学生への メッセージ オフィスアワー	3年生で学習した保存修復学のまとめ講義と実習である。繰り返し学習することによる知識の深化が大切である。 なお、オフィスアワーは特に設定しないが、メールによる質問を受け付ける。平山：hirayama.satoshi@nihon-u.ac.jp

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/10 (火) 2時限 10:40～12:10	保存修復講義① - 歯の硬組織疾患と 齶蝕の病因・病態	<p>【授業の一般目標】 歯の硬組織欠損に対する適切な処置方針が立案できるようになるために、齶蝕の病因・病態と齶蝕以外の硬組織欠損の原因と特徴について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 齶蝕の発症メカニズムについて説明できる。 2. エナメル質齶蝕の特徴について説明できる。 3. 象牙質齶蝕の特徴について説明できる。 4. セメント質齶蝕の特徴について説明できる。 5. 歯の硬組織疾患を列挙し、その特徴について説明できる。 6. 歯の硬組織疾患の原因について説明できる。 7. 歯の硬組織疾患の治療方針について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 エナメル質、象牙質、セメント質の正常構造と機能について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅵ 病因、病態 11 歯・口腔・顎・顔面・頭蓋の病因・病態 イ 歯の硬組織・歯髄・根尖歯周組織・辺縁歯周組織の疾患</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 成人の歯の硬組織疾患 ア 齶蝕 ウ 歯の損耗 <Tooth Wear></p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 *①歯の硬組織の疾患の病因と病態を説明できる。 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *①う蝕の症状と診断を説明できる。【検査法を含む】 *②う蝕の予防と治療の方法を説明できる。【う蝕の予防については、B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理の項を参照】 *③tooth wear (酸蝕症、咬耗、摩耗等)の原因、症状、診断および処置を説明できる。</p>	平山 聡司
2014/06/17 (火) 2時限 10:40～12:10	保存修復講義② 一硬組織疾患の検査法と修復前準備	<p>【授業の一般目標】 歯の硬組織欠損に対する適切な診断と処置が行えるようになるために、硬組織疾患の検査法と修復前処置について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 修復治療の診断に必要な検査法を説明できる。 2. 検査に必要な器具の名称と使用方法について説明できる。 3. 修復前準備の種類とその目的について説明できる。 4. 修復前準備に用いる器具とその用途について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】</p>	平山 聡司

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/17 (火) 2時限 10:40～12:10	保存修復講義② ー硬組織疾患の検査法と修復前準備ー	硬組織欠損の種類と特徴について説明できる。 【学習方略 (L S)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 3 0 2 教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 1 検査の基本 エ 歯・歯周組織・口腔・顎・顔面の検査 a 歯の検査 (硬組織、歯髄) 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論IX 検査 1 口腔内検査・口腔機能検査 ア 歯の硬組織の検査 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *⑨う蝕およびその他の硬組織疾患の診察、検査および診断ができる。 *⑩修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。	平山 聡司
2014/06/24 (火) 2時限 10:40～12:10	保存修復講義③ - 窩洞の名称と分類、 窩洞の具備条件ー	【授業の一般目標】 歯の硬組織欠損に対する適切な処置が行えるようになるために、修復方法に応じた窩洞の具備条件について理解する。 【行動目標 (S B O s)】 1. 修復方法に応じた窩洞の具備条件を列挙できる。 2. 修復方法に応じた窩洞外形の規定因子について説明できる。 3. 修復法に応じた保持形態について説明できる。 4. 修復法に応じた抵抗形態について説明できる。 5. 修復法に応じた便宜形態について説明できる。 6. 修復法に応じた窩縁形態について説明できる。 【準備学習項目】 窩洞の分類について説明できる。 窩洞の構成と各部の名称について説明できる。 窩洞外形の規定因子について説明できる。 【学習方略 (L S)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 3 0 2 教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論III 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 エ 窩洞形成法 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論III 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 イ 永久歯の直接修復法 ウ 永久歯の間接修復法 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *⑥う蝕およびその他の硬組織疾患に対する歯冠修復の臨床的意義を説明できる。 *⑩窩洞形成の意義と方法を説明できる。	平山 聡司
2014/07/01 (火) 2時限 10:40～12:10	修復平常試験①	【授業の一般目標】 範囲：修復講義①～③ 【学習方略 (L S)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 3 0 2 教室	平山 聡司
2014/07/08 (火) 2時限 10:40～12:10	保存修復講義④ ーコンポジットレジン修復とガラス アイオノマーセメント修復ー	【授業の一般目標】 歯の硬組織欠損に対する適切な処置が行えるようになるために、接着性修復法の特徴と歯質接着システムおよび臨床術式について理解する。 【行動目標 (S B O s)】 1. コンポジットレジン修復法の術式について説明できる。 2. コンポジットレジンの歯質接着システムについて説明できる。 3. コントラクションギャップについて説明できる。 4. 重合収縮応力の緩和方法について説明できる。 5. 従来型とレジン添加型ガラスアイオノマーセメントの特徴について説明できる。 【準備学習項目】	平山 聡司

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/07/08 (火) 2時限 10:40～12:10	保存修復講義④ ーコンポジットレジン修復とグラスアイオノマーセメント修復ー	コンポジットレジン修復の特徴について説明できる。 コンポジットレジンの種類と組成について説明できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 イ 永久歯の直接修復法 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅺ 歯科材料と歯科医療機器 13 歯科接着技術・機器 ア エナメル質被着面処理 イ 象牙質被着面処理 ウ セラミックス被着面処理 エ 金属被着面処理 14 合着・接着・仮着用材料 ア レジンセメント、接着性モノマー イ グラスアイオノマーセメント 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *⑥う蝕およびその他の硬組織疾患に対する歯冠修復の臨床的意義を説明できる。 *⑦修復材料と修復法の適応を説明できる。 *④MI (Minimal Intervention)に基づく歯科治療の意義、臨床的対応を説明できる。 *⑩窩洞形成の意義と方法を説明できる。	平山 聡司
2014/07/15 (火) 2時限 10:40～12:10	保存修復講義⑤ ー間接修復法ー	【授業の一般目標】 歯の硬組織欠損に対する適切な処置が行えるようになるために、間接修復法の特徴と臨床術式について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. セラミックインレー法の特徴について説明できる。 2. セラミックインレー法の術式について説明できる。 3. メタルインレー法の特徴について説明できる。 4. メタルインレー法の術式について説明できる。 【準備学習項目】 メタルインレー法の適応症について説明できる。 メタルインレー窩洞の特徴について説明できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 ウ 永久歯の間接修復法 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 エ 窩洞形成法 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *⑦修復材料と修復法の適応を説明できる。 *⑩窩洞形成の意義と方法を説明できる。	平山 聡司
2014/07/15 (火) 3時限 13:00～14:30	保存修復実習 ー 保存修復処置の基本的術式①ー	【授業の一般目標】 適切な齶蝕象牙質の除去が行えるようになるために、除去すべき齶蝕象牙質の検知と齶蝕除去に使用する切削器具の使用法および術式について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 齶蝕象牙質の外層と内層について説明できる。 2. 齶蝕検知液による齶蝕象牙質の染め分け意義について説明できる。 3. 齶蝕象牙質の除去に使用する切削器具を列挙できる。 4. 齶蝕象牙質の除去に使用する切削器具が適切に使用できる。 【準備学習項目】 齶蝕象牙質の病理学的層分けについてそれぞれの意義について説明できる。 【学習方略 (LS)】 実習	平山 聡司 鈴木 英明 神谷 直孝 岡田 珠美 中島 光 森 俊幸 岩井 啓寿 壹岐 宏二 関根 哲子 岡野 智一 大塚 聖

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/07/15 (火) 3時限 13:00～14:30	保存修復実習 ー 保存修復処置の基 本的術式①ー	<p>【場所（教室/実習室）】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 成人の歯の硬組織疾患 ア 齶蝕</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *⑥う蝕およびその他の硬組織疾患に対する歯冠修復の臨床的意義を説明できる。 ⑩う蝕およびその他の硬組織疾患の簡単な修復処置を行うことができる。 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-1) 保存修復実習 ①形成部位に応じて適切なう蝕除去用のバーの選択ができる。 ②適切なハンドピース操作ができる。</p>	平山 聡司 鈴木 英明 神谷 直孝 岡田 孝美 中島 光 森 俊 啓 岩井 幸 寿 壹岐 宏 二 関根 哲 子 岡野 智 子 大塚 聖 一
2014/07/15 (火) 4時限 14:40～16:10	保存修復実習 ー 保存修復処置の基 本的術式②ー	<p>【授業の一般目標】 硬組織欠損に対する適切な修復処置が行えるようになるために、マトリックスリテーナーによる隔壁の設置と接着システムの使用手順、単純窩洞のレジン充填に使用する器具の使用法および術式について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. タップルマイヤー型マトリックスリテーナーによる隔壁の設置ができる。 2. コンポジットレジン修復の臨床術式を説明できる。 3. 液性セルフエッチングプライマーによる歯面処理が行える。 4. 単純窩洞に対するコンポジットレジン充填ができる。</p> <p>【準備学習項目】 修復前準備の目的について説明できる。 コンポジットレジン修復の特徴について説明できる。 セルフエッチングプライマーの成分について説明できる。 セルフエッチングプライマーの効果について説明できる。</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 イ 永久歯の直接修復法</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-2 成形法と成形用材料 *①修復材料と修復法の種類と特徴を説明できる。 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *⑧修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。 ⑩う蝕およびその他の硬組織疾患の簡単な修復処置を行うことができる。 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-1) 保存修復実習 ④コンポジットレジン充填・研磨が適切にできる。</p>	平山 聡司 鈴木 英明 神谷 直孝 岡田 孝美 中島 光 森 俊 啓 岩井 幸 寿 壹岐 宏 二 関根 哲 子 岡野 智 子 大塚 聖 一
2014/07/22 (火) 2時限 10:40～12:10	保存修復講義⑥ ー変色歯、破折歯 および象牙質知覚 過敏に対する処置 ー	<p>【授業の一般目標】 変色歯、破折歯および象牙質知覚過敏に対する適切な処置が行えるようになるために、その原因と診断および臨床術式について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 生活歯の漂白法の種類とその特徴について説明できる。 2. 生活歯漂白の術式を説明できる。 3. 歯の破折の診断とその処置法について説明できる。 4. 象牙質知覚過敏症の治療方法を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 変色歯の原因について説明できる。 歯の破折の検査法について説明できる。 象牙質知覚過敏症の特徴について説明できる。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 成人の歯の硬組織疾患 オ 歯の変色・着色</p> <p>【国家試験出題基準（副）】</p>	平山 聡司

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/07/22 (火) 2時限 10:40~12:10	保存修復講義⑥ —変色歯、破折歯 および象牙質知覚 過敏に対する処置 —	歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 成人の歯の硬組織疾患 カ 歯の亀裂・破折、脱臼 3 歯の硬組織疾患の治療 オ 象牙質・歯髄保護法 キ 歯の漂白 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *⑤生活歯の変色の原因、種類および処置を説明できる。 E-3-3) - (4) 象牙質知覚過敏症の診断と治療 ②象牙質知覚過敏症を適切に処置できる。	平山 聡司
2014/09/09 (火) 2時限 10:40~12:10	歯科保存学-2まとめ試験(保存修復学)	【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 302教室	平山 聡司

歯内療法学

年次	学期	学習ユニット責任者
4年次	前学期	松島 潔 (歯内療法学)

学習ユニット 学習目標 (GIO)	歯の痛みや腫れを伴い、患者にとって非常に辛い疾患を適応とする分野であるため、適切な診断と処置を要求される。迅速に、的確に診断し、処置を行えるようになるために、歯内療法の知識、技能を習得する。4年次では、次年度の充実した臨床実習に向け、知識や問題解決について理解することを目的とする。
担当教員	松島 潔、辻本 恭久、川島 正、岡部 達、神尾 直人、吉田 陽子、諸橋 利朗、※相浦 誠一郎、※上田 幾大、※大林 英美、※喜多詔 規雄、※五味 博之、※斎藤 一央、※酒井 きよ美、※塩沢 督、※高瀬 俊彦、※高橋 知多香、※田中 みどり、※塚田 典功、※寺澤 秀朗、※富田 敬、※中嶋 真樹、※長島 潔、※中沼 邦欣、※細谷 史規、※三浦 孝司、※村上 芳弘、※本木 平和、※山浦 賀弘、馬場 俊晃、染谷 ひとみ
教科書	エンドドンティクス 第3版 編集主幹 須田英明、中村洋 編集 恵比寿繁之、興地隆史、勝海一郎、齋藤隆史、中川寛一、中村幸生、林善彦 医歯薬出版 歯内療法マニュアル (Endodontics Manual) 松島潔 辻本恭久 他 歯内療法学講座
参考図書	歯内治療学 第4版 中村洋、須田英明、勝海一郎、興地隆史 医歯薬出版
実習器材	顎模型、人工歯、根管充填用器具、根管充填用器具、ラバーダム防湿用器具 (器具等は、常に清潔にしておくように。)
評価方法 (EV)	平常試験①、②による評価 (保存学-2の1/3の評価分)
学生への メッセージ オフィスアワー	歯科保存学は歯科臨床の基礎であり、日常臨床では高頻度で行われている処置である。適切な診断、処置が行えるようになるために、基礎医学から臨床まで系統だった知識の整理が必要です。試験間際のみでの学習ではなく、日頃から授業終了後のまとめを欠かさずしておくことが不可欠です。 実習では、臨床の場を想定して主にマネキン実習を行う。したがって、頭髪、爪、服装など歯科医療人として清潔な身だしなみを常に心がけて実習に臨むこと。 講義、実習で、不明なところはそのままにせず積極的に質問すること。 また、e-mail 松島 : matsushima.kiyoshi@nihon-u.ac.jp による質問を受け付ける。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/01 (火) 2時限 10:40~12:10	歯内講義①：患者の主訴と検査法から診断を導く	<p>【授業の一般目標】 歯髄炎・根尖歯周疾患を適切に診断できるために、患者の主訴から適切な検査法を選択および診断を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ①患者の訴えを説明できる。 2. ②患者の主訴から、適切な検査法を説明できる。 3. ③患者の主訴および検査結果から診断名を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯髄炎・根尖性歯周炎の症状を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 黒板、スライド、プリント</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論IX 検査 1 口腔内検査・口腔機能検査 イ 歯髄検査</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論VII 主要症候 2 歯・口腔・顎・顔面の症候 ア 歯、歯髄・根尖歯周組織 総論IX 検査 1 口腔内検査・口腔機能検査 ア 歯の硬組織の検査 ウ 根尖歯周組織検査 歯科医学各論 各論III 歯・歯髄・歯周組織の疾患 5 成人の歯髄・根尖性歯周組織疾患 イ 歯髄疾患 ウ 根尖性歯周組織疾患 エ 歯内歯周疾患</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 *③歯髄・根尖歯周組織疾患の病因と病態を説明できる。</p>	岡部 達

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/01 (火) 2時限 10:40～12:10	歯内講義①：患者の主訴と検査法から診断を導く	E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】	岡部 達
2014/04/08 (火) 2時限 10:40～12:10	歯内講義②：処置の選択	【授業の一般目標】 診断から、適切な処置を選択できるようになるために、処置の目的を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 歯内療法 of 適切な処置法を選択できる。 【準備学習項目】 歯髄炎・根尖性歯周炎の症状を説明できる。 【学習場所・媒体等】 黒板, スライド, プリント 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 5 成人の歯髄・根尖性歯周組織疾患 イ 歯髄疾患 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 5 成人の歯髄・根尖性歯周組織疾患 ウ 根尖性歯周組織疾患 エ 歯内-歯周疾患 オ 歯の外傷 カ 内部吸収、歯根外部吸収 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】 *③歯髄・根尖歯周組織疾患の急性症状の診断と処置方法を説明できる。 *⑤歯髄・根尖歯周組織疾患の治療後の治癒機転と予後を説明できる。 *⑦失活歯の変色の原因、種類および処置を説明できる。 *⑧歯根吸収の原因、症状、診断および処置を説明できる。	松島 潔
2014/04/15 (火) 2時限 10:40～12:10	歯内平常試験①：歯内講義①、②の範囲	【授業の一般目標】 患者の訴えから、適切な処置方針が立てられるようになるために、歯内講義①、②の範囲を習得する。 【準備学習項目】 歯内講義①、②の範囲 【学習場所・媒体等】 MCQタイプの試験 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室	松島 潔
2014/06/10 (火) 3時限 13:00～14:30	歯内講義③：エックス線検査	【授業の一般目標】 歯内療法 of 適切な診断ができるようになるために、エックス線写真像の読み取りを習得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. ①歯周囲の構造物とエックス線像の関係を説明できる。 2. ②正常像と異常増の違いを説明できる。 3. ③口内法で頬古的位置関係の読影を説明できる。 【準備学習項目】 歯髄・根尖歯周組織疾患の成り立ちを説明できる。 【学習場所・媒体等】 黒板, スライド, プリント 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅸ 検査 2 画像検査 ケ 口内法エックス線検査 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論	松島 潔

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/10 (火) 3時限 13:00~14:30	歯内講義③: エックス線検査	<p>総論IX 検査 2 画像検査 コ パノラマエックス線検査 歯科医学各論 各論III 歯・歯髄・歯周組織の疾患 5 成人の歯髄・根尖性歯周組織疾患 イ 歯髄疾患 ウ 根尖性歯周組織疾患</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査 *⑦口内法エックス線撮影とパノラマエックス線撮影を行い、読影できる。 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *②歯種別の形態と特徴を説明できる。 *③歯(乳歯、幼若永久歯を含む)の硬組織の構造と機能を説明できる。【構成成分とその特徴を含む。】 *④歯髄の構造と機能を説明できる。 *⑤歯周組織の発生、構造および機能を説明できる。</p>	松島 潔
2014/06/10 (火) 4時限 14:40~16:10	歯内講義④: 歯内歯周疾患	<p>【授業の一般目標】 歯内療法の診断を適切にできるようになるために、市内歯周疾患を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ①歯内一歯周疾患を説明できる。 2. ②歯内一歯周疾患の分類を述べられる。 3. ③歯内一歯周疾患の成り立ちを述べられる。</p> <p>【準備学習項目】 歯内療法のエックス線検査を説明できる。 根尖性歯周炎の成り立ちを説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 黒板, スライド, プリント</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論III 歯・歯髄・歯周組織の疾患 5 成人の歯髄・根尖性歯周組織疾患 エ 歯内一歯周疾患</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 *③歯髄・根尖歯周組織疾患の病因と病態を説明できる。 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】</p>	松島 潔
2014/06/17 (火) 3時限 13:00~14:30	歯内講義⑤: 再根管治療	<p>【授業の一般目標】 再根管治療を行うにあたり適切に診断、処置ができるようになるために、混戦制し終焉の再発およびその処置を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ①再根管治療に至る原因を説明できる。 2. ②再根管治療の適応を説明できる。 3. ③再根管治療の問題点を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 根管治療の治癒を説明できる。 根尖性歯周炎の原因を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 黒板, スライド, プリント</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論III 歯・歯髄・歯周組織の疾患 5 成人の歯髄・根尖性歯周組織疾患 ウ 根尖性歯周組織疾患</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 *③歯髄・根尖歯周組織疾患の病因と病態を説明できる。 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】</p>	松島 潔

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/17 (火) 3時限 13:00~14:30	歯内講義⑤:再根管治療		松島 潔
2014/06/17 (火) 4時限 14:40~16:10	歯内講義⑥:歯根吸収	<p>【授業の一般目標】 歯内療法の適切な診断、処置ができるようになるために、歯根吸収の原因、診断、処置を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ①歯根吸収の原因を述べられる。 2. ②歯根吸収のメカニズムを述べられる。 3. ③歯根吸収の対応を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 骨のリモデリングを説明できる。 破骨細胞の機能を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 黒板、スライド、プリント</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 5 成人の歯髄・根尖性歯周組織疾患 カ 内部吸収、歯根外部吸収</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 *③歯髄・根尖歯周組織疾患の病因と病態を説明できる。 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖歯周組織疾患の診断と治療 *⑧歯根吸収の原因、症状、診断および処置を説明できる。</p>	松島 潔
2014/06/24 (火) 3時限 13:00~14:30	歯内講義⑦:根尖未成歯の歯内療法	<p>【授業の一般目標】 歯根未成歯に対して適切な歯内療法ができるようになるために、アペキシフィケーション、アペキソゲネーシスについて修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ①根尖未成歯の歯髄炎の処置を説明できる。 2. ②根尖未成歯の根尖性歯周炎の処置を説明できる。 3. ③アペキソゲネーシスの治癒機転を説明できる。 4. ④アペキシフィケーションの治癒機転を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 根尖未成歯を説明できる。 歯髄の機能を説明できる。 セメント質、歯根膜の機能を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 黒板、スライド、プリント</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 キ 根未成歯の治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *④歯髄の構造と機能を説明できる。 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 *③歯髄・根尖歯周組織疾患の病因と病態を説明できる。 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】</p>	松島 潔
2014/06/24 (火) 4時限 14:40~16:10	歯内講義⑦:根尖未成歯の歯内療法	<p>【授業の一般目標】 歯根未成歯に対して適切な歯内療法ができるようになるために、アペキシフィケーション、アペキソゲネーシスについて修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ①根尖未成歯の歯髄炎の処置を説明できる。 2. ②根尖未成歯の根尖性歯周炎の処置を説明できる。 3. ③アペキソゲネーシスの治癒機転を説明できる。 4. ④アペキシフィケーションの治癒機転を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 根尖未成歯を説明できる。</p>	松島 潔

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/24 (火) 4時限 14:40～16:10	歯内講義⑦：根尖未完成歯の歯内療法	<p>歯髓の機能を説明できる。 セメント質、歯根膜の機能を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 黒板、スライド、プリント</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髓・歯周組織の疾患 6 歯髓・根尖性歯周組織疾患の治療 キ 根未完成歯の治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *④歯髓の構造と機能を説明できる。 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 *③歯髓・根尖歯周組織疾患の病因と病態を説明できる。 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(2) 歯髓・根尖歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髓・根尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】</p>	松島 潔
2014/07/01 (火) 3時限 13:00～14:30	歯内講義⑧：歯内療法の診療の流れ	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、基本的な歯内療法の術式、器具操作を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1.①歯内療法の処置の選択を説明できる。 2.②歯内療法の処置方針を説明できる。 3.③歯内療法の無菌処置を説明できる。 4.④歯内療法の術式を説明できる。 5.⑤予後の評価を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯内療法の基本的な術式および器具操作を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 黒板、スライド、プリント</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髓・歯周組織の疾患 6 歯髓・根尖性歯周組織疾患の治療 イ 歯髓保存療法</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髓・歯周組織の疾患 6 歯髓・根尖性歯周組織疾患の治療 ア 象牙質知覚過敏症の治療 ウ 歯髓除去療法 エ 根尖性歯周組織疾患の治療 オ 根管処置、感染根管治療法 カ 根管充填</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(2) 歯髓・根尖歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髓・根尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】 *②根管充填の目的、時期および方法を説明できる。 *③歯髓・根尖歯周組織疾患の急性症状の診断と処置方法を説明できる。 *④歯髓・根尖歯周組織疾患の治療時における合併症（偶発症）について、種類、処置および予防を説明できる。 *⑤歯髓・根尖歯周組織疾患の治療後の治癒機転と予後を説明できる。 *⑥歯内外科手術の種類と適応症を説明できる。</p>	松島 潔 神尾 直人
2014/07/01 (火) 4時限 14:40～16:10	歯内講義⑨：歯内療法と基礎医学の関わり	<p>【授業の一般目標】 適切な診断、処置ができるようになるために、歯内療法にかかわる基礎医学を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1.①歯内疾患の原因を説明できる。 2.②歯髓炎、根尖歯周疾患の病理を説明できる。 3.③歯髓炎、根尖歯周疾患の組織内変化を説明できる。 4.④歯髓炎、根尖歯周疾患の痛みの伝達を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯内疾患の原因となる微生物を説明できる。 炎症における病理変化を説明できる。</p>	松島 潔

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/07/01 (火) 4時限 14:40～16:10	歯内講義⑨：歯内療法と基礎医学の関わり	<p>炎症における生化学的変化を説明できる。 痛みの伝達を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 黒板、スライド、プリント</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅵ 病因、病態 5 炎症 イ 炎症の原因</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅵ 病因、病態 8 疼痛 ア 侵害受容性疼痛 エ 口腔・顔面領域の疼痛 総論Ⅶ 主要症候 2 歯・口腔・顎・顔面の症候 ア 歯、歯髄・根尖歯周組織</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-2) 免疫 *①自然免疫と獲得免疫について説明できる。 C-4 病因と病態 C-4-4) 炎症 *②炎症に関与する細胞の種類と機能を説明できる。 *③滲出性炎の種類と病理組織学的特徴および経時的変化を説明できる。 *④肉芽腫性炎の種類と病理組織学的特徴および経時的変化を説明できる。 C-4-6) 疼痛 *①疼痛の種類を説明できる。【関連痛を含む】 *②疼痛の発生機序を説明できる。</p>	松島 潔
2014/07/08 (火) 3時限 13:00～14:30	歯内平常試験②：歯内講義③～⑨の範囲	<p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p>	松島 潔
2014/07/08 (火) 4時限 14:40～16:10	歯内平常試験②：歯内講義③～⑨の範囲	<p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p>	松島 潔
2014/07/22 (火) 3時限 13:00～14:30	歯内実習：歯内療法の治療の流れ	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯内療法の無菌操作、安全に行う基本的術式を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ①歯内療法の無菌処置ができる。 2. ②術前の検査ができる。 3. ③ラバーダム防湿の装着ができる。 4. ④根管拡大操作ができる。 5. ⑤安全な根管洗浄ができる。 6. ⑥ペーパーポイントを用いた根管乾燥ができる。 7. ⑦適切なマスターポイント試適でできる。</p> <p>【準備学習項目】 歯内療法の無菌処置ができる。 歯内療法の基本的な術式および器具操作ができる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 マネキン、歯内療法で用いる器具</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 オ 根管処置、感染根管治療法</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 ウ 歯髄除去療法 カ 根管充填 セ 歯髄・根管処置における偶発症と安全対策</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	<p>松島 潔 辻本 恭久 川島 正 岡部 達 神尾 直人 吉田 陽子 馬場 俊晃 諸橋 利朗 染谷 ひとみ 相浦 誠一郎 上田 幾大 大林 英美 喜多 諒 規雄 五味 博之 齋藤 一央 酒井 きよ美 塩 督 高瀬 俊彦 高橋 知多 田中 みどり 塚田 典功 寺澤 秀朗 富田 敬 中嶋 真樹 長島 潔 中沼 邦史 細谷 規 三浦 孝司 村上 芳弘 本木 平和 山浦 賀弘</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/07/22 (火) 3時限 13:00~14:30	歯内実習：歯内療法の治療の流れ	E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖歯周組織疾患の診断と治療 ⑨歯髄・根尖歯周組織疾患の簡単な症例を処置できる。	松島 潔 辻本 恭久 川島 正 岡部 達 神尾 直人 吉田 陽子 馬場 俊晃 諸橋 利朗 染谷 ひとみ 相浦 誠一郎 上田 幾大 大林 英美 喜多 規雄 五味 博之 斎藤 央 酒井 美 塩沢 美 高瀬 俊彦 高橋 知多 田中 功 塚田 典功 寺澤 秀朗 富田 敬 中嶋 真樹 長島 潔 中沼 邦 細谷 史規 三浦 孝 村上 芳弘 本木 平和 山浦 賀弘
2014/07/22 (火) 4時限 14:40~16:10	歯内実習：歯内療法の治療の流れ	【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯内療法の無菌操作、安全に行う基本的術式を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. ①歯内療法の無菌処置ができる。 2. ②術前の検査ができる。 3. ③ラバーダム防湿の装着ができる。 4. ④根管拡大操作ができる。 5. ⑤安全な根管洗浄ができる。 6. ⑥ペーパーポイントを用いた根管乾燥ができる。 7. ⑦適切なマスターポイント試適ができる。 【準備学習項目】 歯内療法の無菌処置ができる。 歯内療法の基本的な術式および器具操作ができる。 【学習場所・媒体等】 マネキン、歯内療法で用いる器具 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 オ 根管処置、感染根管治療法 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 ウ 歯髄除去療法 カ 根管充填 セ 歯髄・根管処置における偶発症と安全対策 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖歯周組織疾患の診断と治療 ⑨歯髄・根尖歯周組織疾患の簡単な症例を処置できる。	松島 潔 辻本 恭久 川島 正 岡部 達 神尾 直人 吉田 陽子 馬場 俊晃 諸橋 利朗 染谷 ひとみ 相浦 誠一郎 上田 幾大 大林 英美 喜多 規雄 五味 博之 斎藤 央 酒井 美 塩沢 美 高瀬 俊彦 高橋 知多 田中 功 塚田 典功 寺澤 秀朗 富田 敬 中嶋 真樹 長島 潔 中沼 邦 細谷 史規 三浦 孝 村上 芳弘 本木 平和 山浦 賀弘
2014/09/09 (火) 3時限 13:00~14:30	歯科保存学-2まとめ試験 (歯内療法) : 歯内療法学の全般にわたる範囲	【学習場所・媒体等】 MCQタイプ試験 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室	松島 潔

歯科補綴学2

年次	学期	学則科目責任者
4年次	前学期	河相 安彦 (有床義歯補綴学)

学習目標 (G I O)	適切な咬合・咀嚼障害の診断と機能回復を目的とした治療計画の立案および処置が行えるために必要な補綴学に関する知識・技能および態度を修得する。
評価方法 (E V)	平常試験 (平常試験①～②の平均：50%)、および実習 (5回の実習評価：50%) の合計。講義・実習それぞれ1/5以上欠席した場合、評価点は0-60点とする。また、講義・実習いずれかが合格点に達しない場合、評価点は60点未満とする。なお、平常試験の再試験は行わない。

クラウンブリッジ補綴学

年次	学期	学習ユニット責任者
4年次	前学期	會田 雅啓 (クラウンブリッジ補綴学)

学習ユニット 学習目標 (G I O)	学則科目 (歯科補綴学2) の学習目標に準ずる。
担当教員	會田 雅啓、小林 平、若見 昌信、大村 祐史、田中 孝明、後藤 治彦、青木 直子、内堀 聡史、※増田 美樹子、※渡辺 官
教科書	クラウンブリッジ補綴学 第4版 石橋寛二ほか 医歯薬出版 クラウンブリッジ補綴学実習指針 クラウンブリッジ補綴学講座 クラウンブリッジ補綴学講座
参考図書	クラウンブリッジテクニック 石橋寛二ほか 医歯薬出版 続最新歯科補綴アトラス 三谷春保ほか 医歯薬出版 歯科補綴学専門用語集 第3版 (社法) 日本補綴歯科学会編 医歯薬出版 スタンダード歯科理工学 第4版 鈴木一臣ほか 学建書院
実習器材	保証人宛に通知済み
評価方法 (E V)	学則科目 (歯科補綴学2) の評価方法に準ずる。
学生への メッセージ オフィスアワー	<p>【クラウンブリッジ補綴学講義】 歯冠架工義歯補綴は臨床で最も多く行われる治療の1つである。講義内容も非常に多いので復習を十分に行うこと。また、不明な点があれば必ず質問し、疑問をもったまま次回の講義に臨まないように心がけて欲しい。ブリッジの製作法を通じて、適合の良いブリッジを製作するための理論を学び、さらに生体に調和した補綴物とはいかなるものであるかを習得する。これらを習得するためには口腔内のみならず、口腔周囲組織の生理学的および解剖学的知識ならびに歯科用材料の諸性質を理解する必要がある。</p> <p>【クラウンブリッジ補綴学実習】 講義を基に、歯冠架工義歯補綴学の実習を通して歯科材料の基礎理論を背景とした材料の応用、正しいインスツルメントの取り扱い方法および臨床に活用できる技術を習得することを目標に段階的に実習を行う。ブリッジの作製過程および手技を学習し、臨床に活用可能な製作物を作製できる能力を養う。実習で身につけた技術は、歯科医として将来必ず役立つものであるため、進んで学習し実習を行うこと。</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/04 (金) 2時限 10:40～12:10	ブリッジ補綴学の定義 ブリッジの診療の流れ ブリッジの種類と特徴	<p>【授業の一般目標】 ブリッジの診断から装着までの診療の流れについて理解する。 ブリッジの臨床的意義と重要性について理解する。 ブリッジの種類と特徴を理解する。 ブリッジの適応症を理解する。 ブリッジの支台装置の種類と特徴を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ブリッジの診断から装着までの診療の流れを述べることができる。 2. ブリッジの臨床的意義と重要性について説明できる。 3. ブリッジの種類と特徴を述べることができる。 4. ブリッジの適応症を述べることができる。 5. ブリッジの支台装置の種類と特徴を述べることができる。</p> <p>【準備学習項目】 ブリッジの診査・診断から装着までに過程を学ぶ。 ブリッジの種類と特徴、適応症について学ぶ。</p> <p>【学習場所・媒体等】 マルチメディア</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p>	會田 雅啓

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/04 (金) 2時限 10:40～12:10	ブリッジ補綴学の定義 ブリッジの診療の流れ ブリッジの種類と特徴	<p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ア 歯冠補綴装置の選択</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 イ ブリッジの設計</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *①クラウンブリッジの意義と具備条件を説明できる。 *②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製法を説明できる。【ポイントの選択を含む。】</p>	會田 雅啓
2014/04/04 (金) 3時限 13:00～14:30	個人トレーの製作	<p>【授業の一般目標】 個人トレーの目的を理解し、正確に製作する技術を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 目的に適応した個人トレーを製作することができる。</p> <p>【準備学習項目】 個人トレーの目的について学ぶ。 目的に適応した個人トレーの製作手順を学ぶ。</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 カ 印象採得</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *⑨クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 増田 美樹子 渡辺 官
2014/04/04 (金) 4時限 14:40～16:10	個人トレーの製作	<p>【授業の一般目標】 個人トレーの目的を理解し、正確に製作する技術を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 目的に適応した個人トレーを製作することができる。</p> <p>【準備学習項目】 個人トレーの目的について学ぶ。 目的に適応した個人トレーの製作手順を学ぶ。</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 カ 印象採得</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *⑩クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 増田 美樹子 渡辺 官
2014/04/11 (金) 2時限 10:40～12:10	ブリッジの支台歯形成	<p>【授業の一般目標】 有髄歯の特徴を理解する。 歯質の切削器具の特徴を述べることができる。 歯科麻酔の特徴、麻酔操作における注意点を理解する。 歯肉圧排の目的と方法について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 有髄歯の特徴を述べることができる。 2. 歯質の切削器具の特徴を述べることができる。</p>	若見 昌信

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/11 (金) 2時限 10:40～12:10	ブリッジの支台歯形成	<p>3. 歯科麻酔の特徴、麻酔操作における注意点を述べるができる。 4. 歯肉圧排の目的と方法について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 ブリッジの支台歯形成において必要な麻酔の知識と有髄歯支台歯形成の手順について学ぶ。</p> <p>【学習場所・媒体等】 マルチメディア</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ウ 支台歯形成</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ア 歯冠補綴装置の選択</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *④支台歯形成の意義と方法を説明できる。</p>	若見 昌信
2014/04/11 (金) 3時限 13:00～14:30	ブリッジの支台歯形成	<p>【授業の一般目標】 小臼歯全部金属冠の支台歯形態を理解する。 ブリッジ支台歯形成時の平行測定の必要性と方法について理解する。 大臼歯全部金属冠の支台歯形態を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 小臼歯全部金属冠の支台歯形態を図示し、歯質の削除ができる。 2. 大臼歯全部金属冠の支台歯形態を図示し、歯質の削除ができる。 3. ブリッジ支台歯形成時の平行測定ができる。</p> <p>【準備学習項目】 各種支台装置の支台歯形態について学ぶ 平行測定の方法について学ぶ。</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ウ 支台歯形成</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ア 歯冠補綴装置の選択</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *④支台歯形成の意義と方法を説明できる。 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-1) クラウンブリッジ実習 ②形成部位に応じて適切な支台歯形成用のパアの選択ができる。 ③適切なハンドピース操作ができる。 ⑤歯髄保護に配慮できる。</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 増田 美樹子 渡辺 官
2014/04/11 (金) 4時限 14:40～16:10	ブリッジの支台歯形成	<p>【授業の一般目標】 小臼歯全部金属冠の支台歯形態を理解する。 ブリッジ支台歯形成時の平行測定の必要性と方法について理解する。 大臼歯全部金属冠の支台歯形態を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 小臼歯全部金属冠の支台歯形態を図示し、歯質の削除ができる。 2. 大臼歯全部金属冠の支台歯形態を図示し、歯質の削除ができる。 3. ブリッジ支台歯形成時の平行測定ができる。</p> <p>【準備学習項目】 各種支台装置の支台歯形態について学ぶ</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 増田 美樹子 渡辺 官

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/11 (金) 4時限 14:40～16:10	ブリッジの支台歯形成	<p>平行測定の方法について学ぶ。</p> <p>【学習方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ウ 支台歯形成</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ア 歯冠補綴装置の選択</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *④支台歯形成の意義と方法を説明できる。 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-1) クラウンブリッジ実習 ②形成部位に応じて適切な支台歯形成用のバーの選択ができる。 ③適切なハンドピース操作ができる。 ⑤歯髄保護に配慮できる。</p>	<p>會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 増田 美樹子 渡辺 官</p>
2014/04/18 (金) 2時限 10:40～12:10	プロビジョナルレストレーション	<p>【授業の一般目標】 プロビジョナルレストレーションの目的について理解する。 プロビジョナルレストレーションの要件について理解する。 プロビジョナルレストレーションの製作法、使用器具について述べるができる。 仮着用セメントの種類と特徴について述べるができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. プロビジョナルレストレーションの目的について述べるができる。 2. プロビジョナルレストレーションの要件について述べることができる。 3. プロビジョナルレストレーションの製作法、使用器具について述べることができる。 4. 仮着用セメントの種類と特徴について述べることができる。</p> <p>【準備学習項目】 プロビジョナルレストレーションの目的、製作法、要件、使用器具について学ぶ。 ポンティックの基底面形態について学ぶ。</p> <p>【学習場所・媒体等】 マルチメディア</p> <p>【学習方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 オ プロビジョナルレストレーション</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *⑤暫間補綴装置の意義とその製作法を説明できる。</p>	<p>増田 美樹子</p>
2014/04/18 (金) 3時限 13:00～14:30	プロビジョナルレストレーションの製作	<p>【授業の一般目標】 プロビジョナルレストレーションの製作に必要な材料、器具およびそれらの使用法を習得する。 歯種に適したプロビジョナルレストレーションの製作ができる。 ポンティックの基底面形態を正確に付与できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. プロビジョナルレストレーションの製作に必要な材料、器具およびそれらの使用法を習得する。 2. 歯種に適したプロビジョナルレストレーションの製作ができる。 3. ポンティックの基底面形態を正確に付与できる。</p> <p>【準備学習項目】 プロビジョナルレストレーションの製作に必要な材料、器具およびそれらの使用法を学ぶ。 歯種に適したプロビジョナルレストレーションの製作するための歯の解剖学について復習する。 ポンティックの基底面形態について学ぶ。</p>	<p>會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 増田 美樹子 渡辺 官</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/18 (金) 3時限 13:00~14:30	プロビジョナルレストレーションの製作	<p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 オ プロビジョナルレストレーション</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *⑤暫間補綴装置の意義とその製作法を説明できる。 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-1) クラウンブリッジ実習 ⑧テンポラリークラウン (ブリッジ) を作製し、支台歯に適切に仮着できる。</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 増田 美樹 渡辺 子官
2014/04/18 (金) 4時限 14:40~16:10	プロビジョナルレストレーションの製作	<p>【授業の一般目標】 プロビジョナルレストレーションの製作に必要な材料、器具およびそれらの使用法を習得する。 歯種に適したプロビジョナルレストレーションの製作ができる。 ポンティックの基底面形態を正確に付与できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. プロビジョナルレストレーションの製作に必要な材料、器具およびそれらの使用法を習得する。 2. 歯種に適したプロビジョナルレストレーションの製作ができる。 3. ポンティックの基底面形態を正確に付与できる。</p> <p>【準備学習項目】 プロビジョナルレストレーションの製作に必要な材料、器具およびそれらの使用法を学ぶ。 歯種に適したプロビジョナルレストレーションの製作するための歯の解剖学について復習する。 ポンティックの基底面形態について学ぶ。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 オ プロビジョナルレストレーション</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *⑤暫間補綴装置の意義とその製作法を説明できる。 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-1) クラウンブリッジ実習 ⑧テンポラリークラウン (ブリッジ) を作製し、支台歯に適切に仮着できる。</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 増田 美樹 渡辺 子官
2014/04/25 (金) 2時限 10:40~12:10	ブリッジの印象採得	<p>【授業の一般目標】 印象採得の目的について理解する。 印象材の種類、分類について理解する。 正確な印象採得に必要な器具、方法について理解する。 歯肉圧排の目的、方法について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 印象採得の目的について述べることができる。 2. 印象材の種類、分類について述べることができる。 3. 正確な印象採得に必要な器具、方法について述べることができる。 4. 歯肉圧排の目的、方法について述べることができる。</p> <p>【準備学習項目】 精密印象材の種類、分類、特徴、印象採得の方法について学ぶ。</p> <p>【学習場所・媒体等】 マルチメディア</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 マ 歯科材料 b 印象材</p>	大村 祐史

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/25 (金) 2時限 10:40~12:10	ブリッジの印象採得	<p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 カ 印象採得</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *⑨クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-1) クラウンブリッジ実習 ⑦印象採得を適切に行うことができる。</p>	大村 祐史
2014/04/25 (金) 3時限 13:00~14:30	ブリッジの印象採得	<p>【授業の一般目標】</p> <p>印象材の練和ができる。 個人トレーを用いた精密印象採得法を行うことができる。 精密印象採得に必要な器具, 方法について説明できる。 歯肉圧排の目的, 方法について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>1. 印象材の練和ができる。 2. 個人トレーを用いた精密印象採得の操作ができる。 3. 精密印象採得に必要な器具を正確に使用し, 精密印象採得ができる。 4. 歯肉圧排ができる。</p> <p>【準備学習項目】</p> <p>精密印象材の種類, 分類, 特徴, 印象採得の方法について学ぶ。</p> <p>【学習方略 (LS)】</p> <p>実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>必修の基本的事項 1 5 治療の基礎・基本手技 マ 歯科材料 b 印象材</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 カ 印象採得</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *⑨クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-1) クラウンブリッジ実習 ⑦印象採得を適切に行うことができる。</p>	會田 雅啓 小林 平 小見 昌信 若林 祐史 大村 孝明 田中 治彦 後藤 直子 青木 聡史 内堀 美樹子 堀田 樹子 渡辺 官
2014/04/25 (金) 4時限 14:40~16:10	ブリッジの印象採得	<p>【授業の一般目標】</p> <p>印象材の練和ができる。 個人トレーを用いた精密印象採得法を行うことができる。 精密印象採得に必要な器具, 方法について説明できる。 歯肉圧排の目的, 方法について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>1. 印象材の練和ができる。 2. 個人トレーを用いた精密印象採得の操作ができる。 3. 精密印象採得に必要な器具を正確に使用し, 精密印象採得ができる。 4. 歯肉圧排ができる。</p> <p>【準備学習項目】</p> <p>精密印象材の種類, 分類, 特徴, 印象採得の方法について学ぶ。</p> <p>【学習方略 (LS)】</p> <p>実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>必修の基本的事項 1 5 治療の基礎・基本手技 マ 歯科材料 b 印象材</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障</p>	會田 雅啓 小林 平 小見 昌信 若林 祐史 大村 孝明 田中 治彦 後藤 直子 青木 聡史 内堀 美樹子 堀田 樹子 渡辺 官

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/25 (金) 4時限 14:40～16:10	ブリッジの印象採得	害 4 クラウンブリッジによる治療 カ 印象採得 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *⑨クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-1) クラウンブリッジ実習 ⑦印象採得を適切に行うことができる。	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 増田 美樹子 渡辺 官
2014/05/09 (金) 2時限 10:40～12:10	ブリッジの咬合採得	【授業の一般目標】 咬合採得に用いる材料と特徴、方法について理解する。 少数歯欠損の場合の咬合採得法について理解する。 多数歯欠損の場合の咬合採得法について理解する。 フェイスボウトランスファーの意義と方法について理解する。 チェックバイト法の意義と方法について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 咬合採得に用いる材料と特徴、方法について説明できる。 2. 少数歯欠損の場合の咬合採得法について述べるができる。 3. 多数歯欠損の場合の咬合採得法について述べるができる。 4. フェイスボウトランスファーの意義と方法について説明できる。 5. チェックバイト法の意義と方法について説明できる。 【準備学習項目】 欠損歯数の違いによる咬合採得法の違いについて学ぶ。 フェイスボウトランスファー、チェックバイト法の意義と方法について学ぶ。 【学習場所・媒体等】 マルチメディア 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ク 顎間関係の記録 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *⑥クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。 *⑨クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。	大村 祐史
2014/05/09 (金) 3時限 13:00～14:30	ブリッジの咬合採得	【授業の一般目標】 欠損歯数の違いによって咬合採得法が異なることを理解する。 ブリッジの咬合採得は咬頭嵌合位で行うことを理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. パラフィンワックスを用いた咬頭嵌合位の採得ができる。 2. シリコンを用いた咬頭嵌合位の採得ができる。 【準備学習項目】 少数歯欠損の場合に用いる咬合採得法の種類と材料について学ぶ。 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ク 顎間関係の記録 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *⑥クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。 *⑨クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 増田 美樹子 渡辺 官
2014/05/09 (金) 4時限 14:40～16:10	ブリッジの咬合採得	【授業の一般目標】 欠損歯数の違いによって咬合採得法が異なることを理解する。 ブリッジの咬合採得は咬頭嵌合位で行うことを理解する。	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
	ブリッジの咬合採得	<p>【行動目標（SBOs）】 1. パラフィンワックスを用いた咬頭嵌合位の採得ができる。 2. シリコンを用いた咬頭嵌合位の採得ができる。</p> <p>【準備学習項目】 少数歯欠損の場合に用いる咬合採得法の種類と材料について学ぶ。</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ク 顎間関係の記録</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 *⑥クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。 *⑨クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。</p>	大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 増田 美樹子 渡辺 官
2014/05/16（金） 2時限 10:40～12:10	作業模型	<p>【授業の一般目標】 作業模型の重要性について理解する。 ブリッジの作業模型の要件について理解する。 ブリッジの作業模型の種類と特徴について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 作業模型の重要性について説明できる。 2. ブリッジの作業模型の要件について述べるができる。 3. ブリッジの作業模型の種類と特徴について述べるができる。</p> <p>【準備学習項目】 作業模型の要件と種類，特徴について学ぶ。 作業模型性製作に必要な材料及び器具について学ぶ。</p> <p>【学習場所・媒体等】 マルチメディア</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 マ 歯科材料 c 模型材</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 キ 作業模型の製作</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 *⑦研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。</p>	小林 平
2014/05/16（金） 3時限 13:00～14:30	作業模型の製作	<p>【授業の一般目標】 ブリッジ製作のための作業模型に必要な材料および器具について理解する。 ブリッジの作業模型の要件について理解する。 歯型可撤式模型について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ブリッジ製作のための作業模型に必要な材料および器具を使用できる。 2. 要件を満たしたブリッジの作業模型を製作することができる。 3. ブリッジ製作のための歯型可撤式模型を製作することができる。</p> <p>【準備学習項目】 ブリッジのための歯型可撤式模型製作に必要な材料，器具，方法について学ぶ。</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 マ 歯科材料</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 増田 美樹子 渡辺 官

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/05/16 (金) 3時限 13:00～14:30	作業模型の製作	<p>c 模型材</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 キ 作業模型の製作</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *④クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-1) クラウンブリッジ実習 ⑦印象採得を適切に行うことができる。</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 増田 美樹子 渡辺 官
2014/05/16 (金) 4時限 14:40～16:10	作業模型の製作	<p>【授業の一般目標】 ブリッジ製作のための作業模型に必要な材料および器具について理解する。 ブリッジの作業模型の要件について理解する。 歯型可撤式模型について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1.ブリッジ製作のための作業模型に必要な材料および器具を使用できる。 2.要件を満たしたブリッジの作業模型を製作することができる。 3.ブリッジ製作のための歯型可撤式模型を製作することができる。</p> <p>【準備学習項目】 ブリッジのための歯型可撤式模型製作に必要な材料, 器具, 方法について学ぶ。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 マ 歯科材料 c 模型材</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 キ 作業模型の製作</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *④クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-1) クラウンブリッジ実習 ⑦印象採得を適切に行うことができる。</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 増田 美樹子 渡辺 官
2014/05/23 (金) 2時限 10:40～12:10	作業模型の咬合器 付着	<p>【授業の一般目標】 フェイスボウトランスファー, チェックバイトについて理解する。 咬合器の種類と特徴について理解する。 生体と咬合器との関係を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1.フェイスボウトランスファー, チェックバイトについて述べるができる。 2.咬合器の種類と特徴について説明できる。 3.生体と咬合器との関係について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 フェイスボウトランスファー, チェックバイトについて学ぶ。 咬合器の種類と特徴について学ぶ。 生体と咬合器との関係について学ぶ。</p> <p>【学習場所・媒体等】 マルチメディア</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ケ 咬合器装着・調節</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論</p>	小林 平

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/05/23 (金) 2時限 10:40～12:10	作業模型の咬合器 付着	各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 害 4 クラウンブリッジによる治療 ク 顎間関係の記録 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *⑧平均値咬合器および調節性咬合器の種類と特徴を説明できる。【使用方法を含む。】 *⑩フェイスボウトランスファーとチェックバイト法を説明し、調節性咬合器の基本的操作ができる。	小林 平
2014/05/23 (金) 3時限 13:00～14:30	作業模型の咬合器 付着	【授業の一般目標】 作業模型を正確に咬合器に付着する方法について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 作業模型を正確に咬合器に付着するための要領を習得する。 【準備学習項目】 作業模型を正確に咬合器に付着するための方法について学ぶ。 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 害 4 クラウンブリッジによる治療 ケ 咬合器装着・調節 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 害 4 クラウンブリッジによる治療 ク 顎間関係の記録 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *⑧平均値咬合器および調節性咬合器の種類と特徴を説明できる。【使用方法を含む。】 *⑩フェイスボウトランスファーとチェックバイト法を説明し、調節性咬合器の基本的操作ができる。	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 増田 美樹子 渡辺 官
2014/05/23 (金) 4時限 14:40～16:10	作業模型の咬合器 付着	【授業の一般目標】 作業模型を正確に咬合器に付着する方法について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 作業模型を正確に咬合器に付着するための要領を習得する。 【準備学習項目】 作業模型を正確に咬合器に付着するための方法について学ぶ。 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 害 4 クラウンブリッジによる治療 ケ 咬合器装着・調節 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 害 4 クラウンブリッジによる治療 ク 顎間関係の記録 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *⑧平均値咬合器および調節性咬合器の種類と特徴を説明できる。【使用方法を含む。】 *⑩フェイスボウトランスファーとチェックバイト法を説明し、調節性咬合器の基本的操作ができる。	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 増田 美樹子 渡辺 官
2014/05/30 (金) 2時限	歯型の調整 ワックスアップ	【授業の一般目標】 歯型調整の目的・方法および歯型調整による欠点を理解する。	増田 美樹子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
10:40～12:10	歯型の調整 ワックスアップ	<p>歯科用ワックスの種類と性質を理解する。 ろう型の要件について理解する。 ワックスアップに必要な解剖学的形態について理解する。 ポンティック基底面形態の種類と特徴について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯型調整の目的・方法および歯型調整による欠点について説明できる。 2. 歯科用ワックスの種類と性質を述べることができる。 3. ろう型の要件について説明できる。 4. 解剖学的形態を図示できる。 5. ポンティック基底面形態の種類と特徴について述べるができる。</p> <p>【準備学習項目】 歯型の調整の必要性とそれによって生じる不都合について学ぶ。 歯科用ワックスの性質を学ぶ。 変形に少ないワックスアップの理論について学ぶ。</p> <p>【学習場所・媒体等】 マルチメディア</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 キ 作業模型の製作</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 コ ワックスパターン形成</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *④クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。</p>	増田 美樹子
2014/05/30（金） 3時限 13:00～14:30	歯型の調整 ワックスアップ	<p>【授業の一般目標】 歯型調整の目的・方法および歯型調整による欠点を理解する。 歯科用ワックスの種類と性質を理解する。 ろう型の要件について理解する。 ワックスアップに必要な解剖学的形態について理解する。 ポンティック基底面形態の種類と特徴について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 正確な歯型の調整ができる。 2. ろう型採得に使用する器具の使用法を習得し、変形の少ないろう型形成ができる。 3. 欠損部位に適したポンティック基底面形態を付与できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯型の調整の必要性とそれによって生じる不都合について学ぶ。 歯科用ワックスの性質を学ぶ。 変形に少ないワックスアップの理論について学ぶ。</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 コ ワックスパターン形成</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 コ ワックスパターン形成</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *④クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 増田 美樹子 渡辺 官
2014/05/30（金） 4時限 14:40～16:10	歯型の調整 ワックスアップ	<p>【授業の一般目標】 歯型調整の目的・方法および歯型調整による欠点を理解する。 歯科用ワックスの種類と性質を理解する。 ろう型の要件について理解する。</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/05/30 (金) 4時限 14:40~16:10	歯型の調整 ワックスアップ	ワックスアップに必要な解剖学的形態について理解する。 ボンテック基底面形態の種類と特徴について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 正確な歯型の調整ができる。 2. ろう型採得に使用する器具の使用法を習得し、変形の少ないろう型形成ができる。 3. 欠損部位に適したボンテック基底面形態を付与できる。 【準備学習項目】 歯型の調整の必要性とそれによって生じる不都合について学ぶ。 歯科用ワックスの性質を学ぶ。 変形に少ないワックスアップの理論について学ぶ。 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 コ ワックスパターン形成 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 コ ワックスパターン形成 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *④クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。	田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 増田 美樹子 渡辺 官
2014/06/06 (金) 2時限 10:40~12:10	第1回平常試験	【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室	會田 雅啓
2014/06/06 (金) 3時限 13:00~14:30	ワックスアップ	【授業の一般目標】 歯科用ワックスの種類と性質を理解する。 ろう型の要件について理解する。 ワックスアップに必要な解剖学的形態について理解する。 ボンテック基底面形態の種類と特徴について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. ろう型採得に使用する器具の使用法を習得し、変形の少ないろう型形成ができる。 2. 欠損部位に適したボンテック基底面形態を付与できる。 【準備学習項目】 歯科用ワックスの性質を学ぶ。 変形に少ないワックスアップの理論について学ぶ。 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 コ ワックスパターン形成 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *④クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 増田 美樹子 渡辺 官
2014/06/06 (金) 4時限 14:40~16:10	ワックスアップ	【授業の一般目標】 歯科用ワックスの種類と性質を理解する。 ろう型の要件について理解する。 ワックスアップに必要な解剖学的形態について理解する。 ボンテック基底面形態の種類と特徴について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. ろう型採得に使用する器具の使用法を習得し、変形の少ないろう型形成ができる。 2. 欠損部位に適したボンテック基底面形態を付与できる。 【準備学習項目】 歯科用ワックスの性質を学ぶ。	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 増田 美樹子 渡辺 官

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/06 (金) 4時限 14:40～16:10	ワックスアップ	<p>変形に少ないワックスアップの理論について学ぶ。</p> <p>【学習方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 コ ワックスパターン形成</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *④クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 増田 美樹子 渡辺 官
2014/06/13 (金) 2時限 10:40～12:10	埋没 鑄造 ろう着 研磨	<p>【授業の一般目標】 埋没材および埋没法の種類、使用法について理解する。 歯冠補綴物の鑄造収縮の補償について理解する。 鑄造欠陥の種類と原因について理解する。 研磨用機器、材料について理解する。 一塊鑄造法とろう着法のそれぞれの利点・欠点について理解する。 ろう着の手順について理解する ろう着用のろうに性質について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 埋没材および埋没法の種類、使用法について述べるができる。 2. 歯冠補綴物の鑄造収縮の補償について説明できる。 3. 鑄造欠陥の種類と原因について説明できる。 4. 研磨用機器、材料について述べるができる。 5. 一塊鑄造法とろう着法の違いについて説明できる。 6. ろう着の手順について述べるができる。 7. ろう着用のろうに性質について述べるができる。</p> <p>【準備学習項目】 歯科用ワックス、ろう型の要件、埋没材、鑄造および鑄造収縮、研磨用材料、ろう着について学ぶ。</p> <p>【学習場所・媒体等】 マルチメディア</p> <p>【学習方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ノ 歯科鑄造 a 鑄造法の基本的術式</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 コ ワックスパターン形成 サ 埋没 シ 鑄造、ろう付け、熱処理、研磨</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製法を説明できる。【ポンティックの選択を含む。】</p>	増田 美樹子
2014/06/13 (金) 3時限 13:00～14:30	ワックスアップ 研磨	<p>【授業の一般目標】 歯科用ワックスの種類と性質を理解する。 ろう型の要件について理解する。 ワックスアップに必要な解剖学的形態について理解する。 ポンティック基底面形態の種類と特徴について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ろう型採得に使用する器具の使用法を習得し、変形の少ないろう型形成ができる。 2. 欠損部位に適したポンティック基底面形態を付与できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯科用ワックスの性質を学ぶ。 変形に少ないワックスアップの理論について学ぶ。</p> <p>【学習方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 増田 美樹子 渡辺 官

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/13 (金) 3時限 13:00~14:30	ワックスアップ 研磨	<p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 コ ワックスパターン形成</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *④クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡 増田 美樹 渡辺 子官
2014/06/13 (金) 4時限 14:40~16:10	ワックスアップ 研磨	<p>【授業の一般目標】</p> <p>歯科用ワックスの種類と性質を理解する。 ろう型の要件について理解する。 ワックスアップに必要な解剖学的形態について理解する。 ポンティック基底面形態の種類と特徴について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>1. ろう型採得に使用する器具の使用法を習得し、変形の少ないろう型形成ができる。 2. 欠損部位に適したポンティック基底面形態を付与できる。</p> <p>【準備学習項目】</p> <p>歯科用ワックスの性質を学ぶ。 変形に少ないワックスアップの理論について学ぶ。</p> <p>【学習方略 (LS)】</p> <p>実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 コ ワックスパターン形成</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *④クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡 増田 美樹 渡辺 子官
2014/06/20 (金) 2時限 10:40~12:10	顎運動 咬合器	<p>【授業の一般目標】</p> <p>顎関節の構造を理解する。 咀嚼筋の種類と付着部位、作用について理解する。 顎運動、顎路、顎路傾斜角について理解する。 咬合器の種類と特徴について理解する。 顎運動と咬合器との関係について理解する。 フェイスボウトランスファー、チェックバイトについて理解する。 歯の咬合面形態と顎運動との関係について理解する。 咬合様式について理解する。 歯冠補綴における咬合採得法について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>1. 顎関節の構造を述べることができる。 2. 咀嚼筋の種類と付着部位、作用について説明できる。 3. 咬合器の種類と特徴について述べるができる。 4. 顎運動と咬合器との関係について説明できる。 5. フェイスボウトランスファー、チェックバイトについて述べるができる。 6. 歯の咬合面形態と顎運動との関係について説明できる。 7. 咬合様式について述べるができる。</p> <p>【準備学習項目】</p> <p>顎関節の構造、咀嚼筋の種類と作用について学ぶ。 顎運動と咬合器との関係について学ぶ。 歯冠補綴物作製のための咬合採得法について学ぶ。</p> <p>【学習場所・媒体等】</p> <p>マルチメディア</p> <p>【学習方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ヌ 顎間関係の記録 a 基本的術式</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ネ 咬合器 a 種類 b 基本的使用法</p>	田中 孝明

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/20 (金) 2時限 10:40~12:10	顎運動 咬合器	<p>歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害</p> <p>2 診察・検査・診断・前処置 イ 検査 ウ 診断 4 クラウンブリッジによる治療 ク 顎間関係の記録 ケ 咬合器装着・調節</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *⑧平均値咬合器および調節性咬合器の種類と特徴を説明できる。【使用方法を含む。】 *⑩フェイスボウトランスファーとチェックバイト法を説明し、調節性咬合器の基本的操作ができる。</p>	田中 孝明
2014/06/20 (金) 3時限 13:00~14:30	埋没 鑄造	<p>【授業の一般目標】 埋没操作を適切に行うことができる。 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鑄造操作を適切に行うことができる。 鑄造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 埋没操作を適切に行うことができる。 2. 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 3. 鑄造操作を適切に行うことができる。 4. 鑄造操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。</p> <p>【準備学習項目】 埋没、鑄造の操作や手順について学ぶ。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 5 治療の基礎・基本手技 ノ 歯科鑄造 a 鑄造法の基本的術式</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 コ ワックスパターン形成 サ 埋没 シ 鑄造、ろう付け、熱処理、研磨</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製作法を説明できる。【ポイントの選択を含む。】</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 増田 美樹子 渡辺 官
2014/06/20 (金) 4時限 14:40~16:10	埋没 鑄造	<p>【授業の一般目標】 埋没操作を適切に行うことができる。 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鑄造操作を適切に行うことができる。 鑄造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 埋没操作を適切に行うことができる。 2. 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 3. 鑄造操作を適切に行うことができる。 4. 鑄造操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。</p> <p>【準備学習項目】 埋没、鑄造の操作や手順について学ぶ。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 5 治療の基礎・基本手技 ノ 歯科鑄造 a 鑄造法の基本的術式</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 増田 美樹子 渡辺 官

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/20 (金) 4時限 14:40～16:10	埋没 鑄造	コ ワックスパターン形成 サ 埋没 シ 鑄造、ろう付け、熱処理、研磨 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製法を説明できる。【ポンティックの選択を含む。】	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 中村 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 増田 美樹子 渡辺 官
2014/06/27 (金) 2時限 10:40～12:10	下顎運動と咬合器	【授業の一般目標】 顎運動、顎路、顎路傾斜角について理解する。 咬合器の種類と特徴について理解する。 顎運動と咬合器との関係について理解する。 フェイスボウトランスファー、チェックバイトについて理解する。 歯の咬合面形態と顎運動との関係について理解する。 歯冠補綴における咬合採得法について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 顎運動、顎路、顎路傾斜角について説明できる。 2. 咬合器の種類と特徴について述べるができる。 3. 顎運動と咬合器との関係について説明できる。 4. フェイスボウトランスファー、チェックバイトについて述べるができる。 5. 歯の咬合面形態と顎運動との関係について説明できる。 6. 歯冠補綴における咬合採得法について述べるができる。 【準備学習項目】 顎運動と咬合器との関係について学ぶ。 歯冠補綴物作製のための咬合採得法について学ぶ。 【学習場所・媒体等】 マルチメディア 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ヌ 顎間関係の記録 a 基本的術式 【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ネ 咬合器 a 種類 b 基本的使用法 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置 イ 検査 ウ 診断 4 クラウンブリッジによる治療 ク 顎間関係の記録 ケ 咬合器装着・調節 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *⑧平均値咬合器および調節性咬合器の種類と特徴を説明できる。【使用方法を含む。】 *⑩フェイスボウトランスファーとチェックバイト法を説明し、調節性咬合器の基本的操作ができる。	田中 孝明
2014/06/27 (金) 3時限 13:00～14:30	埋没 鑄造	【授業の一般目標】 埋没操作を適切に行うことができる。 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鑄造操作を適切に行うことができる。 鑄造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 埋没操作を適切に行うことができる。 2. 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 3. 鑄造操作を適切に行うことができる。 4. 鑄造操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 【準備学習項目】 埋没、鑄造の操作や手順について学ぶ。 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 中村 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 増田 美樹子 渡辺 官

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/27 (金) 3時限 13:00~14:30	埋没 鑄造	<p>1 5 治療の基礎・基本手技 ノ 歯科鑄造 a 鑄造法の基本的術式</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 コ ワックスパターン形成 サ 埋没 シ 鑄造、ろう付け、熱処理、研磨</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製作法を説明できる。【ポイントの選択を含む。】</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 増田 樹子 渡辺 官
2014/06/27 (金) 4時限 14:40~16:10	埋没 鑄造	<p>【授業の一般目標】 埋没操作を適切に行うことができる。 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鑄造操作を適切に行うことができる。 鑄造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 埋没操作を適切に行うことができる。 2. 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 3. 鑄造操作を適切に行うことができる。 4. 鑄造操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。</p> <p>【準備学習項目】 埋没、鑄造の操作や手順について学ぶ。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 5 治療の基礎・基本手技 ノ 歯科鑄造 a 鑄造法の基本的術式</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 コ ワックスパターン形成 サ 埋没 シ 鑄造、ろう付け、熱処理、研磨</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製作法を説明できる。【ポイントの選択を含む。】</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 増田 樹子 渡辺 官
2014/07/04 (金) 2時限 10:40~12:10	治療計画の立案 医療面接と診察 各種検査項目 治療計画を左右する因子 評価と診断 感染予防対策	<p>【授業の一般目標】 治療計画の立案に必要な情報の収集について理解する。 医療面接および診察の意義と方法について理解する。 収集した情報に基づいて診断および治療計画が立案できる。 研究用模型とX線検査の重要性について理解できる。 ブリッジ領域における感染予防対策について理解できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 治療計画の立案に必要な情報の収集できる。 2. 医療面接および診察の意義と方法について説明できる。 3. 収集した情報に基づいて診断および治療計画が立案する。 4. 研究用模型とX線検査の重要性について説明できる。 5. ブリッジ領域における感染予防対策について述べる事ができる。</p> <p>【準備学習項目】 ブリッジの治療計画の立案に必要な情報およびその収集について学ぶ。 情報の重要性と評価法およびそれに基づく診断について学ぶ。</p> <p>【学習場所・媒体等】 マルチメディア</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 4 歯科医療の質と安全の確保 ウ 院内感染対策</p>	會田 雅啓

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/07/04 (金) 2時限 10:40~12:10	治療計画の立案 医療面接と診察 各種検査項目 治療計画を左右する因子 評価と診断 感染予防対策	<p>a スタンダードプレコーション<標準予防策></p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>必修の基本的事項 4 歯科医療の質と安全の確保 イ 医療事故の防止 b 医療事故の発生要因 c 患者の安全管理 (誤飲、誤嚥、誤薬、出血、外傷、感染、被曝、目の保護)</p> <p>歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置 ア 診察 イ 検査 ウ 診断 エ 治療計画の立案</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-7 対人関係能力 A-7-2) 医療面接 *①医療面接の役割を説明できる。 ②主訴をよく聞き取るとともに、患者の病気に対する考えや治療に対する希望を把握できる。 ③患者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出、整理できる。 ④患者の不安、不満や表情・行動の変化に適切に対応できる。 ⑤患者に診断結果と治療方針を適切に説明できる。 *⑥必要に応じて、他の医療機関への適切な紹介を行うための手続きを説明できる。 *⑦患者のプライバシーに配慮できる。 *⑧患者情報の守秘義務と患者等への情報提供の重要性を理解し、適切な取扱いができる。 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *⑩歯の欠損に伴う歯・口腔・顎顔面領域の変化に対して必要な診察、検査ならびに診断ができる。 *⑬クラウンブリッジの設計を適切にできる。</p>	會田 雅啓
2014/07/04 (金) 3時限 13:00~14:30	ろう着用コア一採得 ろう着用埋没 ろう着	<p>【授業の一般目標】</p> <p>一塊鑄造法とろう着法のそれぞれの利点・欠点について理解する。 ろう着用のろうの要件について理解する。 ろう着法の術式について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>1. ろう着間隙を適切に求めることができる。 2. ろう着のためのコア一採得ができる。 3. ろう着のための正しい埋没操作ができる。 4. 正しいろう着操作ができる。</p> <p>【準備学習項目】</p> <p>正しいろう着操作の手順について学ぶ。 正しいろう着間隙の付与について学ぶ。</p> <p>【学習方略 (LS)】</p> <p>実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ノ 歯科鑄造 a 鑄造法の基本的術式</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 サ 埋没 シ 鑄造、ろう付け、熱処理、研磨</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製作法を説明できる。【ポイントの選択を含む。】 *⑭クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 増田 美樹子 渡辺 官
2014/07/04 (金) 4時限 14:40~16:10	ろう着用コア一採得 ろう着用埋没 ろう着	<p>【授業の一般目標】</p> <p>一塊鑄造法とろう着法のそれぞれの利点・欠点について理解する。 ろう着用のろうの要件について理解する。 ろう着法の術式について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>1. ろう着間隙を適切に求めることができる。 2. ろう着のためのコア一採得ができる。 3. ろう着のための正しい埋没操作ができる。 4. 正しいろう着操作ができる。</p> <p>【準備学習項目】</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 増田 美樹子 渡辺 官

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/07/04 (金) 4時限 14:40～16:10	ろう着用コア一採得 ろう着用埋没 ろう着	正しいろう着操作の手順について学ぶ。 正しいろう着間隙の付与について学ぶ。 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ノ 歯科鑄造 a 鑄造法の基本的術式 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 サ 埋没 シ 鑄造、ろう付け、熱処理、研磨 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 *②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製作法を説明できる。【ポイントの選択を含む。】 *④クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 中村 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 増田 美樹 渡辺 子官
2014/07/11 (金) 2時限 10:40～12:10	ブリッジの口腔内試適 仮着 合着 アフターケア 不良補綴物	【授業の一般目標】 ブリッジの口腔内試適の手順について理解する。 仮着の目的、仮着用セメント、仮着期間、仮着期間中の観察項目について理解する。 合着用セメントの種類と性質について理解する。 術後管理の内容および重要性について理解する。 不良補綴物が原因となる症状について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1.ブリッジの口腔内試適の手順を述べるができる。 2.仮着の目的、仮着用セメント、仮着期間、仮着期間中の観察項目について説明できる。 3.合着用セメントの種類と性質について述べるができる。 4.接着性レジンセメントの接着理論について説明できる。 5.術後管理の内容および重要性について述べるができる。 6.不良補綴物が原因となる症状について説明できる。 【準備学習項目】 ブリッジの口腔内試適の手順、仮着の目的・セメント・期間・観察項目、合着用セメント、術後管理の重要性について学ぶ。 【学習場所・媒体等】 マルチメディア 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ス 口腔内試適 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 セ 装着 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 *④クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。	若見 昌信
2014/07/11 (金) 3時限 13:00～14:30	ろう着用コア一採得 ろう着用埋没 ろう着	【授業の一般目標】 一塊鑄造法とろう着法のそれぞれの利点・欠点について理解する。 ろう着用のためのコア一採得について理解する。 ろう着法の術式について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1.ろう着間隙を適切に求めることができる。 2.ろう着のためのコア一採得ができる。 3.ろう着のための正しい埋没操作ができる。 4.正しいろう着操作ができる。 【準備学習項目】 正しいろう着操作の手順について学ぶ。	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 中村 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 増田 美樹 渡辺 子官

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/07/11 (金) 3時限 13:00~14:30	ろう着用コア一採得 ろう着用埋没 ろう着	正しいろう着間隙の付与について学ぶ。 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ノ 歯科鑄造 a 鑄造法の基本的術式 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 サ 埋没 シ 鑄造、ろう付け、熱処理、研磨 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製作法を説明できる。【ボンティックの選択を含む。】 *④クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 村中 孝明 田後 治彦 藤本 直子 青木 聡史 内堀 美樹 増田 樹子 渡辺 官
2014/07/11 (金) 4時限 14:40~16:10	ろう着用コア一採得 ろう着用埋没 ろう着	【授業の一般目標】 一塊鑄造法とろう着法のそれぞれの利点・欠点について理解する。 ろう着のろうの要件について理解する。 ろう着法の術式について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. ろう着間隙を適切に求めることができる。 2. ろう着のためのコア一採得ができる。 3. ろう着のための正しい埋没操作ができる。 4. 正しいろう着操作ができる。 【準備学習項目】 正しいろう着操作の手順について学ぶ。 正しいろう着間隙の付与について学ぶ。 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ノ 歯科鑄造 a 鑄造法の基本的術式 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 サ 埋没 シ 鑄造、ろう付け、熱処理、研磨 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製作法を説明できる。【ボンティックの選択を含む。】 *④クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 村中 孝明 田後 治彦 藤本 直子 青木 聡史 内堀 美樹 増田 樹子 渡辺 官
2014/07/18 (金) 2時限 10:40~12:10	口腔インプラント学の基礎	【授業の一般目標】 口腔インプラント治療について必要な知識を習得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. インプラント治療の歴史を説明できる。 2. インプラント材料と生体反応を説明できる。 3. インプラントの基本小僧を説明できる。 【準備学習項目】 日本口腔インプラント学会サイトの口腔インプラント治療指針の中で行動目標に該当する項目を読む。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論XI 歯科材料と歯科医療機器	加藤 仁夫

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/07/18 (金) 2時限 10:40～12:10	口腔インプラント 学の基礎	1 6 歯周治療・口腔外科・インプラント材料 ア インプラント材料 【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-1 素材と器械・器具の所要性質 *③生体材料と歯科材料の安全性の評価を説明できる。	加藤 仁夫
2014/07/18 (金) 3時限 13:00～14:30	口腔インプラント 治療の特徴	【授業の一般目標】 インプラント治療についての必要な知識を習得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. インプラント治療の利点と欠点を説明できる。 2. インプラント治療の特徴、従来の補綴治療との違いを説明できる。 3. インプラント治療の適応症と禁忌症を説明できる。 4. インプラント治療の手順を説明できる。 【準備学習項目】 日本口腔インプラント学会サイトの口腔インプラント治療指針の中で行動目標に該当する項目を読む。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 5 治療の基礎・基本手技 ト 歯質・歯の欠損による障害の治療 a 基本的術式 【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 1 5 治療の基礎・基本手技 ウ 治療の適応・選択 a 適応 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (3) デンタルインプラント *①デンタルインプラントの種類、特徴、目的および意義を説明できる。	村上 洋
2014/07/18 (金) 4時限 14:40～16:10	口腔インプラント 治療の治療法、合併症	【授業の一般目標】 インプラント治療についての必要な知識を習得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. インプラント治療に必要な診査を説明する。 2. インプラントの外科術式を説明する。 3. インプラントの補綴術式を説明する。 4. インプラント治療に関連する合併症を説明する。 5. インプラント周囲炎を説明する。 【準備学習項目】 日本口腔インプラント学会サイトの口腔インプラント治療指針の中で行動目標に該当する項目を読む。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 8 インプラント義歯による治療 オ 外科処置 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (3) デンタルインプラント ③デンタルインプラントに必要な診察と検査を説明できる。 ④デンタルインプラントの適応症と合併症を説明できる。	玉木 大之
2014/09/12 (金) 2時限 10:40～12:10	第2回平常試験	【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室	會田 雅啓
2014/09/12 (金) 3時限 13:00～14:30	ブリッジの調整 研磨 完成	【授業の一般目標】 ろう着後の研磨操作が適切にできる。 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 ブリッジの口腔内試適、仮着、装着が適切にできる。 仮着、装着に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 【行動目標 (SBOs)】	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/09/12 (金) 3時限 13:00～14:30	ブリッジの調整 研磨 完成	<p>1. ろう着後の研磨操作が適切にできる。 2. 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 3. ブリッジの口腔内試適, 仮着, 装着が適切にできる。 4. 仮着, 装着に必要な器具および材料を適切に使用できる。</p> <p>【準備学習項目】 埋没, 鑄造, 研磨, 口腔内試適, 仮着, 装着の操作や手順について学ぶ。</p> <p>【学習方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 5 治療の基礎・基本手技 ノ 歯科鑄造 a 鑄造法の基本的術式</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ス 口腔内試適 セ 装着</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製作法を説明できる。【ポンティックの選択を含む。】 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-1) クラウンブリッジ実習 ⑨完成したクラウン (ブリッジ) の試適・調整・装着が適切にできる。</p>	内堀 聡史 増田 美樹子 渡辺 官
2014/09/12 (金) 4時限 14:40～16:10	ブリッジの調整 研磨 完成	<p>【授業の一般目標】 ろう着後の研磨操作が適切にできる。 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 ブリッジの口腔内試適, 仮着, 装着が適切にできる。 仮着, 装着に必要な器具および材料を適切に使用することができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ろう着後の研磨操作が適切にできる。 2. 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 3. ブリッジの口腔内試適, 仮着, 装着が適切にできる。 4. 仮着, 装着に必要な器具および材料を適切に使用できる。</p> <p>【準備学習項目】 埋没, 鑄造, 研磨, 口腔内試適, 仮着, 装着の操作や手順について学ぶ。</p> <p>【学習方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 5 治療の基礎・基本手技 ノ 歯科鑄造 a 鑄造法の基本的術式</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ス 口腔内試適 セ 装着</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製作法を説明できる。【ポンティックの選択を含む。】 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-1) クラウンブリッジ実習 ⑨完成したクラウン (ブリッジ) の試適・調整・装着が適切にできる。</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 増田 美樹子 渡辺 官

障害者歯科学

年次	学期	学則科目責任者
4年次	前学期	野本 たかと（障害者歯科学）

学習目標 (G I O)	将来、障害者地域歯科保健・医療に関与した時、その課題を解決するための基本的能力を修得する。基本的能力として、障害者歯科の基本理念、障害に関する医学的基礎知識と歯科診療上の配慮および障害者地域医療に必要な社会歯科学的背景を理解する。
担当教員	野本 たかと、田中 陽子、梅澤 幸司、伊藤 政之、林 佐智代
教科書	スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科学 日本障害者歯科学会編集 医歯薬出版株式会社
参考図書	障害者歯科ガイドブック 森崎市治郎、緒方克也、向井美恵 編著 医歯薬出版株式会社 歯学生のための摂食・嚥下リハビリテーション学 向井美恵、山田好秋 編 医歯薬出版株式会社
評価方法 (E V)	原則として授業時間内に行う平常試験(100%)によって評価点とする。平常試験は授業時間内に2回行い、各講義担当教員が出題し、その総合評価とする。なお、配点の比重は各講義担当の講義回数に比例する。授業時間数の1/5以上を欠席した場合、成績評価は0-60点とする。また、再試験の受験資格は与えない。追・再試験は全ての平常試験終了後から後期授業開始までの期間に行う。
学生へのメッセージ オフィスアワー	障害のある人を対象とした歯科医療の提供は、経験がある一部の歯科医だけが行うものではありません。歯科医師は、その地域における医療連携の中で、障害のある人が適切な医療を受けられるよう配慮する義務があります。このことを念頭に置き、受講して下さい。 オフィスアワー：月曜日～金曜日、8：30～17：30

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/07 (月) 1時限 09:00～10:30	1. 社会と障害者 2. 障害者歯科の基本理念	<p>【授業の一般目標】 障害者のおかれている社会的背景を知った上で障害者歯科の基本理念を修得する。</p> <p>【行動目標 (S B O s)】 1. 障害の概念を説明できる。 2. 国際障害分類を説明できる。 3. 障害者基本法における障害者について説明できる。 4. ノーマライゼーションの概念について説明できる。 5. バリアフリーの意味を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 障害の意味を説明できる。</p> <p>【学習方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論 I 保健医療論 1 健康・疾病・障害の概念 オ 障害の概念と対応</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ア 患者・障害者のもつ心理・社会的問題 a 疾病・障害の概念・構造 (社会的関わり) b QOL <生活の質、quality of life> c リハビリテーションの理念 d ノーマライゼーション、バリアフリー f 国際生活機能分類<ICF>、国際障害分類<ICIDH> g ニーズとダイヤモンド</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-2 健康と社会、環境 B-2-2) 保健・医療・福祉制度 *④社会福祉制度を説明できる。 *⑥障害者のおかれた社会環境を説明できる。 *⑦ノーマライゼーションの考え方を説明できる。</p>	野本 たかと
2014/04/14 (月) 1時限 09:00～10:30	1. 福祉からみた障害 2. 障害者歯科発展の歴史	<p>【授業の一般目標】 社会環境の変化とともに発展していく障害者歯科医療の特殊性を理解するために、背景にある障害者の実態と福祉の概念の変化との関係性についての知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (S B O s)】 1. 福祉における障害の認定について説明できる。 2. 障害者に関わる人口動態とその背景について説明できる。 3. 障害者に関わる法律を説明できる。 4. 障害者歯科発展の歴史とその背景について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 社会福祉の概念を説明できる。</p>	伊藤 政之

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/14 (月) 1時限 09:00～10:30	1. 福祉からみた障害 2. 障害者歯科発展の歴史	<p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論II 健康管理・増進と予防 8 障害者保健福祉 イ 障害者と社会</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論II 健康管理・増進と予防 8 障害者保健福祉 ア 現状、動向 イ 障害者と社会 ウ 障害者の保健と医療・福祉 総論I 保健医療論 6 社会保障と医療経済 ア 社会保障制度</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-3 歯科医師の責務 *②個人的、社会的背景等が異なる患者に、わけへだてなく対応できる。 B 社会と歯学 B-2 健康と社会、環境 B-2-2) 保健・医療・福祉制度 *④社会福祉制度を説明できる。</p>	伊藤 政之
2014/04/21 (月) 1時限 09:00～10:30	具体的な障害の概要と原因疾患	<p>【授業の一般目標】 障害者基本法で定められた障害者とその原因となる障害についての知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 身体障害の概要と原因疾患を説明できる。 2. 知的障害および発達障害の概要と原因疾患を説明できる。 3. 精神障害の概要と原因疾患を説明できる。 4. その他能力障害の原因となる疾患について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 障害者基本法に定められた障害者とは何かを説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VIII 診察 3 障害者への対応 イ 障害者の分類</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論I 保健医療論 1 健康・疾病・障害の概念 オ 障害の概念と対応 総論VI 病因、病態 1 病因論 ア 染色体・遺伝子・発生の異常 イ 環境と疾患</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-1 健康の概念 *③疾病の概念、種類および予防を概説できる。 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-4) 障害者の歯科治療 *①障害者の身体的、精神的および心理的特徴を説明できる。</p>	野本 たかと
2014/04/28 (月) 1時限 09:00～10:30	障害と外表奇形	<p>【授業の一般目標】 形態異常および機能異常を伴いやすい障害者に対応するための専門的知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 先天異常と先天奇形について説明できる。 2. 発達期障害と先天異常・奇形について説明できる。 3. 顎顔面形態異常と外表奇形について説明できる。 4. 障害者歯科に関連の深い症候群を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 口腔・顎・顔面の正常発達を説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p>	野本 たかと

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/28 (月) 1時限 09:00～10:30	障害と外表奇形	<p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅵ 病因、病態 1 1 歯・口腔・顎・顔面・頭蓋の病因・病態 ア 先天異常・後天異常</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 1 歯・口腔・顎・顔面の発育を障害する先天異常 オ Treacher Collins 症候群 <下顎顔面異骨症> カ Crouzon 症候群 <頭蓋顔面異骨症> キ Apert 症候群 <尖頭合指症> セ Robinシークエンス <Pierre Robin 症候群> ヒ 猫鳴き症候群<5p-症候群> フ その他の先天異常・遺伝性疾患 各論Ⅳ 顎・口腔領域の疾患 7 顎顔面の変形を来す疾患・病態 エ 顎顔面に異常を来す骨系統疾患・症候群</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (1) 先天異常および後天異常 *①口唇・口腔・頭蓋・顎顔面に症状をきたす先天性異常を説明できる。 E-4 歯科医療の展開 E-4-4) 障害者の歯科治療 *①障害者の身体的、精神的および心理的特徴を説明できる。</p>	野本 たかと
2014/05/12 (月) 1時限 09:00～10:30	初診時の診査と行動観察法	<p>【授業の一般目標】 障害者への歯科医療の提供のための患者評価の重要性を理解し、表出される行動とその背景を正しく評価するための知識を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 障害と身体発達について説明できる。 2. 初診時に必要な診査項目について説明できる。 3. 初診時の情報収集について説明できる。 4. 発達レベルの診断について説明できる。 5. 行動観察法について説明できる。 6. 障害児・者の行動の特性について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 正常な小児の行動発達の特徴を説明できる。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅴ 発生、成長、発達、加齢 1 人体の発生・成長・発達・加齢 キ 成長・発達の評価</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 7 人体の発生・成長・発達・加齢 ア 人体の成長発育 a 発育区分（出生前期、新生児期、乳児期、幼児期、学童期、思春期） b 発育期の特徴 c 成長発育・発達の特徴（身体成長、原始反射、運動の発達、社会性の発達、言語の発達、情動の発達） e 身体成長と精神発達の評価法（Kaup指数、Rohrer指数、BMI、歴年齢、生理学的年齢、発達スクリーニング検査）</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-6) 歯科医師に必要な医学的知識 *③主要な身体診察を説明できる。</p>	田中 陽子
2014/05/19 (月) 1時限 09:00～10:30	障害と心理	<p>【授業の一般目標】 障害児・者にみられる行動特性に与える心理学的背景について説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 心理発達について説明できる。 2. 障害児・者の心理発達と障害受容の関係について説明できる。 3. 歯科診療に関わる障害児・者の心理特性について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 正常な行動発達について理解し、表出される行動を評価する方法について説明できる。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅴ 発生、成長、発達、加齢 2 機能の発達</p>	田中 陽子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/05/19 (月) 1時限 09:00～10:30	障害と心理	<p>エ 情緒・社会性</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論V 発生、成長、発達、加齢 2 機能の発達 ア 運動・感覚機能 イ 認知機能 ウ 言語機能 総論VII 主要症候 1 全身的症候 キ 心理、精神機能 必修の基本的事項 10 診察の基本 ケ 心理・社会的側面についての配慮 a 患者の心理・社会的側面・性格の把握 b 家族背景</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-4) 障害者の歯科治療 *①障害者の身体的、精神的および心理的特徴を説明できる。 ⑤障害者に対する基本的な対応ができる。 E-4-6) 歯科医師に必要な医学的知識 *③主要な身体診察を説明できる。</p>	田中 陽子
2014/05/26 (月) 1時限 09:00～10:30	行動調整と歯科治療 その1 行動調整の基本	<p>【授業の一般目標】 歯科治療における行動調整法についての知識を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 学習理論について説明できる。 2. 行動調整の基本的な考え方を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 障害と心理特性について説明できる。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論VIII 診察 3 障害者への対応 エ 評価</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論X 治療 2 治療の基礎 コ 障害者の治療 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 f 行動レベル、行動変容</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-4) 障害者の歯科治療 *①障害者の身体的、精神的および心理的特徴を説明できる。 *②障害者の行動調整（行動管理）と歯科治療に必要な注意点を説明できる。 ⑤障害者に対する基本的な対応ができる。</p>	伊藤 政之
2014/06/02 (月) 1時限 09:00～10:30	行動調整と歯科治療 その2 行動調整の実際	<p>【授業の一般目標】 障害者の個々に合わせた行動調整法を選択するための知識を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 薬物を用いない行動調整について説明できる。 2. 薬物を用いた行動調整について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 障害者の歯科受診行動について説明できる。 障害者の歯科受診行動に与える心理学的背景と環境因子について説明できる。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 カ 乳幼児・高齢者・妊産婦・障害者・要介護者の治療 a 治療環境</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論X 治療 2 治療の基礎 コ 障害者の治療 6 麻酔、緩和医療</p>	伊藤 政之

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/02 (月) 1時限 09:00～10:30	行動調整と歯科治療 その2 行動調整の実際	ウ 全身麻酔法 エ 吸入麻酔薬、静脈麻酔薬 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-4) 障害者の歯科治療 *②障害者の行動調整（行動管理）と歯科治療に必要な注意点を説明できる。 ⑤障害者に対する基本的な対応ができる。	伊藤 政之
2014/06/09 (月) 1時限 09:00～10:30	障害者のための予防歯科医療	【授業の一般目標】 健常者よりも口腔疾患や全身疾患の発症のリスクの高い障害者における口腔疾患予防の重要性とその方法についての知識を習得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 障害者にみられる口腔疾患の特徴について説明できる。 2. 口腔疾患と全身疾患の関連性について説明できる。 3. 障害者における口腔疾患予防の重要性について説明できる。 4. 障害者における口腔ケアの概念と実際について説明できる。 【準備学習項目】 口腔疾患のセルフケアを説明できる。 【学習方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 302教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ 歯科疾患の予防・管理 6 保健指導 カ ライフステージと口腔機能育成・増進指導 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 コ 口腔のケア a 口腔衛生管理のための口腔ケア b 口腔機能維持向上のための口腔のケア 16 チーム歯科医療 イ 地域医療でのチームワーク c 保健・医療・福祉・介護・教育の連携 d 家族との連携 オ 社会生活 f 自立 歯科医学各論 各論Ⅴ 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 10 管理 イ ホームケア、プロフェッショナルケア ク 栄養指導 【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理 *③ライフステージにおける予防を説明できる。 *④集団レベルの予防と健康管理（地域歯科保健、学校歯科保健、産業歯科保健）を説明できる。 *⑤口腔ケアの意義と効果を説明できる。	田中 陽子
2014/06/16 (月) 1時限 09:00～10:30	平常試験1 解説	【授業の一般目標】 平常試験1までの受容内容を理解し知識を習得出来ているか確認し自己評価ができる。 【行動目標（SBOs）】 1. 障害者の置かれている社会環境について説明できる。 2. 障害者歯科の特殊性について説明できる。 3. 障害者の行動を評価し適切な行動調整法について説明できる。 4. 障害者における口腔疾患予防の重要性とその方法について説明できる。 【準備学習項目】 平常試験1までの講義内容を理解出来る。 【学習方略（LS）】 その他 【場所（教室/実習室）】 302教室 【国家試験出題基準（主）】 【国家試験出題基準（副）】 【コアカリキュラム】	野本 たかと 伊藤 政之 田中 陽子
2014/06/23 (月) 1時限 09:00～10:30	中途障害者の歯科治療	【授業の一般目標】 歯科治療上、配慮が必要な中途障害についての基本的知識と歯科治療における注意事項についての知識を習得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 心疾患患者の歯科治療上の注意事項を説明できる。 2. 神経疾患患者の歯科治療上の注意事項を説明できる。	梅澤 幸司

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/23 (月) 1時限 09:00～10:30	中途障害者の歯科治療	<p>3. 精神障害者の歯科治療上の注意事項を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 ライフステージにおける先天性の障害と後天性の障害について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅷ 診察 6 全身疾患を有する者への対応 ア 留意すべき疾患</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅷ 診察 6 全身疾患を有する者への対応 エ 医療情報の収集 オ 診察 カ 評価 総論Ⅹ 治療 2 治療の基礎 コ 障害者の治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-6) 歯科医師に必要な医学的知識 *①代表的な医科疾患(内科的疾患)を説明できる。 *②主要な医科疾患の症候を説明できる。 *③主要な身体診察を説明できる。</p>	梅澤 幸司
2014/06/30 (月) 1時限 09:00～10:30	高齢障害者の歯科治療	<p>【授業の一般目標】 有病高齢者への適切な歯科医療の提供のための知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 加齢に伴い発症頻度が高くなる疾患を説明できる。 2. 要介護の原因疾患を説明できる。 3. 高齢障害者に特有な口腔疾患を説明できる。 4. 高齢者における歯科治療上の注意事項を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 生物学的加齢変化および病的加齢変化について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅹ 治療 2 治療の基礎 シ 高齢者の治療</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 顎・口腔領域の疾患 17 全身管理に留意すべき全身疾患・状態 イ 心臓・脈管疾患 カ 精神・心身医学的疾患 ケ 代謝性疾患 ス 高齢者 各論Ⅵ 高齢者の歯科診療 13 管理に留意すべき全身疾患 キ 要介護の原因疾患 必修の基本的事項 9 主要な症候 ウ 全身的疾患による主な口腔症状 h 糖尿病による口腔乾燥・歯周病の増悪 m 認知症患者の口腔症状</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-3) 高齢者の歯科治療 *①老化の身体的、精神的および心理的特徴を説明できる。 *②老化に伴う口腔諸組織の構造と機能の変化を説明できる。 *③高齢者に多くみられる疾患を説明できる。 *④高齢者における口腔ケア処置について説明できる。 *⑤口腔機能向上による介護予防について説明できる。 *⑧要介護高齢者(在宅要介護者も含む)の歯科治療時の注意点を説明できる。 *⑨歯科訪問診療について説明できる。</p>	梅澤 幸司
2014/07/07 (月) 1時限 09:00～10:30	摂食・嚥下機能障害のリハビリテーション その1	<p>【授業の一般目標】 摂食・嚥下障害の理解のために、正常な摂食・嚥下機能の知識について習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 食べることの意義を説明できる。 2. 哺乳動作を説明できる。</p>	林 佐智代

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/07/07 (月) 1時限 09:00～10:30	摂食・嚥下機能障害のリハビリテーション その1	<p>3. 摂食機能の発達とその獲得順序・段階を説明できる。 4. 摂食・嚥下動作時の各器官の役割を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 心身機能の正常な成長・発達について説明できる。 正常な口腔機能について説明できる。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論X 治療 7 リハビリテーション イ 摂食・嚥下障害のリハビリテーション</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 コ 口腔のケア b 口腔機能維持向上のための口腔のケア 15 治療の基礎・基本手技 へ 口腔機能のリハビリテーション a 機能の回復 <咀嚼機能、摂食・嚥下機能、構音機能> b 口腔機能管理 歯科医学総論 総論V 発生、成長、発達、加齢 5 口腔・顎の機能の発達 ア 咀嚼 イ 嚥下 総論IV 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 3 口腔・顎・顔面・頭頸部の機能 ア 下顎位、下顎運動 エ 吸啜 オ 咀嚼 カ 嚥下</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-1 健康の概念 *②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (1.0) 口唇・口腔・顎顔面領域の機能障害 *②嚥下障害を概説できる。 E-4 歯科医療の展開 E-4-4) 障害者の歯科治療 ③障害者およびその介護者に対して歯科保健指導ができる。</p>	林 佐智代
2014/07/14 (月) 1時限 09:00～10:30	摂食・嚥下機能障害のリハビリテーション その2	<p>【授業の一般目標】 摂食・嚥下障害の病態と全身疾患との関連を理解し、リハビリテーションに必要な知識を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 嚥下障害と誤嚥性肺炎の関係を説明できる。 2. 加齢による摂食・嚥下機能の減退を説明できる。 3. 中途障害および高齢障害者に対する摂食・嚥下リハビリテーションを説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 頭頸部の解剖について説明できる。 正常な摂食嚥下機能について説明できる。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 14 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 歯・口腔・顎・顔面の疾患の概念 s 摂食・嚥下障害</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論X 治療 7 リハビリテーション イ 摂食・嚥下障害のリハビリテーション キ 多職種連携 歯科医学各論 各論VI 高齢者の歯科診療 16 摂食・嚥下障害 ア 摂食・嚥下障害の評価・検査 d 検査 b 間接訓練 c 直接訓練、段階的摂食訓練 e 歯科のアプローチ 17 高齢者の栄養管理 イ 食内容の管理 歯科医学総論</p>	林 佐智代

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/07/14 (月) 1時限 09:00～10:30	摂食・嚥下機能障害のリハビリテーション その2	<p>総論X 治療 7 リハビリテーション イ 摂食・嚥下障害のリハビリテーション カ 栄養サポートチーム <NST> キ 多職種連携</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-3) 高齢者の歯科治療 *⑤口腔機能向上による介護予防について説明できる。 *⑩摂食・嚥下障害の診察、検査、診断を説明できる。 *⑪摂食・嚥下リハビリテーションを説明できる。</p>	林 佐智代
2014/07/24 (木) 1時限 09:00～10:30	障害者のための地域歯科医療システム	<p>【授業の一般目標】 地域での障害者歯科医療の提供のために、地域歯科医療システムについての知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 障害者歯科医療に携わる医療機関について説明できる。 2. 介護保険および介護予防の概要を説明できる。 3. 病診連携、診診連携およびチーム医療について説明できる。 4. 訪問歯科診療を説明できる。 5. 障害者地域歯科医療の在り方を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 日本における医療制度について説明できる。 障害者の地域社会における共生について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 イ 地域保健 a 地域保健法、地域保健体制</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 16 チーム歯科医療 イ 地域医療でのチームワーク a 病診連携 b 診診連携 c 保健・医療・福祉・介護・教育の連携 d 家族との連携 e 地域連携クリニカルパス</p> <p>歯科医学総論 総論 I 保健医療論 3 保健・医療・福祉・介護の仕組みと資源 エ 介護施設 オ 医療関係職種 キ 医療連携、チーム医療 ク 保健・医療・福祉・介護の制度と連携 4 地域保健、地域医療 コ 在宅医療、在宅歯科医療</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-2 健康と社会、環境 B-2-2) 保健・医療・福祉制度 *⑧地域医療に求められる役割と機能および体制等、地域医療の在り方を概説できる。 *⑨地域における保健・医療・福祉・介護の分野間の連携および他職種間の連携の必要性について説明できる。 B-3 予防と健康管理 B-3-1) 予防の概念 *②プロフェッショナルケア、セルフケアおよびコミュニティケアを説明できる。 B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理 *④集団レベルの予防と健康管理 (地域歯科保健、学校歯科保健、産業歯科保健) を説明できる。 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-3) 高齢者の歯科治療 *⑤口腔機能向上による介護予防について説明できる。</p>	梅澤 幸司
2014/09/08 (月) 1時限 09:00～10:30	平常試験2 解説	<p>【授業の一般目標】 平常試験1以降の講義内容が習得されたかを自己評価をすることができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 中途障害者・高齢者の歯科治療について説明できる。 2. 摂食・嚥下リハビリテーションについて述べられる。 3. 障害者歯科における地域医療連携システムについて説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 平常試験1以降の講義内容について理解できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	梅澤 幸司 林 佐智代

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/09/08 (月) 1時限 09:00~10:30	平常試験2 解説	【場所(教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準(主)】 【国家試験出題基準(副)】 【コアカリキュラム】	梅澤 幸司 林 佐智代

医療行動科学 8

年次	学期	学則科目責任者
4年次	後学期	伊藤 孝訓 (歯科総合診療学)

学習目標 (GIO)	<p>良質な医療の提供を目的としたPOS医療、全人的医療の展開に向けて、基本的臨床技能、特にクリティカルな思考やコミュニケーション能力など、情意領域の行動科学的教養を修得する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・良好な患者-歯科医師関係の確立に要する臨床能力の基本的な態度、知識及び技能を身につける。 ・信頼関係を確立するために、コミュニケーションの重要性を理解し、その能力を身につける。 ・個別性重視の歯科医療を展開するにあたり、遭遇する各種出来事の重み付けをクリティカルに判断する能力を身に付ける。 ・歯科医療におけるチームワークの重要性を理解し、目的達成のために学生相互連携を身につける。
担当教員	伊藤 孝訓、多田 充裕、内田 貴之、青木 伸一郎、遠藤 弘康、岡本 康裕、大沢 聖子、海老原 智康、梶本 真澄、須永 肇、清宮 明日香、李 潤喜、※石井 広志、※井田 聡子、※市川 喜之、※井出 壱也、※梅田 宜承、※大川 将彦、※多田 浩三、※大山 篤、※岡本 茂、※金尾 好章、※北本 厚、※佐藤 繁、※鈴木 義孝、※須永 亨、※関 真之、※野崎 勝也、※堀内 一、※神濱 敦
教科書	「患者ニーズにマッチした歯科医療面接の実際」 伊藤孝訓、寺中敏夫編著 クインテッセンス出版 医療コミュニケーション実習書 日本大学松戸歯学部歯科総合診療学講座編
参考図書	「歯科医療面接アートとサイエンス」 伊藤孝訓編著 砂書房 (第2版) 「イラストレイテッド・クリニカルデンティストリー①患者の診かたと歯科診療」 黒崎紀正他編集 医歯薬出版 「臨床医になるための必修アイテム」 医療面接から臨床判断学まで 竹村洋典 南江堂 「臨床入門 臨床実習の手引き」 福井次矢 医学書院 「口腔診断学」 下里常弘他 医学書院 「POS医療と医学教育の革新のための新しいシステム」 日野原重明 医学書院
実習器材	SGDはノートパソコンを使用するので、班ごとに用意すること。
評価方法 (EV)	<p>演習：授業時間内に行う平常試験及び毎回行う小テスト (60%)、制作物・体験学習レポート (30%)、受講態度 (10%) をもって総合評価 (最終評価) する。</p> <p>平常試験の結果に応じて、補講または再試験等の措置を講じることがある。</p> <p>受講態度は出席することが前提として与えられ、講義・演習参加への積極性を評価対象とする。</p> <p>授業時間数の1/5 以上を欠席した場合、成績評価は0～60点とする。</p>
学生へのメッセージ オフィスアワー	<p>臨床場面を設定した医療面接のロールプレイ演習やその他の基本的臨床技能は、臨床実習において患者に対応する際に即役立つことなので、真摯な思いと意気込みを持って演習に参加していただきたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 実習場所は、第2実習室を基本とする。 2. 集合時間を厳守すること。遅刻は認めない。 3. 実習にふさわしい態度と身なりで取り組むこと。清潔な白衣を着用し、マニキュア、指輪、ピアス、イヤリングは禁止する。茶髪、髭は認めない。長い髪は束ね、帽子の中に入れて垂れないようにすること。また携帯電話の持ち込み及び使用は禁止する。 4. 実習中は私語に慎み、真摯な気持ちで行うこと。 5. 事前に実習書を熟読し、十分な予習を行った上で実習に望むこと。 6. WedClass 上に解説や課題を提示するので必ず確認を行うこと。 7. 集団を対象としたワークショップ形式の演習であるため、各個人が意欲を持った自立的な態度を望む (成人学習)。 <p>E-mail (shindan.md.ml. @ nihon-u.ac.jp) による質問を受け付ける。</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/09/30 (火) 1時限 09:00～10:30	ガイダンス	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、医療行動科学に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 実習のねらい (学習目標) を説明できる。 2. 「成人学習」について概説できる。 3. TBLについて説明できる。 4. ポートフォリオについて説明できる。 5. 言語的コミュニケーションを説明できる。 6. 情報を自ら収集、分析し問題点を探ることができる。 7. 非言語的コミュニケーションを説明できる。 8. 情報を自ら収集、分析し問題点を探ることができる。 9. 問題点を論理的に整理し、解決方法を自ら見いだすことができる。 10. 他の学習者と協力して、最適な解決方法を見いだすことができる。 <p>【準備学習項目】 コミュニケーションスキルについて説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 実習書 (配布)、SGD</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 8 医療面接</p>	伊藤 孝訓 多田 充裕 内田 貴之 青木 伸一郎 遠藤 弘康 岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 梶本 真澄 須永 肇 清宮 明日香 李 潤喜 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之 井出 壱也 梅田 宜承 大川 将彦 多田 浩三 大山 篤 岡本 茂 金尾 好章 北本 厚 佐藤 繁 鈴木 義孝 須永 亨 関 真之 野崎 勝也 堀内 一 神濱 敦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/09/30 (火) 1時限 09:00～10:30	ガイダンス	<p>イ 面接のマナー d コミュニケーションの進め方（質問法、傾聴の仕方、非言語的コミュニケーション）</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 8 医療面接 ア 意義、目的 b 患者歯科医師関係の確立 c 患者の指導、動機付け、治療への参加 イ 面接のマナー a 身だしなみ b 挨拶、態度 c 会話のマナー、言葉遣い f 感情面への対応 ウ 病歴聴取 a 主訴 b 現病歴 e 家族歴 f 患者背景（生活習慣、喫煙歴、社会歴）</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-7 対人関係能力 A-7-1) コミュニケーション *①コミュニケーションの目的と技法（言語的と非言語的）を説明できる。【患者本人、保護者および介護者への説明を含む。】 *②信頼関係を確立するためのコミュニケーションの条件を説明できる。 *③コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 A-7-2) 医療面接 *①医療面接の役割を説明できる。 ②主訴をよく聞き取るとともに、患者の病気に対する考えや治療に対する希望を把握できる。 ③患者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出、整理できる。 ④患者の不安、不満や表情・行動の変化に適切に対応できる。</p>	伊藤 孝訓 多田 充裕 内田 貴之 青木 伸一郎 遠藤 弘康 岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 梶本 真澄 須永 肇 清宮 明日香 李 潤喜 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之 井出 尨也 梅田 宜承 大川 将彦 多田 浩三 大山 篤茂 岡本 好章 金尾 厚 北本 繁 佐藤 義孝 鈴木 亨 須永 真之 関 真之 野崎 勝也 堀内 一敦 神濱
2014/09/30 (火) 2時限 10:40～12:10	ガイダンス	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、医療行動科学に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 実習のねらい（学習目標）を説明できる。 2. 「成人学習」について概説できる。 3. TBLについて説明できる。 4. ポートフォリオについて説明できる。 5. 言語的コミュニケーションを説明できる。 6. 情報を自ら収集、分析し問題点を探することができる。 7. 非言語的コミュニケーションを説明できる。 8. 情報を自ら収集、分析し問題点を探することができる。 9. 問題点を論理的に整理し、解決方法を自ら見いだすことができる。 10. 他の学習者と協力して、最適な解決方法を見いだすことができる。</p> <p>【準備学習項目】 コミュニケーションスキルについて説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 実習書（配布）、SGD</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 8 医療面接 イ 面接のマナー d コミュニケーションの進め方（質問法、傾聴の仕方、非言語的コミュニケーション）</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 8 医療面接 ア 意義、目的 b 患者歯科医師関係の確立 c 患者の指導、動機付け、治療への参加 イ 面接のマナー a 身だしなみ b 挨拶、態度 c 会話のマナー、言葉遣い f 感情面への対応 ウ 病歴聴取 a 主訴 b 現病歴 e 家族歴 f 患者背景（生活習慣、喫煙歴、社会歴）</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-7 対人関係能力 A-7-1) コミュニケーション *①コミュニケーションの目的と技法（言語的と非言語的）を説明できる。【患者本人、保護者および介護者への説明を含む。】 *②信頼関係を確立するためのコミュニケーションの条件を説明できる。 *③コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 A-7-2) 医療面接</p>	伊藤 孝訓 多田 充裕 内田 貴之 青木 伸一郎 遠藤 弘康 岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 梶本 真澄 須永 肇 清宮 明日香 李 潤喜 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之 井出 尨也 梅田 宜承 大川 将彦 多田 浩三 大山 篤茂 岡本 好章 金尾 厚 北本 繁 佐藤 義孝 鈴木 亨 須永 真之 関 真之 野崎 勝也 堀内 一敦 神濱

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/09/30 (火) 2時限 10:40~12:10	ガイダンス	<p>*①医療面接の役割を説明できる。 ②主訴をよく聞き取るとともに、患者の病気に対する考えや治療に対する希望を把握できる。 ③患者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出、整理できる。 ④患者の不安、不満や表情・行動の変化に適切に対応できる。</p>	伊藤 孝訓 多田 充裕 内田 貴之 青木 伸一郎 遠藤 弘康 岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 梶本 真澄 須永 肇 清宮 明日香 李 潤喜 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之也 井出 老也 梅田 宜承 大川 将彦 多田 浩三 大山 篤茂 岡本 好章 金尾 厚 北本 繁 佐藤 義孝 鈴木 亨 須永 真之 関 真之 野崎 勝也 堀内 一 神濱 敦
2014/10/07 (火) 1時限 09:00~10:30	医療面接(1) 「患者背景の設定 / ロールプレイ用シナリオの作成(初診)①」	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、医療面接に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 患者の心理面や行動面を考慮した場面を設定できる。 2. 模擬症例における医療面接の流れが説明できる。 3. 齶蝕, 歯髄炎, 歯周炎の自覚症状が説明できる。 4. 症例に基づいたシナリオを作成できる。 5. 主訴・現病歴など患者心理を配慮した訴え方を表現できる。 6. クリティカルシンキングを意識したシナリオのストーリーを考えることができる。 7. 解釈モデルの重要性を理解し表現できる。 8. 受療動機の重要性を理解し表現できる。</p> <p>【準備学習項目】 ロールプレイの目的を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 実習書 (配布)、SGD</p> <p>【学習方略 (LS)】 演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 8 医療面接 ア 意義, 目的 b 患者歯科医師関係の確立</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 8 医療面接 ア 意義, 目的 a 医療情報の収集・提供 c 患者の指導、動機付け、治療への参加</p> <p>【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-1 医療面接 ①適切な身だしなみ、言葉づかい、礼儀正しい態度で患者に接することができる。 ②医療面接における基本的なコミュニケーションができる。</p>	伊藤 孝訓 多田 充裕 内田 貴之 青木 伸一郎 遠藤 弘康 岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 梶本 真澄 須永 肇 清宮 明日香 李 潤喜 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之也 井出 老也 梅田 宜承 大川 将彦 多田 浩三 大山 篤茂 岡本 好章 金尾 厚 北本 繁 佐藤 義孝 鈴木 亨 須永 真之 関 真之 野崎 勝也 堀内 一 神濱 敦
2014/10/07 (火) 2時限 10:40~12:10	医療面接(1) 「患者背景の設定 / ロールプレイ用シナリオの作成(初診)①」	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、医療面接に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 患者の心理面や行動面を考慮した場面を設定できる。 2. 模擬症例における医療面接の流れが説明できる。 3. 齶蝕, 歯髄炎, 歯周炎の自覚症状が説明できる。 4. 症例に基づいたシナリオを作成できる。 5. 主訴・現病歴など患者心理を配慮した訴え方を表現できる。 6. クリティカルシンキングを意識したシナリオのストーリーを考えることができる。 7. 解釈モデルの重要性を理解し表現できる。 8. 受療動機の重要性を理解し表現できる。</p> <p>【準備学習項目】 ロールプレイの目的を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 実習書 (配布)、SGD</p>	伊藤 孝訓 多田 充裕 内田 貴之 青木 伸一郎 遠藤 弘康 岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 梶本 真澄 須永 肇 清宮 明日香 李 潤喜 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之也 井出 老也 梅田 宜承 大川 将彦 多田 浩三 大山 篤

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/07 (火) 2時限 10:40~12:10	医療面接(1) 「患者背景の設定 / ロールプレイ用 シナリオの作成(初診)①」	<p>【学習方略(LS)】 演習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 8 医療面接 ア 意義, 目的 b 患者歯科医師関係の確立</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 必修の基本的事項 8 医療面接 ア 意義, 目的 a 医療情報の収集・提供 c 患者の指導、動機付け、治療への参加</p> <p>【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-1 医療面接 ①適切な身だしなみ、言葉づかい、礼儀正しい態度で患者に接することができる。 ②医療面接における基本的なコミュニケーションができる。</p>	岡本 茂 金尾 好章 北本 厚 佐藤 繁 鈴木 孝 須永 亨 関 真之 野崎 勝也 堀内 敦 神濱
2014/10/14 (火) 1時限 09:00~10:30	医療面接(2) 「患者背景の設定 / ロールプレイ用 シナリオの作成(初診)②」	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、医療面接に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 患者の心理面や行動面を考慮した場面を設定できる。 2. 模擬症例における医療面接の流れが説明できる。 3. 齶齶, 歯髄炎, 歯周炎の自覚症状が説明できる。 4. 症例に基づいたシナリオを作成できる。 5. 主訴・現病歴など患者心理を配慮した訴え方を表現できる。 6. クリティカルシンキングを意識したシナリオのストーリーを考えることができる。 7. 解釈モデルの重要性を理解し表現できる。 8. 受療動機の重要性を理解し表現できる。</p> <p>【準備学習項目】 患者心理を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 実習書(配布)、SGD</p> <p>【学習方略(LS)】 演習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 8 医療面接 ウ 病歴聴取 f 患者背景 (生活習慣、喫煙歴、社会歴)</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 必修の基本的事項 8 医療面接 ウ 病歴聴取 a 主訴 b 現病歴 d 既往歴 g 患者・家族の考え方・希望</p> <p>【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-1 医療面接 ③患者の病歴(主訴、現病歴、既往歴、家族歴)を聴取できる。 ④患者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出、整理できる。</p>	伊藤 孝訓 多田 充裕 内田 貴之 青木 伸一郎 遠藤 弘康 岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 梶本 真澄 須永 肇 清宮 明日香 李 潤喜 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之也 井出 孝也 梅田 宜承 大川 将彦 多田 浩三 大山 篤 岡本 茂 金尾 好章 北本 厚 佐藤 繁 鈴木 孝 須永 亨 関 真之 野崎 勝也 堀内 敦 神濱
2014/10/14 (火) 2時限 10:40~12:10	医療面接(2) 「患者背景の設定 / ロールプレイ用 シナリオの作成(初診)②」	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、医療面接に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 患者の心理面や行動面を考慮した場面を設定できる。 2. 模擬症例における医療面接の流れが説明できる。 3. 齶齶, 歯髄炎, 歯周炎の自覚症状が説明できる。 4. 症例に基づいたシナリオを作成できる。 5. 主訴・現病歴など患者心理を配慮した訴え方を表現できる。 6. クリティカルシンキングを意識したシナリオのストーリーを考えることができる。 7. 解釈モデルの重要性を理解し表現できる。 8. 受療動機の重要性を理解し表現できる。</p> <p>【準備学習項目】 患者心理を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 実習書(配布)、SGD</p> <p>【学習方略(LS)】 演習</p>	伊藤 孝訓 多田 充裕 内田 貴之 青木 伸一郎 遠藤 弘康 岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 梶本 真澄 須永 肇 清宮 明日香 李 潤喜 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之也 井出 孝也 梅田 宜承 大川 将彦 多田 浩三 大山 篤 岡本 茂 金尾 好章 北本 厚

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/14 (火) 2時限 10:40~12:10	医療面接(2) 「患者背景の設定 / ロールプレイ用 シナリオの作成(初診)②」	【場所(教室/実習室)】 第2実習室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 8 医療面接 ウ 病歴聴取 f 患者背景 (生活習慣、喫煙歴、社会歴) 【国家試験出題基準(副)】 必修の基本的事項 8 医療面接 ウ 病歴聴取 a 主訴 b 現病歴 d 既往歴 g 患者・家族の考え方・希望 【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-1 医療面接 ③患者の病歴(主訴、現病歴、既往歴、家族歴)を聴取できる。 ④患者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出、整理できる。	佐藤 繁 鈴木 充 須永 裕 関 真 野崎 之 堀内 勝 神濱 一 敦
2014/10/21 (火) 1時限 09:00~10:30	医療面接(3) 「患者背景の設定 / ロールプレイ用 シナリオの作成(初診)③」	【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、医療面接に関する知識を習得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 患者の心理面や行動面を考慮した場面を設定できる。 2. 模擬症例における医療面接の流れが説明できる。 3. 齶齶、歯髄炎、歯周炎の自覚症状が説明できる。 4. 症例に基づいたシナリオを作成できる。 5. 主訴・現病歴など患者心理を配慮した訴え方を表現できる。 6. クリティカルシンキングを意識したシナリオのストーリーを考えることができる。 7. 解釈モデルの重要性を理解し表現できる。 8. 受療動機の重要性を理解し表現できる。 【準備学習項目】 ロールプレイを説明できる。 患者心理を説明できる。 【学習場所・媒体等】 模擬患者(SP)、SGD 【学習方略(LS)】 演習 【場所(教室/実習室)】 第2実習室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 8 医療面接 イ 面接のマナー f 感情面への対応 【国家試験出題基準(副)】 必修の基本的事項 8 医療面接 イ 面接のマナー a 身だしなみ b 挨拶、態度 c 会話のマナー、言葉遣い d コミュニケーションの進め方(質問法、傾聴の仕方、非言語的コミュニケーション) 【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-1 医療面接 ⑤患者の不安、不満や表情、行動の変化に適切に対応できる。 ⑦患者のプライバシーに配慮できる。	伊藤 孝 多田 訓 内田 裕 青木 貴 遠藤 伸 岡本 一郎 大沢 弘 海老原 康 須永 聖 清宮 澄 李 潤 石井 喜 市川 志 井出 子 梅田 之 大川 也 多田 承 大田 彦 山本 三 金尾 浩 北本 篤 佐藤 茂 鈴木 好 須永 章 関 真 野崎 之 堀内 勝 神濱 一 敦
2014/10/21 (火) 2時限 10:40~12:10	医療面接(3) 「患者背景の設定 / ロールプレイ用 シナリオの作成(初診)③」	【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、医療面接に関する知識を習得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 患者の心理面や行動面を考慮した場面を設定できる。 2. 模擬症例における医療面接の流れが説明できる。 3. 齶齶、歯髄炎、歯周炎の自覚症状が説明できる。 4. 症例に基づいたシナリオを作成できる。 5. 主訴・現病歴など患者心理を配慮した訴え方を表現できる。 6. クリティカルシンキングを意識したシナリオのストーリーを考えることができる。 7. 解釈モデルの重要性を理解し表現できる。 8. 受療動機の重要性を理解し表現できる。 【準備学習項目】 ロールプレイを説明できる。 患者心理を説明できる。 【学習場所・媒体等】 模擬患者(SP)、SGD 【学習方略(LS)】 演習	伊藤 孝 多田 訓 内田 裕 青木 貴 遠藤 伸 岡本 一郎 大沢 弘 海老原 康 須永 聖 清宮 澄 李 潤 石井 喜 市川 志 井出 子 梅田 之 大川 也 多田 承 大田 彦 山本 三 金尾 浩 北本 篤 佐藤 茂 鈴木 好 須永 章 関 真 野崎 之 堀内 勝 神濱 一 敦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/21 (火) 2時限 10:40~12:10	医療面接(3) 「患者背景の設定 / ロールプレイ用 シナリオの作成(初診)③」	<p>【場所(教室/実習室)】 第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 8 医療面接 イ 面接のマナー f 感情面への対応</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 必修の基本的事項 8 医療面接 イ 面接のマナー a 身だしなみ b 挨拶、態度 c 会話のマナー、言葉遣い d コミュニケーションの進め方(質問法、傾聴の仕方、非言語的コミュニケーション)</p> <p>【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-1 医療面接 ⑤患者の不安、不満や表情、行動の変化に適切に対応できる。 ⑦患者のプライバシーに配慮できる。</p>	佐藤 繁 鈴木 義孝 須永 亨 関 真之 野崎 勝也 堀内 敦 神濱
2014/10/28 (火) 1時限 09:00~10:30	医療面接(4) 「ビデオ撮影 P演習」 S	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、医療面接に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 初診患者に対応した医療面接ができる。 2. 医療面接に適した態度ができる。 3. 医療面接で用いるコミュニケーションスキルが表現できる。 4. 医療面接で用いる非言語的コミュニケーションを表現できる。 5. 模擬患者さんに対する配慮ができる。</p> <p>【準備学習項目】 医療面接スキルを説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 実習書(配布)、模擬患者(SP)、記憶媒体(ビデオ)、SGD</p> <p>【学習方略(LS)】 演習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 第2実習室、第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 8 医療面接 イ 面接のマナー d コミュニケーションの進め方(質問法、傾聴の仕方、非言語的コミュニケーション)</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 必修の基本的事項 8 医療面接 イ 面接のマナー a 身だしなみ b 挨拶、態度 c 会話のマナー、言葉遣い f 感情面への対応</p> <p>【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-1 医療面接 ①適切な身だしなみ、言葉づかい、礼儀正しい態度で患者に接することができる。 ②医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 ③患者の病歴(主訴、現病歴、既往歴、家族歴)を聴取できる。 ④患者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出、整理できる。 ⑤患者の不安、不満や表情、行動の変化に適切に対応できる。</p>	伊藤 孝訓 多田 充裕 内田 貴之 青木 伸一郎 遠藤 弘康 岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 梶本 真澄 須永 肇 清宮 明日香 李 潤喜 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之也 井出 孝也 梅田 宜承 大川 将彦 多田 浩三 大山 篤 岡本 茂 金尾 好章 北本 厚 佐藤 繁 鈴木 義孝 須永 亨 関 真之 野崎 勝也 堀内 敦 神濱
2014/10/28 (火) 2時限 10:40~12:10	医療面接(4) 「ビデオ撮影 P演習」 S	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、医療面接に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 初診患者に対応した医療面接ができる。 2. 医療面接に適した態度ができる。 3. 医療面接で用いるコミュニケーションスキルが表現できる。 4. 医療面接で用いる非言語的コミュニケーションを表現できる。 5. 模擬患者さんに対する配慮ができる。</p> <p>【準備学習項目】 医療面接スキルを説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 実習書(配布)、模擬患者(SP)、記憶媒体(ビデオ)、SGD</p> <p>【学習方略(LS)】 演習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 第2実習室、第1実習室</p>	伊藤 孝訓 多田 充裕 内田 貴之 青木 伸一郎 遠藤 弘康 岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 梶本 真澄 須永 肇 清宮 明日香 李 潤喜 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之也 井出 孝也 梅田 宜承 大川 将彦 多田 浩三 大山 篤 岡本 茂 金尾 好章

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/28 (火) 2時限 10:40~12:10	医療面接 (4) 「ビデオ撮影 P 演習」	<p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 8 医療面接 イ 面接のマナー d コミュニケーションの進め方 (質問法、傾聴の仕方、非言語的コミュニケーション)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 8 医療面接 イ 面接のマナー a 身だしなみ b 挨拶、態度 c 会話のマナー、言葉遣い f 感情面への対応</p> <p>【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-1 医療面接 ①適切な身だしなみ、言葉づかい、礼儀正しい態度で患者に接することができる。 ②医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 ③患者の病歴 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴) を聴取できる。 ④患者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出、整理できる。 ⑤患者の不安、不満や表情、行動の変化に適切に対応できる。</p>	北本 厚 藤 繁 鈴木 義孝 須永 亨 関 真之 野崎 勝也 堀内 一 神濱 敦
2014/11/04 (火) 1時限 09:00~10:30	医療面接 (5) 「発表」	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、医療面接に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 発表のための技術を実施できる。 2. 他の学習者と協力して、最適な解決方法を見いだすことができる。 3. チームワーク技術を実施できる。 4. 他者の医療面接 (ロールプレイ) を評価し、適切なフィードバックができる。</p> <p>【準備学習項目】 問診と医療面接の違い、医療面接の評価の概要を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 実習書 (配布)、SGD、発表</p> <p>【学習方略 (LS)】 演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 11 検査の基本 ア 意義、目標 c 医療情報の収集</p> <p>【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-1 医療面接 ①適切な身だしなみ、言葉づかい、礼儀正しい態度で患者に接することができる。 ②医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 ③患者の病歴 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴) を聴取できる。 ④患者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出、整理できる。 ⑤患者の不安、不満や表情、行動の変化に適切に対応できる。</p>	伊藤 孝訓 多田 充裕 内田 貴之 青木 伸一郎 遠藤 弘康 岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 梶本 真澄 須永 肇 清宮 明日香 李 潤喜 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之也 井出 亮 梅田 宜承 大川 将彦 大田 浩三 大山 篤 岡本 茂 金尾 好章 北本 厚 佐藤 繁 鈴木 義孝 須永 亨 関 真之 野崎 勝也 堀内 一 神濱 敦
2014/11/04 (火) 2時限 10:40~12:10	医療面接 (5) 「発表」	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、医療面接に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 発表のための技術を実施できる。 2. 他の学習者と協力して、最適な解決方法を見いだすことができる。 3. チームワーク技術を実施できる。 4. 他者の医療面接 (ロールプレイ) を評価し、適切なフィードバックができる。</p> <p>【準備学習項目】 問診と医療面接の違い、医療面接の評価の概要を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 実習書 (配布)、SGD、発表</p> <p>【学習方略 (LS)】 演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 11 検査の基本 ア 意義、目標 c 医療情報の収集</p> <p>【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-1 医療面接 ①適切な身だしなみ、言葉づかい、礼儀正しい態度で患者に接することができる。 ②医療面接における基本的なコミュニケーションができる。</p>	伊藤 孝訓 多田 充裕 内田 貴之 青木 伸一郎 遠藤 弘康 岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 梶本 真澄 須永 肇 清宮 明日香 李 潤喜 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之也 井出 亮 梅田 宜承 大川 将彦 大田 浩三 大山 篤 岡本 茂 金尾 好章 北本 厚 佐藤 繁 鈴木 義孝 須永 亨 関 真之 野崎 勝也 堀内 一 神濱 敦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/04 (火) 2時限 10:40~12:10	医療面接 (5) 「発表」	③患者の病歴（主訴、現病歴、既往歴、家族歴）を聴取できる。 ④患者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出、整理できる。 ⑤患者の不安、不満や表情、行動の変化に適切に対応できる。	伊藤 孝訓 多田 充裕 内田 貴之 青木 伸一郎 遠藤 弘康 岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 梶本 真澄 須永 肇 清宮 明日香 李 潤喜 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之也 井出 老也 梅田 宜承 大川 将彦 多田 浩三 大山 篤茂 岡本 好章 金尾 厚 北本 繁 佐藤 義孝 鈴木 亨 須永 関真 野崎 勝也 堀内 一敦 神濱 敦
2014/11/11 (火) 1時限 09:00~10:30	医療面接 (6) 「医療面接プロセスの分析」	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、医療面接に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 医療面接に適した態度を分析できる。 2. 医療面接 (ロールプレイ) で使用された質問法を分析できる。 3. 医療面接 (ロールプレイ) で使用された言語的コミュニケーションスキルを分析できる。 4. 医療面接 (ロールプレイ) で使用された非言語的コミュニケーションスキルを分析できる。 5. 医療面接 (ロールプレイ) の歯科疾患の臨床推論を分析できる。</p> <p>【準備学習項目】 医療面接スキルを説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 実習書 (配布)、SGD</p> <p>【学習方略 (LS)】 演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 8 医療面接 イ 面接のマナー d コミュニケーションの進め方 (質問法、傾聴の仕方、非言語的コミュニケーション)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 8 医療面接 ア 意義、目的 a 医療情報の収集・提供 b 患者歯科医師関係の確立 イ 面接のマナー b 挨拶、態度 c 会話のマナー、言葉遣い</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-7 対人関係能力 A-7-1) コミュニケーション *①コミュニケーションの目的と技法 (言語的と非言語的) を説明できる。【患者本人、保護者および介護者への説明を含む。】 *②信頼関係を確立するためのコミュニケーションの条件を説明できる。 *③コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。</p>	伊藤 孝訓 多田 充裕 内田 貴之 青木 伸一郎 遠藤 弘康 岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 梶本 真澄 須永 肇 清宮 明日香 李 潤喜 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之也 井出 老也 梅田 宜承 大川 将彦 多田 浩三 大山 篤茂 岡本 好章 金尾 厚 北本 繁 佐藤 義孝 鈴木 亨 須永 関真 野崎 勝也 堀内 一敦 神濱 敦
2014/11/11 (火) 2時限 10:40~12:10	医療面接 (6) 「医療面接プロセスの分析」	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、医療面接に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 医療面接に適した態度を分析できる。 2. 医療面接 (ロールプレイ) で使用された質問法を分析できる。 3. 医療面接 (ロールプレイ) で使用された言語的コミュニケーションスキルを分析できる。 4. 医療面接 (ロールプレイ) で使用された非言語的コミュニケーションスキルを分析できる。 5. 医療面接 (ロールプレイ) の歯科疾患の臨床推論を分析できる。</p> <p>【準備学習項目】 医療面接スキルを説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】</p>	伊藤 孝訓 多田 充裕 内田 貴之 青木 伸一郎 遠藤 弘康 岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 梶本 真澄 須永 肇 清宮 明日香 李 潤喜 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之也 井出 老也

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/11 (火) 2時限 10:40～12:10	医療面接 (6) 「医療面接プロセスの分析」	<p>実習書 (配布)、SGD</p> <p>【学習方略 (LS)】 演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 8 医療面接 イ 面接のマナー d コミュニケーションの進め方 (質問法、傾聴の仕方、非言語的コミュニケーション)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 8 医療面接 ア 意義、目的 a 医療情報の収集・提供 b 患者歯科医師関係の確立 イ 面接のマナー b 挨拶、態度 c 会話のマナー、言葉遣い</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-7 対人関係能力 A-7-1) コミュニケーション *①コミュニケーションの目的と技法 (言語的と非言語的) を説明できる。【患者本人、保護者および介護者への説明を含む。】 *②信頼関係を確立するためのコミュニケーションの条件を説明できる。 *③コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。</p>	梅田 宜承 大川 将彦 多田 浩三 大山 篤茂 岡本 茂章 金尾 好章 北本 厚 佐藤 繁 鈴木 義孝 須永 亨 関 真 野崎 勝也 堀内 勝 神濱 敦
2014/11/18 (火) 1時限 09:00～10:30	医療面接 (7) 「医療面接プロセスの分析」	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、医療面接に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 医療面接に適した態度を分析できる。 2. 医療面接 (ロールプレイ) で使用された質問法を分析できる。 3. 医療面接 (ロールプレイ) で使用された言語的コミュニケーションスキルを分析できる。 4. 医療面接 (ロールプレイ) で使用された非言語的コミュニケーションスキルを分析できる。 5. 医療面接 (ロールプレイ) の歯科疾患の臨床推論を分析できる。</p> <p>【準備学習項目】 医療面接スキルを説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 実習書 (配布)、SGD</p> <p>【学習方略 (LS)】 演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 8 医療面接 イ 面接のマナー d コミュニケーションの進め方 (質問法、傾聴の仕方、非言語的コミュニケーション)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 8 医療面接 イ 面接のマナー f 感情面への対応 ウ 病歴聴取 a 主訴 b 現病歴 g 患者・家族の考え方・希望</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-7 対人関係能力 A-7-2) 医療面接 *①医療面接の役割を説明できる。 ②主訴をよく聞き取るとともに、患者の病気に対する考えや治療に対する希望を把握できる。 ④患者の不安、不満や表情・行動の変化に適切に対応できる。</p>	伊藤 孝訓 多田 充裕 内田 貴之 青木 伸一郎 遠藤 弘康 岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 梶本 真澄 須永 肇 清宮 明日香 李 潤喜 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之 井出 老也 梅田 宜承 大川 将彦 多田 浩三 大山 篤茂 岡本 茂章 金尾 好章 北本 厚 佐藤 繁 鈴木 義孝 須永 亨 関 真 野崎 勝也 堀内 勝 神濱 敦
2014/11/18 (火) 2時限 10:40～12:10	医療面接 (7) 「医療面接プロセスの分析」	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、医療面接に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 医療面接に適した態度を分析できる。 2. 医療面接 (ロールプレイ) で使用された質問法を分析できる。 3. 医療面接 (ロールプレイ) で使用された言語的コミュニケーションスキルを分析できる。 4. 医療面接 (ロールプレイ) で使用された非言語的コミュニケーションスキルを分析できる。 5. 医療面接 (ロールプレイ) の歯科疾患の臨床推論を分析できる。</p>	伊藤 孝訓 多田 充裕 内田 貴之 青木 伸一郎 遠藤 弘康 岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 梶本 真澄 須永 肇 清宮 明日香 李 潤喜

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/18 (火) 2時限 10:40~12:10	医療面接 (7) 「医療面接プロセスの分析」	<p>【準備学習項目】 医療面接スキルを説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 実習書 (配布)、SGD</p> <p>【学習方略 (LS)】 演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 8 医療面接 イ 面接のマナー d コミュニケーションの進め方 (質問法、傾聴の仕方、非言語的コミュニケーション)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 8 医療面接 イ 面接のマナー f 感情面への対応 ウ 病歴聴取 a 主訴 b 現病歴 g 患者・家族の考え方・希望</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-7 対人関係能力 A-7-2) 医療面接 *①医療面接の役割を説明できる。 ②主訴をよく聞き取るとともに、患者の病気に対する考えや治療に対する希望を把握できる。 ④患者の不安、不満や表情・行動の変化に適切に対応できる。</p>	石井 広志 井田 聡子 市川 喜之也 井出 孝也 梅田 宜承 大川 将彦 多田 浩三 大山 篤茂 岡本 好章 金尾 好章 北本 厚 佐藤 繁 鈴木 義孝 須永 亨 関 真之 野崎 勝也 堀内 一敦 神濱 敦
2014/11/25 (火) 1時限 09:00~10:30	問題志向型診療録 (1) 「問題点の抽出、整理」	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、問題志向型診療録に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. POMR (問題志向型診療録) の記載項目をあげて、各々の意義を説明できる。 2. POS の形式に則った情報を整理できる。 3. 問題点の抽出を行い、問題リストをまとめることができる。 4. 歯科治療と全身疾患との関連を理解し説明できる。 5. 現症所見から正常、異常を判断できる。 6. 臨床診断名を決定した理由を述べることができる。</p> <p>【準備学習項目】 問題志向型医療 (POS) の定義を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 実習書 (配布)、SGD</p> <p>【学習方略 (LS)】 演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 1 検査の基本 ア 意義、目標 c 医療情報の収集</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 1 1 検査の基本 ア 意義、目標 a 診断 b 治療経過の評価</p> <p>【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-1 医療面接 ③患者の病歴 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴) を聴取できる。 ④患者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出、整理できる。 ⑤患者の不安、不満や表情、行動の変化に適切に対応できる。 ⑥診療録に得られた情報をPOMR (問題志向型診療記録) 形式で記載できる。 ⑧患者に診断結果と治療方針を説明できる。</p>	伊藤 孝訓 多田 充裕 内田 貴之 青木 伸一郎 遠藤 弘康 岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 梶本 真澄 須永 肇 清宮 明日香 李 潤喜 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之也 井出 孝也 梅田 宜承 大川 将彦 多田 浩三 大山 篤茂 岡本 好章 金尾 好章 北本 厚 佐藤 繁 鈴木 義孝 須永 亨 関 真之 野崎 勝也 堀内 一敦 神濱 敦
2014/11/25 (火) 2時限 10:40~12:10	問題志向型診療録 (1) 「問題点の抽出、整理」	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、問題志向型診療録に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. POMR (問題志向型診療録) の記載項目をあげて、各々の意義を説明できる。 2. POS の形式に則った情報を整理できる。 3. 問題点の抽出を行い、問題リストをまとめることができる。 4. 歯科治療と全身疾患との関連を理解し説明できる。 5. 現症所見から正常、異常を判断できる。 6. 臨床診断名を決定した理由を述べることができる。</p> <p>【準備学習項目】 問題志向型医療 (POS) の定義を説明できる。</p>	伊藤 孝訓 多田 充裕 内田 貴之 青木 伸一郎 遠藤 弘康 岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 梶本 真澄 須永 肇 清宮 明日香 李 潤喜 石井 広志

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/25 (火) 2時限 10:40~12:10	問題志向型診療録 (1) 「問題点の抽出、 整理」	<p>【学習場所・媒体等】 実習書（配布）、SGD</p> <p>【学習方略（LS）】 演習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 1 検査の基本 ア 意義、目標 c 医療情報の収集</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 1 1 検査の基本 ア 意義、目標 a 診断 b 治療経過の評価</p> <p>【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-1 医療面接 ③患者の病歴（主訴、現病歴、既往歴、家族歴）を聴取できる。 ④患者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出、整理できる。 ⑤患者の不安、不満や表情、行動の変化に適切に対応できる。 ⑥診療録に得られた情報をPOMR（問題志向型診療記録）形式で記載できる。 ⑧患者に診断結果と治療方針を説明できる。</p>	井田 聡子 市川 喜之也 井出 尙承彦 梅田 宜将彦 大川 将浩三 大山 篤茂 山本 好章 金尾 厚 北本 繁 佐藤 義孝 鈴木 義亨 須永 亨 関 真 野崎 勝也 堀内 一 神濱 敦
2014/12/02 (火) 1時限 09:00~10:30	問題指向型診療録 (2) 「発表」	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、問題志向型診療録に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 発表のための技術を実施できる。 2. 他の学習者と協力して、最適な解決方法を見いだすこと 3. チームワーク技術を実施できる。</p> <p>【準備学習項目】 問題志向型医療(POS)の定義、歯科疾患と各種治療法の関連を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 実習書（配布）、SGD</p> <p>【学習方略（LS）】 演習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 1 検査の基本 ア 意義、目標 c 医療情報の収集</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 1 1 検査の基本 ア 意義、目標 a 診断 b 治療経過の評価</p> <p>【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-1 医療面接 ③患者の病歴（主訴、現病歴、既往歴、家族歴）を聴取できる。 ④患者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出、整理できる。 ⑤患者の不安、不満や表情、行動の変化に適切に対応できる。 ⑥診療録に得られた情報をPOMR（問題志向型診療記録）形式で記載できる。 ⑧患者に診断結果と治療方針を説明できる。</p>	伊藤 孝訓 多田 充裕 内田 貴之 青木 伸一郎 遠藤 弘康 岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 梶本 真澄 須永 肇 清宮 明日香 李 潤喜 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之也 井出 尙承彦 梅田 宜将彦 大川 将浩三 大山 篤茂 山本 好章 岡本 厚 金尾 繁 北本 義孝 佐藤 義亨 鈴木 亨 須永 亨 関 真 野崎 勝也 堀内 一 神濱 敦
2014/12/02 (火) 2時限 10:40~12:10	問題指向型診療録 (2) 「発表」	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、問題志向型診療録に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 発表のための技術を実施できる。 2. 他の学習者と協力して、最適な解決方法を見いだすこと 3. チームワーク技術を実施できる。</p> <p>【準備学習項目】 問題志向型医療(POS)の定義、歯科疾患と各種治療法の関連を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 実習書（配布）、SGD</p> <p>【学習方略（LS）】 演習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項</p>	伊藤 孝訓 多田 充裕 内田 貴之 青木 伸一郎 遠藤 弘康 岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 梶本 真澄 須永 肇 清宮 明日香 李 潤喜 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之也 井出 尙承彦 梅田 宜将彦 大川 将浩三 大山 篤茂 山本 好章 岡本 厚 金尾 繁

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/02 (火) 2時限 10:40～12:10	問題志向型診療録 (2) 「発表」	1 1 検査の基本 ア 意義、目標 c 医療情報の収集 【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 1 1 検査の基本 ア 意義、目標 a 診断 b 治療経過の評価 【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-1 医療面接 ③患者の病歴(主訴、現病歴、既往歴、家族歴)を聴取できる。 ④患者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出、整理できる。 ⑤患者の不安、不満や表情、行動の変化に適切に対応できる。 ⑥診療録に得られた情報をPOMR(問題志向型診療記録)形式で記載できる。 ⑧患者に診断結果と治療方針を説明できる。	北本 厚 藤 繁 鈴木 義孝 須永 亨 関 真之 野崎 勝也 堀内 一 神濱 敦
2014/12/09 (火) 1時限 09:00～10:30	問題志向型診療録 (3) 「治療方針の立案」	【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、問題志向型診療録に関する知識を習得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 各疾患に対して適切な治療方針を立案できる。 2. 一口腔単位を考慮した治療方針を立案できる。 3. 治療方針の立案の根拠を説明できる。 4. 診断名を決定した根拠を説明できる。 5. 治療方針に従った治療順序を列挙できる。 6. 基本的な患者教育の内容を立案できる。 【準備学習項目】 歯科疾患と各種治療法の関連を説明できる。 クリティカルシンキングを概説できる。 【学習場所・媒体等】 実習書(配布)、SGD 【学習方略 (LS)】 演習 【場所(教室/実習室)】 第2実習室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 1 検査の基本 ア 意義、目標 c 医療情報の収集 【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 1 1 検査の基本 ア 意義、目標 a 診断 b 治療経過の評価 【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-1 医療面接 ③患者の病歴(主訴、現病歴、既往歴、家族歴)を聴取できる。 ④患者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出、整理できる。 ⑤患者の不安、不満や表情、行動の変化に適切に対応できる。 ⑥診療録に得られた情報をPOMR(問題志向型診療記録)形式で記載できる。 ⑧患者に診断結果と治療方針を説明できる。	伊藤 孝訓 多田 充裕 内田 貴之 青木 伸一郎 遠藤 弘康 岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 梶本 真澄 須永 肇 清宮 明香 李 潤喜 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之也 井出 亮 梅田 宜承 大川 将彦 多田 浩三 大山 篤 岡本 茂 金尾 好章 北本 厚 藤 繁 鈴木 義孝 関 真之 野崎 勝也 堀内 一 神濱 敦
2014/12/09 (火) 2時限 10:40～12:10	問題志向型診療録 (3) 「治療方針の立案」	【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、問題志向型診療録に関する知識を習得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 各疾患に対して適切な治療方針を立案できる。 2. 一口腔単位を考慮した治療方針を立案できる。 3. 治療方針の立案の根拠を説明できる。 4. 診断名を決定した根拠を説明できる。 5. 治療方針に従った治療順序を列挙できる。 6. 基本的な患者教育の内容を立案できる。 【準備学習項目】 歯科疾患と各種治療法の関連を説明できる。 クリティカルシンキングを概説できる。 【学習場所・媒体等】 実習書(配布)、SGD 【学習方略 (LS)】 演習 【場所(教室/実習室)】 第2実習室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 1 検査の基本 ア 意義、目標 c 医療情報の収集	伊藤 孝訓 多田 充裕 内田 貴之 青木 伸一郎 遠藤 弘康 岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 梶本 真澄 須永 肇 清宮 明香 李 潤喜 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之也 井出 亮 梅田 宜承 大川 将彦 多田 浩三 大山 篤 岡本 茂 金尾 好章 北本 厚 藤 繁 鈴木 義孝 関 真之 野崎 勝也 堀内 一 神濱 敦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/09 (火) 2時限 10:40~12:10	問題志向型診療録 (3) 「治療方針の立案」	<p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 1 1 検査の基本 ア 意義、目標 a 診断 b 治療経過の評価</p> <p>【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-1 医療面接 ③患者の病歴（主訴、現病歴、既往歴、家族歴）を聴取できる。 ④患者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出、整理できる。 ⑤患者の不安、不満や表情、行動の変化に適切に対応できる。 ⑥診療録に得られた情報をPOMR（問題志向型診療記録）形式で記載できる。 ⑧患者に診断結果と治療方針を説明できる。</p>	伊藤 孝訓 多田 充裕 内田 貴之 青木 伸一郎 遠藤 弘康 岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 梶本 真澄 須永 肇 清宮 明日香 李 潤喜 石井 志子 井田 聡子 市川 喜之 井出 老也 梅田 宜承 大川 将彦 多田 浩三 大山 篤茂 岡本 好章 金尾 厚 北本 繁 佐藤 義孝 鈴木 亨 須永 真之 関 勝也 野崎 一 堀内 敦 神濱
2014/12/16 (火) 1時限 09:00~10:30	問題志向型診療録 (4) 「発表」	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、問題志向型診療録に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 発表のための技術を実施できる。 2. 他の学習者と協力して、最適な解決方法を見いだすこと 3. チームワーク技術を実施できる。</p> <p>【準備学習項目】 問題志向型医療(POS)の定義、歯科疾患と各種治療法の関連を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 実習書(配付)、SGD、発表</p> <p>【学習方略(LS)】 演習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 302教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 1 検査の基本 ア 意義、目標 c 医療情報の収集</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 1 1 検査の基本 ア 意義、目標 a 診断 b 治療経過の評価</p> <p>【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-1 医療面接 ③患者の病歴（主訴、現病歴、既往歴、家族歴）を聴取できる。 ④患者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出、整理できる。 ⑥診療録に得られた情報をPOMR（問題志向型診療記録）形式で記載できる。 ⑧患者に診断結果と治療方針を説明できる。</p>	伊藤 孝訓 多田 充裕 内田 貴之 青木 伸一郎 遠藤 弘康 岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 梶本 真澄 須永 肇 清宮 明日香 李 潤喜 石井 志子 井田 聡子 市川 喜之 井出 老也 梅田 宜承 大川 将彦 多田 浩三 大山 篤茂 岡本 好章 金尾 厚 北本 繁 佐藤 義孝 鈴木 亨 須永 真之 関 勝也 野崎 一 堀内 敦 神濱
2014/12/16 (火) 2時限 10:40~12:10	問題志向型診療録 (4) 「発表」	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、問題志向型診療録に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 発表のための技術を実施できる。 2. 他の学習者と協力して、最適な解決方法を見いだすこと 3. チームワーク技術を実施できる。</p> <p>【準備学習項目】 問題志向型医療(POS)の定義、歯科疾患と各種治療法の関連を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 実習書(配付)、SGD、発表</p> <p>【学習方略(LS)】 演習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 302教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 1 検査の基本 ア 意義、目標 c 医療情報の収集</p>	伊藤 孝訓 多田 充裕 内田 貴之 青木 伸一郎 遠藤 弘康 岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 梶本 真澄 須永 肇 清宮 明日香 李 潤喜 石井 志子 井田 聡子 市川 喜之 井出 老也 梅田 宜承 大川 将彦 多田 浩三 大山 篤茂 岡本 好章 金尾 厚 北本 繁 佐藤 義孝 鈴木 亨

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/16 (火) 2時限 10:40～12:10	問題志向型診療録 (4) 「発表」	<p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 1 1 検査の基本 ア 意義、目標 a 診断 b 治療経過の評価</p> <p>【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-1 医療面接 ③患者の病歴(主訴、現病歴、既往歴、家族歴)を聴取できる。 ④患者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出、整理できる。 ⑥診療録に得られた情報をPOMR(問題志向型診療記録)形式で記載できる。 ⑧患者に診断結果と治療方針を説明できる。</p>	須永 亨 関 真之 野崎 勝也 堀内 一敦 神濱 敦
2015/01/13 (火) 1時限 09:00～10:30	医療面接の行動評価	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、医療面接の行動評価に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 医療面接の目的を説明できる。 2. 医療面接の流れを説明できる。 3. 医療面接に必要な態度、マナーを説明できる。 4. 患者中心の歯科医療を説明できる。 5. 医療面接におけるコンテンツの評価項目を説明できる。 6. 医療面接におけるコンテンツの評価基準を説明できる。 7. 医療面接におけるプロセスの評価項目を説明できる。 8. 医療面接におけるプロセスの評価基準を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 問診と医療面接の違い、医療面接の評価の概要を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 実習書(配布)、SGD</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 302教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 8 医療面接 ア 意義、目的 b 患者歯科医師関係の確立</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 8 医療面接 イ 面接のマナー a 身だしなみ b 挨拶、態度 c 会話のマナー、言葉遣い d コミュニケーションの進め方(質問法、傾聴の仕方、非言語的コミュニケーション)</p> <p>【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-1 医療面接 ①適切な身だしなみ、言葉づかい、礼儀正しい態度で患者に接することができる。 ②医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 ③患者の病歴(主訴、現病歴、既往歴、家族歴)を聴取できる。 ④患者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出、整理できる。 ⑤患者の不安、不満や表情、行動の変化に適切に対応できる。 ⑦患者のプライバシーに配慮できる。</p>	伊藤 孝訓 多田 充裕 内田 貴之 青木 伸一郎 遠藤 弘康 藤本 康裕 岡本 聖子 大沢 大智 海老原 智康 梶本 真澄 須永 肇 清宮 明日香 李 潤喜 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之也 井出 孝也 梅田 宜承 大川 将彦 多田 浩三 大山 篤 岡本 茂 金尾 好章 北本 厚 佐藤 繁 鈴木 義孝 須永 亨 関 真之 野崎 勝也 堀内 一敦 神濱 敦
2015/01/13 (火) 2時限 10:40～12:10	医療面接の行動評価	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、医療面接の行動評価に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 医療面接の目的を説明できる。 2. 医療面接の流れを説明できる。 3. 医療面接に必要な態度、マナーを説明できる。 4. 患者中心の歯科医療を説明できる。 5. 医療面接におけるコンテンツの評価項目を説明できる。 6. 医療面接におけるコンテンツの評価基準を説明できる。 7. 医療面接におけるプロセスの評価項目を説明できる。 8. 医療面接におけるプロセスの評価基準を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 問診と医療面接の違い、医療面接の評価の概要を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 実習書(配布)、SGD</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 302教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p>	伊藤 孝訓 多田 充裕 内田 貴之 青木 伸一郎 遠藤 弘康 藤本 康裕 岡本 聖子 大沢 大智 海老原 智康 梶本 真澄 須永 肇 清宮 明日香 李 潤喜 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之也 井出 孝也 梅田 宜承 大川 将彦 多田 浩三 大山 篤 岡本 茂 金尾 好章 北本 厚 佐藤 繁 鈴木 義孝 須永 亨 関 真之

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/13 (火) 2時限 10:40~12:10	医療面接の行動評価	<p>必修の基本的事項 8 医療面接 ア 意義, 目的 b 患者歯科医師関係の確立</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 8 医療面接 イ 面接のマナー a 身だしなみ b 挨拶、態度 c 会話のマナー、言葉遣い d コミュニケーションの進め方 (質問法、傾聴の仕方、非言語的コミュニケーション)</p> <p>【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-1 医療面接 ①適切な身だしなみ、言葉づかい、礼儀正しい態度で患者に接することができる。 ②医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 ③患者の病歴 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴) を聴取できる。 ④患者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出、整理できる。 ⑤患者の不安、不満や表情、行動の変化に適切に対応できる。 ⑦患者のプライバシーに配慮できる。</p>	野崎 勝也 堀内 一敦 神濱 敦
2015/01/20 (火) 1時限 09:00~10:30	問題解決手法 (1)	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、問題解決手法に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 情報を自ら収集、分析し問題点を探すことができる。 2. 問題点を論理的に整理し、解決方法を自ら見いだすことができる。 3. 他の学習者と協力して、問題点を図解化できる。 4. KJ法の手順を実施できる。</p> <p>【準備学習項目】 KJ法の手順を概説できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 実習書 (配布)、SGD</p> <p>【学習方略 (LS)】 演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 17 一般教養的事項 イ 医学・医療に関する人文、社会科学、自然科学、芸術などに関連する一般教養的知識や考え方</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-6 生涯学習 A-6-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 A-7 対人関係能力 A-7-1) コミュニケーション *③コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。</p>	伊藤 孝訓 多田 充裕 内田 貴之 青木 伸一郎 遠藤 弘康 岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 梶本 真澄 須永 肇 清宮 明日香 李 潤喜 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之也 井出 孝也 梅田 宜承 大川 将彦 多田 浩三 大山 篤茂 岡本 好章 金尾 厚 北本 繁 佐藤 義孝 鈴木 亨 須永 真之 関 真之 野崎 勝也 堀内 一敦 神濱 敦
2015/01/20 (火) 2時限 10:40~12:10	問題解決手法 (1)	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、問題解決手法に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 情報を自ら収集、分析し問題点を探すことができる。 2. 問題点を論理的に整理し、解決方法を自ら見いだすことができる。 3. 他の学習者と協力して、問題点を図解化できる。 4. KJ法の手順を実施できる。</p> <p>【準備学習項目】 KJ法の手順を概説できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 実習書 (配布)、SGD</p> <p>【学習方略 (LS)】 演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 17 一般教養的事項 イ 医学・医療に関する人文、社会科学、自然科学、芸術などに関連する一般教養的知識や考え方</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-6 生涯学習 A-6-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。</p>	伊藤 孝訓 多田 充裕 内田 貴之 青木 伸一郎 遠藤 弘康 岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 梶本 真澄 須永 肇 清宮 明日香 李 潤喜 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之也 井出 孝也 梅田 宜承 大川 将彦 多田 浩三 大山 篤茂 岡本 好章 金尾 厚 北本 繁 佐藤 義孝 鈴木 亨 須永 真之 関 真之 野崎 勝也 堀内 一敦 神濱 敦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/20 (火) 2時限 10:40~12:10	問題解決手法 (1)	②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 A-7 対人関係能力 A-7-1) コミュニケーション *③コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。	伊藤 孝訓 多田 充裕 内田 貴之 青木 伸一郎 遠藤 弘康 岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 梶本 真澄 須永 肇 清宮 明日香 李 潤喜 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之也 井出 老也 梅田 宜承 大川 将彦 多田 浩三 大岡 篤茂 金尾 好章 北本 厚 佐藤 繁 鈴木 義孝 須永 亨 関 真之 野崎 勝也 堀内 一敦 神濱 敦
2015/01/27 (火) 1時限 09:00~10:30	問題解決手法 (2)	【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、問題解決手法に関する知識を習得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 問題解決のプロセスを概説できる。 2. 問題点を分析し、解決方法を自ら見いだすことができる。 3. 他の学習者と協力して、最適な解決方法を見いだすことができる。 4. チームワーク技術を実施できる。 5. フィッシュボーン (要因解析) を実施できる。 【準備学習項目】 KJ法の手順を概説できる。 フィッシュボーン解析の概説できる。 【学習場所・媒体等】 実習書 (配布)、SGD 【学習方略 (LS)】 演習 【場所 (教室/実習室)】 第2実習室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 7 一般教養の事項 イ 医学・医療に関する人文、社会科学、自然科学、芸術などに関連する一般教養的知識や考え方 【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-6 生涯学習 A-6-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 A-7 対人関係能力 A-7-1) コミュニケーション *③コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。	伊藤 孝訓 多田 充裕 内田 貴之 青木 伸一郎 遠藤 弘康 岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 梶本 真澄 須永 肇 清宮 明日香 李 潤喜 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之也 井出 老也 梅田 宜承 大川 将彦 多田 浩三 大岡 篤茂 金尾 好章 北本 厚 佐藤 繁 鈴木 義孝 須永 亨 関 真之 野崎 勝也 堀内 一敦 神濱 敦
2015/01/27 (火) 2時限 10:40~12:10	問題解決手法 (2)	【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、問題解決手法に関する知識を習得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 問題解決のプロセスを概説できる。 2. 問題点を分析し、解決方法を自ら見いだすことができる。 3. 他の学習者と協力して、最適な解決方法を見いだすことができる。 4. チームワーク技術を実施できる。 5. フィッシュボーン (要因解析) を実施できる。 【準備学習項目】 KJ法の手順を概説できる。 フィッシュボーン解析の概説できる。 【学習場所・媒体等】 実習書 (配布)、SGD 【学習方略 (LS)】 演習 【場所 (教室/実習室)】 第2実習室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 7 一般教養の事項	伊藤 孝訓 多田 充裕 内田 貴之 青木 伸一郎 遠藤 弘康 岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 梶本 真澄 須永 肇 清宮 明日香 李 潤喜 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之也 井出 老也 梅田 宜承 大川 将彦 多田 浩三 大岡 篤茂 金尾 好章 北本 厚 佐藤 繁 鈴木 義孝 須永 亨

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/27 (火) 2時限 10:40~12:10	問題解決手法 (2)	イ 医学・医療に関する人文、社会科学、自然科学、芸術などに関連する一般教養的知識や考え方 【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-6 生涯学習 A-6-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 A-7 対人関係能力 A-7-1) コミュニケーション *③コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。	関 真之 野崎 勝也 堀内 敦 神濱 敦
2015/02/03 (火) 1時限 09:00~10:30	平常試験 2	【学習方略 (LS)】 その他 【場所 (教室/実習室)】 302教室	伊藤 孝訓 岡本 康裕
2015/02/03 (火) 2時限 10:40~12:10	問題解決手法 (3) 「発表」	【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、問題解決手法に関する知識を習得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 問題解決のプロセスを概説できる。 2. 問題点を分析し解決方法を自ら見いだすことができる。 3. 課題に対して策定した解決について、文章化することができる。 【準備学習項目】 実習書(配布)、SGD、発表 【学習場所・媒体等】 第2実習室 【学習方略 (LS)】 演習 【場所 (教室/実習室)】 302教室、第2実習室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 17 一般教養的事項 イ 医学・医療に関する人文、社会科学、自然科学、芸術などに関連する一般教養的知識や考え方 【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-6 生涯学習 A-6-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 A-7 対人関係能力 A-7-1) コミュニケーション *②信頼関係を確立するためのコミュニケーションの条件を説明できる。 *③コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。	伊藤 孝訓 多田 充裕 内田 貴之 青木 伸一郎 遠藤 弘康 岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 梶本 真澄 須永 肇 清宮 明日香 李 潤喜 石井 広志子 井田 聡之 市川 喜之 井出 壱也 梅田 宜将彦 大川 将彦 多田 浩三 岡本 篤茂 大山 好章 金尾 好章 北本 厚 佐藤 繁 鈴木 義孝 関 真之 野崎 勝也 堀内 敦 神濱 敦

歯科麻酔学

年次	学期	学則科目責任者
4年次	後学期	渋谷 鑛 (歯科麻酔学)

学習目標 (G I O)	1. 全身麻酔法, 局所麻酔法および精神鎮静法に必要な基礎知識 (生理学、薬理学、神経学、解剖学) を習得する。 2. 歯科治療中の全身管理と偶発症発生時の対応について学ぶ。 3. 救急処置に必要な知識と技術を習得する。 4. 歯科・口腔領域の痛み治療の基礎知識と東洋医学的治療法について学ぶ。
担当教員	渋谷 鑛、山口 秀紀、石橋 肇、卯田 昭夫、下坂 典立、鈴木 正敏、※米長 悦也、※大橋 一之、※吉村 宅弘、※金子 守男、※別部 智司、※橋本 崇文、※西連寺 央康
教科書	スタンダード全身管理・歯科麻酔学 第2版 小谷順一郎 編集 学建書院 痛みの診断・治療マニュアル 別部智司、見崎徹 編集、雨宮義弘 監修 医歯薬出版 臨床経穴図 木下晴都 医道の日本社
参考図書	シナリオで学ぶチュートリアル歯科麻酔 住友雅人、小谷順一郎、渋谷 鑛 編 医歯薬出版 臨床に役立つ麻酔読本 鈴木 太 監修 日本醫事新報社
評価方法 (E V)	講義：授業時間内に行う平常試験(100%) によって評価点とする。平常試験の結果に応じて、補講などの措置を講じることがある。 実習：小テスト(50%)、実習評価(50%)。実習態度も実習評価に加味する。 講義・実習それぞれ1/5以上を欠席した場合、成績評価は0~60点とする。なお、講義について合格点(60点)に達しない者に対し、再試験を行うが、講義を1/5以上欠席した場合、再試験の受験資格を与えない。また、講義・実習のいずれかが合格点に達しない場合、評価点は60点未満とする。 最終評価は、講義(70%)、実習(30%)の割合とする。
学生へのメッセージ オフィスアワー	麻酔は怖いもの、奇異なものというイメージを払拭し、安全なもの、扱いやすいものというイメージを持ってほしい。 口腔内への侵襲だけではなく、いつも全身への影響を考える意識を持つことを実習から学んでほしい。 オフィスアワー：渋谷、山口、石橋、卯田、下坂、鈴木 月曜日16:30~17:30

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/01 (水) 3時限 13:00~14:30	麻酔(科)学概論	<p>【授業の一般目標】 麻酔の歴史の概略と歯科麻酔学の特徴を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 麻酔学の発達と歴史上の史実・変遷について述べることができる。 2. 麻酔学の重要性和今日の歯科麻酔が担うべき役割を述べるができる。</p> <p>【準備学習項目】 1. 麻酔の歴史の概略を述べるができる。 2. 歯科麻酔学の特徴を述べるができる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 17 一般教養的事項 ア 医学史、歯科医学史</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	渋谷 鑛
2014/10/01 (水) 4時限 14:40~16:10	全身管理の基本 ・全身管理に必要な生理学	<p>【授業の一般目標】 全身管理に必要な解剖学、生理学及び生化学の項目について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 呼吸の基礎知識について説明できる。 2. 循環の基礎知識について説明できる。 3. 神経の基礎知識について説明できる。 4. 代謝・内分泌の基礎知識について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 解剖学、生理学及び生化学で学んだ内容のうち、全身管理に必要な項目を説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 d 生体構成成分の構造・機能</p>	卯田 昭夫

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/01 (水) 4時限 14:40～16:10	全身管理の基本 ・全身管理に必要な生理学	<p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 e 器官系（骨格系、筋系、消化器系、呼吸器系、循環器系（脈管系）、泌尿器系、生殖器系、神経系、感覚器系、内分泌系）</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	卯田 昭夫
2014/10/08 (水) 3時限 13:00～14:30	全身管理の基本 ・全身状態評価 ・管理上問題となる疾患の病態	<p>【授業の一般目標】 全身状態評価と管理上問題となる疾患について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 術前診察について説明できる。 2. 臨床検査について説明できる。 3. 手術危険度について説明できる。 4. 管理方法の選択について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 全身管理に必要な解剖学、生理学及び臨床検査学の項目について説明できる。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論IX 検査 3 検体検査 イ 一般臨床検査</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論VIII 診察 6 全身疾患を有する者への対応 ア 留意すべき疾患</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-3) 歯科麻酔の基本 E-1-3) - (1) 全身管理 *⑥歯科治療時に注意を要する全身疾患(小児も含む)を説明できる。【歯科治療時の対応を含む。】 E-1-1) 基本的診療技能 *⑩各種臨床検査の基準値を知り、重要な異常値の意味を説明できる。</p>	卯田 昭夫
2014/10/08 (水) 4時限 14:40～16:10	全身管理の基本 ・管理上問題となる疾患	<p>【授業の一般目標】 全身管理上問題となる疾患について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 呼吸器疾患について説明できる。 2. 循環器系疾患について説明できる。 3. 脳・神経疾患について説明できる。 4. 代謝・内分泌系疾患について説明できる。 5. 肝疾患について説明できる。 6. 腎疾患について説明できる。 7. 妊婦について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 これまで歯科麻酔学で学んだ項目を列挙して説明できる。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>【国家試験出題基準（副）】</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-3) 歯科麻酔の基本 E-1-3) - (1) 全身管理 *⑥歯科治療時に注意を要する全身疾患(小児も含む)を説明できる。【歯科治療時の対応を含む。】 *⑩患者の全身状態評価を説明できる。</p>	卯田 昭夫
2014/10/15 (水) 3時限 13:00～14:30	局所麻酔法	<p>【授業の一般目標】 局所麻酔の歴史と局所麻酔薬の基礎的事項を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 局所麻酔の歴史を述べるができる。 2. 局所麻酔薬に関する神経生理学と薬剤の特徴について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 1. 局所麻酔の始まりについて述べるができる。 2. 痛みの伝達について説明できる。</p> <p>【学習方略（LS）】</p>	石橋 肇

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/15 (水) 3時限 13:00~14:30	局所麻酔法	<p>講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 コ 麻酔法 a 局所麻酔 (局所麻酔法、局所麻酔薬、血管収縮薬、合併症、偶発症)</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論X 治療 6 麻酔、緩和医療 ア 局所麻酔法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-3) 歯科麻酔の基本 E-1-3) - (3) 局所麻酔法 *①局所麻酔の目的を説明できる。 *②局所麻酔薬を分類し、その作用機序を説明できる。 *③局所麻酔作用に影響を及ぼす因子を説明できる。</p>	石橋 肇
2014/10/15 (水) 4時限 14:40~16:10	局所麻酔法	<p>【授業の一般目標】 歯科用局所麻酔薬の特徴と血管収縮薬について理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 歯科用局所麻酔薬の特徴と使用上の注意点について説明できる。 2. 血管収縮薬の薬理について説明できる。 3. 局所麻酔の偶発症について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 1. 歯科用局所麻酔薬の特徴を述べることができる。 2. 血管収縮薬の種類を述べることができる。</p> <p>【学習方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 コ 麻酔法 a 局所麻酔 (局所麻酔法、局所麻酔薬、血管収縮薬、合併症、偶発症)</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論X 治療 6 麻酔、緩和医療 イ 局所麻酔薬、血管収縮薬</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-3) 歯科麻酔の基本 E-1-3) - (3) 局所麻酔法 *④血管収縮薬の使用目的と種類、特徴および臨床使用上の注意を説明できる。 *⑤局所麻酔法の種類と特徴を説明できる。 *⑥局所麻酔時の合併症(偶発症)を説明できる。</p>	石橋 肇
2014/10/22 (水) 3時限 13:00~14:30	精神鎮静法	<p>【授業の一般目標】 精神鎮静法について理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 精神鎮静法の適応症、選択及び管理方法について列挙できる。 2. 静脈内鎮静法及び吸入鎮静法の適応と使用薬剤及び管理方法を具体的に説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 精神鎮静法について説明できる。</p> <p>【学習方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 コ 麻酔法 c 精神鎮静法 (吸入鎮静法、静脈内鎮静法)</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論X 治療 6 麻酔、緩和医療 ケ 吸入鎮静法、静脈内鎮静法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育</p>	石橋 肇

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/22 (水) 3時限 13:00～14:30	精神鎮静法	E-1 診療の基本 E-1-3) 歯科麻酔の基本 E-1-3) - (2) 精神鎮静法 *①精神鎮静法の特徴と目的および種類を説明できる。 *②吸入鎮静法の適応と禁忌および使用薬物を説明できる。 *③静脈内鎮静法の適応と禁忌および使用薬物を説明できる。 *④精神鎮静法の周術期の管理を説明できる。	石橋 肇
2014/10/22 (水) 4時限 14:40～16:10	精神鎮静法	【授業の一般目標】 精神鎮静法の実際について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 精神鎮静法の実際について述べるができる。 2. 精神鎮静法後の帰宅許可の基準について述べるができる。 3. 精神鎮静法後の患者への注意事項を述べるができる。 【準備学習項目】 精神鎮静法の種類を列挙し、説明できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 コ 麻酔法 c 精神鎮静法 (吸入鎮静法、静脈内鎮静法) 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論X 治療 6 麻酔、緩和医療 ケ 吸入鎮静法、静脈内鎮静法 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-3) 歯科麻酔の基本 E-1-3) - (2) 精神鎮静法 *④精神鎮静法の周術期の管理を説明できる。	石橋 肇
2014/10/29 (水) 3時限 13:00～14:30	患者管理の実際 (その1) バイタルサインと モニタリングの実 際 ・10月29日から11 月19日の患者管理 の実際その1～4) は4班に分けてグ ループごとにロー テーションで行う。	【授業の一般目標】 バイタルサインについて理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科外来の一般的医療面接項目を列挙できる。 2. 合併症を有する患者の対診時の実際について説明できる。 3. バイタルサインについて説明できる。 【準備学習項目】 1. 医療面接について説明できる。 2. バイタルサインを列挙し、概要を述べるができる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室、第1実習室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 10 診察の基本 オ 全身の診察 c バイタルサイン (呼吸、脈拍、血圧、体温) 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論VIII 診察 6 全身疾患を有する者への対応 オ 診察 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-3) 歯科麻酔の基本 E-1-3) - (1) 全身管理 *①バイタルサインを列挙し、説明できる。 *②血圧を測定し、状況を把握できる。 *③脈拍数を測定し、状況を把握できる。 *④呼吸数を測定し、状況を把握できる。	渋谷 鏡 山口 秀紀 石橋 肇 卯田 昭夫 下坂 典立 鈴木 正敏 米長 悦也 大橋 一之 吉村 宅弘 金子 守男 橋本 崇文 西連寺 央康
2014/10/29 (水) 4時限 14:40～16:10	患者管理の実際 (その1) バイタルサインと モニタリングの実 際	【授業の一般目標】 バイタルサインを測定できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. バイタルサインの的確な把握とその実際を行うことができる。 2. 血圧測定を行うことができる。緊急時の測定ができる。 3. モニタリングを実際に行うことができる。 4. 血糖測定を行い数値の解釈ができる。 5. 歯科麻酔学救急キットの器具の使用方法について説明できる。 【準備学習項目】	渋谷 鏡 山口 秀紀 石橋 肇 卯田 昭夫 下坂 典立 鈴木 正敏 米長 悦也 大橋 一之 吉村 宅弘 金子 守男 橋本 崇文

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/29 (水) 4時限 14:40～16:10	患者管理の実際 (その1) バイタルサインと モニタリングの実際	バイタルサインを列挙し、説明ができる。 【学習方略 (L S)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 302教室、第1実習室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 10 診察の基本 オ 全身の診察 c バイタルサイン (呼吸、脈拍、血圧、体温) 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅷ 診察 6 全身疾患を有する者への対応 オ 診察 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-3) 歯科麻酔の基本 E-1-3) - (1) 全身管理 *①バイタルサインを列挙し、説明できる。 *②血圧を測定し、状況を把握できる。 *③脈拍数を測定し、状況を把握できる。 *④呼吸数を測定し、状況を把握できる。	西連寺 央康
2014/11/05 (水) 3時限 13:00～14:30	患者管理の実際 (その2) 東洋医学的治療法 と針・灸の実技	【授業の一般目標】 東洋医学について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 東洋医学療法の概略を説明できる。 2. 東洋医学と西洋医学の違いについて説明できる。 【準備学習項目】 東洋医学について説明できる。 【学習方略 (L S)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室、第1実習室 【国家試験出題基準 (主)】 【国家試験出題基準 (副)】 【コアカリキュラム】	渋谷 鏡 山口 秀紀 石橋 肇 卯田 昭夫 下坂 典立 鈴木 正敏 米長 悦也 大橋 一之 吉村 宅弘 金子 守男 橋本 崇文 西連寺 央康
2014/11/05 (水) 4時限 14:40～16:10	患者管理の実際 (その2) 東洋医学的治療法 と針・灸の実技	【授業の一般目標】 東洋医学的治療法を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科口腔領域に用いられる経穴・経絡を列挙できる。 2. 鍼灸治療の実際を説明できる。 3. 針の弾入、刺針、置針を含めた針の操作を行える。 4. 灸法について述べる事ができる。 5. 針麻酔 (和痛) の概念を説明できる。 【準備学習項目】 鍼灸について説明できる。 【学習方略 (L S)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 302教室、第1実習室 【国家試験出題基準 (主)】 【国家試験出題基準 (副)】 【コアカリキュラム】	渋谷 鏡 山口 秀紀 石橋 肇 卯田 昭夫 下坂 典立 鈴木 正敏 米長 悦也 大橋 一之 吉村 宅弘 金子 守男 橋本 崇文 西連寺 央康
2014/11/12 (水) 3時限 13:00～14:30	患者管理の実際 (その3) 救急処置 (1)	【授業の一般目標】 心肺蘇生法を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 気道閉塞及び気道確保について説明できる。 2. 胸骨圧迫について説明できる。 【準備学習項目】 1. 気道確保法を列挙できる。 2. 胸骨圧迫の重要性について述べる事ができる。 【学習方略 (L S)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室、第1実習室 【国家試験出題基準 (主)】	渋谷 鏡 山口 秀紀 石橋 肇 卯田 昭夫 下坂 典立 鈴木 正敏 米長 悦也 大橋 一之 吉村 宅弘 金子 守男 橋本 崇文 西連寺 央康

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/12 (水) 3時限 13:00~14:30	患者管理の実際 (その3) 救急処置(1)	<p>必修の基本的事項 1 3 初期救急 イ 救急処置 a 一次救命処置<BLS>、気道確保、人工呼吸、胸骨圧迫、除細動、静脈路確保、酸素療法、基本的救急薬品、止血法、輸液療法、輸血</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論X 治療 3 救急医療 ウ 成人に対する一次救命処置</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-5) 救急処置 *②意識レベル、呼吸および脈拍の状態を把握できる。 *③気道閉塞および気道確保法を説明できる。【誤嚥・誤飲時の症状と対応を含む】 *④気道確保と呼吸吹き込みによる人工呼吸を実施できる。 *⑤胸骨圧迫と自動的体外式除細動器(AED)の操作を実施できる。</p>	渋谷 鏡 山口 秀紀 石橋 肇 卯田 昭夫 下坂 典立 鈴木 正敏 米長 悦也 大橋 一之 吉村 宅弘 金子 守男 橋本 崇文 西連寺 央康
2014/11/12 (水) 4時限 14:40~16:10	患者管理の実際 (その3) 救急処置(1)	<p>【授業の一般目標】 心肺蘇生法を行うことができる。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 意識、呼吸及び脈拍の状態を把握できる。 2. 気道閉塞の解除及び気道確保を行える。 3. 呼吸吹き込み式人工呼吸を行える。 4. 胸骨圧迫を行える。 5. AEDを使用できる。</p> <p>【準備学習項目】 心肺蘇生法の手順を述べることができる。</p> <p>【学習方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 302教室、第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 1 3 初期救急 イ 救急処置 a 一次救命処置<BLS>、気道確保、人工呼吸、胸骨圧迫、除細動、静脈路確保、酸素療法、基本的救急薬品、止血法、輸液療法、輸血</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論X 治療 3 救急医療 カ 窒息・誤飲・誤嚥に対する対応</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-5) 救急処置 *②意識レベル、呼吸および脈拍の状態を把握できる。 *③気道閉塞および気道確保法を説明できる。【誤嚥・誤飲時の症状と対応を含む】 *④気道確保と呼吸吹き込みによる人工呼吸を実施できる。 *⑤胸骨圧迫と自動的体外式除細動器(AED)の操作を実施できる。</p>	渋谷 鏡 山口 秀紀 石橋 肇 卯田 昭夫 下坂 典立 鈴木 正敏 米長 悦也 大橋 一之 吉村 宅弘 金子 守男 橋本 崇文 西連寺 央康
2014/11/19 (水) 3時限 13:00~14:30	患者管理の実際 (その4) 救急処置(2)	<p>【授業の一般目標】 心肺蘇生法を行える。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 安全にAEDを使用できる。 2. 心肺蘇生法を手順通り行える。</p> <p>【準備学習項目】 1. 除細動の適応を述べることができる。 2. 心停止時の対応を述べることができる。</p> <p>【学習方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 302教室、第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 1 3 初期救急 イ 救急処置 a 一次救命処置<BLS>、気道確保、人工呼吸、胸骨圧迫、除細動、静脈路確保、酸素療法、基本的救急薬品、止血法、輸液療法、輸血</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論X 治療 3 救急医療 オ 成人・小児に対する二次救命処置</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育</p>	渋谷 鏡 山口 秀紀 石橋 肇 卯田 昭夫 下坂 典立 鈴木 正敏 米長 悦也 大橋 一之 吉村 宅弘 金子 守男 橋本 崇文 西連寺 央康

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/19 (水) 3時限 13:00~14:30	患者管理の実際 (その4) 救急処置 (2)	E-1 診療の基本 E-1-5) 救急処置 *②意識レベル、呼吸および脈拍の状態を把握できる。 *③気道閉塞および気道確保法を説明できる。【誤嚥・誤飲時の症状と対応を含む】 *④気道確保と呼吸吹き込みによる人工呼吸を実施できる。 *⑤胸骨圧迫と自動的体外式除細動器 (AED) の操作を実施できる。 *⑥救急処置に用いられる薬物を列挙し、その作用機序を説明できる。	渋谷 鏡 山口 秀紀 石橋 肇 卯田 昭夫 下坂 典立 鈴木 正敏 米長 悦也 大橋 一之 吉村 宅弘 金子 守男 橋本 崇文 西連寺 央康
2014/11/19 (水) 4時限 14:40~16:10	患者管理の実際 (その4) 救急処置 (2)	【授業の一般目標】 救急蘇生法を行える。 【行動目標 (SBOs)】 1. 傷病者発見から短時間で心肺蘇生法を開始できる。 2. 心肺蘇生法の手順をスムーズに実施できる。 3. AEDを安全に使用できる。 【準備学習項目】 心肺蘇生法の手順を説明できる。 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 302教室、第1実習室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 13 初期救急 イ 救急処置 a 一次救命処置<BLS>、気道確保、人工呼吸、胸骨圧迫、除細動、静脈路確保、酸素療法、基本的救急薬品、止血法、輸液療法、輸血 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論X 治療 3 救急医療 ウ 成人に対する一次救命処置 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-5) 救急処置 *②意識レベル、呼吸および脈拍の状態を把握できる。 *③気道閉塞および気道確保法を説明できる。【誤嚥・誤飲時の症状と対応を含む】 *④気道確保と呼吸吹き込みによる人工呼吸を実施できる。 *⑤胸骨圧迫と自動的体外式除細動器 (AED) の操作を実施できる。 *⑥救急処置に用いられる薬物を列挙し、その作用機序を説明できる。	渋谷 鏡 山口 秀紀 石橋 肇 卯田 昭夫 下坂 典立 鈴木 正敏 米長 悦也 大橋 一之 吉村 宅弘 金子 守男 橋本 崇文 西連寺 央康
2014/11/26 (水) 3時限 13:00~14:30	平常試験 1	【授業の一般目標】 これまでの授業内容を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. これまでの授業内容について述べるができる。 【準備学習項目】 これまでの授業内容を復習する。 【学習方略 (LS)】 その他 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 【国家試験出題基準 (副)】 【コアカリキュラム】	渋谷 鏡 山口 秀紀 石橋 肇 卯田 昭夫
2014/11/26 (水) 4時限 14:40~16:10	全身管理法 (ビデオ供覧)	【授業の一般目標】 全身管理法を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 全身管理法について述べるができる。 【準備学習項目】 全身管理法について復習する。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 【国家試験出題基準 (副)】 【コアカリキュラム】	渋谷 鏡 山口 秀紀 石橋 肇 卯田 昭夫

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/03 (水) 3時限 13:00~14:30	全身麻酔法 ・全身麻酔の概念と方法 ・術前管理	<p>【授業の一般目標】 全身麻酔法について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 全身麻酔法の適応と術前評価について説明できる。 2. 前投薬の使用法と薬理学的作用を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 1. 全身麻酔法を説明できる。 2. 前投薬について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室、第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 コ 麻酔法 b 全身麻酔 (吸入麻酔法、静脈麻酔法)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論X 治療 6 麻酔、緩和医療 ウ 全身麻酔法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-3) 歯科麻酔の基本 E-1-3)-(4) 全身麻酔法 *①全身麻酔の目的と種類ならびに特徴を説明できる。【前投薬、筋弛緩薬および主な全身麻酔薬の基本的薬理作用および使用機器・器具を含む。】 *②全身麻酔の適応と禁忌および合併症を説明できる。</p>	渋谷 鏡 山口 秀紀
2014/12/03 (水) 4時限 14:40~16:10	全身麻酔法 ・吸入麻酔薬 ・静脈麻酔薬	<p>【授業の一般目標】 全身麻酔法の種類を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 吸入麻酔薬及び静脈麻酔薬の薬理学的性質について説明できる。 2. 吸入麻酔薬及び静脈麻酔薬の導入、維持及び覚醒について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 全身麻酔薬を分類し、説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 コ 麻酔法 b 全身麻酔 (吸入麻酔法、静脈麻酔法)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論X 治療 6 麻酔、緩和医療 エ 吸入麻酔薬、静脈麻酔薬</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-3) 歯科麻酔の基本 E-1-3)-(4) 全身麻酔法 *①全身麻酔の目的と種類ならびに特徴を説明できる。【前投薬、筋弛緩薬および主な全身麻酔薬の基本的薬理作用および使用機器・器具を含む。】 *②全身麻酔の適応と禁忌および合併症を説明できる。 *③全身麻酔時の周術期の管理を説明できる。</p>	渋谷 鏡 山口 秀紀
2014/12/10 (水) 3時限 13:00~14:30	全身麻酔法 ・筋弛緩薬 ・気道管理 ・麻酔装置と麻酔法 ・術中管理	<p>【授業の一般目標】 全身麻酔を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 筋弛緩薬の生理・薬理学的機序を説明できる。 2. 全身麻酔中の気道確保の意義と方法について説明できる。 3. 全身麻酔法に必要な器具・器材について説明できる。 4. 全身麻酔中の呼吸、循環及び代謝管理の方法と生理学的問題点について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 1. 筋弛緩薬について説明できる。 2. 気道確保法を列挙できる。 3. 全身麻酔に必要な器具・器材を列挙できる。 4. 呼吸・循環生理及び代謝について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p>	渋谷 鏡 山口 秀紀

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/10 (水) 3時限 13:00~14:30	全身麻酔法 ・筋弛緩薬 ・気道管理 ・麻酔装置と麻酔法 ・術中管理	302教室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 コ 麻酔法 b 全身麻酔 (吸入麻酔法、静脈麻酔法) 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論X 治療 6 麻酔、緩和医療 ウ 全身麻酔法 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-3) 歯科麻酔の基本 E-1-3)-(4) 全身麻酔法 *①全身麻酔の目的と種類ならびに特徴を説明できる。【前投薬、筋弛緩薬および主な全身麻酔薬の基本的薬理作用および使用機器・器具を含む。】 *②全身麻酔の適応と禁忌および合併症を説明できる。 *③全身麻酔時の周術期の管理を説明できる。	渋谷 鏡 山口 秀紀
2014/12/10 (水) 4時限 14:40~16:10	全身麻酔法 ・気管麻酔 ・術後管理	【授業の一般目標】 全身麻酔法について理解する。 【行動目標(SBOs)】 1.気管麻酔の実際について説明できる。 2.術後管理の意義と目的を述べることができる。 【準備学習項目】 気管挿管について説明できる。 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 コ 麻酔法 b 全身麻酔 (吸入麻酔法、静脈麻酔法) 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論X 治療 6 麻酔、緩和医療 ウ 全身麻酔法 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-3) 歯科麻酔の基本 E-1-3)-(4) 全身麻酔法 *①全身麻酔の目的と種類ならびに特徴を説明できる。【前投薬、筋弛緩薬および主な全身麻酔薬の基本的薬理作用および使用機器・器具を含む。】 *②全身麻酔の適応と禁忌および合併症を説明できる。 *③全身麻酔時の周術期の管理を説明できる。	渋谷 鏡 山口 秀紀
2014/12/17 (水) 3時限 13:00~14:30	小児の麻酔管理 障害者の麻酔管理	【授業の一般目標】 小児と障害者の麻酔管理法を理解する。 【行動目標(SBOs)】 1.小児の全身麻酔管理の特徴について説明できる。 2.障害者の麻酔管理の特徴について説明できる。 【準備学習項目】 1. 小児の身体的・精神的特徴について説明できる。 2. 歯科治療上問題となる心身障害について述べるができる。 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 コ 麻酔法 b 全身麻酔 (吸入麻酔法、静脈麻酔法) 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論X 治療 6 麻酔、緩和医療 ウ 全身麻酔法 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-3) 歯科麻酔の基本 E-1-3)-(4) 全身麻酔法	山口 秀紀

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/17 (水) 3時限 13:00~14:30	小児の麻酔管理 障害者の麻酔管理	*③全身麻酔時の周術期の管理を説明できる。	山口 秀紀
2014/12/17 (水) 4時限 14:40~16:10	口腔外科手術と全身麻酔 歯科患者の日帰り麻酔	<p>【授業の一般目標】 口腔外科手術の全身麻酔と歯科患者の日帰り麻酔を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科・口腔外科手術のための全身麻酔の特徴について説明できる。 2. 歯科・口腔外科手術の日帰り麻酔の特徴と留意点について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 1. 口腔外科手術の特徴について説明できる。 2. 日帰り手術について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 コ 麻酔法 b 全身麻酔 (吸入麻酔法、静脈麻酔法)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論X 治療 6 麻酔、緩和医療 ウ 全身麻酔法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-3) 歯科麻酔の基本 E-1-3) - (4) 全身麻酔法 *③全身麻酔時の周術期の管理を説明できる。</p>	山口 秀紀
2014/12/24 (水) 3時限 13:00~14:30	高齢者の麻酔管理 訪問歯科診療における患者管理	<p>【授業の一般目標】 高齢者の麻酔管理と訪問歯科診療における患者管理を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 高齢者の麻酔管理の特徴について説明できる。 2. 高齢者歯科患者の全身リスク評価について説明できる。 3. 訪問歯科診療における患者管理の特徴について説明できる。 4. 訪問歯科診療における感じリスク評価について述べることができる。</p> <p>【準備学習項目】 1. 高齢者の身体的・精神の特徴について説明できる。 2. 訪問歯科診療について述べることができる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ホ 患者管理の基本 b 全身管理に留意すべき疾患・対象 (気管支炎、気管支喘息、肺炎、慢性閉塞性肺疾患 <COPD>、心筋梗塞、狭心症、高血圧症、心不全、心内膜炎、脳出血、脳梗塞、胃潰瘍、十二指腸潰瘍、急性・慢性肝炎、肝硬変、胃食道逆流症 <GERD>、腎炎、慢性・急性腎不全、貧血、急性白血病、出血性素因、血友病、von Willebrand 病、糖尿病、骨粗鬆症、甲状腺機能亢進症、甲状腺機能低下症、副腎機能亢進症、副腎機能低下症、膠原病、後天性免疫不全症候群 <AIDS>、認知症、統合失調症、うつ病、双極性障害、てんかん、Alzheimer 病、Parkinson 病、アルコール・薬物依存症、悪性腫瘍、周術期、妊婦、小児、高齢者、免疫不全、臓器移植患者、菌交代現象<菌交代症>)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論X 治療 2 治療の基礎 シ 高齢者の治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-3) 歯科麻酔の基本 E-1-3) - (1) 全身管理 *⑥歯科治療時に注意を要する全身疾患(小児も含む)を説明できる。【歯科治療時の対応を含む。】 *⑦患者の服用薬物と歯科治療の関連について説明できる。【歯科治療時の対応を含む。】 *⑧小児、妊婦、授乳婦および高齢者の歯科治療時の注意点を説明できる。 *⑨患者の全身状態評価を説明できる。</p>	山口 秀紀
2014/12/24 (水) 4時限 14:40~16:10	全身疾患を有する患者の全身麻酔法	<p>【授業の一般目標】 全身疾患を有する患者の全身麻酔法について理解する。</p>	山口 秀紀

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
	全身疾患を有する患者の全身麻酔法	<p>【行動目標 (SBOs)】 1. 全身疾患を有する患者への麻酔管理上の留意点について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯科治療上問題となる全身疾患について述べるができる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 コ 麻酔法 b 全身麻酔 (吸入麻酔法、静脈麻酔法)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ホ 患者管理の基本 b 全身管理に留意すべき疾患・対象 (気管支炎、気管支喘息、肺炎、慢性閉塞性肺疾患 <COPD>、心筋梗塞、狭心症、高血圧症、心不全、心内膜炎、脳出血、脳梗塞、胃潰瘍、十二指腸潰瘍、急性・慢性肝炎、肝硬変、胃食道逆流症 <GERD>、腎炎、慢性・急性腎不全、貧血、急性白血病、出血性素因、血友病、von Willebrand 病、糖尿病、骨粗鬆症、甲状腺機能亢進症、甲状腺機能低下症、副腎機能亢進症、副腎機能低下症、膠原病、後天性免疫不全症候群 <AIDS>、認知症、統合失調症、うつ病、双極性障害、てんかん、Alzheimer 病、Parkinson 病、アルコール・薬物依存症、悪性腫瘍、周術期、妊婦、小児、高齢者、免疫不全、臓器移植患者、菌交代現象<菌交代症></p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-3) 歯科麻酔の基本 E-1-3)-(1) 全身管理 *⑥歯科治療時に注意を要する全身疾患(小児も含む)を説明できる。【歯科治療時の対応を含む。】 *⑦患者の服用薬物と歯科治療の関連について説明できる。【歯科治療時の対応を含む。】</p>	山口 秀紀
2015/01/14 (水) 3時限 13:00~14:30	疼痛治療・管理方法 ・痛みの生理学 ・痛みの病態と治療	<p>【授業の一般目標】 顎顔面の痛みを理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 神経疾患の特徴と痛みのメカニズムについて説明できる。 2. 三叉神経痛、顔面神経障害の病態と治療方法について説明できる。 3. 非定型顔面痛の発生機序と治療方法について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 顎顔面の痛みについて説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室、第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 14 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 歯・口腔・顎・顔面の疾患の概念 t 神経疾患、心因性病態</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論IV 顎・口腔領域の疾患 13 神経疾患 ア 三叉神経痛 イ 舌咽神経痛 ウ 非定型顔面痛、非歯原性歯痛 オ 舌痛症 カ 癌性疼痛 キ 舌神経麻痺 ク 顔面神経麻痺 ケ 軟口蓋麻痺 コ Ramsay-Hunt 症候群 <Hunt 症候群> サ 顔面けいれん</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-5) 心因性疾患 *③口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の心因性の痛みを説明できる。 *⑤舌痛症を概説できる。</p>	渋谷 鏡 下坂 典立
2015/01/14 (水) 4時限 14:40~16:10	疼痛療法・管理方法 ・東洋医学的療法	<p>【授業の一般目標】 東洋医学的療法を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 東洋医学的療法について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 東洋医学的療法の種類を列挙し、説明できる。</p>	渋谷 鏡 別部 智司

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/14 (水) 4時限 14:40～16:10	疼痛療法・管理方法 ・東洋医学的療法	<p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	渋谷 鏡 別部 智司
2015/01/21 (水) 3時限 13:00～14:30	歯科治療時の全身的偶発症	<p>【授業の一般目標】 歯科治療時の全身的偶発症を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科治療中の全身的偶発症の成因、評価及び治療方法について述べるができる。 2. 各種ショックの分類、成因と病態及び使用薬剤について述べるができる。</p> <p>【準備学習項目】 1. 歯科治療中の全身的偶発症を列挙できる。 2. ショックを分類し、その項目を列挙できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論 X 治療 4 患者管理 エ 全身的偶発症</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 13 初期救急 イ 救急処置 b 救急処置を要する症状 (失神、意識障害、ショック、けいれん、呼吸困難、胸痛、嘔吐、皮膚症状、誤飲と誤嚥)</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-5) 救急処置 *①歯科治療時の全身合併症 (偶発症) を説明できる。</p>	渋谷 鏡
2015/01/21 (水) 4時限 14:40～16:10	歯科領域の医療事故について	<p>【授業の一般目標】 医療事故・過誤について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 麻酔・歯科麻酔関係の医療事故からその対応について述べるができる。</p> <p>【準備学習項目】 医療事故・過誤について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 4 歯科医療の質と安全の確保 イ 医療事故の防止 a 医療事故と医療過誤</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 4 歯科医療の質と安全の確保 イ 医療事故の防止 b 医療事故の発生要因</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-5 歯科医療における安全性への配慮と危機管理 A-5-1) 安全性の確保 *①歯科医療における事故の特異性を説明できる。 *②実際の医療には、多職種が多段階の医療業務内容に関与していることを具体的に説明できる。 *③医療上の事故等を防止するには、個人の注意力はもとより組織的なリスク管理が重要であることを説明できる。 A-5-2) 医療上の事故等への対処と予防 *①医療事故と医療過誤の違いを説明できる。</p>	渋谷 鏡
2015/01/28 (水) 3時限 13:00～14:30	平常試験 2	<p>【授業の一般目標】 これまでの授業内容を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. これまでの授業内容について述べるができる。</p>	渋谷 鏡 山口 秀紀 石橋 肇 卯田 昭夫 下坂 典立

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/28 (水) 3時限 13:00~14:30	平常試験 2	<p>【準備学習項目】 これまでの授業内容を復習する。</p> <p>【学習方略 (LS)】 その他</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	渋谷 鏡 山口 秀紀 石橋 肇 卯田 昭夫 下坂 典立
2015/01/28 (水) 4時限 14:40~16:10	平常試験 3	<p>【授業の一般目標】 これまでの授業内容を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. これまでの授業内容について述べることができる。</p> <p>【準備学習項目】 これまでの授業内容を復習する。</p> <p>【学習方略 (LS)】 その他</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	渋谷 鏡 山口 秀紀 石橋 肇 卯田 昭夫 下坂 典立

社会歯科学

年次	学期	学則科目責任者
4年次	後学期	笹井 啓史 (保健医療政策学)

学習目標 (G I O)	歯科医療の実践と、その実践の場である歯科医療機関の管理運営に必要な法制度、社会保障制度、医療保険制度などにおける社会的・経済学的知識、コミュニケーション技能、情報管理技能などを体系的に理解し、法律や諸制度を踏まえた歯科医療の実践において齟齬をきたさないために必要となる知識の修得を行う。
担当教員	笹井 啓史、齊藤 孝親、※大久保 一郎
教科書	スタンダード社会歯科第5版 石井拓男 他編 学建書院
評価方法 (E V)	授業時間内に行なう小テスト (20%) ・平常試験 (80%) によって評価する。講義を1/5以上欠席した場合の評価点は0-60点とする。 なお、平常試験の再試験は行なわない。
学生へのメッセージ オフィスアワー	医療は社会保障制度において重要な役割を担い、社会のセイフティーネットとして機能している。この医療に従事する歯科医師は、歯科医療そのものに関する知識や技術の習得はもちろんのこと、各種医事法規を熟知し遵守する義務を有している。また、近年の社会状況は医療事故や医療安全についての医療機関の姿勢を厳しく捉える傾向にあります。加えて、将来的に歯科診療所を開設管理するためには、事業経営 (財務・人事) も理解しなくてはならず、歯科医師が多くの社会的知識と社会性を身につけなければならないことを認識してください。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/09/30 (火) 4時限 14:40~16:10	社会保障制度概論	<p>【授業の一般目標】 諸外国の状況を踏まえ、わが国の社会保障制度と社会状況について説明できる</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 社会保障の定義について説明できる 2. 社会保障の体系について説明できる 3. 保健、医療、福祉 (介護保険含む) の各制度について説明できる</p> <p>【準備学習項目】 人口構造、社会保障制度 (保健、医療、福祉 (介護保険含む))、社会保障給付費</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論 I 保健医療論 6 社会保障と医療経済 ア 社会保障制度</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論 I 保健医療論 2 保健・医療・福祉・介護関係法規 ウ 医療保障・社会福祉・介護保険関連法規 必修の基本的事項 16 チーム歯科医療 オ 社会生活 b 社会保障制度 (所得、介護、障害) 歯科医学総論 総論 I 保健医療論 2 保健・医療・福祉・介護関係法規 ウ 医療保障・社会福祉・介護保険関連法規 3 保健・医療・福祉・介護の仕組みと資源 ク 保健・医療・福祉・介護の制度と連携</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-2 健康と社会、環境 B-2-2) 保健・医療・福祉制度 *①保健・医療制度を説明できる。【産業保健および医療供給体制を含む。】 *⑤高齢者のおかれた社会環境を説明できる。 *⑥障害者のおかれた社会環境を説明できる。 *⑦ノーマライゼーションの考え方を説明できる。 *⑨地域における保健・医療・福祉・介護の分野間の連携および他職種間の連携の必要性について説明できる。</p>	笹井 啓史
2014/10/07 (火) 4時限 14:40~16:10	医療関連法規 (歯科医師法)	<p>【授業の一般目標】 歯科医師法等、歯科医師の法的義務について説明できる</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科医師の法的身分と業務について説明できる 2. 歯科医師の法的義務と権利について説明できる 3. 患者の人権と医の倫理について説明できる</p> <p>【準備学習項目】 歯科医師法、民法、刑法、その他関連法規</p>	笹井 啓史

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/07 (火) 4時限 14:40～16:10	医療関連法規（歯科医師法）	<p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ウ 保健・医療・福祉・介護の制度 a 歯科医師法</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム ア 医の倫理、生命倫理 b ニュルンベルグ綱領、ジュネーブ宣言、ヘルシンキ宣言、リスボン宣言、ヒポクラテスの誓い c 守秘義務、プライバシーの尊重、法の遵守 イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療、インフォームドコンセント、セカンドオピニオン b 患者の権利と義務 c 自己決定権 4 歯科医療の質と安全の確保 エ 医療裁判 a 医事紛争、賠償 b 医療訴訟（刑事裁判、民事裁判） 5 診療記録と診療情報 ア 診療録、医療記録 a 診療に関する記録（診療録、同意書、処方箋、検査所見記録、画像記録、手術記録、入院診療計画書、退院時要約、技工指示書、模型） b 診療録の管理・保存 歯科医学総論 総論 I 保健医療論 2 保健・医療・福祉・介護関係法規 ア 医事衛生法規</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-2 健康と社会、環境 B-2-1) 歯科医師法・関係法規 *①歯科医師法を概説できる。 A 基本事項 A-2 医の倫理 *②医の倫理に関する規範・国際規範（ヒポクラテスの誓い、ジュネーブ宣言、ヘルシンキ宣言等）を概説できる。 A-3 歯科医師の責務 *①患者との信頼関係を築くことができる。 *②個人的、社会的背景等異なる患者に、わけへだてなく対応できる。 *③患者の価値観が多様であることを認識し、柔軟に対応できる。 *④患者に最も適した医療を説明できる。 *⑤歯科医師の法的義務を列挙できる。 A-4 インフォームドコンセント *①インフォームドコンセントの意義と重要性を説明できる。</p>	笹井 啓史
2014/10/14 (火) 4時限 14:40～16:10	医療関連法規（医師法、医療法等関連法規）	<p>【授業の一般目標】 医師法、医療法等医療関連法規について説明できる</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 医行為（業）と歯科医行為（業）について説明できる 2. 医療法の規定に基づく医療機関の開設と管理について説明できる 3. その他医療関連法規について説明できる</p> <p>【準備学習項目】 医師法、歯科医師法、医療法、その他関連法規</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ウ 保健・医療・福祉・介護の制度 e 医療法</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論 I 保健医療論 2 保健・医療・福祉・介護関係法規 ア 医事衛生法規 3 保健・医療・福祉・介護の仕組みと資源 イ 医療機関</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-2 健康と社会、環境 B-2-1) 歯科医師法・関係法規 *②医療法を概説できる。 *④医師法、薬剤師法および保健師助産師看護師法を概説できる。</p>	笹井 啓史
2014/10/21 (火) 4時限	医療関連法規（歯科衛生士法、歯科	<p>【授業の一般目標】 歯科衛生士法、歯科技工士法等医療関連職種の各身分に関する関係法規につい</p>	笹井 啓史

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
14:40～16:10	技工士法等医療関連職種(資格法)	<p>て説明できる</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. コデンタルスタッフ (歯科衛生士/歯科技工士) の法的規定について説明できる 2. コメディカルスタッフ (薬剤師/看護師/言語聴覚士 等) の法的規定について説明できる</p> <p>【準備学習項目】 歯科衛生士法、歯科技工士法、薬剤師法、保健師助産師看護師法、言語聴覚士法、その他医療関連職種に関する身分法</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ウ 保健・医療・福祉・介護の制度 f 保健・医療・福祉・介護の各制度と職種</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ウ 保健・医療・福祉・介護の制度 b 歯科衛生士法 c 歯科技工士法 f 保健・医療・福祉・介護の各制度と職種 g 地域歯科保健活動での各職種の連携に関する制度 16 チーム歯科医療 ア 医療機関でのチームワーク a 歯科医師・医師間 b 歯科医師・歯科衛生士・歯科技工士間 c 多職種連携 歯科医学総論 総論 I 保健医療論 2 保健・医療・福祉・介護関係法規 ア 医事衛生法規 3 保健・医療・福祉・介護の仕組みと資源 オ 医療関係職種 キ 医療連携、チーム医療</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-2 健康と社会、環境 B-2-1) 歯科医師法・関係法規 *③歯科衛生士法と歯科技工士法を概説できる。 *④医師法、薬剤師法および保健師助産師看護師法を概説できる。</p>	笹井 啓史
2014/10/28 (火) 4時限 14:40～16:10	医療提供体制	<p>【授業の一般目標】 医療提供体制について説明できる</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 医療計画、5疾病5事業について説明できる 2. 地域医療連携について説明できる 3. 医療圏について説明できる</p> <p>【準備学習項目】 医療計画、医療圏、5疾病5事業、地域医療連携</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ウ 保健・医療・福祉・介護の制度 e 医療法</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 16 チーム歯科医療 イ 地域医療でのチームワーク a 病診連携 b 診診連携 e 地域連携クリニカルパス 歯科医学総論 総論 I 保健医療論 2 保健・医療・福祉・介護関係法規 ア 医事衛生法規 3 保健・医療・福祉・介護の仕組みと資源 キ 医療連携、チーム医療 4 地域保健、地域医療 イ 医療計画、健康増進計画</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-2 健康と社会、環境 B-2-2) 保健・医療・福祉制度 *①保健・医療制度を説明できる。【産業保健および医療供給体制を含む。】</p>	笹井 啓史

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/28 (火) 4時限 14:40～16:10	医療提供体制	<p>*⑧地域医療に求められる役割と機能および体制等、地域医療の在り方を概説できる。</p> <p>*⑨地域における保健・医療・福祉・介護の分野間の連携および他職種間の連携の必要性について説明できる。</p> <p>*⑩地域医療の基盤となるプライマリ・ケアの必要性を説明できる。</p> <p>*⑪災害時の歯科医療の必要性について説明できる。</p>	笹井 啓史
2014/11/04 (火) 4時限 14:40～16:10	保健衛生関係法規	<p>【授業の一般目標】 保健衛生関係の各法規について説明できる</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 地域保健法について説明できる 2. 健康増進法について説明できる 3. 歯科口腔保健の推進に関する法律について説明できる 4. その他の保健衛生関連法規について説明できる</p> <p>【準備学習項目】 地域保健法、健康増進法、歯科口腔保健の推進に関する法律、その他の保健衛生関連法規</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ウ 保健・医療・福祉・介護の制度 f 保健・医療・福祉・介護の各制度と職種</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 イ 地域保健 a 地域保健法、地域保健体制 b 健康増進法 c 歯科口腔保健の推進に関する法律 ウ 母子保健 a 歯科健康診査 (妊産婦、1歳6か月児、3歳児) カ 成人・高齢者保健 b 健康増進事業、歯周疾患検診 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健医療論 2 保健・医療・福祉・介護関係法規 イ 保健衛生法規 エ 予防衛生法規薬事衛生法規 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 2 母子保健、母子歯科保健 ケ 母子歯科保健教育 3 学校保健、学校安全、学校歯科保健 オ 学校歯科保健管理 4 産業保健、産業歯科保健 イ 労働安全衛生管理</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-2 健康と社会、環境 B-2-2) 保健・医療・福祉制度 *①保健・医療制度を説明できる。【産業保健および医療供給体制を含む。】 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理 *④集団レベルの予防と健康管理 (地域歯科保健、学校歯科保健、産業歯科保健)を説明できる。</p>	笹井 啓史
2014/11/11 (火) 4時限 14:40～16:10	歯科医業の実践	<p>【授業の一般目標】 医療法をはじめ歯科医業の実践に必要な法制度について説明できる</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科医業と医業について説明できる 2. 医療行為の正当性について説明できる 3. 標榜診療科名について説明できる 4. 医療広告について説明できる 5. 歯科医療機関の開設及び管理について説明できる</p> <p>【準備学習項目】 医療法、歯科医師法</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ウ 保健・医療・福祉・介護の制度 e 医療法</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ウ 保健・医療・福祉・介護の制度 a 歯科医師法</p>	笹井 啓史

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/11 (火) 4時限 14:40～16:10	歯科医業の実践	b 歯科衛生士法 c 歯科技工士法 d 薬事法 1 6 チーム歯科医療 ア 医療機関でのチームワーク a 歯科医師・医師間 b 歯科医師・歯科衛生士・歯科技工士間 c 多職種連携 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健医療論 2 保健・医療・福祉・介護関係法規 ア 医事衛生法規 3 保健・医療・福祉・介護の仕組みと資源 イ 医療機関 【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-2 健康と社会、環境 B-2-1) 歯科医師法・関係法規 *①歯科医師法を概説できる。 *②医療法を概説できる。 A 基本事項 A-5 歯科医療における安全性への配慮と危機管理 A-5-3) 医療従事者の健康と安全 *①医療従事者の健康管理（予防接種を含む）の重要性を説明できる。 *⑤医療現場における労働環境の改善の必要性を説明できる。	笹井 啓史
2014/11/18 (火) 4時限 14:40～16:10	医療安全対策・院内感染対策	【授業の一般目標】 医療安全対策・感染対策について説明できる 【行動目標（SBOs）】 1. 医療における安全管理 について説明できる 2. 医療事故と安全対策の重要性について説明できる 3. 医療事故と医療過誤について説明できる 4. インシデントとアクシデントについて説明できる 5. 感染対策について説明できる 【準備学習項目】 医療安全対策、院内感染対策、リスク管理手法 【学習方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 302教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ウ 保健・医療・福祉・介護の制度 e 医療法 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 4 歯科医療の質と安全の確保 イ 医療事故の防止 a 医療事故と医療過誤 b 医療事故の発生要因 c 患者の安全管理（誤飲、誤嚥、誤薬、出血、外傷、感染、被曝、目の保護） d 医療者の安全管理（感染、針刺し事故、外傷、被曝、目の保護） e 医療危機管理 <リスクマネージメント> g 医療安全対策（医薬品・医療機器の安全管理） ウ 院内感染対策 a スタンダードプレコーション<標準予防策> c 医療廃棄物処理 エ 医療裁判 b 医療訴訟（刑事裁判、民事裁判） 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 1 1 感染症対策 ウ 院内感染対策 【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-5 歯科医療における安全性への配慮と危機管理 A-5-1) 安全性の確保 *①歯科医療における事故の特異性を説明できる。 *③医療上の事故等を防止するには、個人の注意力はもとより組織的なリスク管理が重要であることを説明できる。 *④医療現場における報告・連絡・相談および診療録記載の重要性について説明できる。 *⑥医療機関における医療安全管理体制の在り方（事故報告書、インシデントリポート、リスク管理者、事故防止委員会、事故調査委員会等）を概説できる。 ⑦医療の安全性確保のため、職種・段階に応じた能力向上の必要性を説明できる。 A-5-2) 医療上の事故等への対処と予防 *①医療事故と医療過誤の違いを説明できる。 *②医療上の事故等（インシデント（ヒヤリハット）、医療過誤等を含む）の事例の原因を分析し、防止対策を説明できる。 *③医療上の事故等（インシデント（ヒヤリハット）、医療過誤等を含む）が発生した時の緊急処置や記録、報告について説明できる。 *⑤基本的予防策（ダブルチェック、チェックリスト法、薬品名称の改善、フェイルセーフ・フルブルーフの考え方など）について概説できる。 A-5-3) 医療従事者の健康と安全 *④針刺し事故等に遭遇した際の対処の仕方を説明できる。	笹井 啓史

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/25 (火) 4時限 14:40~16:10	薬事制度	<p>【授業の一般目標】 薬事制度（医療機器・医薬品）について説明できる</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 医療機器と医薬品の承認制度について説明できる 2. 臨床試験と治験について説明できる 3. 医薬品と医療機器による健康被害について説明できる</p> <p>【準備学習項目】 薬事法、医療機器、医薬品</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ウ 保健・医療・福祉・介護の制度 d 薬事法</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 4 歯科医療の質と安全の確保 オ 医薬品・医療機器による健康被害 a 副作用・有害事象への対応（報告義務、治療、補償） カ 血液・血液製剤の安全性 a 保管、管理 歯科医学総論 総論 I 保健医療論 2 保健・医療・福祉・介護関係法規 エ 薬事衛生法規</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 生体と薬物 C-5-1) 薬物と医薬品 *①医薬品の分類を説明できる。 *②毒薬、劇薬および麻薬等の表示と保管を説明できる。 *③日本薬局方を説明できる。 C-5-4) 薬物の副作用と有害作用 *①薬物の一般的副作用、有害作用と口唇・口腔・顎顔面領域に現れる副作用、有害作用を説明できる。 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-1 素材と器械・器具の所要性質 *③生体材料と歯科材料の安全性の評価を説明できる。 *④歯科用器械・器具の用途と特徴について説明できる。</p>	笹井 啓史
2014/12/02 (火) 4時限 14:40~16:10	保健医療と国家財政	<p>【授業の一般目標】 保健医療と国家財政の仕組みについて説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 国家財政と国民医療費の実態を理解し説明できる。 2. 医療における費用効果分析について説明できる。 3. 医療経済の仕組みについて説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 国民医療費、医療経済</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論 I 保健医療論 6 社会保障と医療経済 ウ 医療経済と国民医療費</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 イ 歯科医療の社会的背景 a 健康意識、疾病構造 b 国民医療費 歯科医学総論 総論 I 保健医療論 6 社会保障と医療経済 ア 社会保障制度 イ 医療保険、介護保険 ウ 医療経済と国民医療費</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-2 健康と社会、環境 B-2-2) 保健・医療・福祉制度 *①保健・医療制度を説明できる。【産業保健および医療供給体制を含む。】 *②医療保険制度を説明できる。【医療経済（国民医療費）を含む。】</p>	大久保 一郎
2014/12/09 (火) 4時限 14:40~16:10	医療保険制度	<p>【授業の一般目標】 医療保険制度の仕組みについて説明できる。</p>	笹井 啓史

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
	医療保険制度	<p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療保険の概要と仕組みについて説明できる。 2. 保険医・保険医療機関の義務について説明できる。 3. 医療経済と歯科医療について説明できる。 <p>【準備学習項目】</p> <p>保険者、医療保険制度</p> <p>【学習方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅰ 保健医療論 6 社会保障と医療経済 イ 医療保険、介護保険</p> <p>【国家試験出題基準（副）】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅰ 保健医療論 2 保健・医療・福祉・介護関係法規 ウ 医療保障・社会福祉・介護保険関連法規</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>B 社会と歯学 B-2 健康と社会、環境 B-2-2) 保健・医療・福祉制度 *①保健・医療制度を説明できる。【産業保健および医療供給体制を含む。】 *②医療保険制度を説明できる。【医療経済（国民医療費）を含む。】</p>	笹井 啓史
2014/12/16（火） 4時限 14:40～16:10	医療保険制度	<p>【授業の一般目標】</p> <p>医療保険制度における歯科診療について説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 歯科診療報酬制度の概要と仕組みについて説明できる。 2. 保険診療における適切な診療録記載方法について説明できる。 3. 診療報酬請求の仕組みについて説明できる。 <p>【準備学習項目】</p> <p>診療報酬</p> <p>【学習方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅰ 保健医療論 6 社会保障と医療経済 イ 医療保険、介護保険</p> <p>【国家試験出題基準（副）】</p> <p>必修の基本的事項 5 診療記録と診療情報 ア 診療録、医療記録 a 診療に関する記録（診療録、同意書、処方箋、検査所見記録、画像記録、手術記録、入院診療計画書、退院時要約、技工指示書、模型） b 診療録の管理・保存 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健医療論 2 保健・医療・福祉・介護関係法規 ウ 医療保障・社会福祉・介護保険関連法規</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>B 社会と歯学 B-2 健康と社会、環境 B-2-2) 保健・医療・福祉制度 *①保健・医療制度を説明できる。【産業保健および医療供給体制を含む。】 *②医療保険制度を説明できる。【医療経済（国民医療費）を含む。】</p>	笹井 啓史
2015/01/13（火） 4時限 14:40～16:10	介護保険	<p>【授業の一般目標】</p> <p>介護保険制度について説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 介護保険制度の概要と仕組みについて説明できる。 2. 介護保険における歯科の役割について説明できる。 3. 介護認定について説明できる。 4. 介護サービスについて説明できる。 5. 介護予防について説明できる。 <p>【準備学習項目】</p> <p>介護保険、介護認定、介護給付、介護予防、口腔関連サービス、介護保険施設</p> <p>【学習方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>必修の基本的事項</p>	笹井 啓史

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/13 (火) 4時限 14:40～16:10	介護保険	<p>3 予防と健康管理・増進 カ 成人・高齢者保健 d 福祉、介護保険</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 カ 成人・高齢者保健 c 介護予防（地域支援事業、予防給付） d 福祉、介護保険 16 チーム歯科医療 イ 地域医療でのチームワーク c 保健・医療・福祉・介護・教育の連携 歯科医学総論 総論 I 保健医療論 2 保健・医療・福祉・介護関係法規 ウ 医療保障・社会福祉・介護保険関連法規 3 保健・医療・福祉・介護の仕組みと資源 ウ 福祉施設 エ 介護施設 カ 福祉・介護の制度と職種 6 社会保障と医療経済 イ 医療保険、介護保険</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-2 健康と社会、環境 B-2-2) 保健・医療・福祉制度 *③介護保険制度を説明できる。 *④社会福祉制度を説明できる。 *⑤高齢者のおかれた社会環境を説明できる。 *⑥障害者のおかれた社会環境を説明できる。 *⑨地域における保健・医療・福祉・介護の分野間の連携および他職種間の連携の必要性について説明できる。</p>	笹井 啓史
2015/01/20 (火) 4時限 14:40～16:10	医療情報管理	<p>【授業の一般目標】 医療情報管理と医療情報システムについて説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 電子カルテについて説明できる。 2. 医療情報システムについて説明できる。 3. 医療情報の標準化について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 電子カルテ、医療情報、情報システム、標準化</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 5 診療記録と診療情報 ア 診療録、医療記録 b 診療録の管理・保存</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 5 診療記録と診療情報 ア 診療録、医療記録 a 診療に関する記録（診療録、同意書、処方箋、検査所見記録、画像記録、手術記録、入院診療計画書、退院時要約、技工指示書、模型） b 診療録の管理・保存 c SOAP（主観的情報、客観的情報、評価、計画） イ 診療情報 a 個人情報保護 b 診療情報の開示</p> <p>【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-1 医療面接 ⑥診療録に得られた情報をPOMR（問題志向型診療記録）形式で記載できる。 B 社会と歯学 B-4 疫学・保健医療統計 B-4-3) 保健医療情報 *①保健医療情報の取扱いと情報のセキュリティを説明できる。【診療情報（診療録等）を含む。】</p>	齊藤 孝親
2015/01/27 (火) 4時限 14:40～16:10	医療情報管理	<p>【授業の一般目標】 医療情報管理と個人情報保護について説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 個人情報保護について説明できる。 2. 医療情報の保護（セキュリティ）について説明できる。 3. 診療情報の開示について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 個人情報保護法、情報セキュリティ、診療情報等の提供</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p>	齊藤 孝親

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/27 (火) 4時限 14:40～16:10	医療情報管理	<p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 5 診療記録と診療情報 イ 診療情報 a 個人情報の保護</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 5 診療記録と診療情報 イ 診療情報 a 個人情報の保護 b 診療情報の開示</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-4 疫学・保健医療統計 B-4-3) 保健医療情報 *①保健医療情報の取扱いと情報のセキュリティーを説明できる。【診療情報（診療録等）を含む。】 *②医療情報の開示に関する注意点を説明できる。</p>	齊藤 孝親
2015/02/03 (火) 4時限 14:40～16:10	平常試験	<p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p>	笹井 啓史 齊藤 孝親